篠山市立西紀体育館耐震補強工事　設計図

図 面 リ ス ト

意匠				構造		電気		機械	
Ａ － １	表紙・図面リスト			Ｓ － １	既存建物耐震改修工事仕様書（１）	Ｅ － １	電気設備工事　特記仕様書	Ｍ － １	機械設備　特記仕様書
Ａ － ２	特記仕様書１			Ｓ － ２	既存建物耐震改修工事仕様書（２）	Ｅ － ２	【改修前】【改修後】１階便所・更衣室詳細図	Ｍ － ２	【改修前】１階・２階平面図
Ａ － ３	特記仕様書２			Ｓ － ３	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	Ｅ － ３	【改修前】【改修後】２階平面図	Ｍ － ３	【改修】便所給排水・衛生詳細図
Ａ － ４	外壁改修特記仕様書			Ｓ － ４	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）			Ｍ － ４	【改修】便所換気設備詳細図
Ａ － ５	補修標準図			Ｓ － ５	鉄骨工作標準図(1)			Ｍ － ５	【撤去】便所給排・水衛生詳細図
Ａ － ６	附近見取図・配置図			Ｓ － ６	鉄骨工作標準図(2)			Ｍ － ６	【撤去】便所換気設備詳細図
Ａ － ７	【改修前】１階・２階平面図			Ｓ － ７	補強伏図(1)				
Ａ － ８	【改修前】屋根伏図			Ｓ － ８	補強伏図(2)				
Ａ － ９	【改修後】１階・２階平面図			Ｓ － ９	補強屋根伏図、補強要領図				
Ａ － １０	【改修後】屋根伏図			Ｓ － １０	補強軸組図(1)				
Ａ － １１	【改修前】立面図			Ｓ － １１	補強軸組図(2)				
Ａ － １２	【改修後】立面図			Ｓ － １２	補強軸組図(3)				
Ａ － １３	断面図			Ｓ － １３	補強軸組図(4)				
Ａ － １４	【改修前・後】断面詳細図１			Ｓ － １４	補強詳細図(1)				
Ａ － １５	【改修前・後】断面詳細図２			Ｓ － １５	補強詳細図(2)				
Ａ － １６	【改修前・後】断面詳細図３			Ｓ － １６	補強詳細図(3)				
Ａ － １７	【改修前・後】断面詳細図４			Ｓ － １７	補強詳細図(4)				
Ａ － １８	【改修前】１階便所詳細図			Ｓ － １８	補強詳細図(5)				
Ａ － １９	【改修後】１階便所詳細図			Ｓ － １９	補強詳細図(6)				
Ａ － ２０	【改修前】１階更衣室・便所　・下足室詳細図			Ｓ － ２０	補強詳細図(7)				
Ａ － ２１	【改修後】１階更衣室・便所　・下足室詳細図			Ｓ － ２１	補強詳細図(8)				
Ａ － ２２	【改修前・後】器具庫詳細図			Ｓ － ２２	補強詳細図(9)				
Ａ － ２３	【改修前・後】１階更衣室詳細図　Ａ通６－７間			Ｓ － ２３	補強詳細図(10)				
Ａ － ２４	【改修前】アリーナ詳細図１　Ａ・Ｅ通			Ｓ － ２４	補強詳細図(11)				
Ａ － ２５	【改修後】アリーナ詳細図１　Ａ・Ｅ通			Ｓ － ２５	補強詳細図(12)				
Ａ － ２６	【改修前・後】アリーナ詳細図２　Ａ・Ｅ通								
Ａ － ２７	【改修前】２階ギャラリー　平面詳細図								
Ａ － ２８	【改修前】２階ギャラリー　断面詳細図								
Ａ － ２９	【改修後】２階ギャラリー　平面詳細図								
Ａ － ３０	【改修後】２階ギャラリー　断面詳細図								
Ａ － ３１	【改修前】２階舞台平面詳細図								
Ａ － ３２	【改修前】２階舞台断面詳細図								
Ａ － ３３	【改修後】２階舞台平面詳細図								
Ａ － ３４	【改修後】２階舞台断面詳細図								
Ａ － ３５	【改修前】２階キャットウォーク部 詳細図　Ａ・Ｅ通								
Ａ － ３６	【改修後】２階キャットウォーク部 詳細図　Ａ・Ｅ通								
Ａ － ３７	【改修前】水平トラス設置部 詳細図１								
Ａ － ３８	【改修前】水平トラス設置部 詳細図２								
Ａ － ３９	【改修後】水平トラス設置部 詳細図１								
Ａ － ４０	【改修後】水平トラス設置部 詳細図２								
Ａ － ４１	外部パラペット廻り詳細図１								
Ａ － ４２	外部パラペット廻り詳細図２								
Ａ － ４３	ブドウ棚詳細図								
Ａ － ４４	舞台機構設備設置概要表								
Ａ － ４５	舞台機構設備設置詳細図								
Ａ － ４６	天井伏図【改修前・改修後】								
Ａ － ４７	【改修前・後】建具キープラン								
Ａ － ４８	建具表１								
Ａ － ４９	建具表２								
Ａ － ５０	建具表３								

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME: 表紙

APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第86307号 細田 美弘

CHECKED BY:

DRAWN BY:

SCALE: ――

DRAWING NO: Ａ－１

建 築 改 修 工 事 特 記 仕 様　1/2

Ⅰ. 工 事 概 要

工事場所：　篠山市宮田110-1

構造・規模：　鉄筋コンクリート造一部鉄骨造　２階建　　延べ面積　1619.00㎡

Ⅱ. 県内産業の優遇措置

工事下請け業者の決定にあたっては地域性を考慮する。また使用材料の採用にあたっては県内産資材を優先して選定すること。

Ⅲ. 建築工事仕様

１．本特記仕様書、図面及び設計書（内訳書）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「標仕」という）による。ただし、標改仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）（以下、「公標仕」という。）又は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築物解体工事共通仕様書同解説（最新版）（以下、解体仕様書という。）による。

２．本工事に該当する「共仕」項目は該当項目内の該当事項に、■ ◎印を付した項目とする。

1 一般共通事項

項目		特記事項
工事の記録	標仕1.2.4	■ 国土交通省大臣官房営繕部監修「工事写真 のとり方（建築編）」により撮影し、下記によりﾌﾟﾘﾝﾄｱｳﾄする。 ただし、完成写真をﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗで撮影する場合は、300万画素程度とする。CD-ROMﾃﾞｰﾀを提出すること。

	分類	規格	撮影箇所	部数
◎	着工前	ｻｰﾋﾞｽ版	適宜	1 部
◎	施工中・検査中	ｻｰﾋﾞｽ版	各工程適宜	1 部
◎	完了時	ｻｰﾋﾞｽ版	12 ヶ所	1 部
◎	竣工写真	ｷｬﾋﾞﾈ版	6 ヶ所	1 部

■ 完成写真のうち、1部はA4版ｸﾘｱﾎﾙﾀﾞｰ綴りとする。
◎　表紙指定色 ■ 赤 ■ 緑 ■ 青 ■ 黒
◎ 各写真は、記録広告等のため紙面掲載する場合があるので応諾のこと。
◎ 着工前及び施工中の写真は工事写真帳A4版貼付、撮影時期、ヶ所等を記入し、提出する。

電気保安技術者	標仕1.3.3	■ 要 （資格：　　） ■ 不要）
施工数量調査	標仕1.5.2	■ 執務並行改修 ■ 建物全館無人（執務者無し）改修 ■ その他

調査範囲	調査方法
◎ 外壁　クラック・浮き等	目視、打音等
◎ パラペット笠木 クラック・浮き等	外壁等補修工事特記仕様書による

調査のための破壊部分の補修	標仕1.5.3	■ 現状復旧（ただし、周囲を新しい仕上げとする場合は、それに準ずる）
技能士	標仕1.6.2	■ 適用する（　　） ■ 適用しない
化学物質の濃度測定	標仕1.6.6	■ 測定する ■ 測定しない

測定対象化学物質	厚生労働省の指針値（25度の場合）
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	0.08ppm　(100μg/m3)
ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0.04ppm　(240μg/m3)
ﾄﾙｴﾝ	0.07ppm　(260μg/m3)
ｷｼﾚﾝ	0.2 ppm　(870μg/m3)
ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0.88ppm　(3,800μg/m3)
ｽﾁﾚﾝ	0.05ppm　(220μg/m3)

◎ 測定対象室（　　）　計（　　）ヶ所
◎ 測定方法は「官庁営繕部における平成15年度からのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」による。

発生材の処理等	標仕1.3.8	■ 特別管理産業廃棄物

特別管理産業物類	処理方法
廃石綿類	
PCB含有物	
PCB含有ｼｰﾘﾝｸﾞ材	
その他（　　）	

■ ｱｽﾍﾞｽﾄ成型板としての処理を要するもの（見なし処理を行うもの）

材料名	材料名
材料名	材料名
材料名	材料名

■ 建材中の石綿含有率の事前分析調査 ■ 要 ■ 不要
■ 調査項目は建材中の石綿（ｸﾘｿﾀｲﾙ・ｱﾓｻｲﾄ・ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ・ﾄﾚﾓﾗｲﾄ・ｱｸﾁﾉﾗｲﾄ・ｱﾝｿﾌｧﾗｲﾄ）の6種類とする。
分析方法
※ JISA1481「建材製品中のｱｽﾍﾞｽﾄ含有測定方法」による。
・「建材中の石綿含有率の分析方法」（平成18年8月21日基発第0821002号及び基安化発第0821001号）による。
・分析結果は、速やかに監督員に報告すること。

材料名	定性分析	定量分析
	■試料数：	■試料数：
	■試料数：	■試料数：
	■試料数：	■試料数：
	■試料数：	■試料数：
	■試料数：	■試料数：

・採取箇所

改良土の六価ｸﾛﾑ試験		■ 要 ■ 不要 ◎ 試験結果（計量証明書）の提出 ◎ 試験方法はｾﾒﾝﾄ及びｾﾒﾝﾄ系固化剤を使用した改良土等の六価ｸﾛﾑ溶出試験要領による。 検体数は約1000m3につき1検体とする。
仮囲い		■ 設ける （1800Ｈ ガードフェンス） 仮囲いの位置及び延長は図示による。
交通誘導員		■ 適宜配置

2 仮設工事

足場その他		内部足場 ■ 脚立、足場板等 外部足場 ■ Ａ種 ■ Ｂ種 ■ Ｃ種 ■ Ｄ種 防護シート ■ 設ける ■ 設けない
既存部分の養生	標仕2.3.1	■ ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ等 ■ その他（　　）
仮設間仕切	標仕2.3.2	■ A種 ■ B種 ■ C種　　扉 ：■ 木製 ■ その他
監督員事務所	標仕2.4.1	■ 100㎡程度 ■ 65㎡程度 ■ 35㎡程度 ■ 20㎡程度 ■ 10㎡程度 ■ 不要 （不要の場合でも、総合打ち合わせ等が可能な室を提供すること）
		■ 仕上げ標準 床 ：合板張り又はﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り 内壁・天井 合板又は石膏ﾎﾞｰﾄﾞ張り、合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り 屋根 ：塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り又は鉄板張り、調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り 備品等 ・打合机 ・書棚ﾛｯｶｰ・更衣ﾛｯｶｰ ・事務机 ・雨具 4 ・長靴 4 ・ﾍﾙﾒｯﾄ 4 ・安全靴 4
工事用水		■ 構内既存施設 ■：利用できない ■ 有償利用できる
工事用電力		■ 構内既存施設 ■：利用できない ■ 有償利用できる
その他		◎ 工事表示板 ■ 設置する 設置枚数１枚

3 防水改修工事

ｼｰﾘﾝｸﾞ材の試験	標仕3.7.8	■ 簡易接着性試験 ■ 引張接着性試験 ■ 試験成績表で承諾
樋	標仕3.8.1	■ 樋の材質（ ■ 配管用鋼管JISG3452 ■ 硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管JISK6741 ■ その他（　　））
ｱﾙﾐﾆｳﾑ笠木	標仕3.9.1	■ 表面処理（ ■ A-1 ■ A-2 ■ B-1 ■ B-2 ■ C-1 ■ C-2 ■ D ）
合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類	標仕3.5.2	■ 種類（Ｓ－２） ■ 厚さ（ 1.5 mm）
保証書		■ 責任施工とし、請負者・防水施工業者及び材料ﾒｰｶｰ、3者連名の保証書を提出する。 ■ 防水保証年限（ 10 年）

4 外壁改修工事

ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放し仕上げ外壁改修 (a)	標仕4.1.4	■ ひび割れ部改修工法 ■ 樹脂注入工法 ■ Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法 ■ ｼｰﾙ工法 ■ 欠損部改修 ■ 充填工法
ﾓﾙﾀﾙ塗り仕上げ外壁改修工法 (b)	標仕4.1.4	■ ひび割れ部改修工法 ■ 樹脂注入工法 ■ Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法 ■ ｼｰﾙ工法 ■ 欠損部改修 ■ 充填工法 ■ ﾓﾙﾀﾙ塗り替え工法 ■ 浮き部改修工法 ■ ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ■ ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ■ ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法 ■ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ■ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ■ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ樹脂注入工法 ■ 充填工法 ■ ﾓﾙﾀﾙ塗替え工法
ﾀｲﾙ張り仕上げ外壁改修工法 (c)	標仕4.1.4	■ ひび割れ部改修工法 ■ 樹脂注入工法 ■ Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法 ■ 欠損部改修 ■ ﾀｲﾙ部分張替え工法 ■ ﾀｲﾙ張替え工法 ■ 浮き部改修工法 ■ ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ■ ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ■ ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法 ■ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ■ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ■ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ樹脂注入工法 ■ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞｴﾎﾟｷｼ樹脂注入ﾀｲﾙ固定工法 ■ ﾀｲﾙ部分張替え工法 ■ ﾀｲﾙ張り替え工法 ■ 目地改修 ■ 目地ひび割れ部改修工法 ■ 伸縮目地改修工法
材料	標仕4.2.1 標仕4.2.2	■ 樹脂注入工法 ■ ｴﾎﾟｷｼ樹脂 （ ■ 低粘度形 ■ 中粘度形）
		■ Uｶｯﾄｼｰﾙ充填工法 ※ JISA5758（建築用ｼｰﾘﾝｸﾞ材）に規定する耐久性の区分8020と同等以上の品質を有するもの ■ ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系 ■ ｱｸﾘﾙｳﾚﾀﾝ系 ■ ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系 ■ 変成ｼﾘｺﾝ系 ■ 1成分形 ■ 2成分形 ■ 可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂 ■ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ ■ ｼｰﾙ工法 ■ 可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂 ■ ﾊﾟﾃ状ｴﾎﾟｷｼ樹脂 ■ 充填工法 ■ ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ ■ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ ■ ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ注入工法 ■ ｴﾎﾟｷｼ樹脂 ■ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの材質 （ ■ ｽﾃﾝﾚｽ鋼（SUS304） ■ その他 ） ■ ﾀｲﾙ張り替え工法及びﾀｲﾙ部分張り替え工法 接着剤の種類 （ ■ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ ■ 変成ｼﾘｺﾝ樹脂 ■ ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂 ﾀｲﾙの品質 （ ■ 一般品 ■ 特注品） ﾀｲﾙの見本焼き （ ■ 要 ■ 不要 ） ■ 目地改修工法 （ ■ 既成調合ﾓﾙﾀﾙ ■ ｼｰﾘﾝｸﾞ材（記号： ）
ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放し仕上げ外壁改修	標仕4.3.1 標仕4.3.4	■ 樹脂注入工法 ■ 自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ■ 手動式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ■ 機械式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ■ ■ 注入口間隔 （ ■ mm ■ 200～300mm ） ■ 注入後の検査 検査方法 ■ ｺｱｰ抜き 本数 （ ■ 本 ■ 標仕による） 埋戻し （ ■ 樹脂ﾓﾙﾀﾙ ■ 無収縮ﾓﾙﾀﾙ） ■ Uｶｯﾄｼｰﾙ充填工法 充填後の表面措置 （ ■ 要：表面処理材＿＿＿＿＿■ 不要 ） ■ ｼｰﾙ工法 充填後の表面措置 （ ■ 要：表面処理材＿＿＿＿＿■ 不要 ）
ﾀｲﾙ張り替え仕上げ外壁の改修	標仕4.5.1	■ 改修方法 （ ■ 欠損部改修 ■ 浮き部改修 ） ■ 工法 （ ■ 樹脂注入工法 ■ Uｶｯﾄｼｰﾙ充填 ） （ ■ ﾀｲﾙ部分張り替え工法 ■ ﾀｲﾙ張り替え工法 ■ 伸縮目地及び誘発目地 （ ■ 要 ■ 不要 ） ■ ﾀｲﾙ張りの工法 ■ 密着張り ■ 改良積上げ張り ■ 改良圧着張り ■ ﾏｽｸ張り ■ ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ張り ■ 施工後の試験 （ ■ 要 ■ 不要 ） ■ その他の工法 ■ ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ■ ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ■ ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法 ■ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ■ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ■ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ樹脂注入工法 ■ 注入口付ｱﾝｶｰﾋﾞｼﾝｸﾞｴﾎﾟｷｼ樹脂注入ﾀｲﾙ固定工法
塗り仕上げ外壁等の改修	標仕4.6.1	■ 既存塗膜の劣化部の除去 ■ ｻﾝﾀﾞｰ工法 ■ 高圧水洗工法 ■ 塗膜はく離剤工法 ■ 水洗い工法 ■ 仕上塗材の種類に応じた下地ﾓﾙﾀﾙの仕上げ ■ 刷毛引き ■ 金ごて押さえ ■ 木ごて押さえ

5 建具改修工事

一般事項	標仕5.1.5	■ 見本品の製作等（ ■ 建具見本の製作 ■ 要■ 不要 ） （ ■ 特殊な建具の仮組 ■ 要■ 不要 ）
ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具	標仕5.2.2	■ 性能及び構成

種別＼性能項目	枠の見込み寸法(mm)	耐風圧性	気密性	水密性
■ A 種	■ 70	■ S-4	■ A-3	■ W-4
■ B 種		■ S-5		
■ C 種	■ 100	■ S-6	■ A-4	■ W-5

	標仕5.2.4	■ 表面処理 ■ A-1種 ■ A-2種 ■ B-1種 ） ■ B-2種 ■ C-1種 ■ C-2種 ） ■ D種 ）
	標仕5.2.5	■ 既存建具の改修（ ■ かぶせ工法 ■ 撤去工法 ■ 新規建具の設置 ）
鋼製建具	標仕5.3.1	■ 外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ■ S-4 ■ S-5 ■ S-6 ■ 材料 鋼板のﾒｯｷの付着量 ■ Z12又はF12 ■ その他（ ） ）
	標仕5.3.5	■ 既存建具の改修（ ■ かぶせ工法 ■ 撤去工法 ■ 新規建具の設置 ）
鋼製軽量建具	標仕5.4.3 標仕5.4.5	■ 材料 鋼板のﾒｯｷの付着量 （ ■ Z06 ■ F06 ■ E16 ■ E24 ） ■ 既存建具の改修（ ■ かぶせ工法 ■ 撤去工法 ■ 新規建具の設置 ）
ｽﾃﾝﾚｽ製建具	標仕5.5.3 標仕5.5.5	■ 材料 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 （ ■ ＳＵＳ304 ■ その他(SUS ） ■ 既存建具の改修（ ■ かぶせ工法 ■ 撤去工法 ■ 新規建具の設置 ） ■ 表面仕上げ （ ■ ﾍｱｰﾗｲﾝ ■ 鏡面 ■ ） ■ 曲げ加工 （ ■ 普通曲げ ■ 角出し ）
建具用金物	標仕5.6.1 ～5.6.4	■ ﾏｽﾀｰｷｰ （ ■ 要 ■ 不要 ） （※ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝｷｰ対応については監督職員と協議する。）
重量ｼｬｯﾀｰ	標仕5.9.1 ～5.9.5	■ 種類 （ ■ 一般重量ｼｬｯﾀｰ ■ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ■ 屋内用防火ｼｬｯﾀｰ （ ■ 防煙ｼｬｯﾀｰ ■ ）
		■ 耐風圧性能■ 一般重量ｼｬｯﾀｰ ■ 外壁用防火ｼｬｯﾀｰ■ 風圧力（ ）N/㎡
軽量ｼｬｯﾀｰ	標仕5.10.1	■ 開閉形式 ■ 上部電動式 （手動併用）■ 上部手動式
		■ 耐風圧性能■ 風圧力（ ）N/㎡
ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ	標仕5.11.1 ～5.11.5	■ ｾｸｼｮﾝ材による区分（ ■ ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ ■ ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ ■ ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ ） ■ 耐風圧性能■ 風圧力（ ）N/㎡
		■ 収納形式による区分■ ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ■ ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ■ ﾊｲﾘﾌﾄ形 ■ ﾊﾟｰﾁｶﾙ形 ）
ｶﾞﾗｽ	標仕5.12.2	■ ｶﾞﾗｽ留め材 （■ ｼｰﾘﾝｸﾞ材（材料：ｼﾘｺﾝ）■ 建築用ｶﾞｽｹｯﾄ(JISA5756） ）
ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ	標仕5.12.5	■ 材料

表面形状による種類	JISによるﾓｼﾞｭｰﾙ寸法 L×H	製品寸法 L×H×T
■ 正方形		
■ 長方形		

		■ 壁用金属枠及び補強材（ ■ ｱﾙﾐﾆｳﾑ枠 ■ ｽﾃﾝﾚｽ枠 ■ その他（ ） ）
		■ 力骨 （◎ SUS304 径5.5mm ）
		■ 耐風圧性能■ 風圧力（ ）N/㎡
		■ ｼｰﾘﾝｸﾞ材（ ）
		■ 伸縮目地（ ■ 要 （ﾋﾞｯﾁ m以下） ） ■ 不要 ）

6 内装改修工事

他の部位との取合い等	標仕6.1.3	■ 既存間仕切り撤去に伴う取り合う壁・床・天井の改修範囲 床 （ ■ 壁厚程度 ■ 両側600mm程度 ■ その他（図示 ） 壁 （ ■ 壁厚程度 ■ 両側600mm程度 ■ その他（図示 ） 天井 （ ■ 壁厚程度 ■ 両側600mm程度 ■ その他（図示 ）
		■ 天井内の既存壁撤去に伴う天井改修範囲 天井 （ ■ 両側600mm程度 ■ その他（ 図示 ）
既存床の撤去並びに下地補修	標仕6.2.1 ～6.2.2	■ 既存床の撤去 ■ ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ ■ ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ ■ ｺﾞﾑ床ﾀｲﾙ ■ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ■ 合成樹脂塗床■ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り ■ ﾀｲﾙ ■ 床組（ ） ■ 下地ﾓﾙﾀﾙ ■ 撤去の有無 ■ 浮き・欠損部の撤去 ■ 機械的除去工法 ■ 目荒らし工法 ■ 改修後の床の清掃範囲
既存壁の撤去並びに下地補修	標仕6.3.1 ～6.3.2	■ 間仕切壁撤去後に伴う構造体の補修 （ ■ ﾓﾙﾀﾙ塗り ■ その他（ ） ）
既存天井の撤去並びに下地補修	標仕6.4.1 ～6.4.2	■ 天井撤去の方法 （ 標仕6.4.2(a)） ■ 全面撤去 ■ 部分撤去（■ 仕上材 ■ 下地材 ■ 軽量鉄骨下地）
木下地等	標仕6.5.1 ～6.5.6	■ 現場搬入時の木材の含水率 ■ 構造材 ■ 下地材 ■ 造作材 （ ■ A種 ■ B種 ） ■ 保存処理木材 ■ 防腐処理 ■ 防蟻処理 使用箇所（ ） ■ 構造材及び下地材の品質 ■ 化粧・和室の柱見え掛■ 上小節 ■ その他（ ） ■ 隠蔽部 （■ 等 ■ 級 ■ 級 その他（ ） ） ■ 造作材の材面の品質 ■ 生地のまま又は透明塗料塗りの場合 （ ■ A種 ■ B種 ） ■ 不透明塗料塗りの場合 （ ■ A種 ■ B種 ） ■ 代用樹種 （ ■ 可能 ■ 禁止する ） ■ 集成材等 （ ■ 集成材 ■ 単板積層材 ） ■ 構造材に使用する集成材及び単板積層材の品質・等級・樹種等 ■ 品名 （ ） ■ 強度等級 （ ） ■ 材面の品質（ ） ■ 接着性能 （ ） ■ 樹種名 （ ） ■ その他 （ ） ■ 造作材に使用する集成材及び単板積層材の品質・等級・樹種等 ■ 品名 （ ） ■ 強度等級 （ ） ■ 材面の品質（ ） ■ 接着性能 （ ） ■ 樹種名 （ ） ■ その他 （ ） ■ 床張り合板 ■ 厚さ （ ） ■ 表板の樹種名（ ） ■ 接着の程度（ ） ■ 板面の品質 （ ） ■ 処理(防虫・難燃等) （ ） ■ その他 （ ）

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事	建築改修工事特記仕様書 1

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			――	A－ 2

建 築 改 修 工 事 特 記 仕 様　2/2

6 内装改修工事

■ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ厚さ　（■12mm　■15mm　■20mm）
裏表面の状態　（■素地　■単板張り　）
素地表面の処理　（■研磨品　■無研磨品　）
単板張りの種類　（　）
曲げ強さの区分　（■18ﾀｲﾌﾟ　■13ﾀｲﾌﾟ■8ﾀｲﾌﾟ）
接着剤による区分（■Uﾀｲﾌﾟ　■Mﾀｲﾌﾟ　■Pﾀｲﾌﾟ）

■繊維板　厚さ　（■12mm　■15mm　■20mm）
密度による区分　■ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ
■ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ
■ﾊｰﾄﾞﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ

■防腐処理等（■防腐処理　■防蟻処理　■防虫処理　）

■鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造等の内部間仕切り及び床組
■間仕切り軸組材（■杉　■その他（　））
■床組　（■杉　■松　■その他（　））
■間ｽﾗﾌﾞの場合の土台、転ばし大引き、転ばし根太）
（■桧　■保存処理木■その他（　））
■壁及び天井下地 ■下地材の樹種　（■杉　■松　■その他（　））

軽量鉄骨天井下地
標仕6.6.1～6.6.4
■野縁の種類（■19形　■25形　）
■野縁の間隔（■360程度　■300程度　■225程度

軽量鉄骨壁下地
標仕6.7.1～6.7.4
◉ｽﾀｯﾄﾞ野種類（■50形　◉65形　■90形　■100形　）

ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ・ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ及びｺﾞﾑ床ﾀｲﾙ
標仕6.8.1～6.8.4
◉接着剤の種類と使用箇所
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ及びﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙの接着剤

接着剤の種類	一般的な施工箇所	■本工事に関する施工箇所
■酢酸ﾋﾞﾆﾙ樹脂系 ■ﾋﾞﾆﾙ共重合樹脂系 ■ｱｸﾘﾙ樹脂系 ■ｳﾚﾀﾝ樹脂系 ■ｺﾞﾑ系ﾗﾃｯｸｽ形	一般の床	
■ｳﾚﾀﾝ樹脂系 ■ｴﾎﾟｷｼ樹脂系	・湿気及び水の影響を受けやすい箇所 ・耐動荷重性床シート ・化学実験室等	
■酢酸ﾋﾞﾆﾙ樹脂系 ■ﾋﾞﾆﾙ共重合樹脂系 ■ｱｸﾘﾙ樹脂系 ■ｳﾚﾀﾝ樹脂系 ■ｺﾞﾑ系ﾗﾃｯｸｽ形 ■ｺﾞﾑ系溶剤形	垂直面	

ｺﾞﾑ床ﾀｲﾙ用接着剤

接着剤の種類	一般的な施工箇所	■本工事に関する施工箇所
■ｳﾚﾀﾝ樹脂系 ■ｴﾎﾟｷｼ樹脂系 ■ｺﾞﾑ系溶剤形 ■変成ｼﾘｺﾝ樹脂系	一般の床 巾木	
■ｴﾎﾟｷｼ樹脂系 ■ｳﾚﾀﾝ樹脂系	湿気及び水の影響を受けやすい箇所	

■ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄの熱溶接工法の適用　（■要　■不要　）

ｶｰﾍﾟｯﾄ敷き
標仕6.9.1～6.9.4
■織りじゅうたん　（■A種　■B種　■C種）
■ﾀﾌﾃｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ　ﾊﾟｲﾙの形状（　）ﾊﾟｲﾙの長さ（　）
■ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ厚さ（　mm）
■ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ　種類（　）ﾊﾟｲﾙ形状（ﾙｰﾌﾟ）寸法（500角）
厚さ（全厚6.5mm）
■ｶｰﾍﾟｯﾄ下敷き材　厚さ（　mm）材料（■反毛ﾌｪﾙﾄ　■その他　（　））
■取付用付属品（見切り、押さえ金物）
材質（　）種類（　）形状（　）

合成樹脂塗床
標仕6.10.1～6.10.4
■弾性ｳﾚﾀﾝ塗り床材　（■平滑仕上げ　■防滑仕上げ　■つや消し仕上げ）
■ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗り床材（■薄膜流し展べ仕上げ■厚膜流し展べ仕上げ）
（■樹脂ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　■防滑仕上げ　）

ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り
標仕6.11.1～6.11.7
■単層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ
■ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ（樹種　厚　mm）
■ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ（樹種　厚　mm）
■ﾓｻﾞｲｸﾊﾟｰｹｯﾄ（樹種　厚　mm）
■複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ
■複合1種ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（樹種　厚　mm）
■複合2種ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（樹種　厚　mm）
■複合3種ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（樹種　厚　mm）

■工法
■湿式工法
■釘止め工法　複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ種別（　■A種　■B種　■C種）
■接着工法　接着剤の種類（■ｴﾎﾟｷｼ樹脂系2液形■ｳﾚﾀﾝ樹脂系 ■変性ｼﾘｺﾝ樹脂系）

■ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ表面の塗装仕上げ
■UC　（■A種　■B種）
■OSの上ﾜｯｸｽ塗り
■生地のままﾜｯｸｽ塗り

6 内装改修工事

畳敷き
標仕6.12.1～6.12.3
■材料（■A種　■B種　■C種　■D種（畳床：　））

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ・その他ﾎﾞｰﾄﾞ及び合板張り
標仕6.13.1～6.13.3
■合板類の張付け工法　■A種◉B種
■石膏ﾎﾞｰﾄﾞの継目処理工法◉突付け工法■目透し工法　■継目処理工法
■遮音ｼｰﾙ材　■要　■不要

壁紙張り
標仕6.14.1～6.14.3
■品質（　）■防火性能（　級）
素地こしらえ　（■RA種　■RB種）

ﾓﾙﾀﾙ塗り
標仕6.15.1～6.15.7
■既製目地材　■使用する
■床目地の工法　■押し目地■（　）

ﾀｲﾙ張り
標仕6.16.1～6.16.5
■役物の適用（　■有■無　■見本焼き（■有■無　）
■試験張り　（　■有■無　）
■床ﾀｲﾙ張り　■大型床ﾀｲﾙ(200角以上）張り■一般床ﾀｲﾙ張り ■ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ張り
■内装ﾀｲﾙ張り　■改良積上げ張り　■壁ﾀｲﾙ接着剤張り
■外装ﾀｲﾙ張り　■密着張り■改良積上げ張り　■改良圧着張り
■ﾏｽｸ張り　■型枠先付け
■ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ張り　■ﾏｽｸ張り　■ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ張り

■ｼｰﾘﾝｸﾞ材　（　■PS-2　■　）
■目地寸法　（　■幅　mm　■深さ　mm　）

ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材
標仕6.17.1～6.17.5
■石膏系　■ｾﾒﾝﾄ系
■ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞの塗り厚（　mm　）

7 塗装改修工事

下地調整
標仕7.2.1～7.2.7
■木部　（■RA種　■RB種　■RC種　）
◉鉄鋼面　（■RA種　◉RB種　■RC種　）
■亜鉛めっき面　（■RA種　■RB種　■RC種　）
◉ﾓﾙﾀﾙ面・ﾌﾟﾗｽﾀｰ面　（■RA種　◉RB種　■RC種　）
■ｺﾝｸﾘｰﾄ面・ALC面　（■RA種　■RB種　■RC種　）
■ｺﾝｸﾘｰﾄ面・押出成型ｾﾒﾝﾄ板面（■RA種　■RB種　■RC種　）
■石膏ﾎﾞｰﾄﾞ面・その他ﾎﾞｰﾄﾞ面　（■RA種　■RB種　■RC種　）

各種塗料塗り
標仕7.4.1～
■合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り（SOP)■塗料の種類 ■1種　■2種
■木部　（■A種　■B種　■C種）
■鉄鋼面　（■A種　■B種　■C種）
■亜鉛めっき面　（■A種　■B種　■C種）
■ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗り（CL）（■A種　■B種）
■ﾌﾀﾙ酸樹脂ｴﾅﾒﾙ塗(FE)■木部　■鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面
■ｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)
■ｺﾝｸﾘｰﾄ面・ﾓﾙﾀﾙ面(■A種　■B種）

◉耐候性塗料塗り(DP)
◉鉄鋼面　（■A種 ■B種 ■C種 ◉1級 ■2級 ■3級　）
■亜鉛めっき面（■A種 ■B種 ■C種 ◉1級 ■2級 ■3級　）
■新設ブレースの塗装に適用するため、標準仕様18.7.3　亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗り（１級）を適用する
■ｺﾝｸﾘｰﾄ面・押出成形ｾﾒﾝﾄ板面
（■A-1種 ■A-2種 ■B-1種 ■B-2種 ■C-1種 ■C-2種　）
■合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系複層仕上塗材（防水形複層塗材Ｅ）(JISA6909)
◉ｺﾝｸﾘｰﾄ面・ﾓﾙﾀﾙ面・ﾌﾟﾗｽﾀｰ面・石膏ﾎﾞｰﾄﾞ面・その他ﾎﾞｰﾄﾞ面
（■A種　■B種　■C種）
■木部　（■A種　■B種　■C種）
■鉄鋼面　（■A種　■B種　■C種）
■亜鉛めっき面　（■A種　■B種　■C種）
■合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP)（■A種　■B種　■C種）
■ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り(OS)
■木材保護塗料塗り(WP)
■合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り(EP-T)■A種　■B種　■C種）
■ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り(UC)（■A種　■B種）
■ﾏｽﾃｯｸ塗材塗り　（■A種　■B種）

8 耐震改修工事

鉄筋　標仕8.2.1
◉鉄筋材料◎JISG3112
■SR235　■SR295　◉SD295A ■SD295B ■SD345　■SD395

溶接金網　標仕8.2.2
■材料　◎JISG3551
■径（　）φ　■網目の寸法（　■網目の形状（　）

鉄筋の継手
標仕8.3.4～8.4.3
◉継手の方法◉重ね継手 継ぎ手長さ(◉標仕8.3.4による　■　d以上とする）
◉ｶﾞｽ圧接継手 ■機械式継手■溶接継手(種類　径　mm以上）

ｶﾞｽ圧接　標仕8.3.9
◎圧接作業における技能資格者は、工事に相応しいJISZ3881による技量を有するものとし、ｶﾞｽ圧接技量資格者証を提示すること。
◎圧接完了後の試験■超音波探傷試験（圧接箇所全数）
■引張試験（公共建築工事標準仕様書　5.4.9（２）（ⅱ）による）

ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ工場選定
◎ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ製造工場選定に当たっては、全国品質管理監査会議の策定した、統一基準に基づく、監査に合格した工場（以下「監査合格工場」という。）から選定しなければならない。ただし、監査合格工場からｺﾝｸﾘｰﾄの製造工場が選定できない正当な理由がある場合は、その理由を書面により提出し、監督員の承諾を得なければならない。

ｺﾝｸﾘｰﾄの材料
標仕8.2.5
◉ｾﾒﾝﾄの種類◉普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ■早強ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ■高炉ｾﾒﾝﾄ（B種）
■ｼﾘｶｾﾒﾝﾄ　■ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄ

設計基準強度(FC)
■18 N/mm2 ◉21N/mm2 ■24 N/mm2 ■27 N/mm2 ■30 N/mm2 ■33 N/mm2
■36 N/mm2　軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ（　N/mm：27N/mm未満）

混和材の種類
◉高性能ＡＥ減水材 ■ＡＥ減水材　■ＡＥ材

8 耐震改修工事

打ち放し仕上げの種類
標仕8.1.4
◉A種　■B種　■C種

兵庫県「コンクリート工法に関する指導要綱」
■適用する■適用しない
◎骨材試験（絶乾密度、吸水率、粒土、ｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性）、ｺﾝｸﾘｰﾄ塩分総量試験、ｺﾝｸﾘｰﾄ圧縮強度試験については、ｺﾝｸﾘｰﾄ指導要綱第3に規定する軽易な場合を除き同要綱を適用し、監督員の指示により実施する。
◎各試験実施機関は、ｺﾝｸﾘｰﾄ工法に関する指導要綱第8に規定する試験実施機関とする。

使用ｱﾝｶｰ
■接着系ｱﾝｶｰ　引張耐力・有効埋込深さは耐震改修特記仕様書に準じる。
◉有機系 ■ﾎﾞﾘｴｽﾃﾙ系 ◉ｴﾎﾟｷｼ系 ■ｴﾎﾟｷｼｱｸﾘﾚｰﾄ系）■無機系
■金属拡張系ｱﾝｶｰ　引張耐力（　）N/mm2　有効埋込深さ（　）ｄ以上

施工管理技術者
標仕8.11.1
◉ JCAAの資格者（あと施工ｱﾝｶｰ技術管理士又はあと施工ｱﾝｶｰ主任技師）
◉ 上記と同等の知識及び経験を持った者

技能者性能確認試験
◉ JCAAの資格者（第１種あと施工ｱﾝｶｰ施工士）■ 左記と同等の知識及び経験を持った者

施工確認試験
標仕8.11.5
■要 ◉不要（JCAAの品質性能判定基準による、試験成績表を提出する）
■全数打音試験 ◉引張試験（確認試験荷重：引張耐力×2/3）

鋼構造物製作工場
◉工事現場における鉄骨製作工場の表示
■ Ｊｸﾞﾚｰﾄ■ Ｒｸﾞﾚｰﾄ◉Ｍｸﾞﾚｰﾄ■ Ｈｸﾞﾚｰﾄ■ Ｓｸﾞﾚｰﾄ）

施工管理技術者
◉ 適用する（　級）

鋼材のJIS規格
◉規格品　■適合品
◉鋼材種類は耐震改修工事特記仕様書に準じる。
■

高力ﾎﾞﾙﾄの規格
◉ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ2種（S10T）■JIS形高力ﾎﾞﾙﾄ2種（F10T）
■ 溶融亜鉛ﾒｯｷ高力ﾎﾞﾙﾄ1種（F8T相当）認定品

溶接部の試験
標仕8.14.11
◎超音波探傷試験　■その他（　）

耐火被覆
標仕8.17.1～8.17.8
■耐火材吹き付け（■乾式　■半乾式■湿式　）
■耐火板張り（　■直張り■箱張り化粧下地　）
■耐火材巻き付け　■ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り■その他

9 環境配慮改修工事

ｱｽﾍﾞｽﾄ処理工事
標仕9.1.1～9.1.3
■除去工法■封じ込め工法

外断熱改修工事
断熱・防露改修工事
標仕9.3.1～9.3.4
標仕9.5.1～9.5.3
■打込み工法

種別	厚さ　mm
■ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ	
■押出し法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ　保温板■(2種b■3種b)	
■硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ	
■ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ	
■ﾛｯｸｳｰﾙ	
■ｶﾞﾗｽｳｰﾙ　保温板（　）	
保温帯（　）	
■ｾﾙﾛｰｽﾞﾌｧｲﾊﾞｰ	

■現場発泡工法　■2級 ■3級 ■厚さ（　）mm

屋上緑化改修工事
標仕9.6.1～9.6.4
■管理型■省管理型■有効土壌の厚さ（　）cm
■緑化改修部の質量の上限値　）kg/m3
■固定方法（　）
■潅水装置　■設置しない　■置する　種類（　）
■枯保証期間 ■1年　■（　）年

透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装改修工事
標仕9.6.1～9.7.9
（一般のｱｽﾌｧﾙﾄ舗装改修工事にも準用する）

路床
■盛土　（■Ａ種■Ｂ種■Ｃ種■Ｄ種　）
■遮断層　（材料：　層厚：　cm）
■ﾌｨﾙﾀｰ層（層厚：　cm）
■路床安定処理剤（■要■不要　）　■ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ　（■要■不要　）
■CBR試験　（■要■不要　）　■路床締め固め度の試験　（■要■不要　）
■砂の粒度試験　（■要■不要　）

路盤
■車道部の路盤の厚さ（　cm）■ 歩道部の路盤の厚さ（　cm）
■路盤材料　■砕石ｸﾗｯｼｬﾗﾝ　■砕石粒度調整砕石
■再生材ｸﾗｯｼｬﾗﾝ　■再生材粒度調整砕石
■ｸﾗｯｼｬﾗﾝ鉄鋼ｽﾗｸﾞ　■粒度調整鉄鋼ｽﾗｸﾞ
■水硬性粒度調整鉄鋼ｽﾗｸﾞ■切込砂利
■路盤の締め固め度試験（■要■不要　）

透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装
■車道部の舗装の厚さ（　cm）■ 歩道部の舗装の厚さ（　cm）
■舗装の平坦製（　）
■材料（■ﾎﾓﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型　■ストレートｱｽﾌｧﾙﾄ　■再生ｱｽﾌｧﾙﾄ）
■加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の種類（■一般地域　■寒冷地域）
■ｶﾗｰ舗装基層　（■有り■無し）
■ｶﾗｰ舗装の着色骨材　■有色骨材（焼成）■有色骨材（樹脂皮膜）
■ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物等の抽出試験（　■要■不要　）

ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装
■種類（　）■厚さ（　）■設計基準強度（　N/mm2）■ｽﾗﾝﾌﾟ（　cm）
■注入目地材　（　■低弾性ﾀｲﾌﾟ　■高弾性ﾀｲﾌﾟ　）
■ｺｱ採取　（■要■不要　）

材 料 の 指 定

本工事に該当する品目は○印のものとする
特記のない場合は以下による
(1) JIS、JAS等の規格に適合する材料。塗料においては、エスケー化研㈱の製品を標準とする。
2）「建築資材・設備機材等品質性能評価事業」（社）公共建築協会評価書を交付された材料。
3）公共住宅建築工事共通仕様書に基づく部品及び機器の品質性能基準に適合する部品。
4）監督職員の承諾を得た材料。

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事
DRAWING NAME: 建築改修工事特記仕様書２
APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘
CHECKED BY:
DRAWN BY:
SCALE: ——
DRAWING NO: Ａ－３

外壁改修工事　共通事項

① 施工数量調査

調査範囲　※外壁改修範囲　・図示の範囲　[1.5.2]

調査内容

(1) ひび割れの幅及び長さを壁面に表示し、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。

(2) モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、欠損部の形状寸法等を調査する。

(3) コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。

(4) 塗り仕上げについては、コンクリート又はモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁

調査報告書の部数　※2部　・

② 改修材料

・既製調合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ℓ)	接着強さ (N/mm²) 標準時	接着強さ (N/mm²) 温冷繰返し後	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm²)
70.0以上	1.80程度	0.60程度	0.40以上	0.20以下	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性 (N/mm²)	接着強さ（標準） (N/mm²)	圧縮強さ (N/mm²)	曲げ強さ (N/mm²)	硬化収縮率 (%)
標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下

(1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

(2) 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。

(3) 常温常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造所の指定する期間又は製造後6箇月間保存したのちであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。

(4) 試験方法は、JIS A 6024（建築補修用注入エポキシ樹脂）に準ずる。

・可とう性エポキシ樹脂

比重	押出し性 (秒)	スランプ (mm)	加熱減量 (%)	引張強さ (N/mm²)	伸び (%)	引張接着性
表示値 ±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	常温物性1.0以上 低温性　1.0以上 加熱劣化1.0以上	常温物性30.0以上 低温性　30.0以上 加熱劣化30.0以上	最大引張応力 1.0 N/mm²以上 破断時の伸び 10.0%以上

(1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

(2) 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。

(3) 常温常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造所の指定する期間又は製造後6箇月間保存したのちであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用接着剤

適用範囲　張替え面積が比較的小さく、下地モルタルが健全な場所に用いる。

樹脂の種類　変成シリコーン樹脂系、ウレタン樹脂系

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	凍結融解	熱劣化
強度 (N/mm²)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ (N/mm²)	0.60以上	0.60以上	0.60以上	0.40以上	0.40以上
伸び (%)	35以上	35以上	35以上	25以上	25以上
貯蔵安定性（一液形のみ）	質量の変化が5%以内で、かつ、均質で異物が認められないこと。				
混練終結確認容易性（二液形のみ）	混練終結時の色が明瞭であること。				
耐熱性	JIS A 5557の試験において、80℃で4週間1kgの重りで安定していること。				
ずれ抵抗性	ずれが生じないこと。				

(1) 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。

(2) タイル、下地材等を侵すものでないこと。

(3) 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に規定された第一種特定化学物質及び第二種特定化学物質、並びに「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。

(4) 常温常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造後6箇月間保存しても上記の品質性能に適合していること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ (N/mm²)	圧縮強さ (N/mm²)	曲げ強さ (N/mm²)
1.0以上	20.0以上	10.0以上

(1) こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上りが良好であること。

(2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

(3) 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。

(4) 形状に異常がなく、だれが生じないこと。

(5) 常温常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造後6箇月間保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル

種類　合成ゴム系、アクリル系、エチレン－酢ビ系等

曲げ強さ (N/mm²)	圧縮強さ (N/mm²)	接着強さ (N/mm²) 標準時	接着強さ (N/mm²) 湿潤時	接着強さ (N/mm²) 低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

(1) 表面状態　だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。

(2) 透水性　裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。

(3) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

(4) ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6箇月間保存しても変質しないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15%以下	5.0以上

保水係数　0.35～0.55

粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

全固形分 (%)	吸水量 (g)	接着強度 (N/mm²)	界面破断率 (%)
表示値±1.0以内	30分間で1以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4－1　外壁改修工事　コンクリート打放し仕上げ外壁

① ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法　[4.1.4]　[4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mℓ/m)	備　考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130　・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40　・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70　・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130　・	

注入材料　[4.2.2]

※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形）

・

検査（コア抜取り）　※行わない　[4.3.4]

・行う（抜取り部の補修方法：　）

・Uカットシール材充填工法　[4.1.4]　[4.2.2]　[4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備　考
・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法　[4.1.4]　[4.2.2]　[4.3.6]

・パテ状エポキシ樹脂

・可とう性エポキシ樹脂

② 欠損部改修工法

※充填工法　[4.1.4]　[4.2.2]　[4.3.7]

・エポキシ樹脂モルタル

・ポリマーセメントモルタル

・Uカットシール材充填工法

・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

4－2　外壁改修工事　モルタル塗り仕上げ外壁

1 既存モルタル塗りの撤去　・行う（※全面　・図示の範囲）

② ひび割れ部改修工法　・既存モルタル撤去工法（範囲は図示　撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による）

※樹脂注入工法　（※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面）　[4.1.4]　[4.4.2]　[4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mℓ/m)	備　考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130　・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40　・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70　・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130　・	

注入材料　[4.2.2]

※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形）

・

検査（コア抜取り）　※行わない　[4.3.4]

・行う（抜取り部の補修方法：　）

・Uカットシール材充填工法　[4.1.4]　[4.2.2]　[4.4.6]

充填材料	品質・規格等	備　考
・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法（※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面）　[4.1.4]　[4.2.2]　[4.4.7]

・パテ状エポキシ樹脂

・可とう性エポキシ樹脂

・既存塗り仕上材の撤去及び補修　[4.4.2]　[4.6.3]

（※シール工法の範囲　・　）

③ 欠損部改修工法

既存モルタル面の欠損部　[4.1.4]　[4.4.8,9]

改修工法の種類	材　料	品質・規格等
・充填工法	ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2（g）による既製目地材 ・適用する （形状　※図示　・　）	塗厚25mmを超える場合の補強 ※行う　・行わない　・図示

④ 浮き部改修工法　[4.1.4]　[4.4.10～15]　[表4.4.3,4]

改修工法の種類（モルタルを撤去しない場合）	アンカーピンの本数 (本/m²) 一般部	アンカーピンの本数 (本/m²) 指定部	注入口の箇所数 (箇所/m²) 一般部	注入口の箇所数 (箇所/m²) 指定部	充填量又は注入量 (箇所/mℓ)
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	———	———	※25
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	———	———	※25
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50

アンカーピン　[4.2.2]

材質　※ステンレス鋼（SUS304）、呼び径4mmの丸棒で全ねじ切り加工したもの

・

注入口付アンカーピン　[4.2.2]

材質　※ステンレス鋼（SUS304）、呼び径外径6mm

・

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

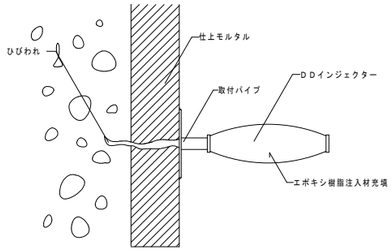
CONSTRUCTION NAME　篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME　外壁改修特記仕様書

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			———	A－4

補　修　標　準　図

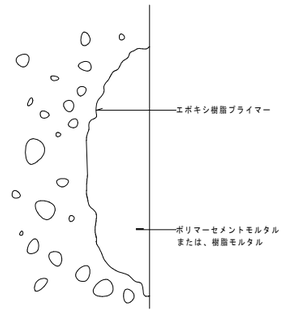
エポキシ樹脂低圧注入工法



エポキシ樹脂低圧注入工法

表面処理	ひび割れに沿って５ｃｍ程度の幅で、ワイヤーブラシ等を用いて、レイタンスやほこりを除去する。
取付パイプの接着	取付パイプをひび割れの中心位置にエポキシ樹脂シール材にて取り付ける。
シール工	ひび割れをエポキシ樹脂シール材にて、シールを行なう。
低圧注入器具にて注入材充填	低圧注入器具にてエポキシ樹脂(K-3001又はK-3002)を注入する。
注入パイプ及びシール材の撤去	硬化養生後、注入パイプ及び表面のシール材をタガネ、ワイヤーブラシ等で撤去する。

断面欠損補修工

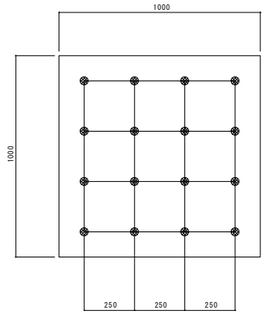


断面修復工（欠損の補修）

表面処理	錆・ほこりは、ワイヤーブラシ等を用いて、除去を行う。
プライマー塗布	エポキシ樹脂系プライマーをコンクリート面に塗布する。
打　設　工	プライマー塗布後、直ちにポリマーセメントモルタルまたは、樹脂モルタルを所定の面まで充填する。
仕　上　げ	充填後、表面を金ゴテにて仕上る。

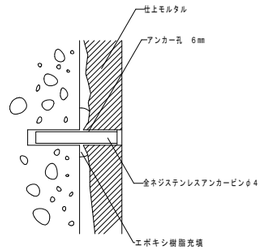
アンカーピンニング注入単独工法

標準配列格子（16本／m2）



⊗ ——— アンカーピン固定部（16本／㎡）

アンカーピン位置断面詳細図

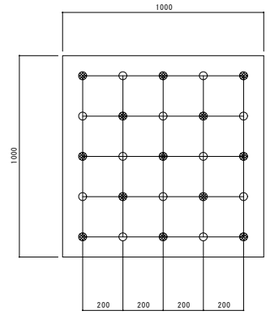


アンカーピンニング注入単独工法

アンカーピン部さっ孔	直径６ｍｍコンクリートドリルを用い、躯体コンクリート中に30mmの深さに達するまで行う。削孔後、充分孔内を清掃する。
アンカーピン固定部	グリースガンを用いて、エポキシ樹脂を最深部より徐々に充填する。
アンカーピンの挿入	直径４mmのステンレス製（SUS304）全ネジアンカーピンを挿入する。
養　生	注入材の硬化養生を行う。

アンカーピンニング注入併用工法

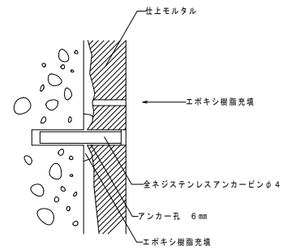
標準配列格子（25本／m2）



⊗ ——— アンカーピン固定部（13本／㎡）

○ ——— 注入孔（12本／㎡）

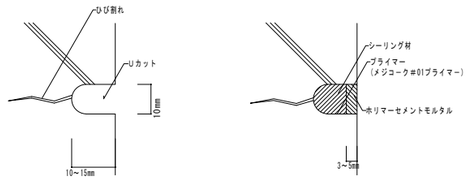
アンカーピン位置断面詳細図



アンカーピンニング注入併用工法

アンカーピン部さっ孔	直径６ｍｍコンクリートドリルを用い、躯体コンクリート中に30ｍｍの深さに達するまで行なう。さっ孔後、十分孔内を清掃する。
残存浮部への注入	グリースガンを用いて、注入材を徐徐に未注入部が残らないよう注入する。
養　生	注入材の硬化養生を行う。
アンカーピン固定部	グリースガンを用いて、エポキシ樹脂を最深部より徐徐に充填する
アンカーピンの挿入	直径４mmのステンレス製（ＳＵＳ３０４）全ネジアンカーピンを挿入する。
残存浮部のさっ孔	コンクリートドリルを用いてさっ孔を行う。

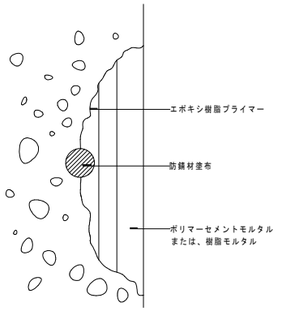
Ｕカットシール工法



Ｕカットシール工法

Ｕカット	ひび割れに沿って，幅１０mm，深さ１０～１５mm程度のＵ字型の溝を設ける。
溝内の清掃	Ｕカット溝内部の切粉等をワイヤーブラシ，刷毛等で除去し，清掃する。
プライマー塗布	プライマーを溝内部に塗り残しのないように均一に塗布する。
仕　上　げ	溝内へシール材をコーキングガンで，空隙や打残し等のないよう加圧しながら充填し、表面を平滑に仕上げる。シーリング材はコンクリート表面から３～５mm程度低めに充填する。シーリング材硬化後、ポリマーセメントモルタルを用いて壁面と均一になる様にへら、刷毛等を用いて仕上げる
養　生	シール材が硬化するまでは損傷，汚染等のないようにする。また，雨等からも養生する。
清　掃	シール部以外の汚れ等を除去し，清掃する。

断面欠損補修工（露筋の補修）



断面修復工（露筋の補修）

表面処理	錆・ほこりは、ワイヤーブラシ等を用いて、除去を行う。
アルカリ付与材含浸	アルカリ付与材をコンクリート面に塗布する。
防錆材塗布	鉄筋面に付着した錆等を、ワイヤーブラシ等を用いて除去を行ない、錆止め材を塗布する。
プライマー塗布	エポキシ樹脂系プライマーをコンクリート面に塗布する。
打　設　工	プライマー塗布後、直ちにポリマーセメントモルタルまたは、エポキシ樹脂モルタルを所定の面まで充填する。
仕　上　げ	充填後、表面を金ゴテにて仕上る。

■　特記事項（補修方法）

1．　ひび割れ部　　：ひび割れ幅1.0mm以上は、「Ｕカットシール工法」とする。

　　ひび割れ幅0.2mm以上1mm未満は、「自動式低圧エポキシ樹脂注入工法」とする。

2．　断面欠損・露筋部：補修標準図に示す「断面欠損補修工」及び「同露筋の補修」とする。

3．　浮き部　　：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法とする。

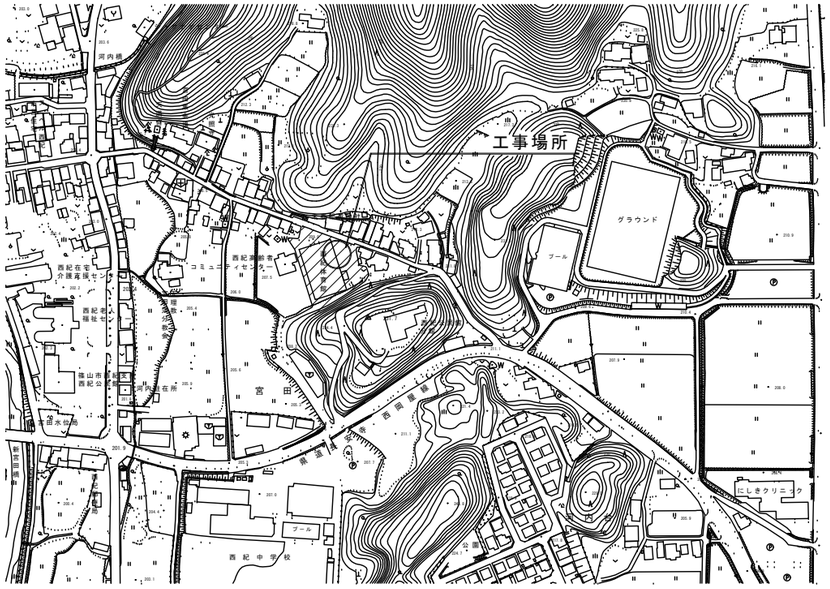
※外壁（軒裏、庇裏、天井部）クラック等補修部分についての内訳数量は参考とする。

足場仮設後、全面目視、数量調査を行い、調査結果を監督員に提出の上、

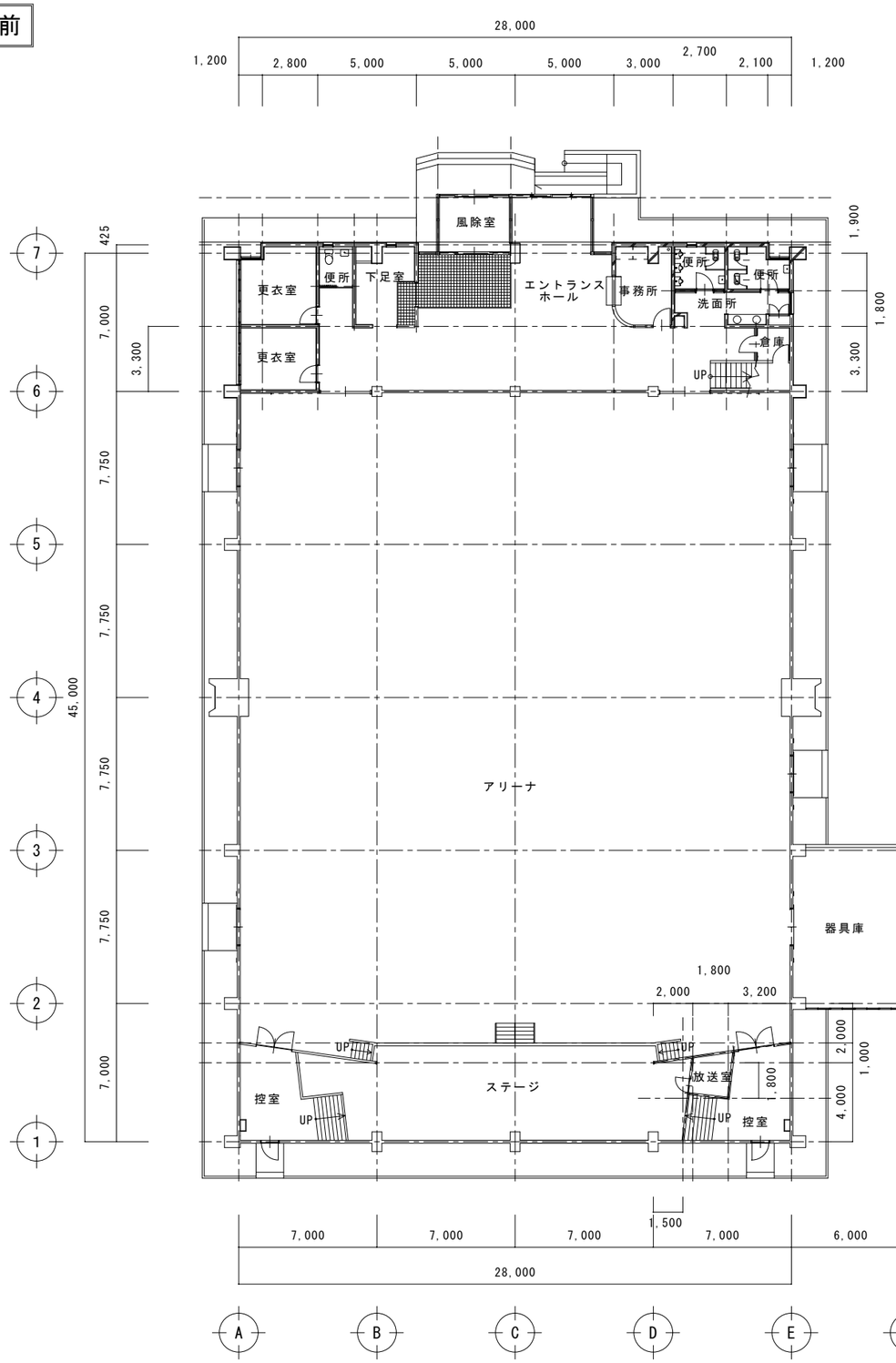
施工個所を協議し、施工を行うこと。

株式会社 鷲尾建築設計事務所
WASHIO
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

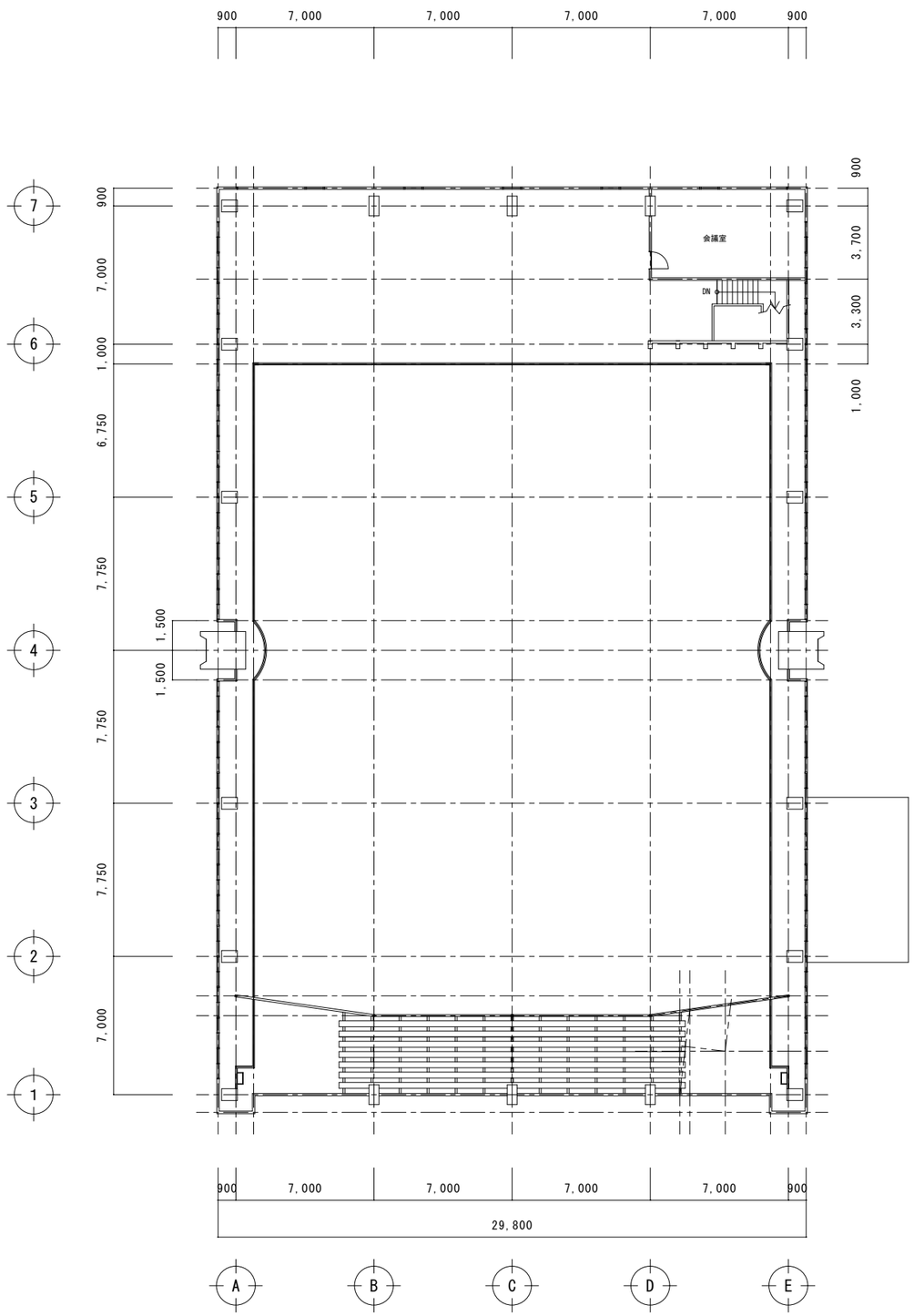
CONSTRUCTION NAME	篠山市立西紀体育館耐震補強工事
DRAWING NAME	補修標準図
APPROVED BY	1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘
CHECKED BY	
DRAWIN BY	
SCALE	——
DRAWING NO	A－5


工事場所
グラウンド
プール
宮田
西紀中学校
にしきクリニック
西紀老人福祉センター
西紀在宅介護高規センター
篠山市西紀公民館
西紀図書館
西紀歯科診療所
コミュニティセンター
河内橋
水路
水路
水路

改修前



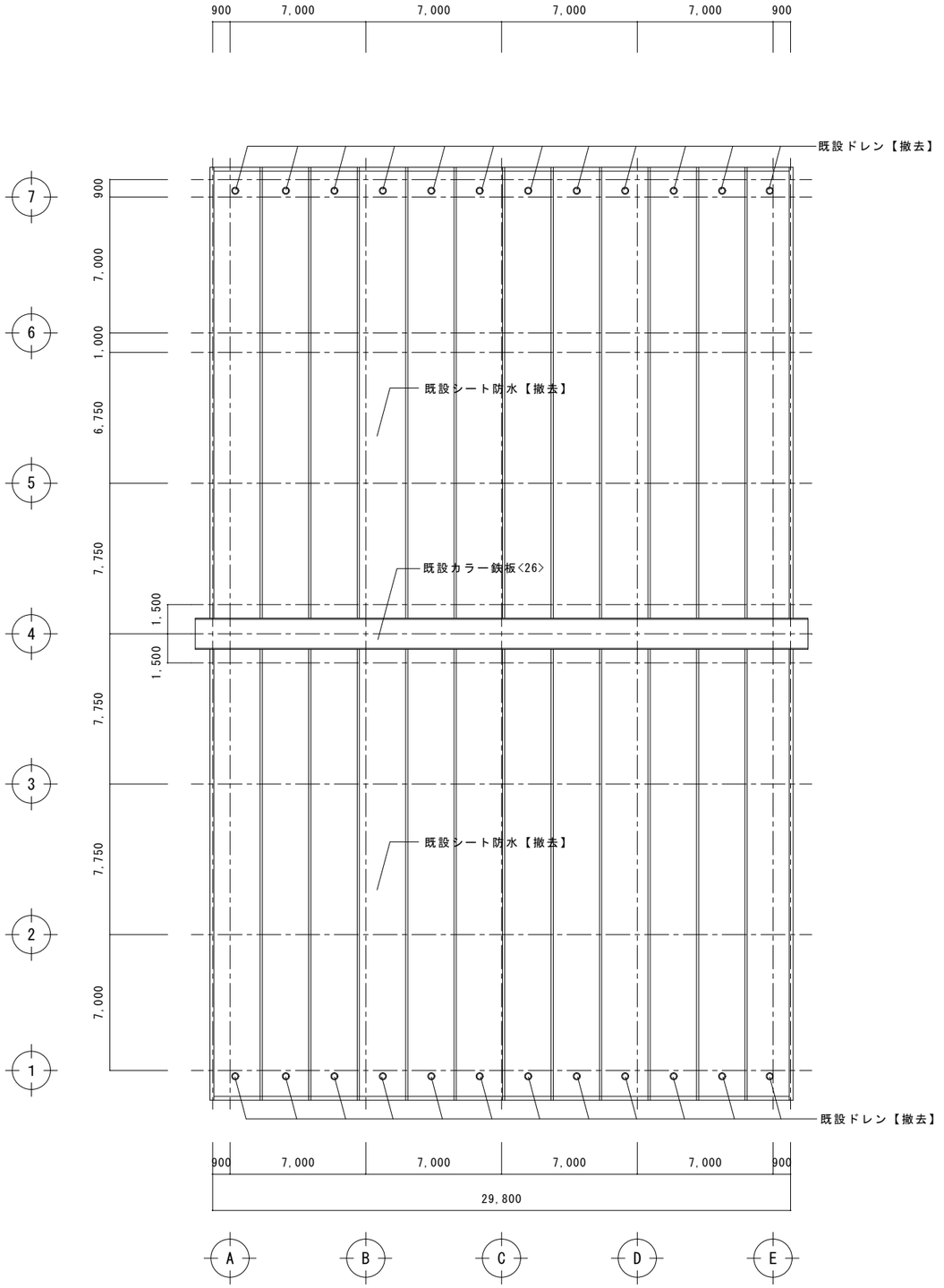
１階平面図　１／２００



２階平面図　１／２００

株式会社 WASHIO 鷲尾建築設計事務所 〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1 TEL：079-284-1491 FAX：079-284-1446	CONSTRUCTION NAME 篠山市立西紀体育館耐震補強工事	DRAWING NAME 【改修前】１階・２階平面図	
	APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘 / CHECKED BY / DRAWN BY	SCALE 1：200	DRAWING NO A－7

改修前



２階平面図　１／２００

株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME
【改修前】屋根伏図

APPROVED BY
1級建築士
大臣登録 第96307号
細田 美弘

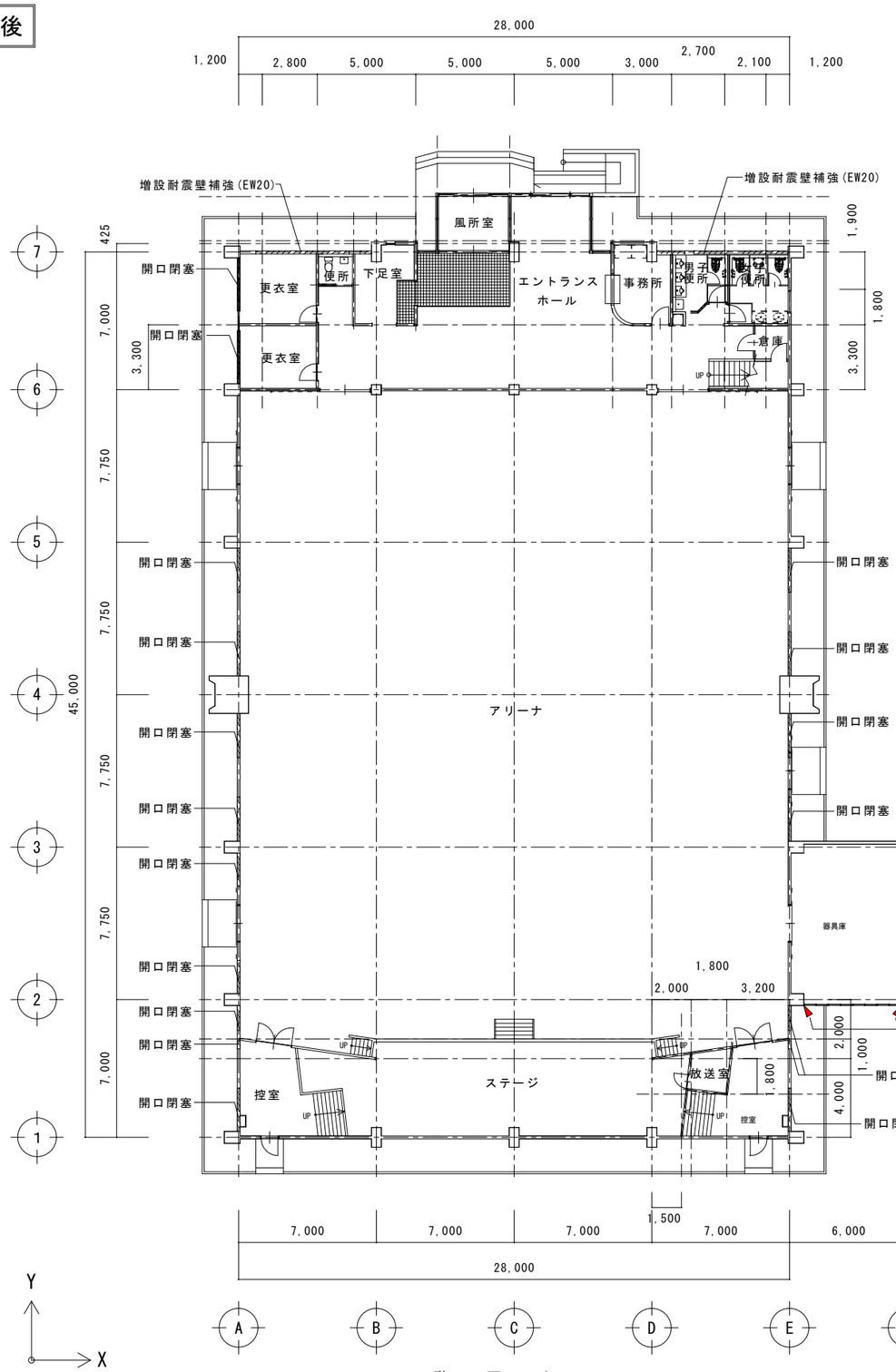
CHECKED BY

DRAWN BY

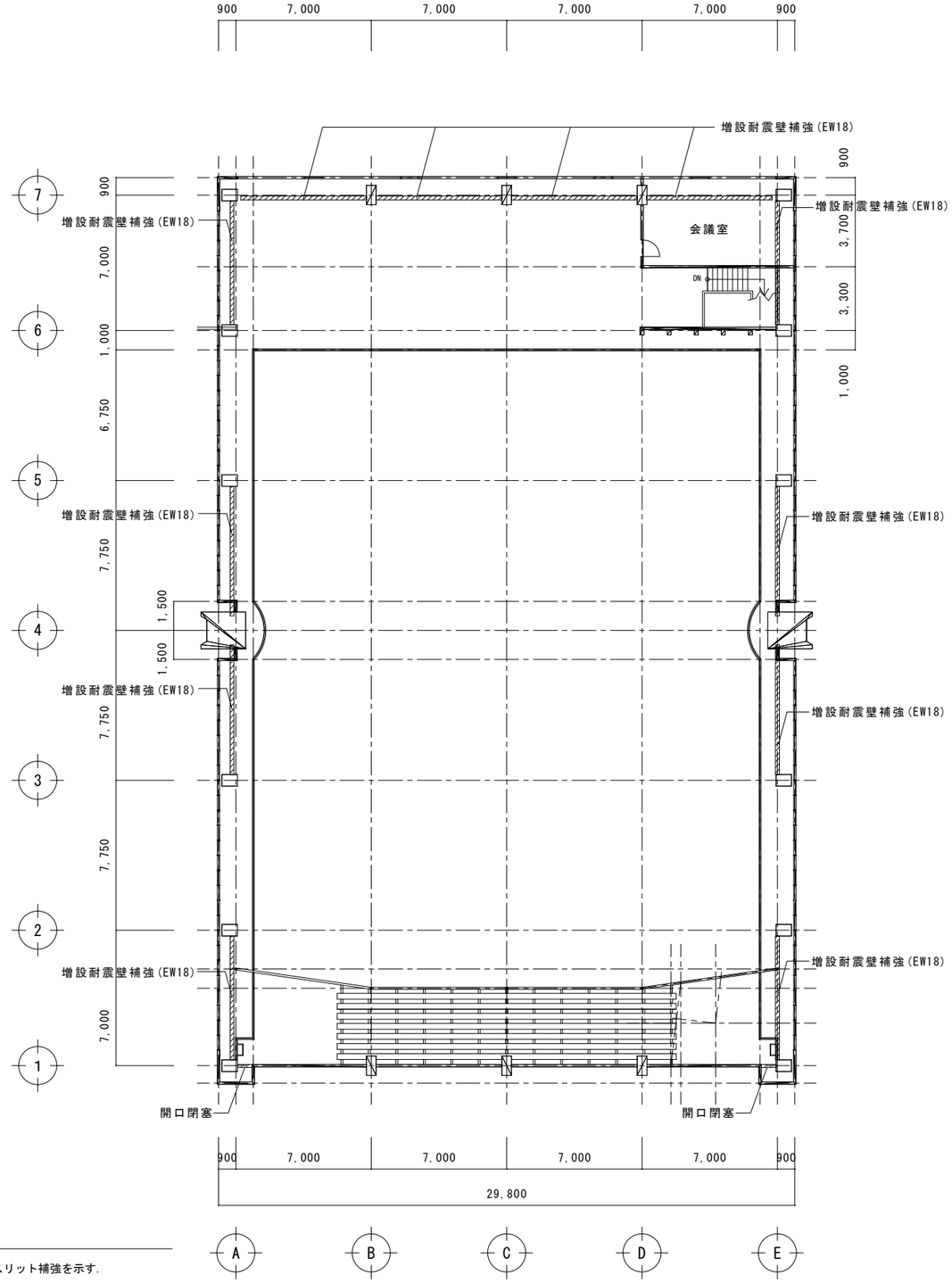
SCALE
1：200

DRAWING NO
Ａ－ 8

改修後



1階平面図　1／200



2階平面図　1／200

註記

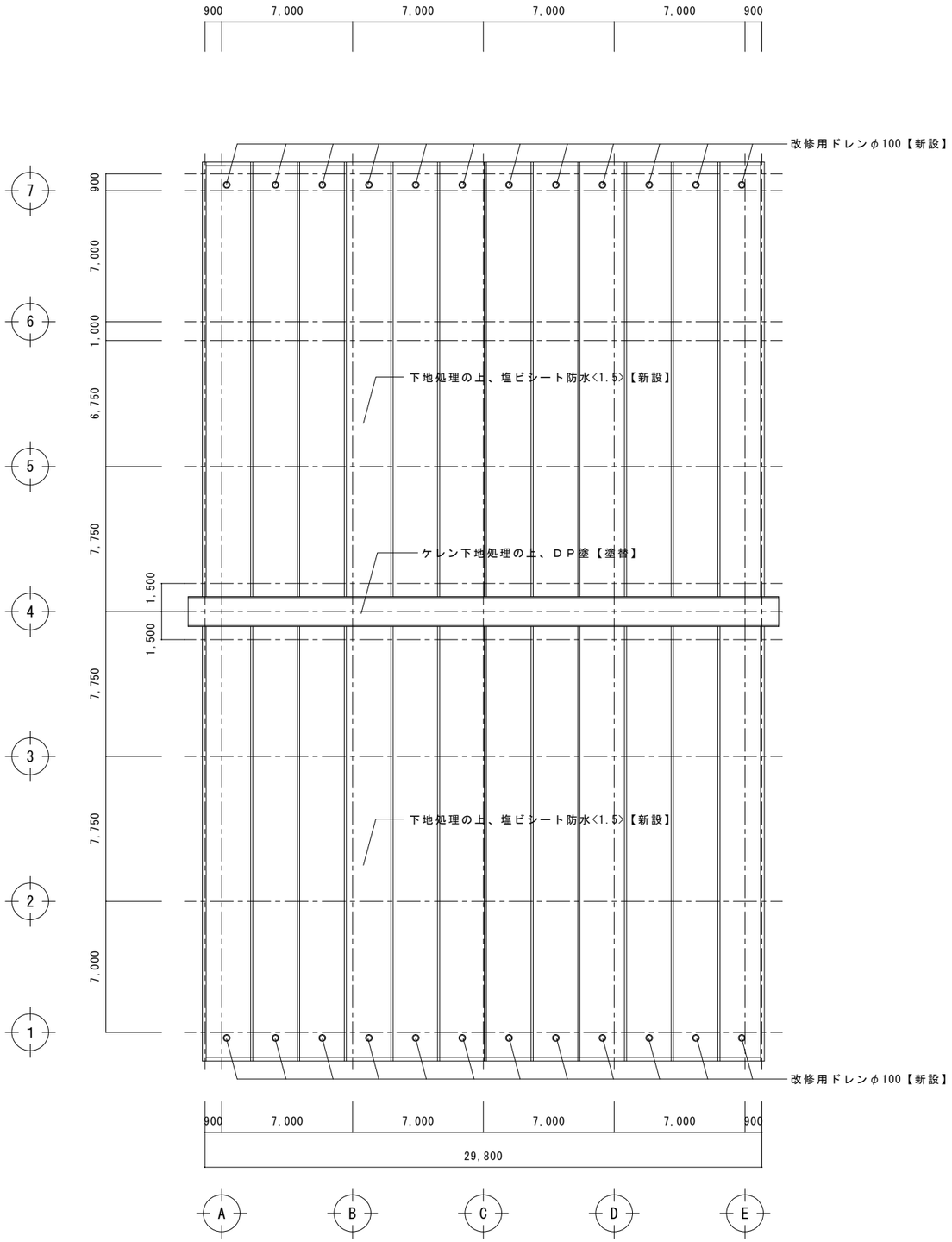
。 印はスリット補強を示す.

株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事	【改修後】１階・２階平面図

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			1：200	A－ 9

改修後

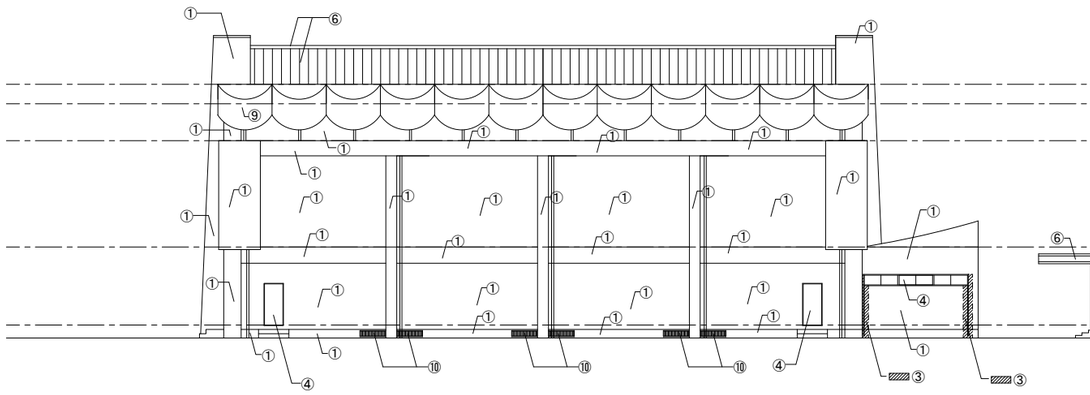


２階平面図　１／２００

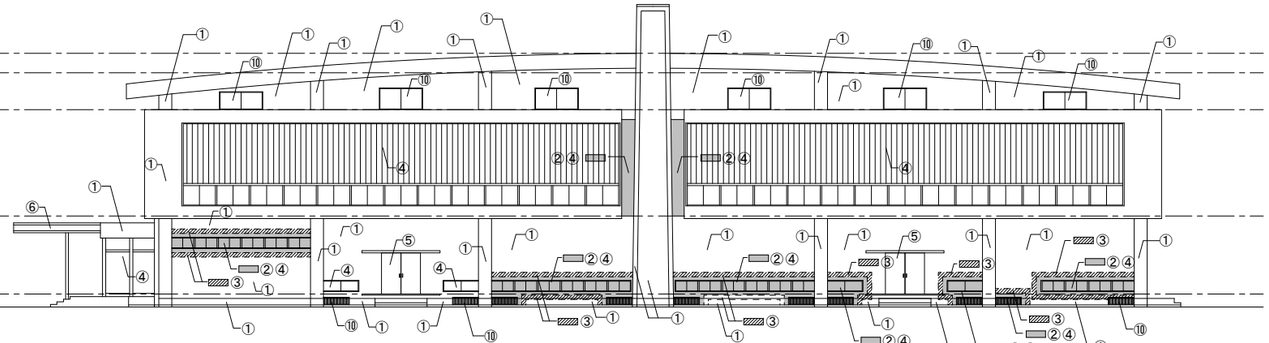
株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME				DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事				【改修後】屋根伏図
APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWIN BY		SCALE 1：200 / DRAWING NO A－ 10

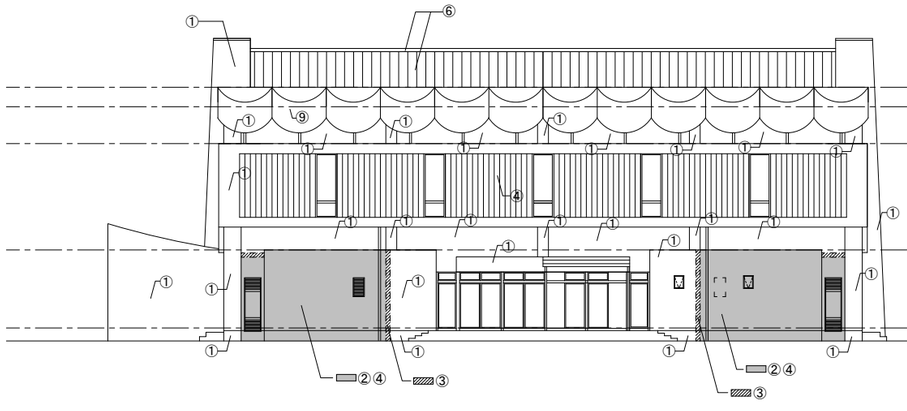
改修前



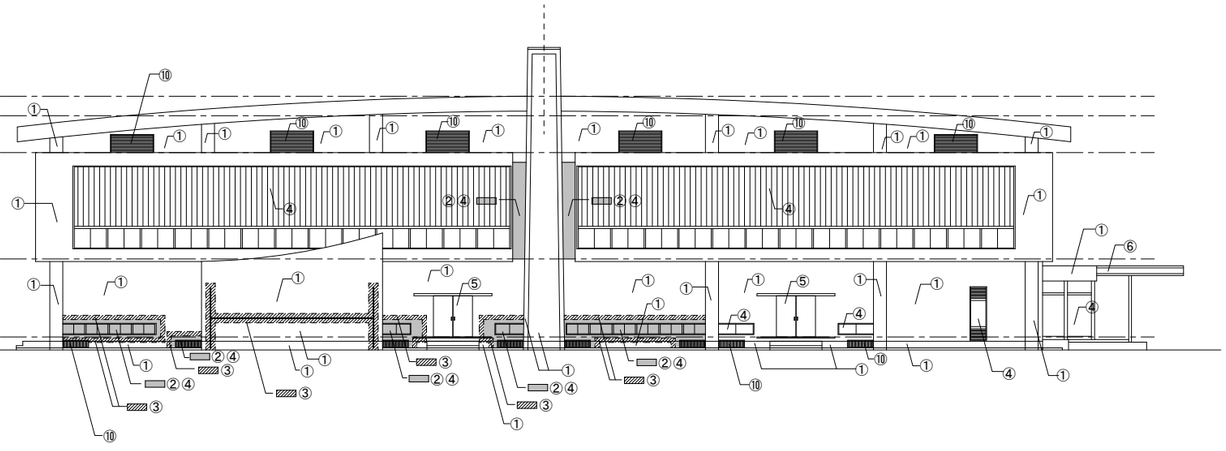
南立面図



西立面図



北立面図



東立面図

記号	仕　様	記号	仕　様	記号	仕　様	記号	仕　様
①	モルタル刷毛引き<30>の上、複層塗材【高圧洗浄】	⑥	アルミパネル【高圧洗浄】				
②	ＲＣ躯体【撤去】 モルタル刷毛引き<30>の上、複層塗材【撤去】	⑦	塗膜防水【高圧洗浄】				
③	モルタル刷毛引き<30>の上、複層塗材【撤去】	⑧	スチール製タラップ【ケレン処理】				
④	アルミサッシ【撤去以外はすべて建具周囲コーキング打替及びガラス洗い】	⑨	既設シート防水<1.2>【撤去】				
⑤	スチールサッシ【ケレン処理】	⑩	鉄部付属品【ケレン処理】				

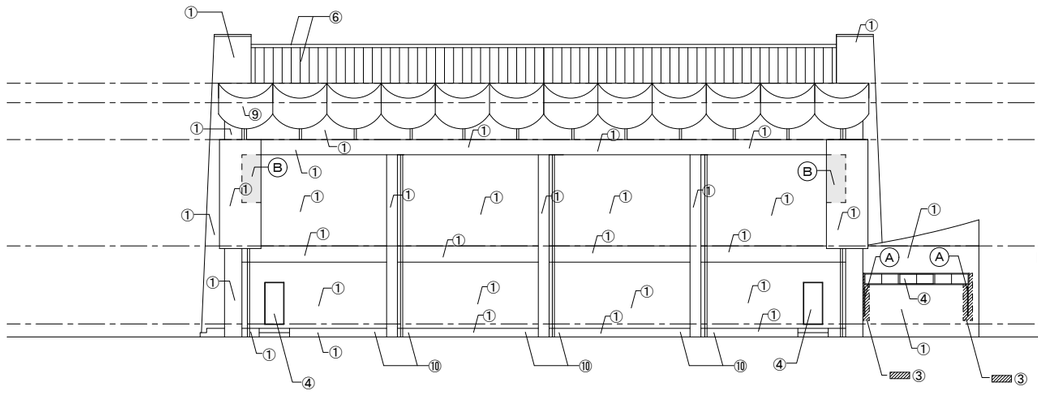
株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事

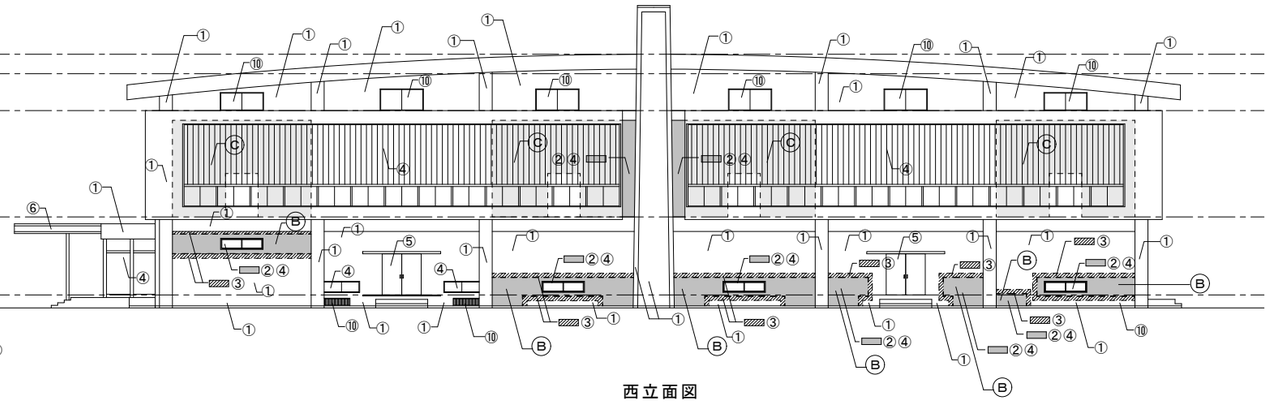
DRAWING NAME
【改修前】立面図

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			1：200	A－11

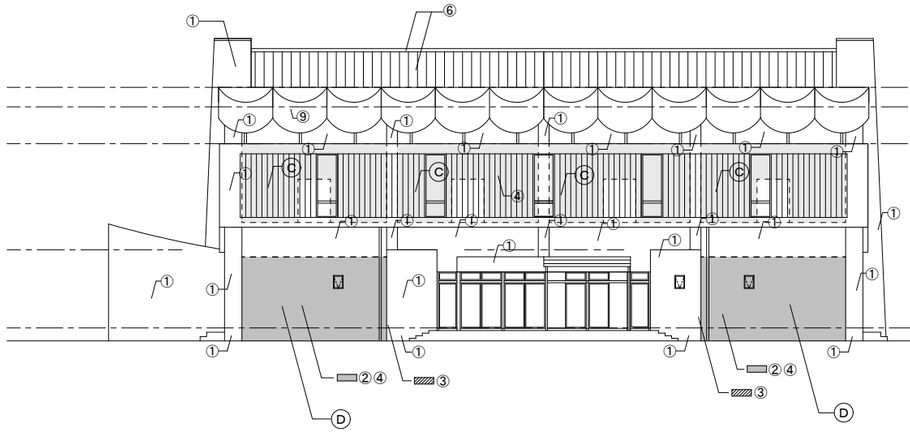
改修後



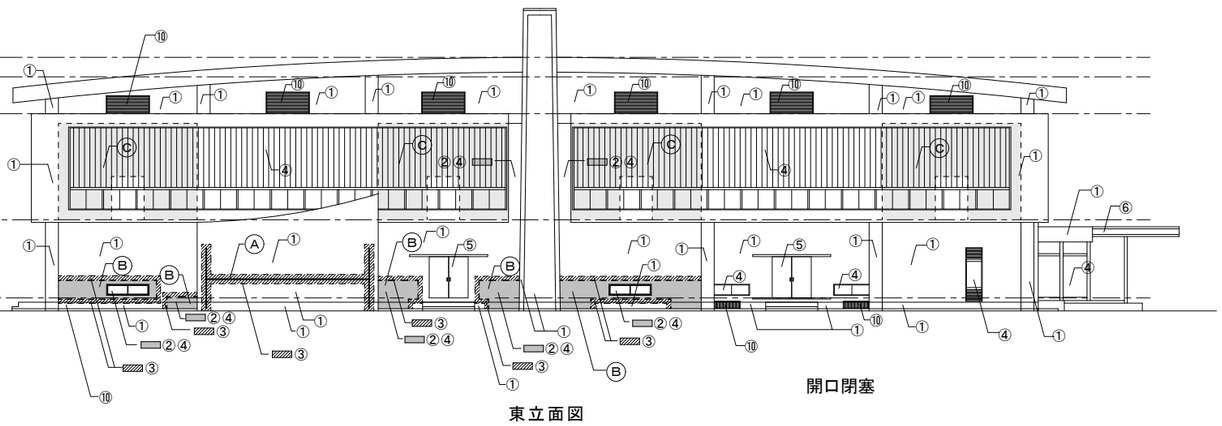
南立面図



西立面図



北立面図



東立面図

開口閉塞

外壁補修内容	
補修内容	数量
亀裂補修　Uカットシール材充填	142m
亀裂補修　柱　エポキシ樹脂注入　D=500t=0.2～0.5	
亀裂補修　壁　エポキシ樹脂注入　D=150t=0.2～0.5	
モルタル浮き部補修　外壁　ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入	142㎡
コンクリート剥離・露筋補修　エポキシ樹脂モルタル塗	100角程度 10ヶ所
施工の際は、施工業者にて調整、調査報告書を作成の上、	
監督員に確認の上補修(精算)を行うものとします。	

凡例

・・・外部補強部分を示す

・・・内部補強部分を示す

※1　複層塗材E：新設面　カチオン系下地調整材C-1塗の上、複層塗材E　凹凸部処理とする
※2　複層塗材E：既存塗膜面　カチオン系下地調整材C-2塗の上、複層塗材E 凹凸部処理とする

※建具廻り、シール打ち替えとする。
建具廻りシール打ち替えは4周+水切下端の5ヶ所とする。

記号	仕　様	記号	仕　様	記号	仕　様	記号	仕　様
①	下地処理の上、複層塗材E【塗替】	⑥	アルミパネル【高圧洗浄】			Ⓐ	耐震スリット【新設】
②	ＲＣ躯体【新設】 モルタル刷毛引き<30>の上、複層塗材E【新設】	⑦	下地処理の上、塗膜防水【塗替】			Ⓑ	開口閉塞【新設】
③	モルタル刷毛引き<30>の上、複層塗材E【新設】	⑧	スチール製タラップ：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】			Ⓒ	増設耐震壁補強(EW18)
④	アルミサッシ【撤去以外はすべて建具周囲コーキング打替及びガラス洗い】	⑨	下地処理の上、塩ビシート防水<1.5>【新設】			Ⓓ	増設耐震壁補強(EW20)
⑤	スチールサッシ：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】	⑩	鉄部付属品【ケレン処理】				

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME：篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME：【改修後】立面図

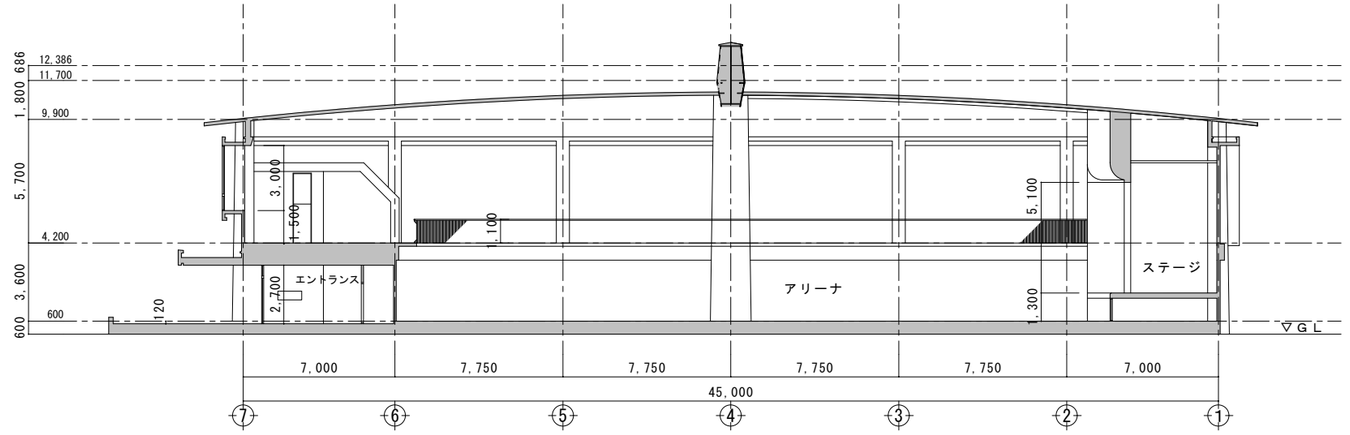
APPROVED BY：1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘

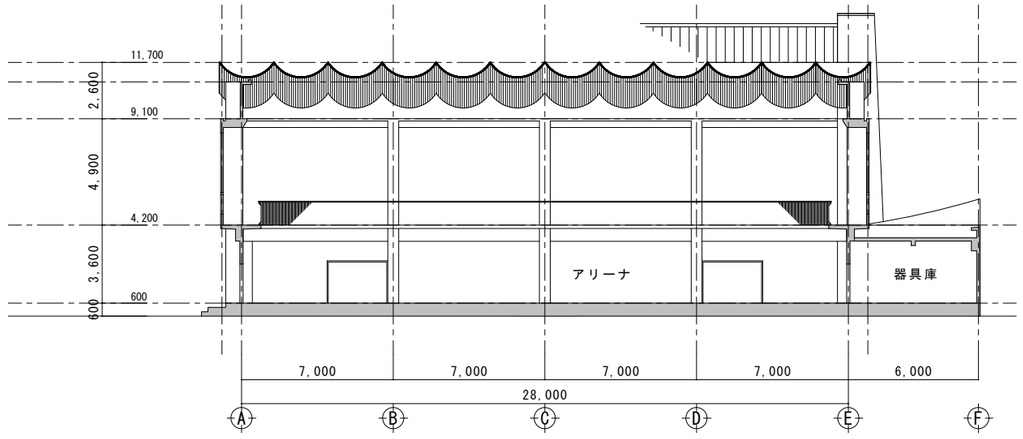
CHECKED BY：

DRAWN BY：

SCALE：1：200

DRAWING NO：A－12





株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME
断面図

APPROVED BY
1級建築士
大臣登録 第96307号
細田 美弘

CHECKED BY

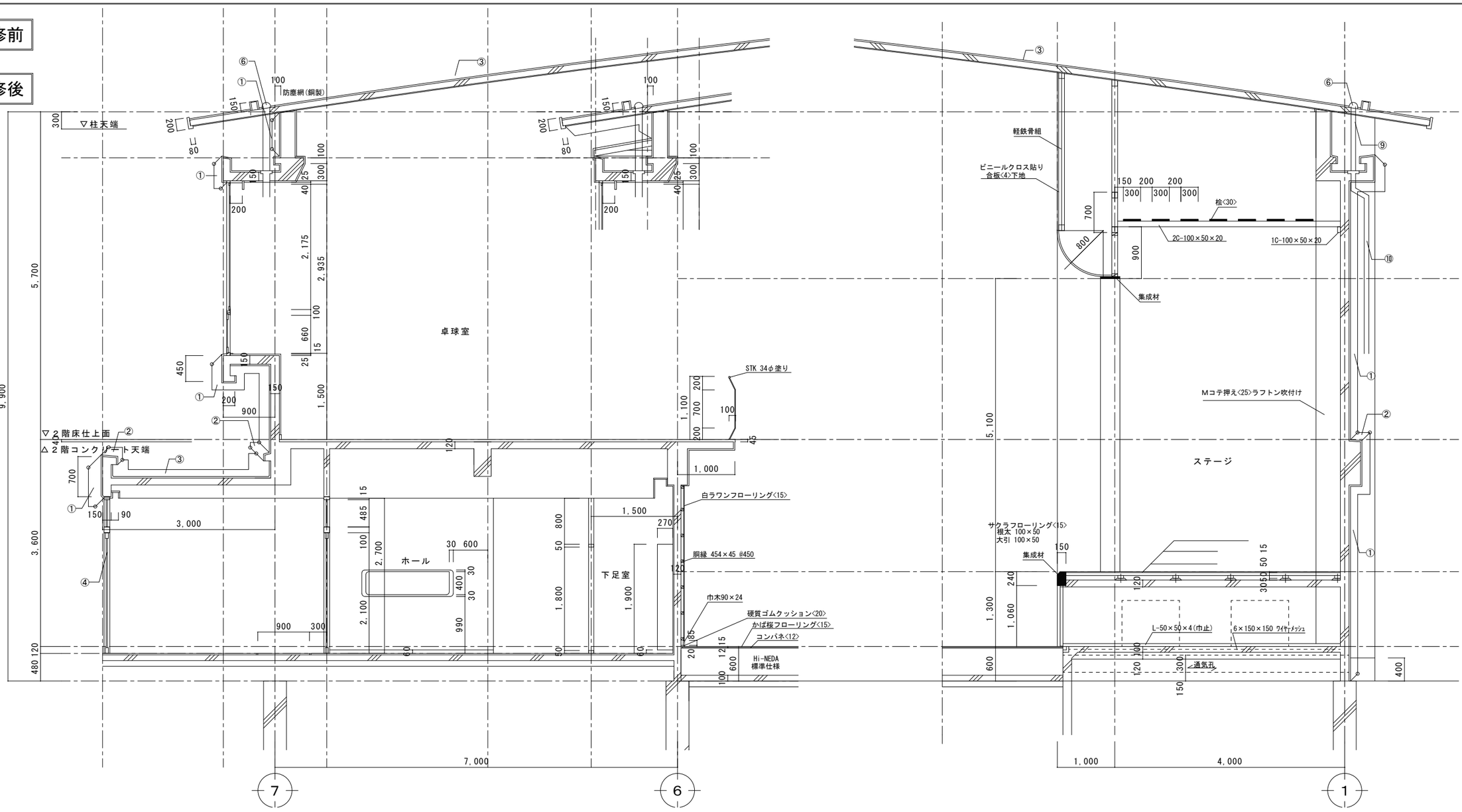
DRAWN BY

SCALE
1：200

DRAWING NO
A－13

改修前

改修後



断面詳細図

記号		仕　様		仕　様	記号		仕　様		仕　様
①	【改修前】	モルタル刷毛引き<30>の上、複層塗材【高圧洗浄】	【改修後】	下地処理の上、複層塗材Ｅ【塗替】	⑦	【改修前】	アルミパネル【高圧洗浄】	【改修後】	アルミパネル【高圧洗浄】
②	【改修前】	塗膜防水【高圧洗浄】	【改修後】	下地処理の上、塗膜防水【塗替】	⑧	【改修前】	スチール製タラップ【ケレン処理】	【改修後】	スチール製タラップ：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】
③	【改修前】	既設シート防水<1.2>【撤去】	【改修後】	下地処理の上、塩ビシート防水<1.5>【新設】	⑨	【改修前】	GP 75φ OP塗 【ケレン処理】	【改修後】	GP 75φ OP塗：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】
④	【改修前】	アルミサッシ【建具周囲コーキング打替及びガラス洗い】	【改修後】	アルミサッシ【建具周囲コーキング打替及びガラス洗い】	⑩	【改修前】	GP 100φ OP塗【ケレン処理】	【改修後】	GP 100φ OP塗：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】
⑤	【改修前】	スチールサッシ【ケレン処理】	【改修後】	スチールサッシ：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】		【改修前】		【改修後】	
⑥	【改修前】	既設ドレン（銅製防塵網）【撤去】	【改修後】	改修用ドレン【新設】		【改修前】		【改修後】	

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

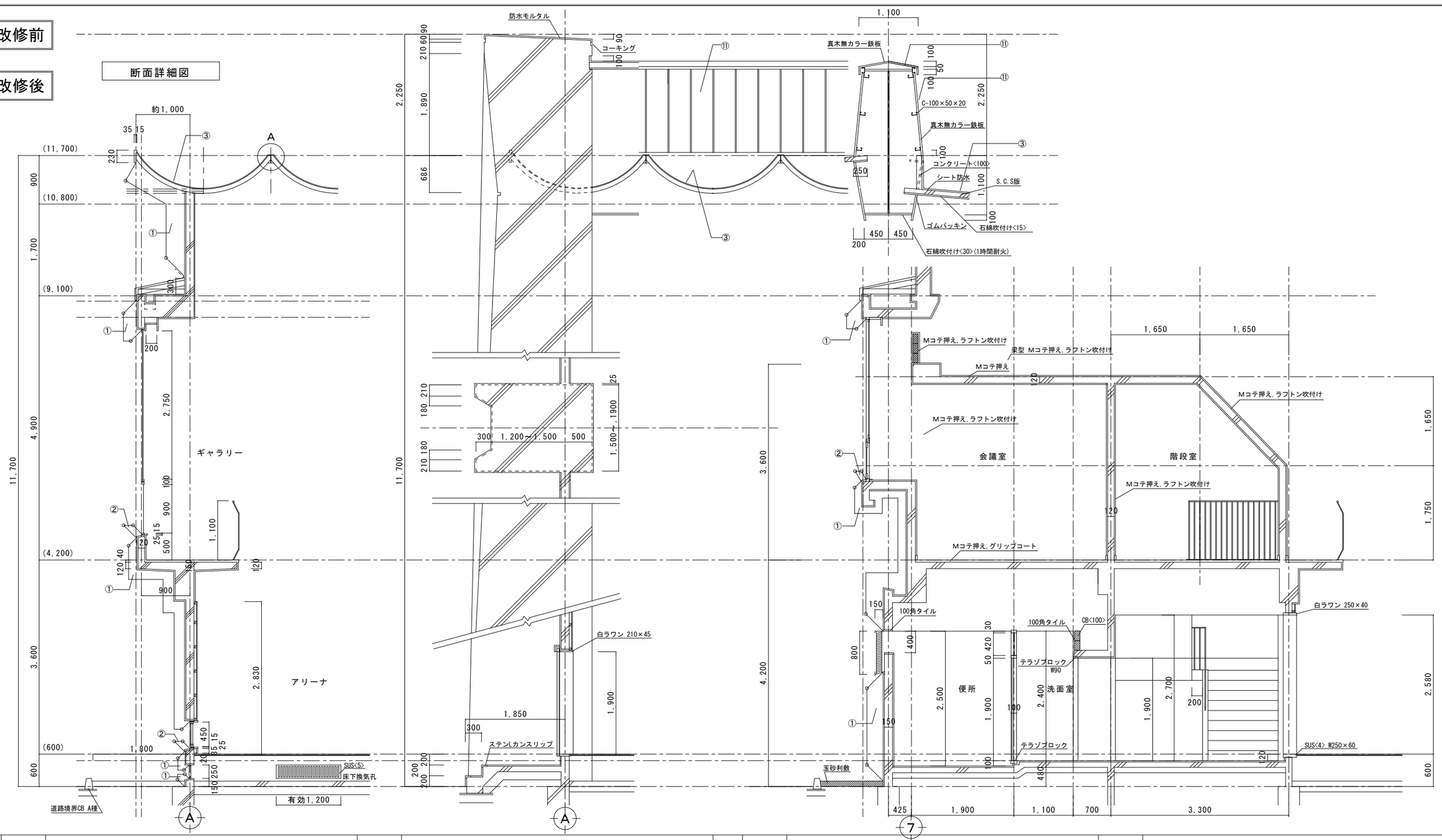
CONSTRUCTION NAME	DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事	【改修前・後】断面詳細図１

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			1：50	A－14

改修前

改修後

断面詳細図



記号		仕　様		仕　様	記号		仕　様		仕　様
①	【改修前】	モルタル刷毛引き<30>の上、複層塗材【高圧洗浄】	【改修後】	下地処理の上、複層塗材Ｅ【塗替】	⑦	【改修前】	アルミパネル【高圧洗浄】	【改修後】	アルミパネル【高圧洗浄】
②	【改修前】	塗膜防水【高圧洗浄】	【改修後】	下地処理の上、塗膜防水【塗替】	⑧	【改修前】	スチール製タラップ【ケレン処理】	【改修後】	下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】
③	【改修前】	既設シート防水<1.2>【撤去】	【改修後】	下地処理の上、塩ビシート防水<1.5>【新設】	⑨	【改修前】	GP 75φ OP塗 【ケレン処理】	【改修後】	GP 75φ OP塗：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】
④	【改修前】	アルミサッシ【建具周囲コーキング打替及びガラス洗い】	【改修後】	アルミサッシ【建具周囲コーキング打替及びガラス洗い】	⑩	【改修前】	GP 100φ OP塗【ケレン処理】	【改修後】	GP 100φ OP塗：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】
⑤	【改修前】	スチールサッシ【ケレン処理】	【改修後】	スチールサッシ：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】	⑪	【改修前】	スチールパネル【ケレン処理】	【改修後】	下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】
⑥	【改修前】	既設ドレン（銅製防塵網）【撤去】	【改修後】	改修用ドレン【新設】		【改修前】		【改修後】	

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME: 【改修前・後】断面詳細図２

APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘

CHECKED BY:

DRAWN BY:

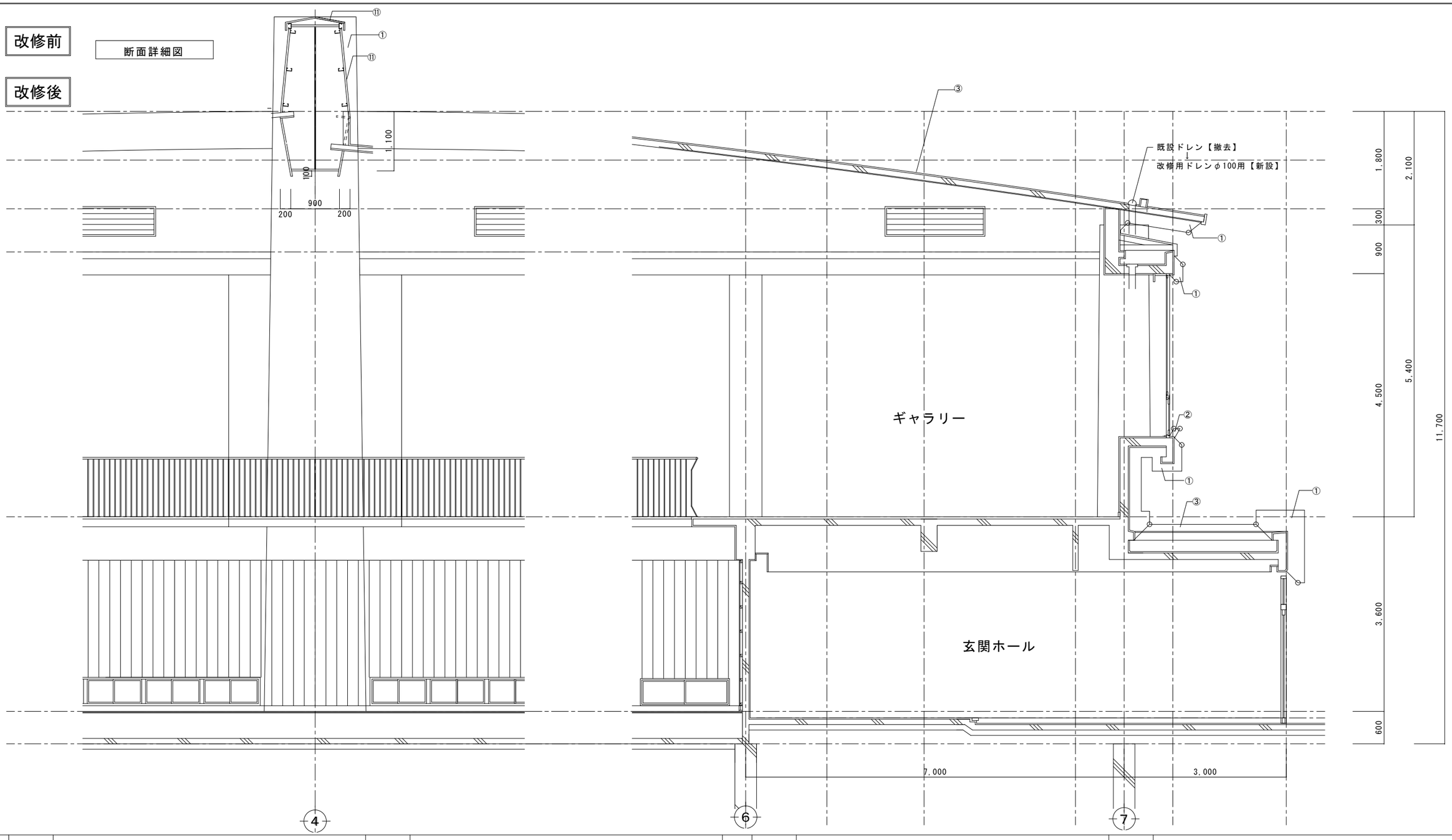
SCALE: 1：50

DRAWING NO: Ａ－ 15

改修前

改修後

断面詳細図



記号		仕　様		仕　様	記号		仕　様		仕　様
①	【改修前】	モルタル刷毛引き<30>の上、複層塗材【高圧洗浄】	【改修後】	下地処理の上、複層塗材Ｅ【塗替】	⑦	【改修前】	アルミパネル【高圧洗浄】	【改修後】	アルミパネル【高圧洗浄】
②	【改修前】	塗膜防水【高圧洗浄】	【改修後】	下地処理の上、塗膜防水【塗替】	⑧	【改修前】	スチール製タラップ【ケレン処理】	【改修後】	スチール製タラップ：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】
③	【改修前】	既設シート防水<1.2>【撤去】	【改修後】	下地処理の上、塩ビシート防水<1.5>【新設】	⑨	【改修前】	GP 75φ OP塗 【ケレン処理】	【改修後】	GP 75φ OP塗：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】
④	【改修前】	アルミサッシ【建具周囲コーキング打替及びガラス洗い】	【改修後】	アルミサッシ【建具周囲コーキング打替及びガラス洗い】	⑩	【改修前】	GP 100φ OP塗【ケレン処理】	【改修後】	GP 100φ OP塗：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】
⑤	【改修前】	スチールサッシ【ケレン処理】	【改修後】	スチールサッシ：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】	⑪	【改修前】	スチールパネル【ケレン処理】	【改修後】	下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】
⑥	【改修前】	既設ドレン（銅製防塵網）【撤去】	【改修後】	改修用ドレン【新設】		【改修前】		【改修後】	

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME: 【改修前・後】断面詳細図３

APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘

CHECKED BY:

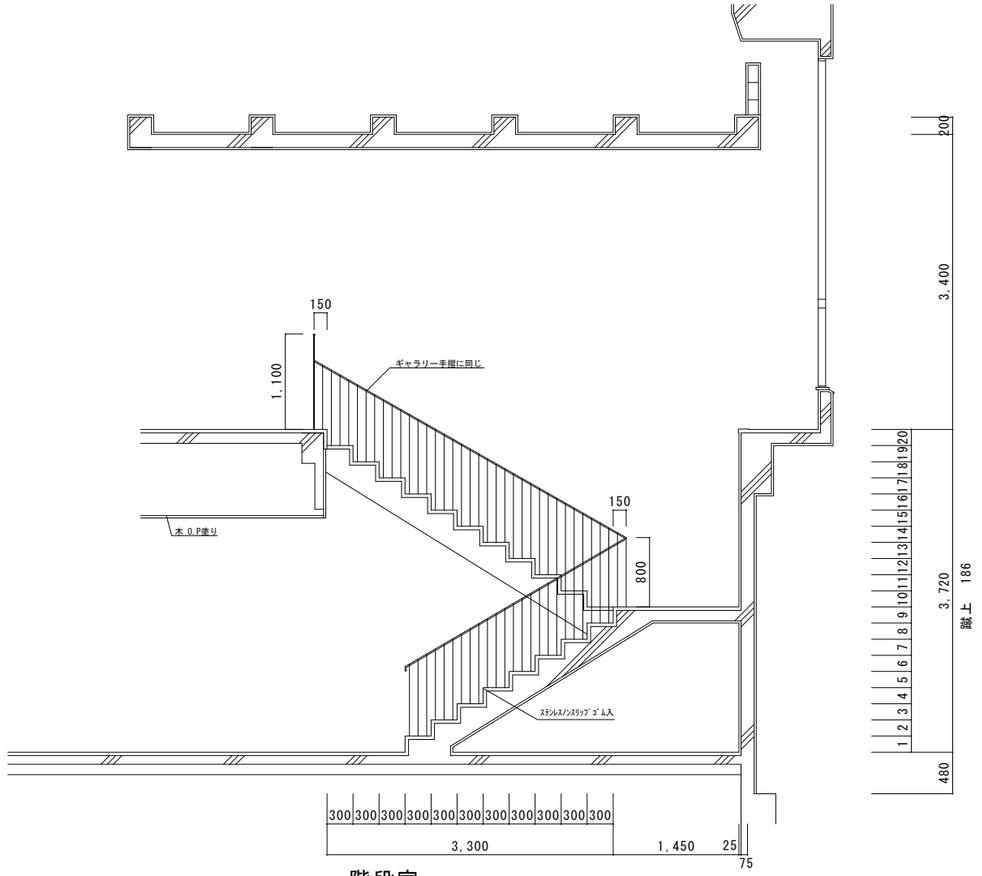
DRAWN BY:

SCALE: 1：50

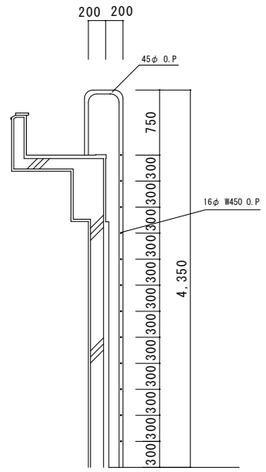
DRAWING NO: Ａ－ 16

改修前

改修後



階段室



控室タラップ

断面詳細図

記号		仕　様		仕　様	記号		仕　様		仕　様
①	【改修前】	モルタル刷毛引き<30>の上、複層塗材【高圧洗浄】	【改修後】	下地処理の上、複層塗材Ｅ【塗替】	⑦	【改修前】	アルミパネル【高圧洗浄】	【改修後】	アルミパネル【高圧洗浄】
②	【改修前】	塗膜防水【高圧洗浄】	【改修後】	下地処理の上、塗膜防水【塗替】	⑧	【改修前】	スチール製タラップ【ケレン処理】	【改修後】	スチール製タラップ：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】
③	【改修前】	既設シート防水<1.2>【撤去】	【改修後】	下地処理の上、塩ビシート防水<1.5>【新設】	⑨	【改修前】	GP 75φ OP塗 【ケレン処理】	【改修後】	GP 75φ OP塗：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】
④	【改修前】	アルミサッシ【建具周囲コーキング打替及びガラス洗い】	【改修後】	アルミサッシ【建具周囲コーキング打替及びガラス洗い】	⑩	【改修前】	GP 100φ OP塗【ケレン処理】	【改修後】	GP 100φ OP塗：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】
⑤	【改修前】	スチールサッシ【ケレン処理】	【改修後】	スチールサッシ：下地処理の上、ＤＰ塗【塗替】		【改修前】		【改修後】	
⑥	【改修前】	既設ドレン（銅製防塵網）【撤去】	【改修後】	改修用ドレン【新設】		【改修前】		【改修後】	

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME: 【改修前・後】断面詳細図４

APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘

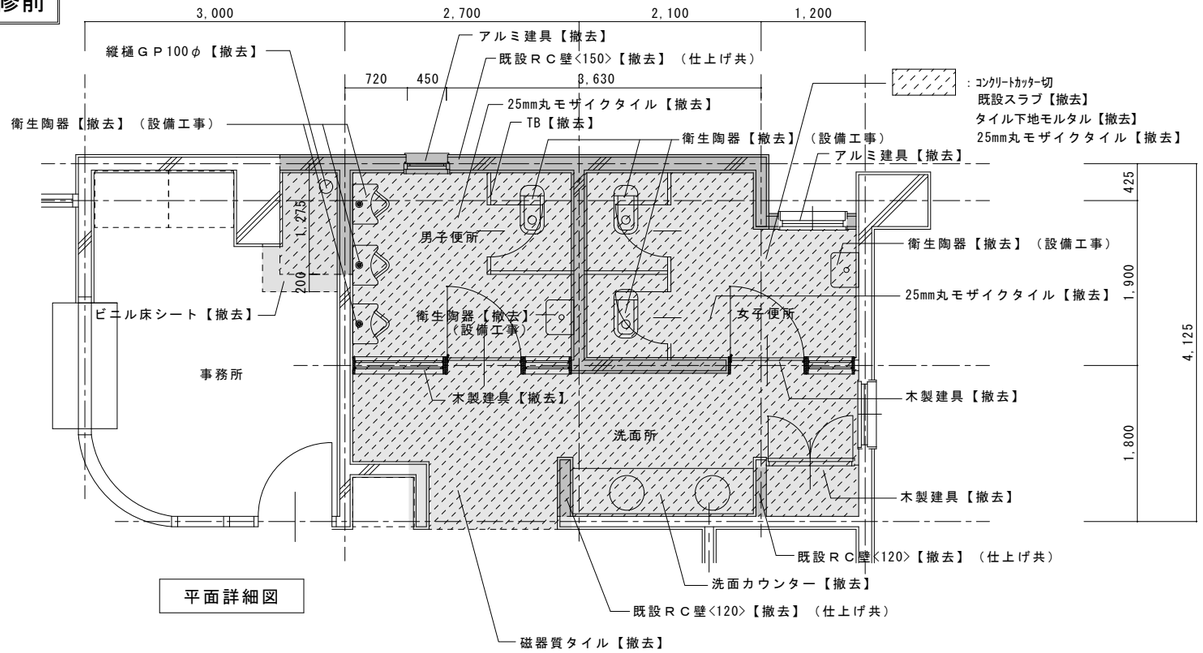
CHECKED BY:

DRAWIN BY:

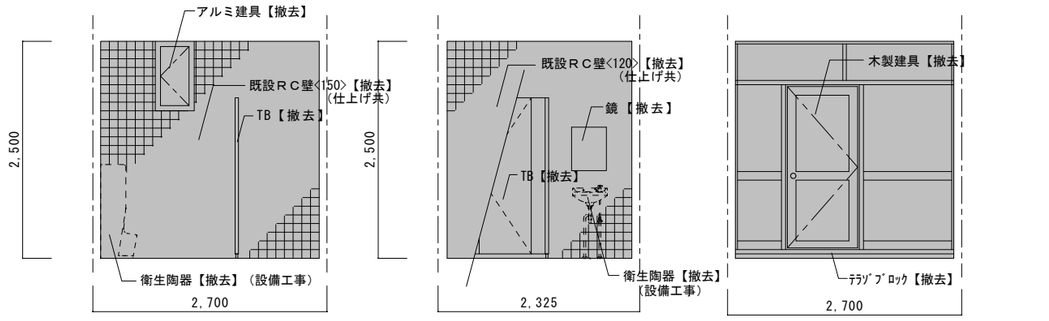
SCALE: 1：50

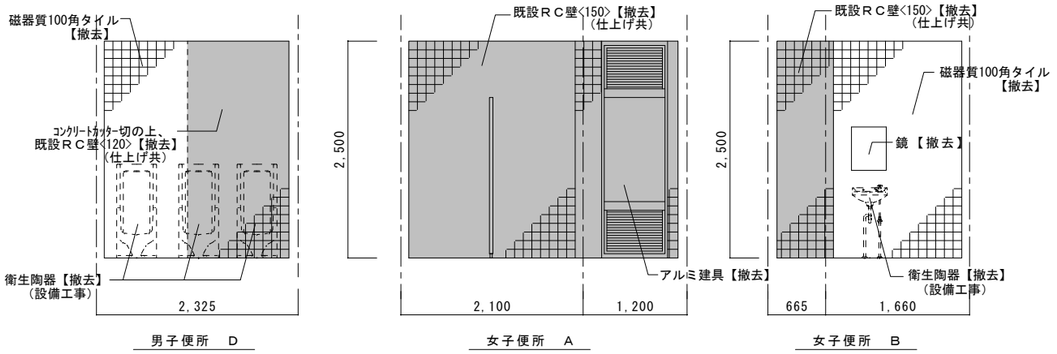
DRAWING NO: Ａ－ 17

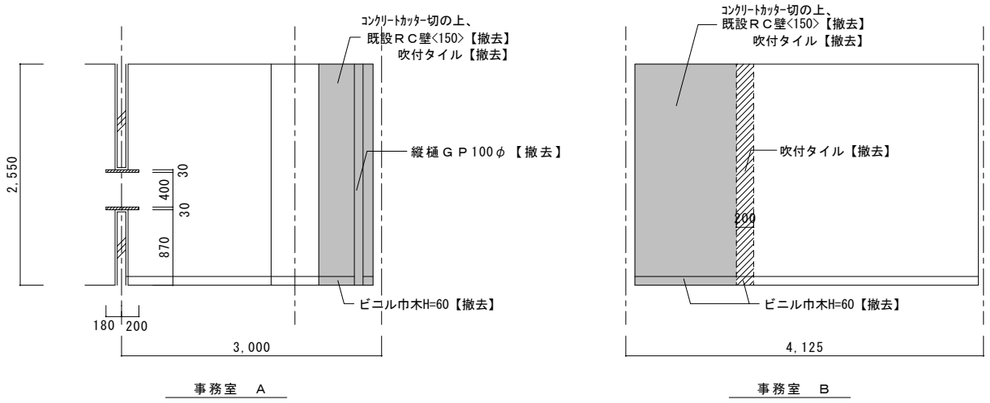
改修前

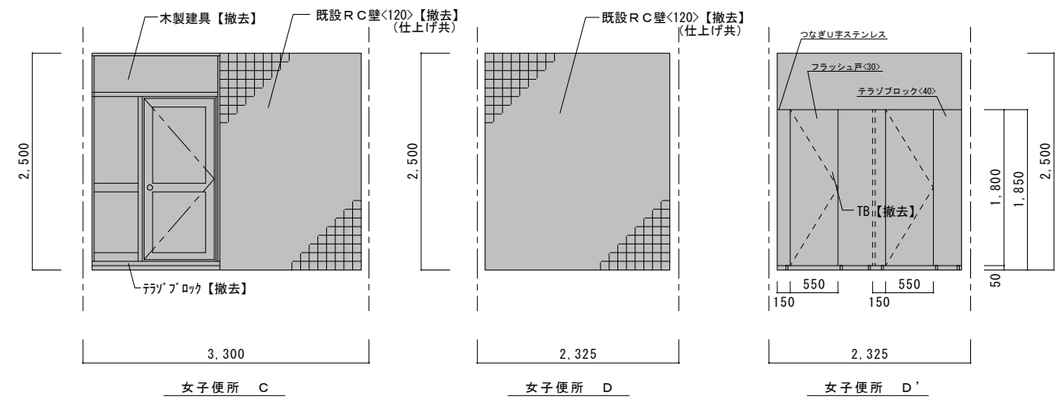


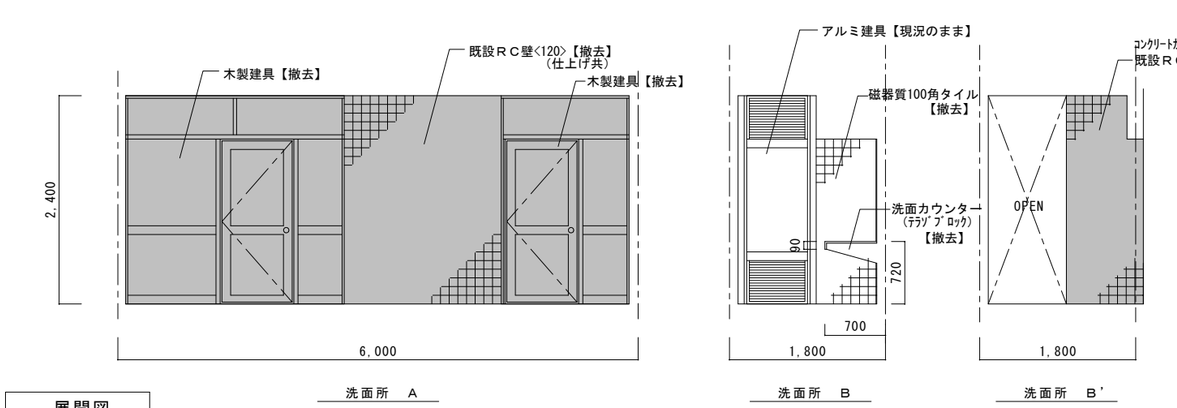
平面詳細図

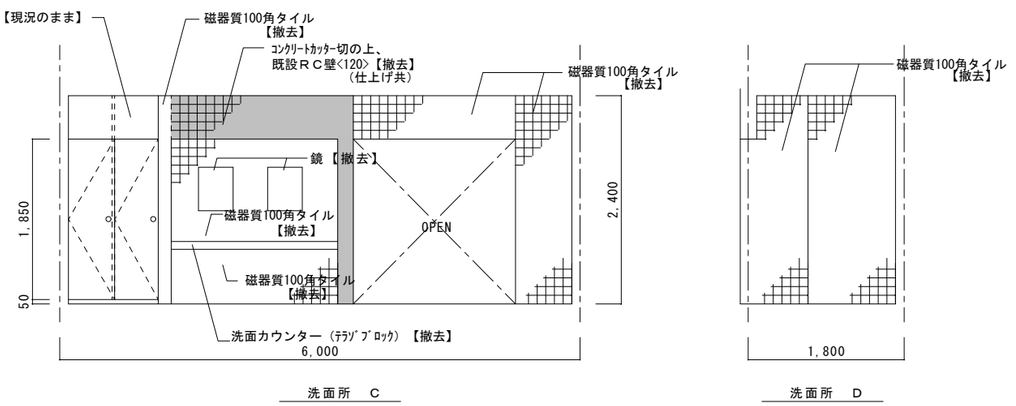












展開図

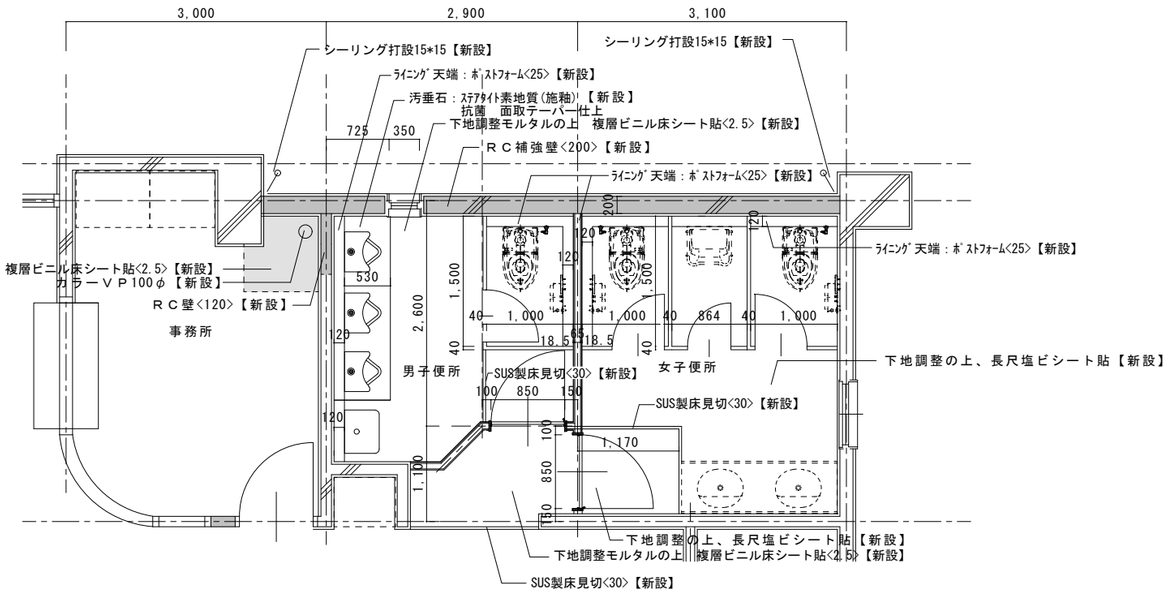
株式会社 WASHIO

鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

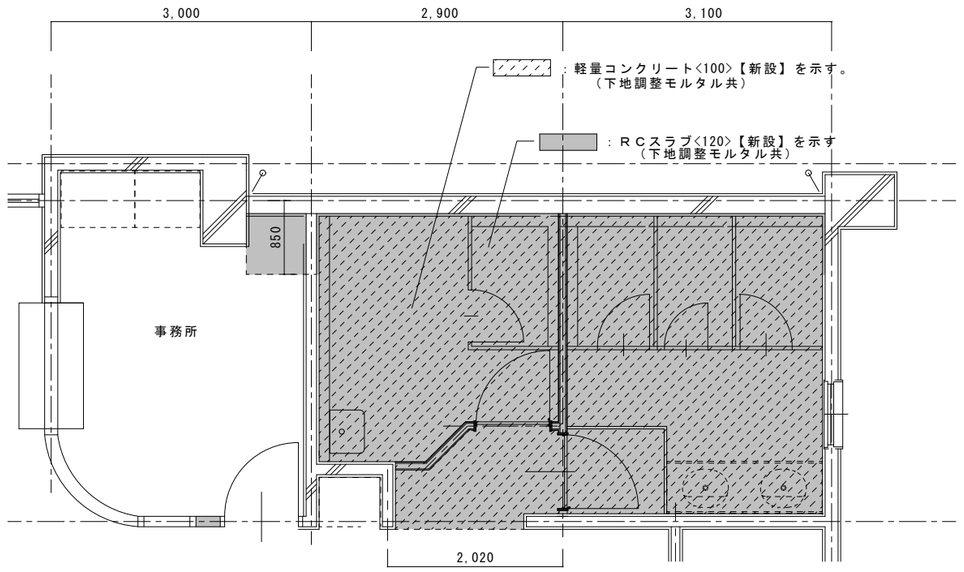
CONSTRUCTION NAME	DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事	【改修前】１階便所詳細図

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			1：50	A－18

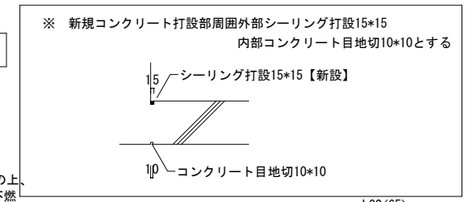
改修後

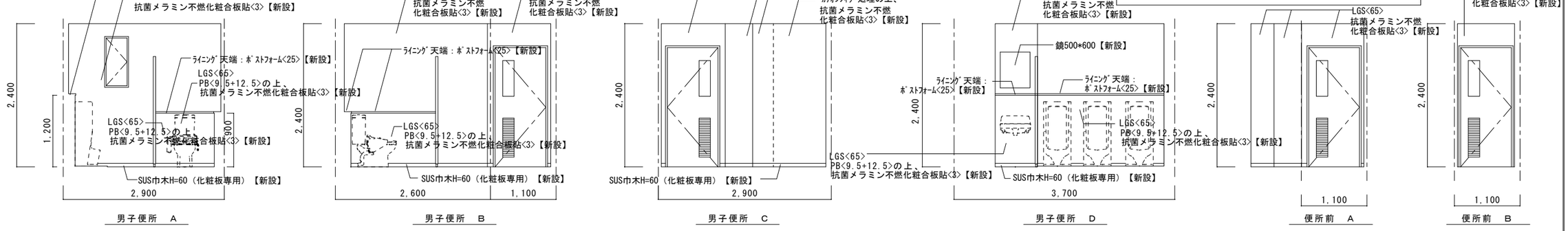


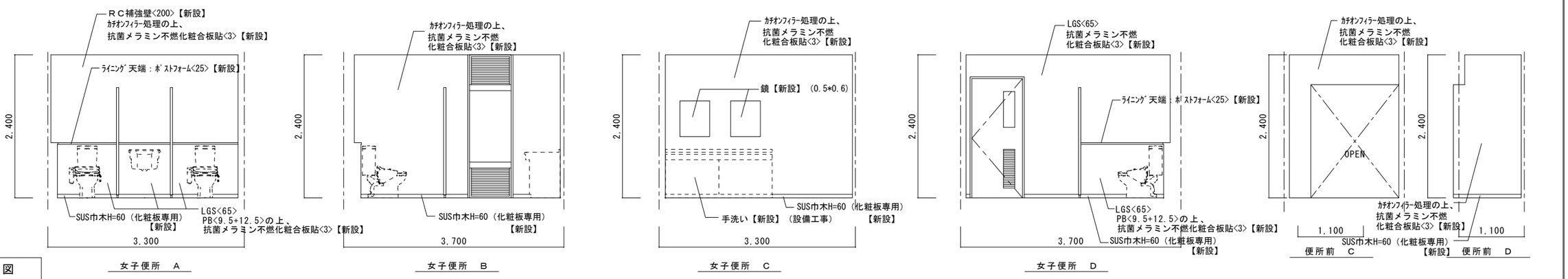
平面詳細図



スラブ平面詳細図



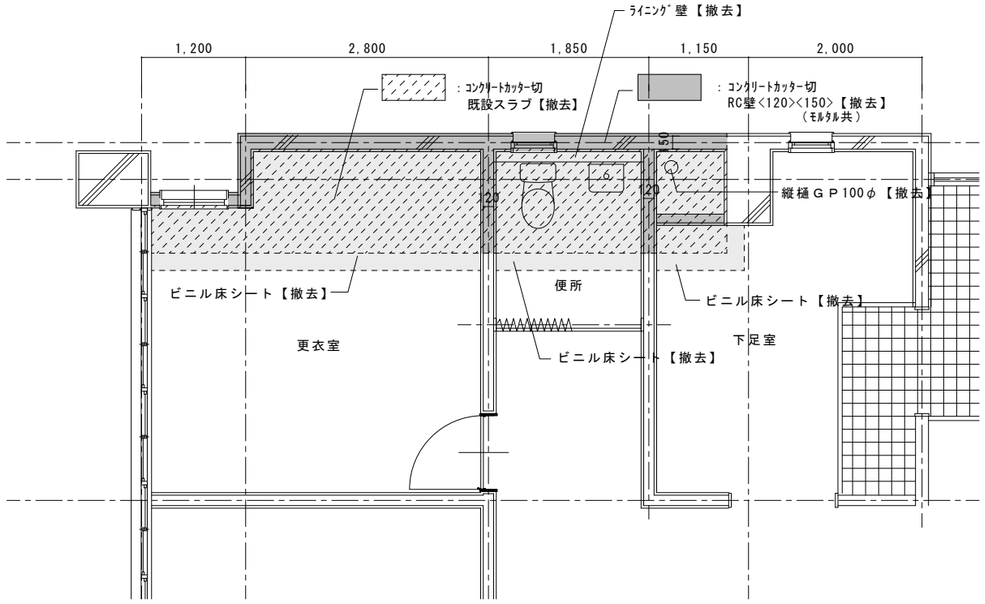


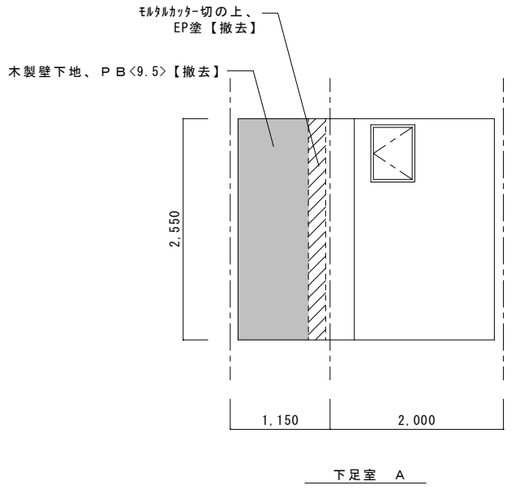


展開図

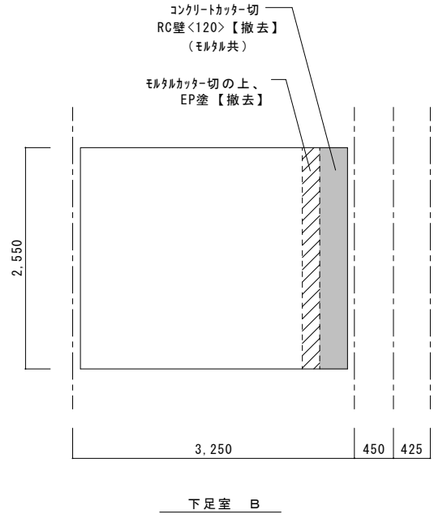
株式会社 WASHIO	鷲尾建築設計事務所 〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1 TEL：079-284-1491 FAX：079-284-1446	CONSTRUCTION NAME 篠山市立西紀体育館耐震補強工事			DRAWING NAME 【改修後】１階便所詳細図
		APPROVED BY １級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE 1：50 / DRAWING NO A－19

改修前



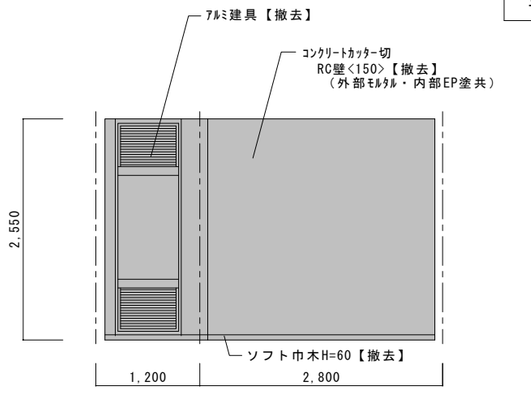


下足室　A

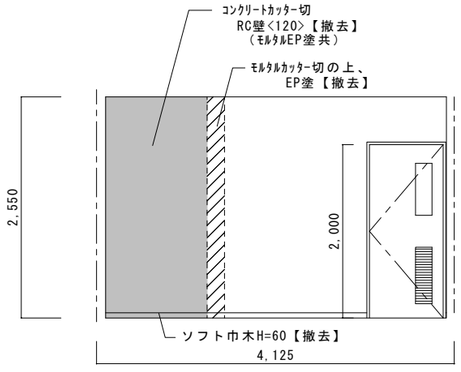


下足室　B

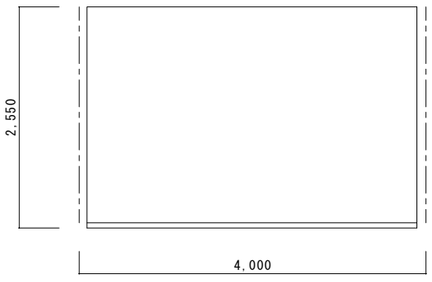
平面詳細図



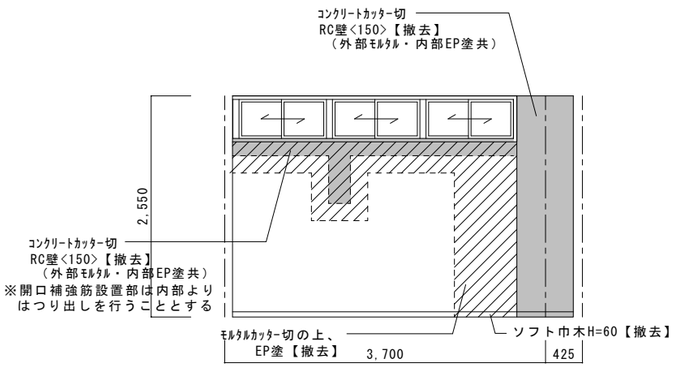
更衣室　A



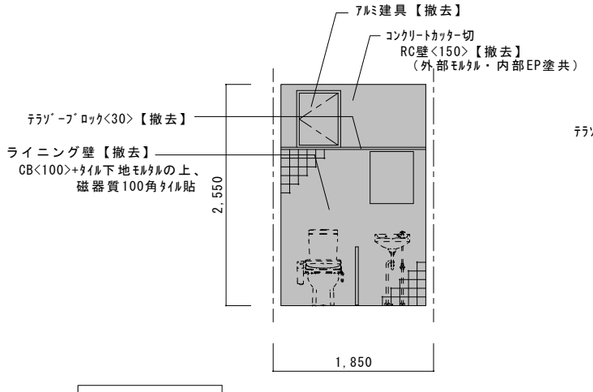
更衣室　B



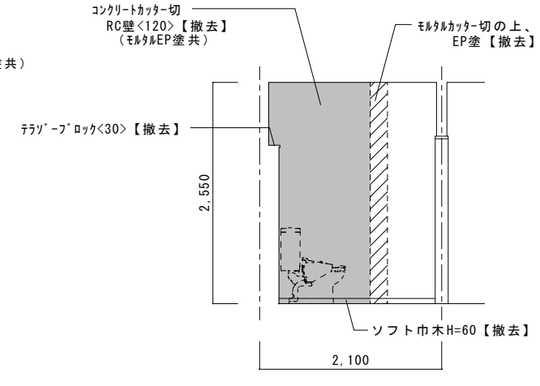
更衣室　C



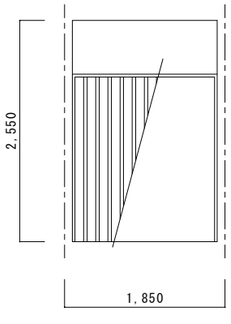
更衣室　D



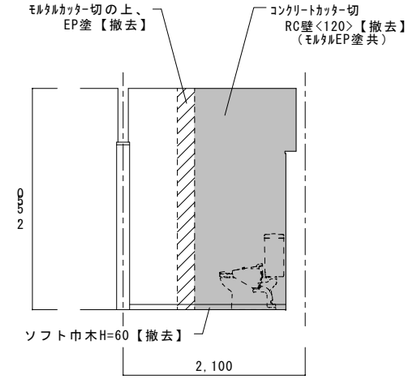
身障者用便所　A



身障者用便所　B



身障者用便所　C



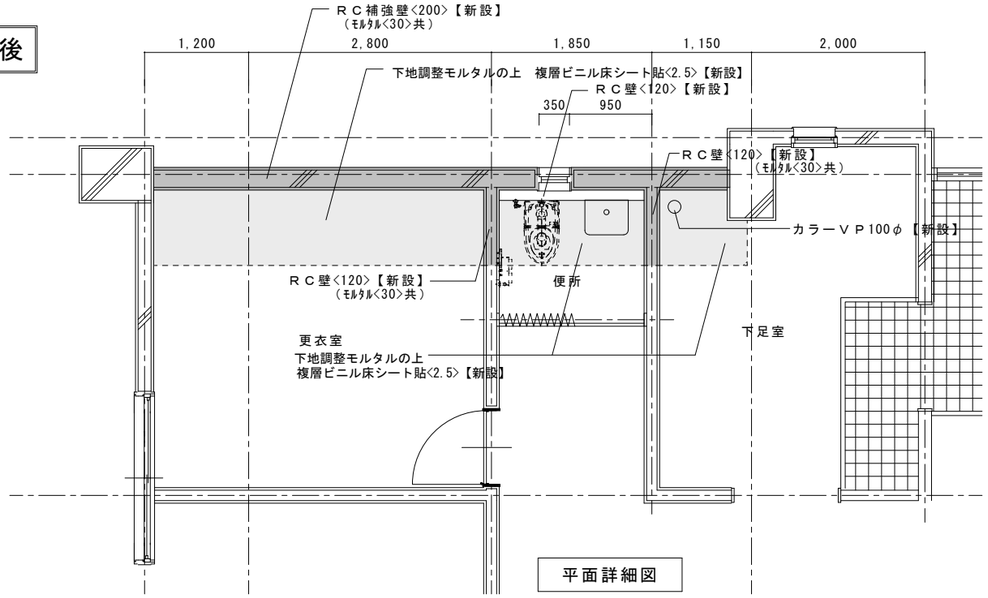
身障者用便所　D

展開図

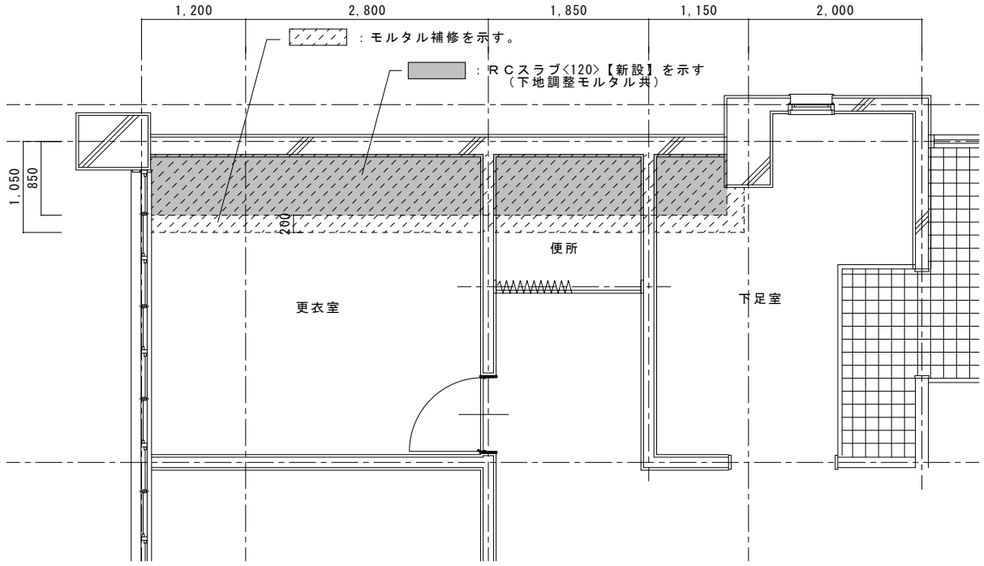
株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	篠山市立西紀体育館耐震補強工事
DRAWING NAME	【改修前】１階更衣室・便所・下足室詳細図
APPROVED BY	１級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘
CHECKED BY	
DRAWN BY	
SCALE	1：50
DRAWING NO	A－ 20

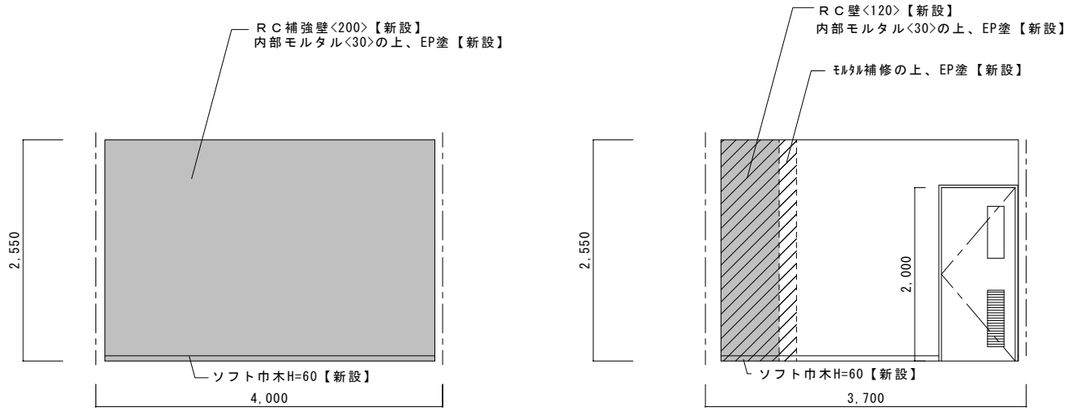
改修後

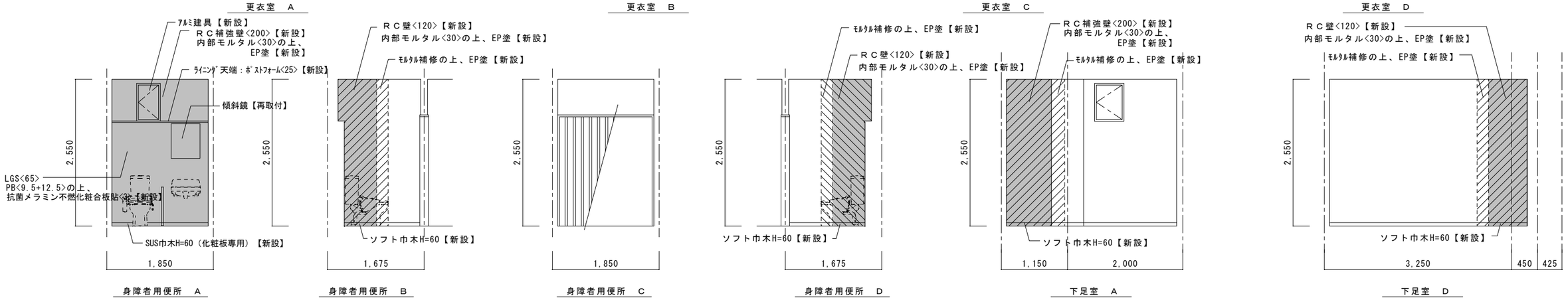


平面詳細図



スラブ平面詳細図





展開図

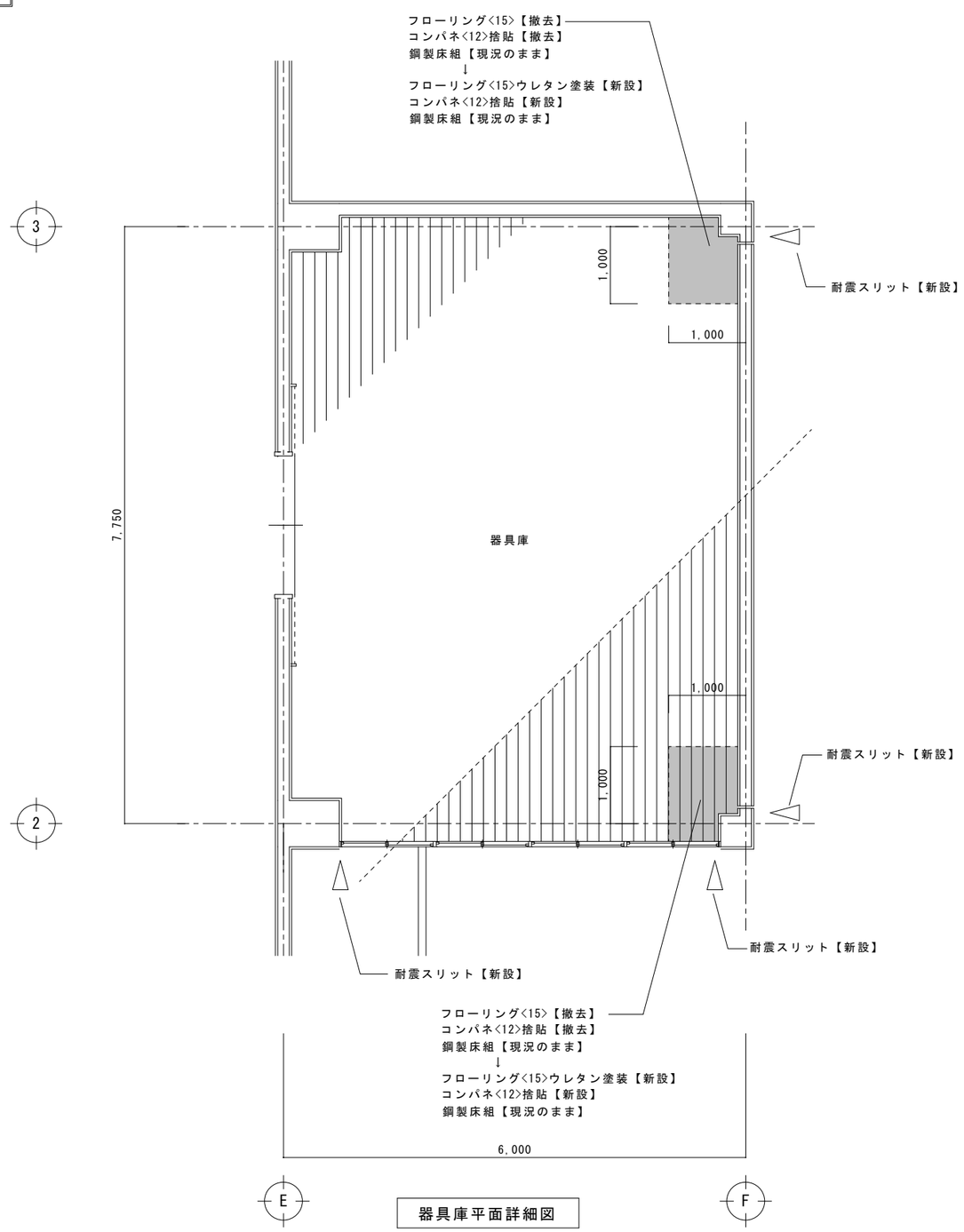
※　新規コンクリート打設部周囲外部シーリング打設15*15
内部コンクリート目地切10*10とする

株式会社
WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

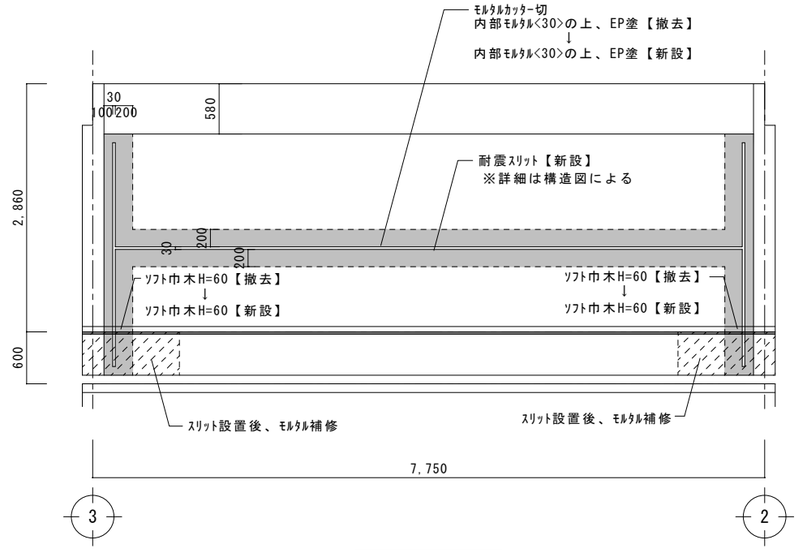
CONSTRUCTION NAME	篠山市立西紀体育館耐震補強工事
DRAWING NAME	【改修後】１階更衣室・便所・下足室詳細図
APPROVED BY	1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘
CHECKED BY	
DRAWIN BY	
SCALE	1：50
DRAWING NO	A－21

改修前

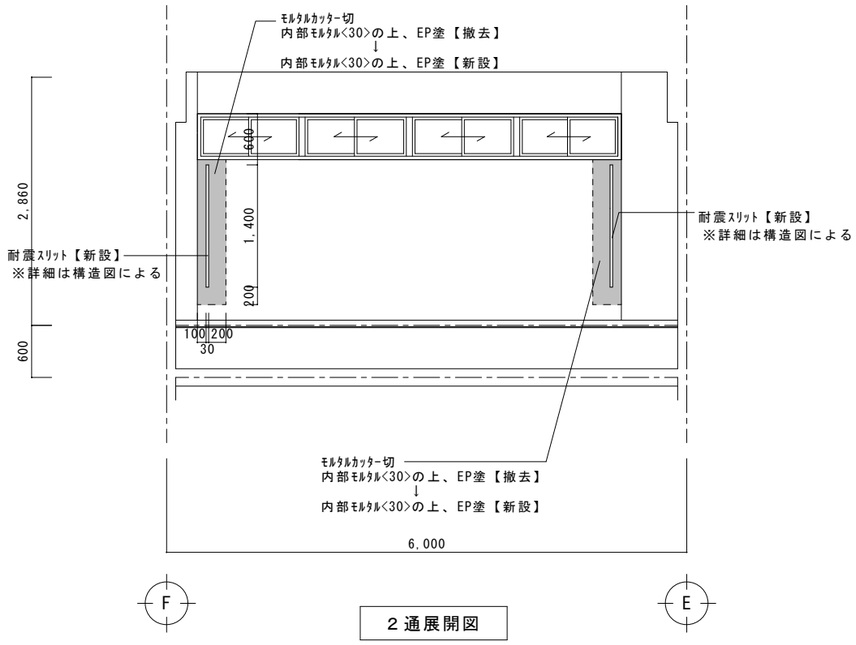
改修後



器具庫平面詳細図



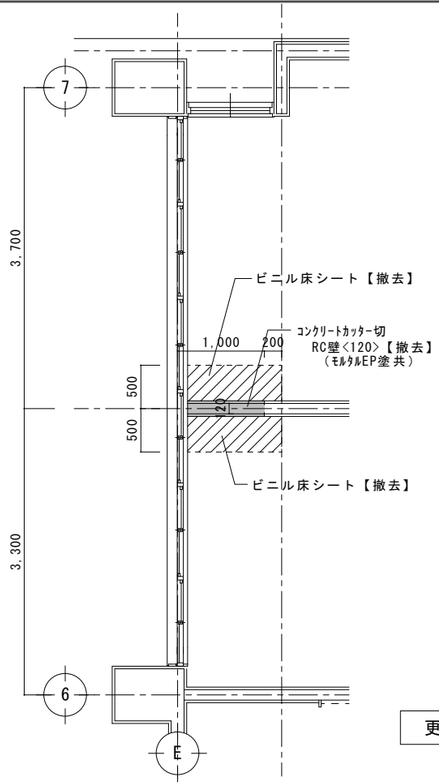
F通展開図



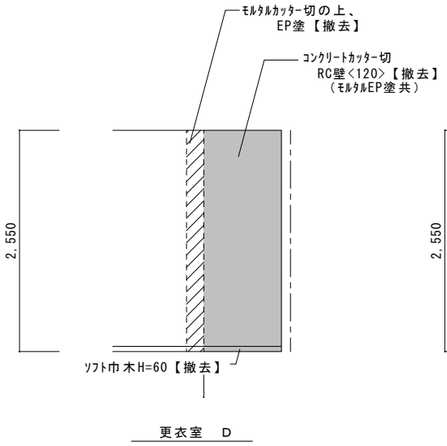
2通展開図

株式会社 WASHIO	鷲尾建築設計事務所 〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1 TEL：079-284-1491 FAX：079-284-1446	CONSTRUCTION NAME 篠山市立西紀体育館耐震補強工事		DRAWING NAME 【改修前・後】器具庫詳細図
		APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY DRAWN BY	SCALE 1：50 / DRAWING NO A－22

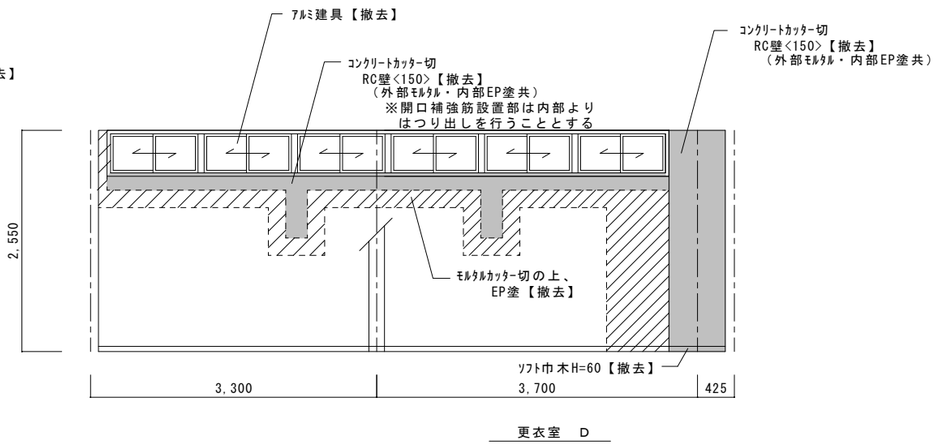
改修前



更衣室平面詳細図

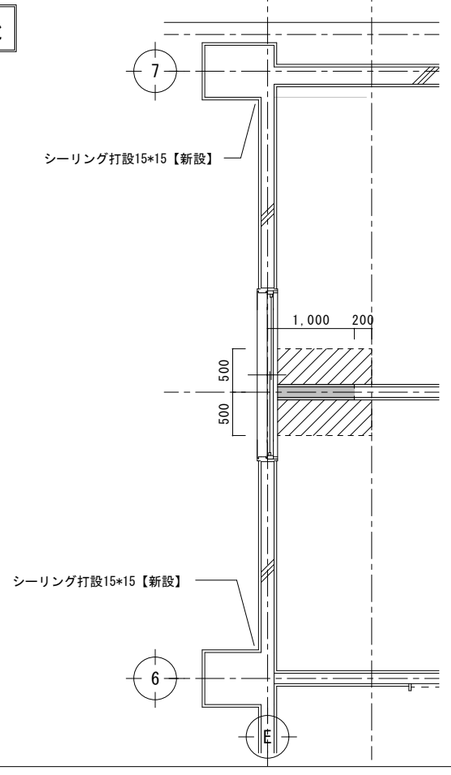


更衣室平面詳細図

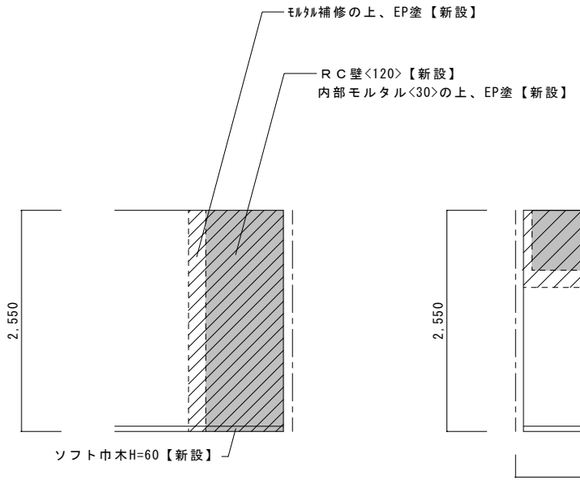


更衣室平面詳細図

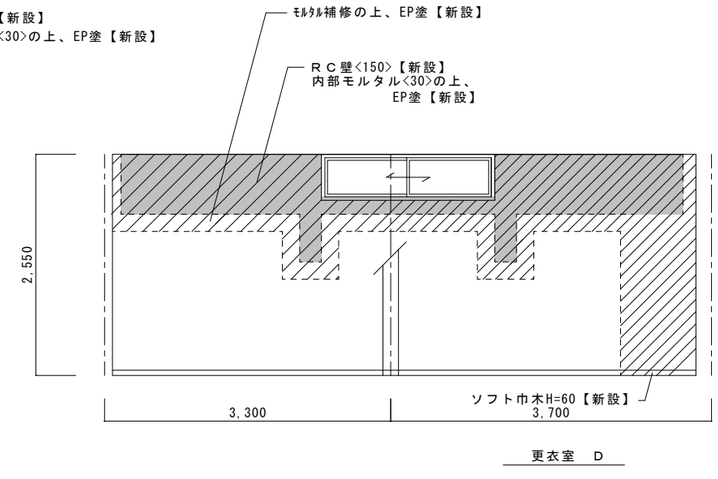
改修後



更衣室平面詳細図



更衣室展開図



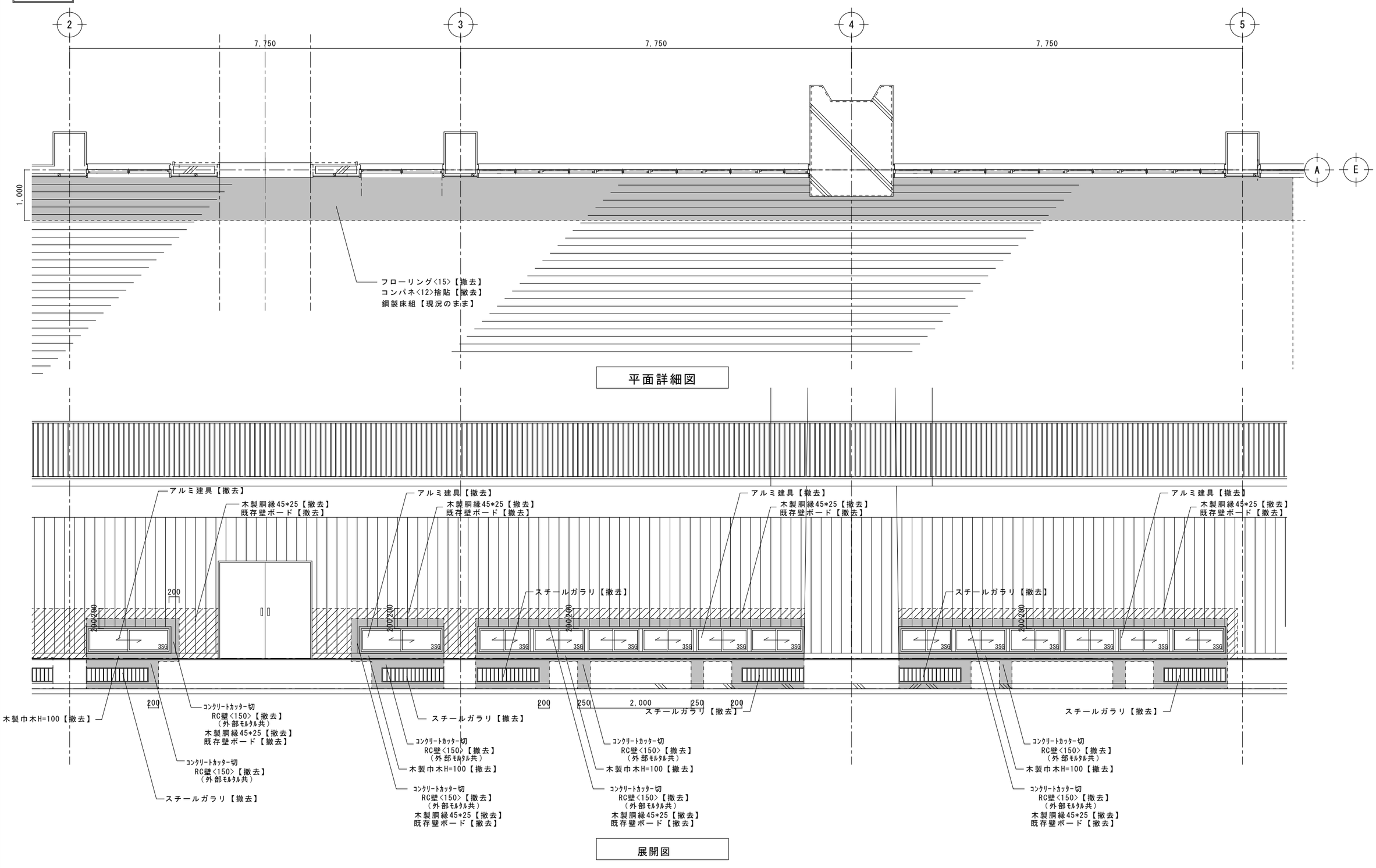
更衣室展開図

※　新規コンクリート打設部周囲外部シーリング打設15*15
内部コンクリート目地切10*10とする

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	篠山市立西紀体育館耐震補強工事	DRAWING NAME	【改修前・後】１階更衣室詳細図 Ａ通６－７間
APPROVED BY １級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY / DRAWIN BY	SCALE	1：50
		DRAWING NO	Ａ－ 23

改修前

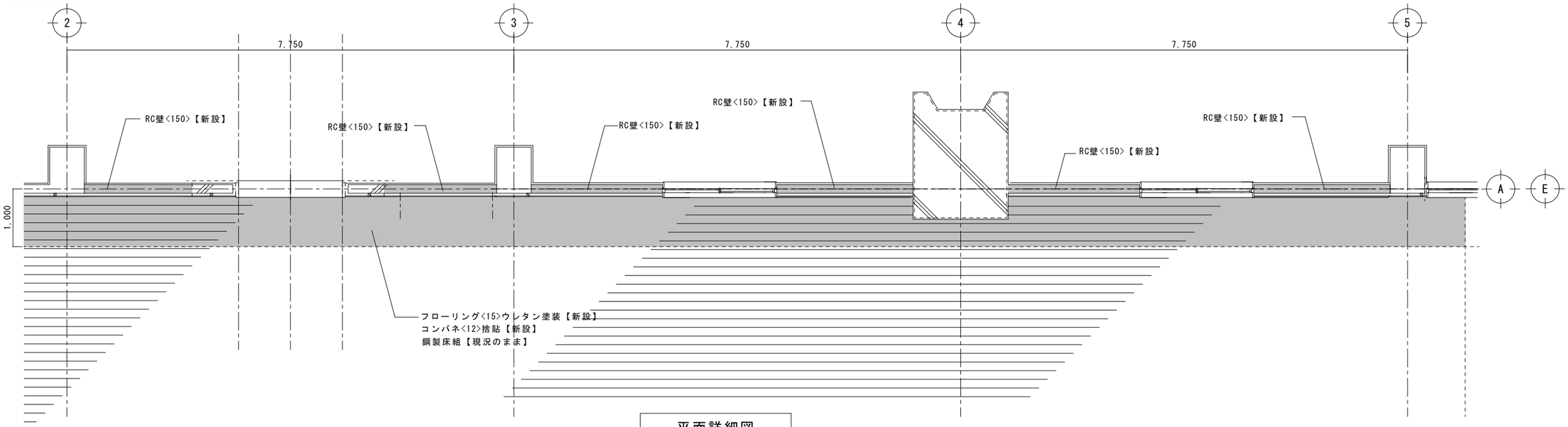


平面詳細図

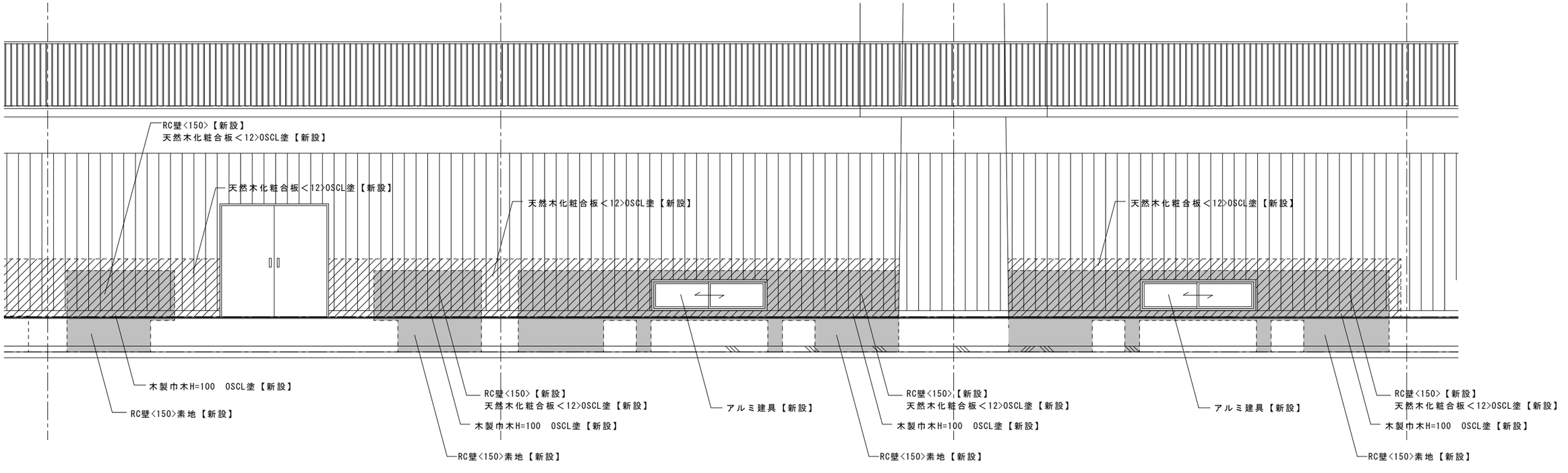
展開図

株式会社 WASHIO	鷲尾建築設計事務所 〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1 TEL：079-284-1491 FAX：079-284-1446	CONSTRUCTION NAME 篠山市立西紀体育館耐震補強工事			DRAWING NAME 【改修前】アリーナ詳細図 1
		APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWIN BY	SCALE 1：50 / DRAWING NO A－ 24

改修後



平面詳細図



展開図

※　新規コンクリート打設部周囲外部シーリング打設15*15
内部コンクリート目地切10*10とする

株式会社 鷲尾建築設計事務所
WASHIO
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME
【改修後】アリーナ詳細図１
Ａ・Ｅ通

APPROVED BY
1級建築士
大臣登録 第96307号
細田 美弘

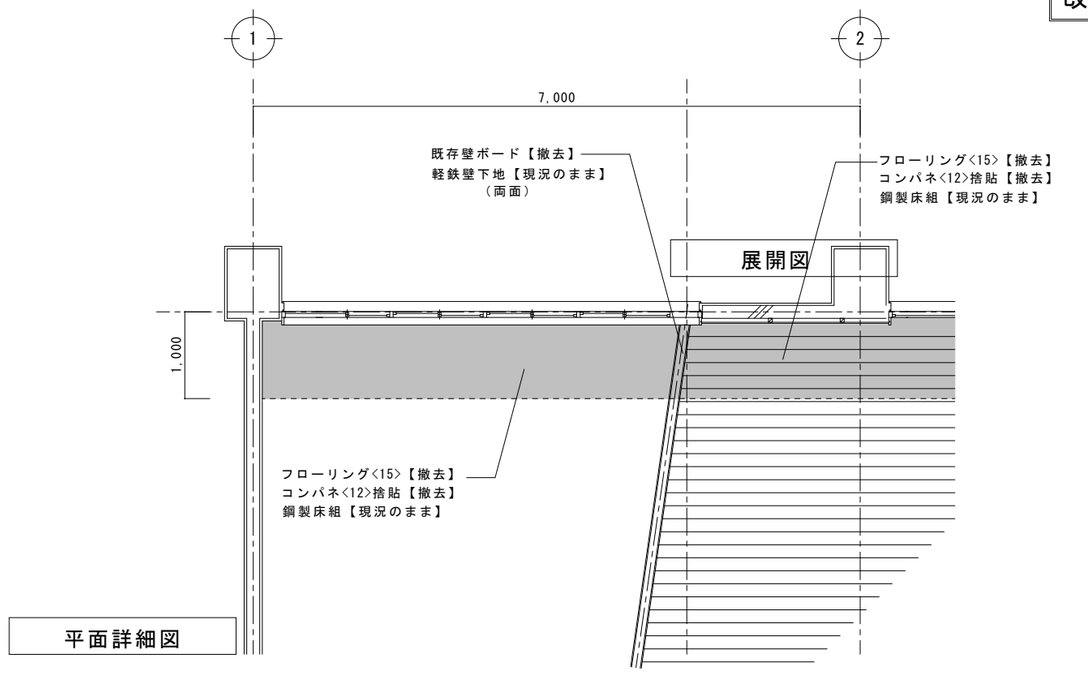
CHECKED BY

DRAWN BY

SCALE
1：50

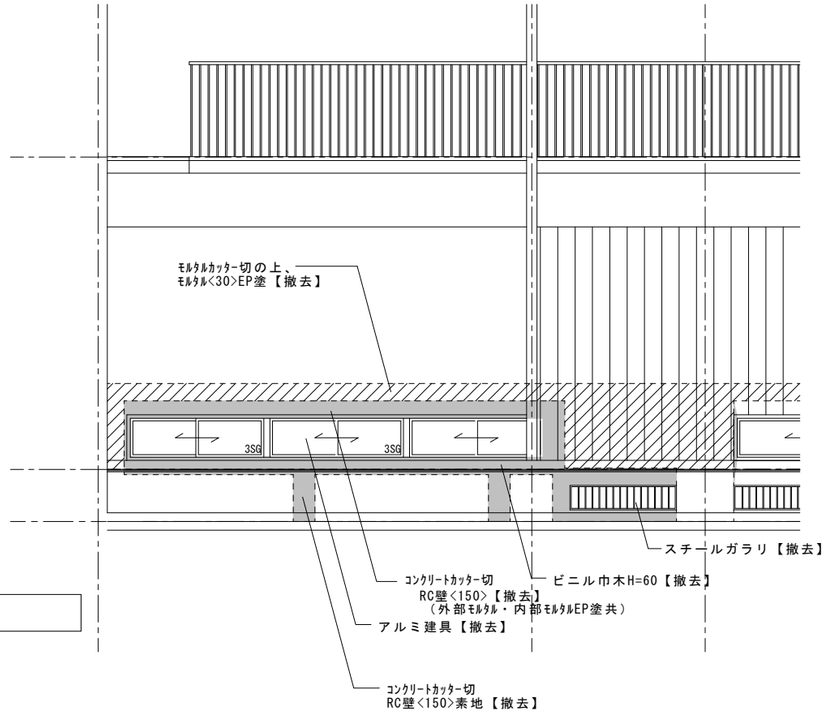
DRAWING NO
Ａ－ 25

改修前



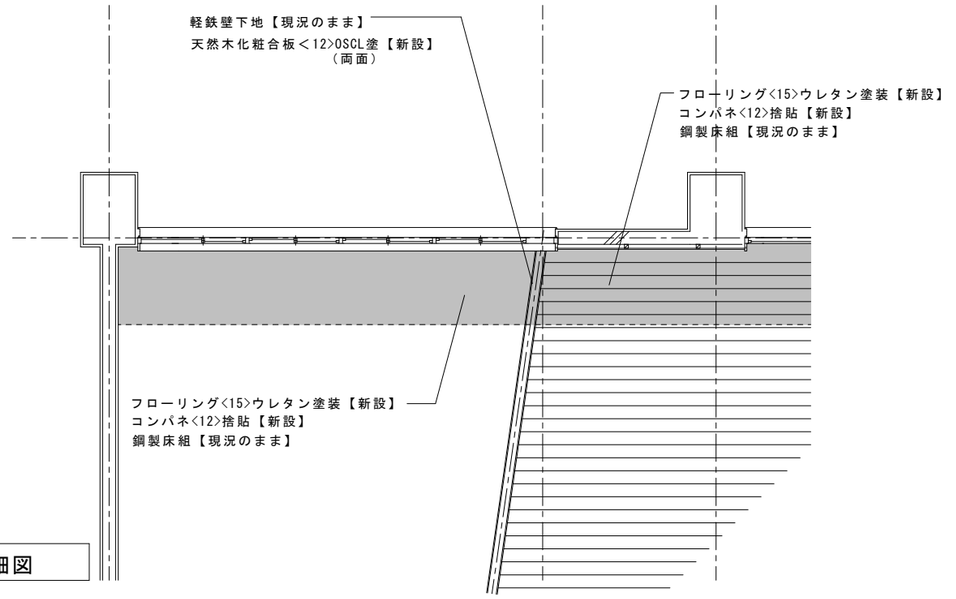
展開図

平面詳細図

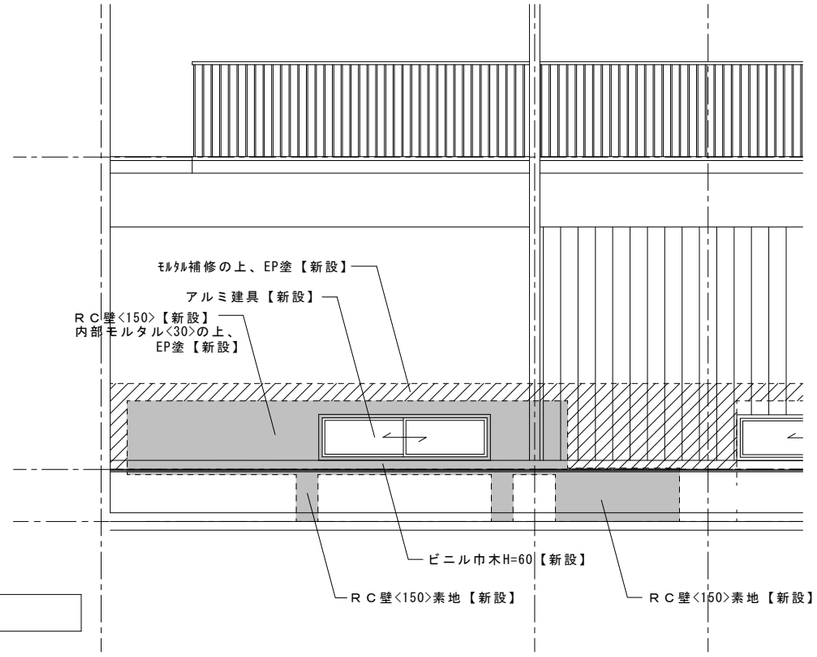


展開図

改修後



平面詳細図



展開図

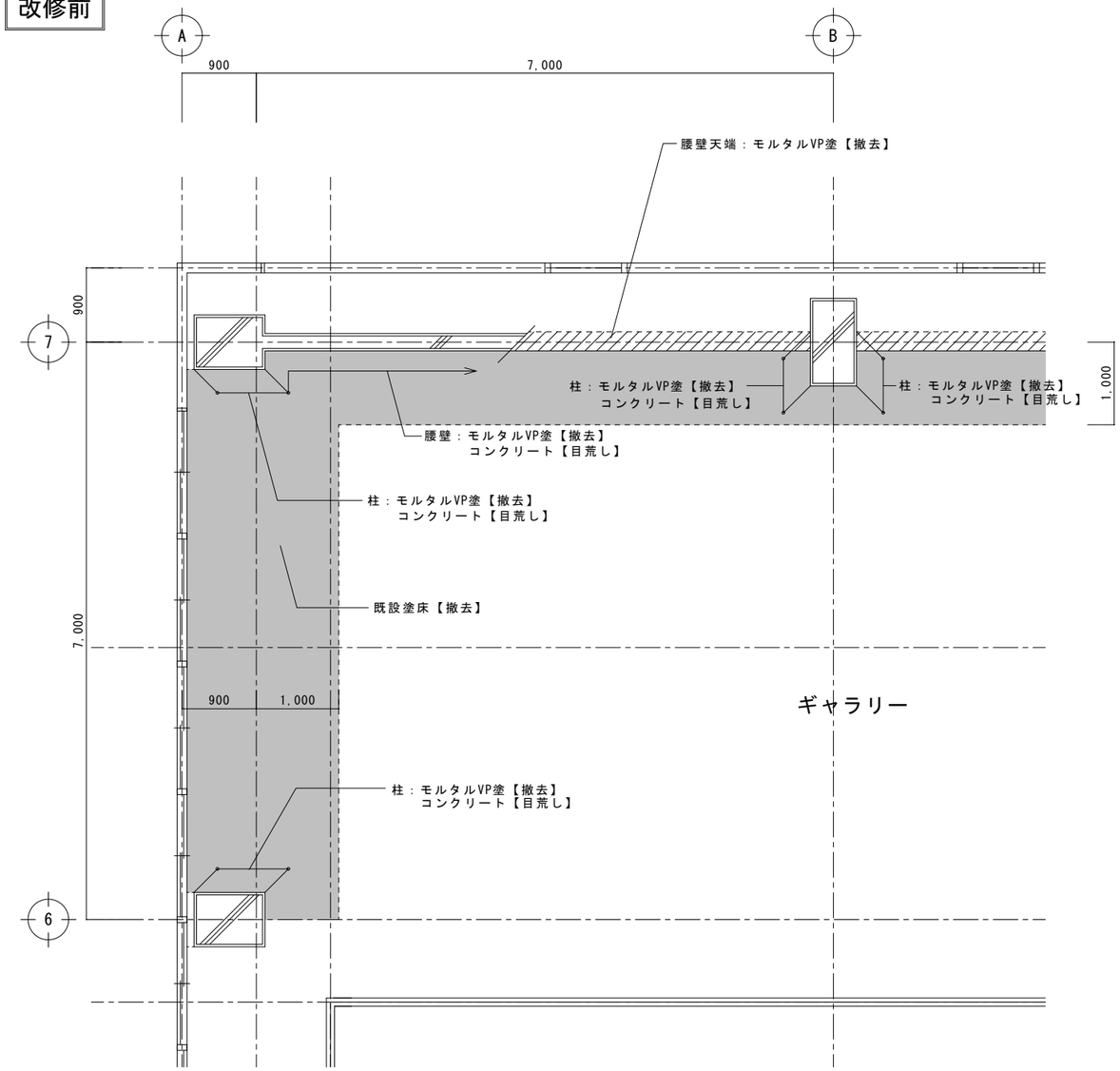
※　新規コンクリート打設部周囲外部シーリング打設15*15
内部コンクリート目地切10*10とする

株式会社 鷲尾建築設計事務所
WASHIO
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

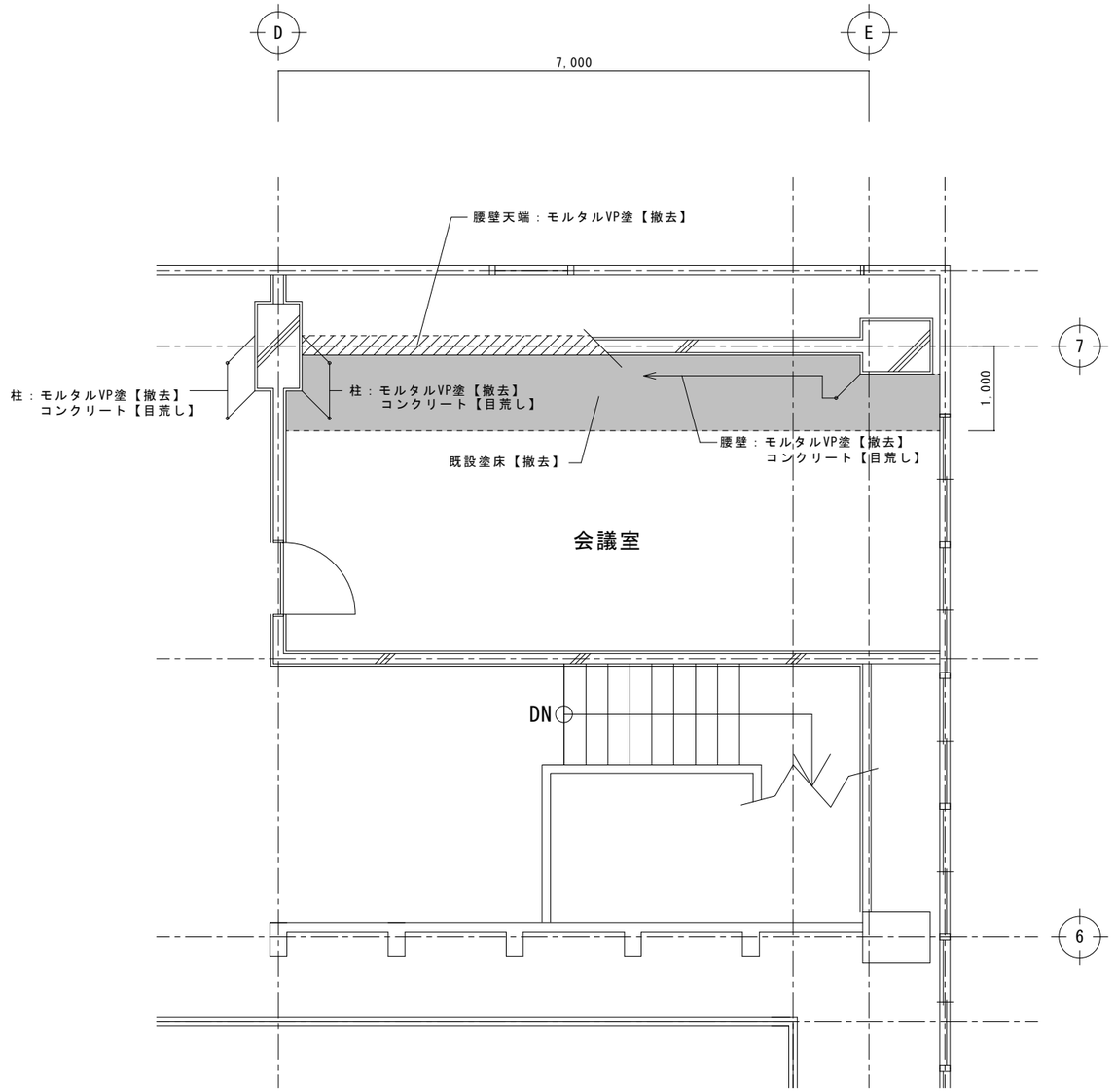
CONSTRUCTION NAME	DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事	【改修前・後】アリーナ詳細図２ Ａ・Ｅ通

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWIN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			1：50	Ａ－ 26

改修前



平面詳細図

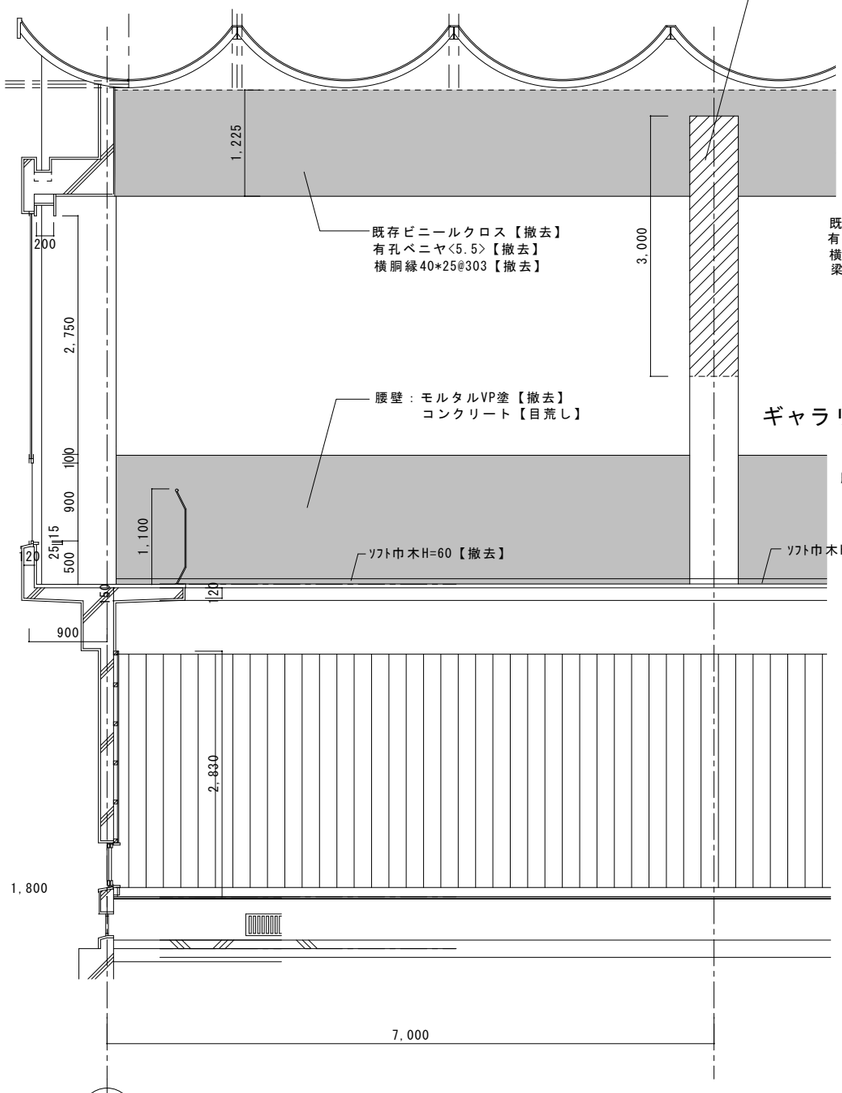


平面詳細図

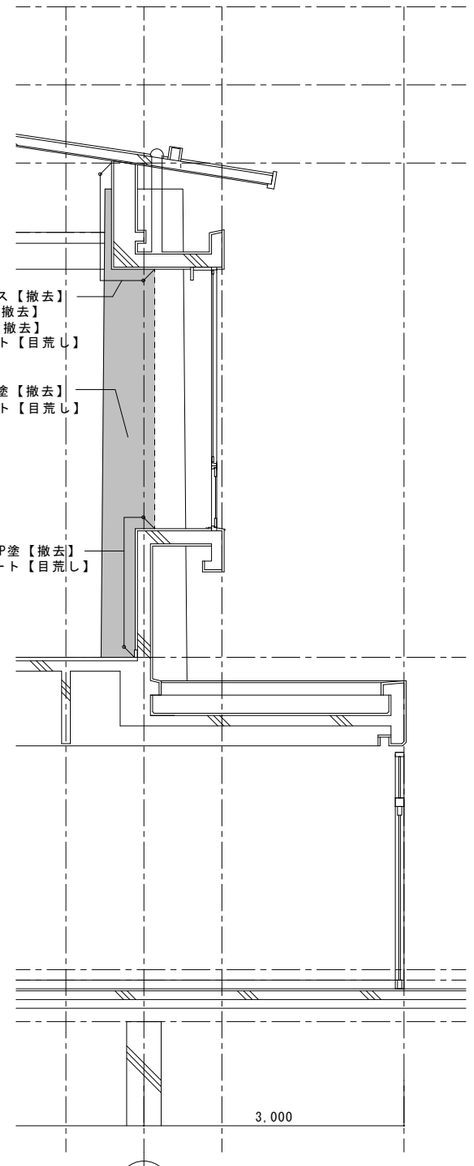
株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

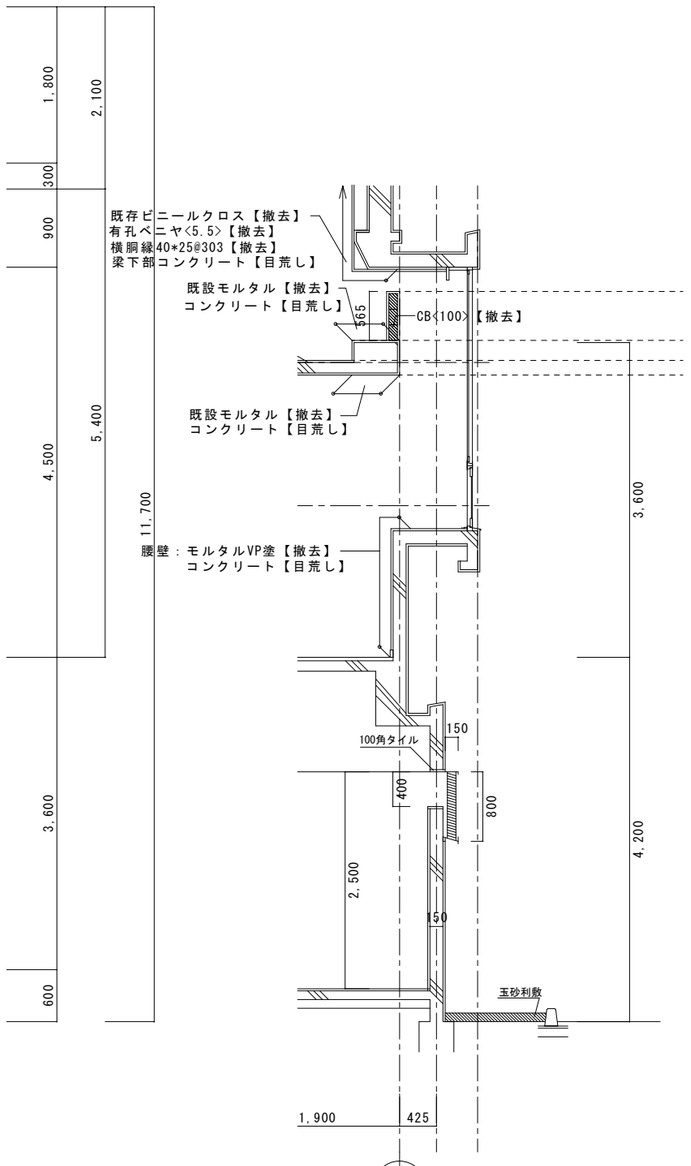
CONSTRUCTION NAME				DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事				【改修前】２階ギャラリー 平面詳細図
APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWIN BY		SCALE 1：50 / DRAWING NO A－27

改修前



断面詳細図

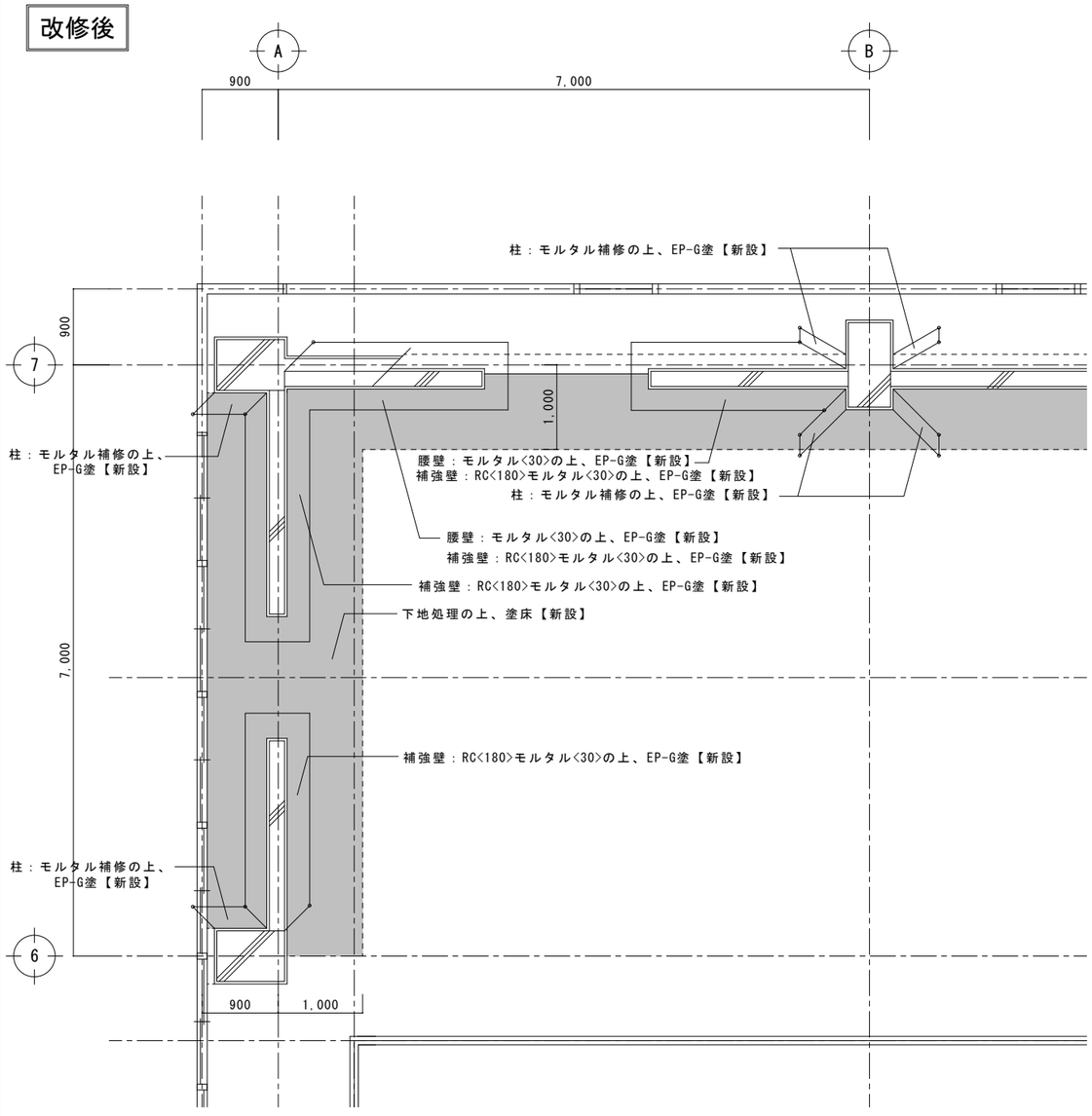




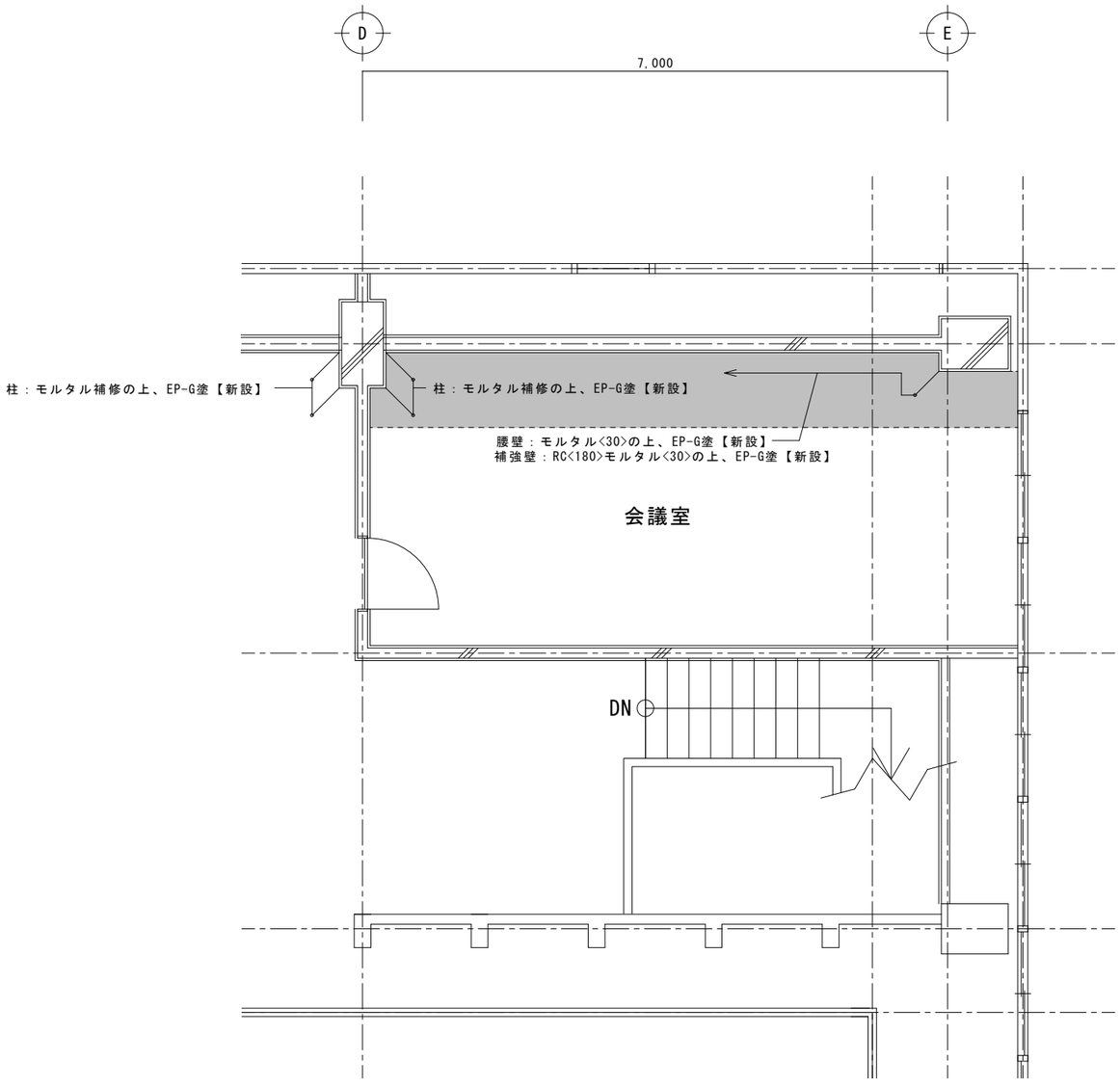
断面詳細図

株式会社 WASHIO	鷲尾建築設計事務所 〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1 TEL：079-284-1491 FAX：079-284-1446	CONSTRUCTION NAME 篠山市立西紀体育館耐震補強工事		DRAWING NAME 【改修前】２階ギャラリー 断面詳細図	
		APPROVED BY １級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	SCALE 1：50	DRAWING NO A－ 28

改修後



平面詳細図



平面詳細図

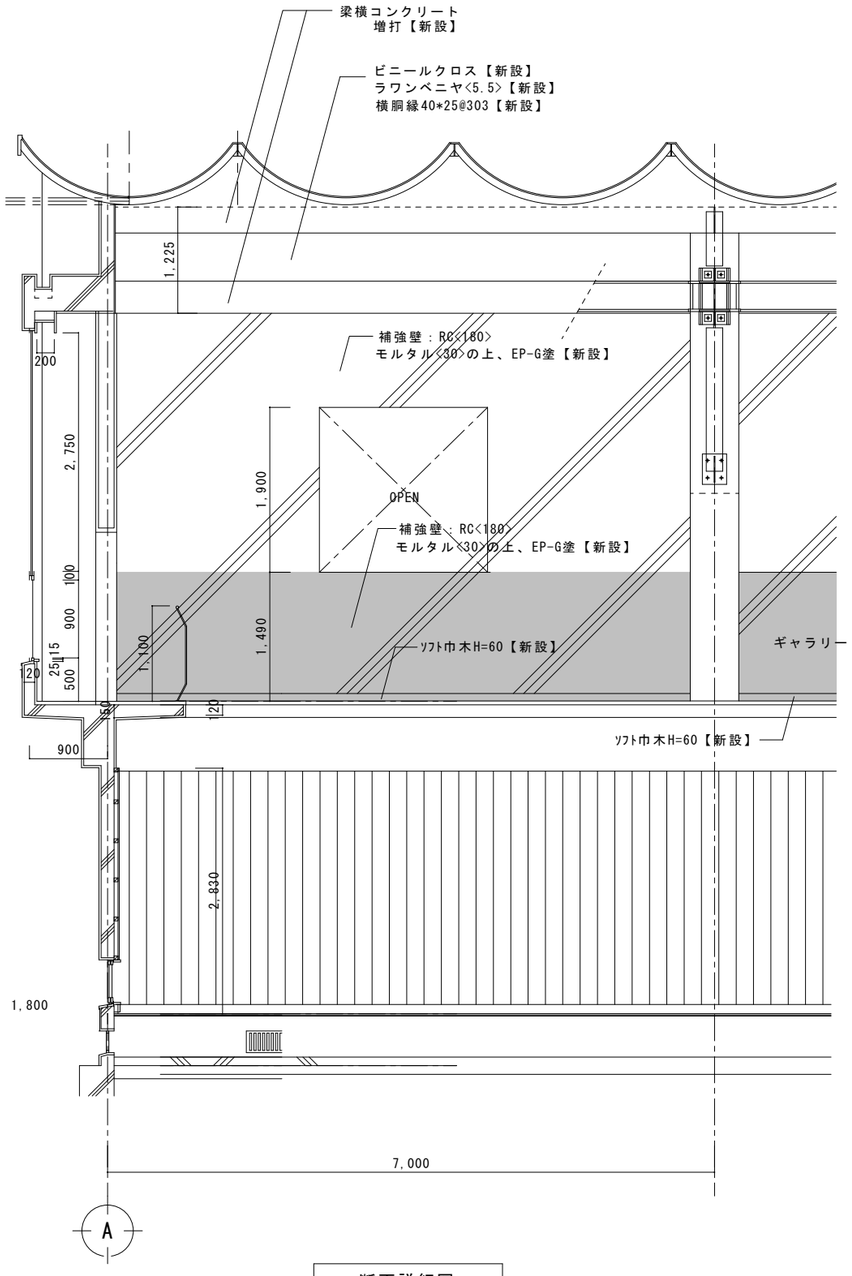
※　新規コンクリート打設部周囲外部シーリング打設15*15
内部コンクリート目地切10*10とする

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

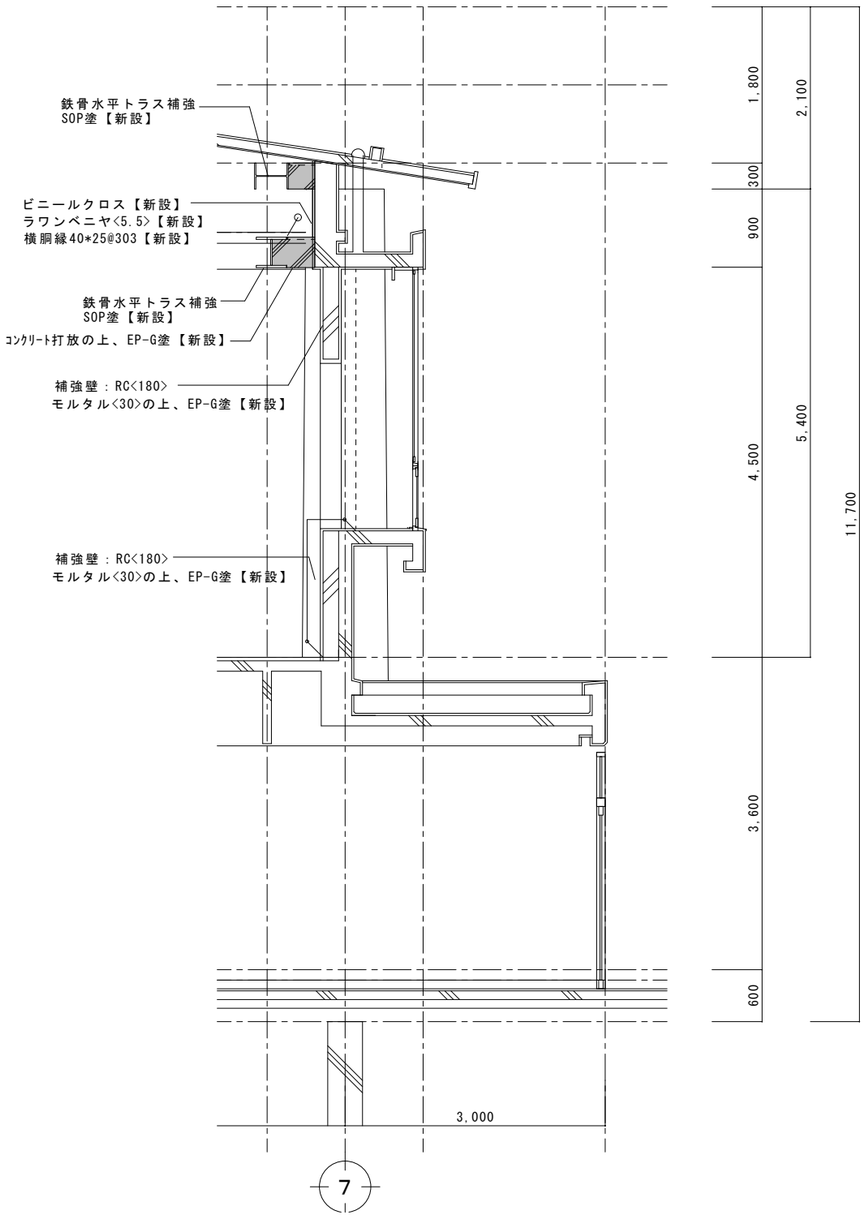
CONSTRUCTION NAME	DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事	【改修後】２階ギャラリー 平面詳細図

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			1：50	A－ 29

改修後



断面詳細図



断面詳細図

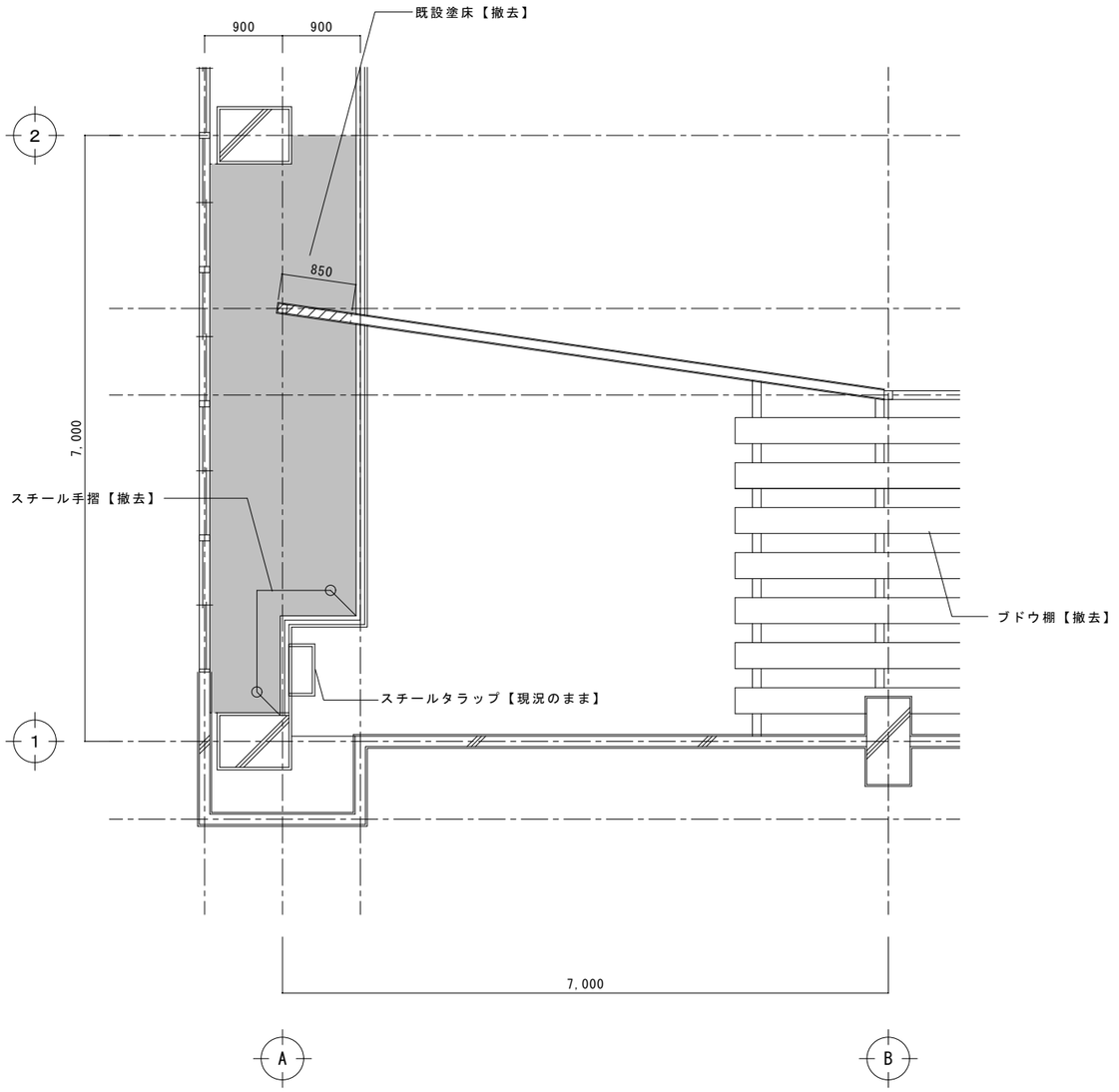
※　新規コンクリート打設部周囲外部シーリング打設15*15
内部コンクリート目地切10*10とする

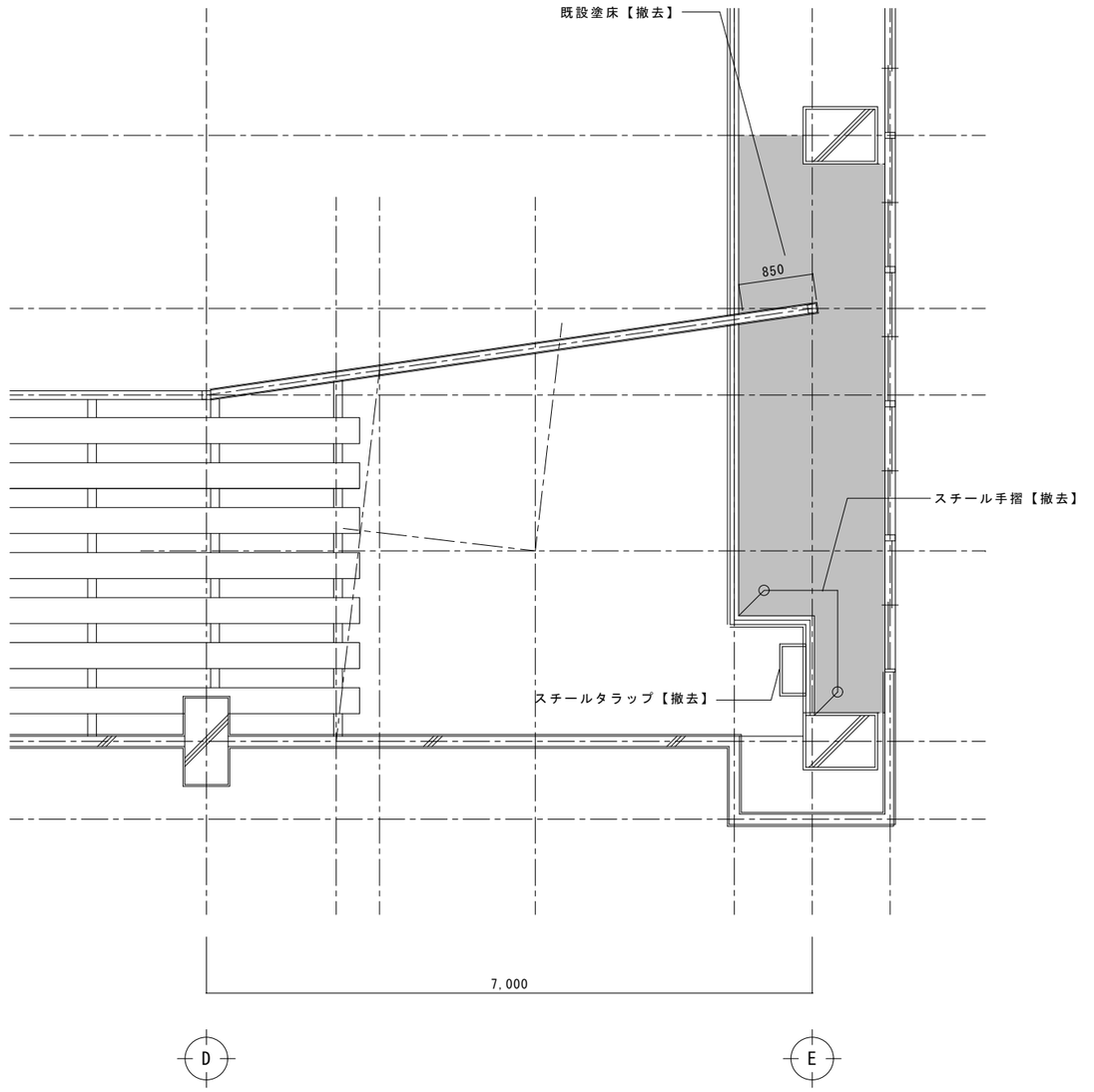
株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事	【改修後】２階ギャラリー 断面詳細図

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			1：50	A－ 30

改修前





平面詳細図

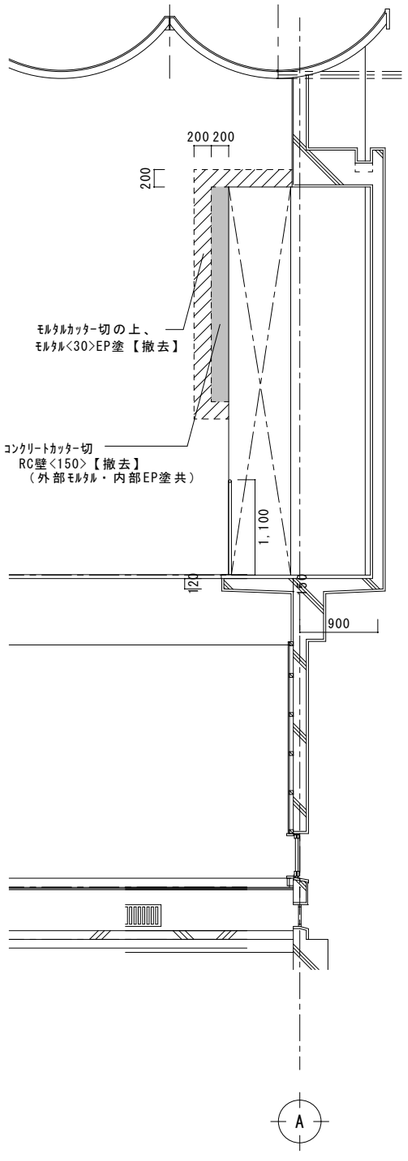
株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事

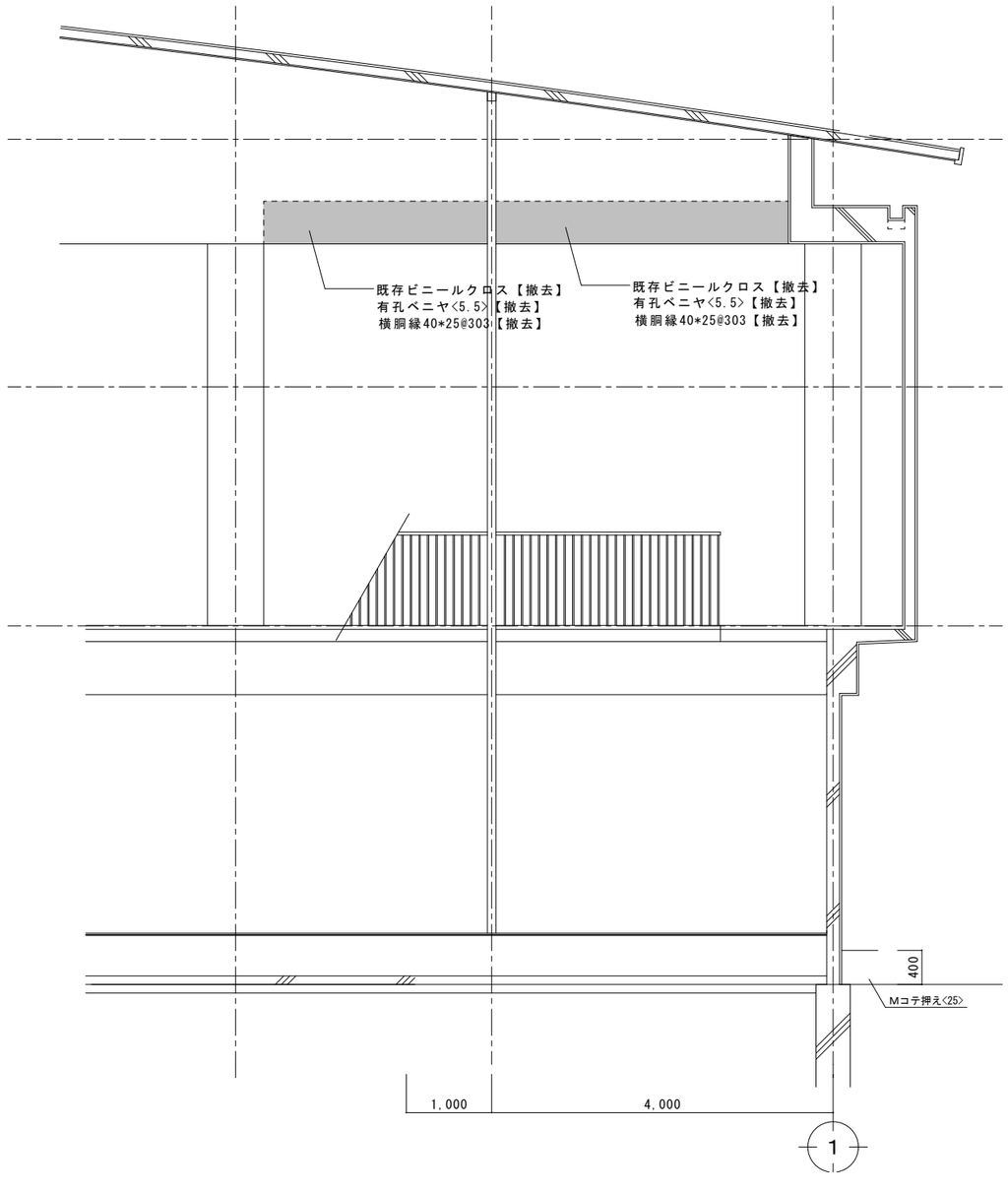
DRAWING NAME: 【改修前】２階舞台平面詳細図

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			1：50	A－ 31

改修前



断面詳細図

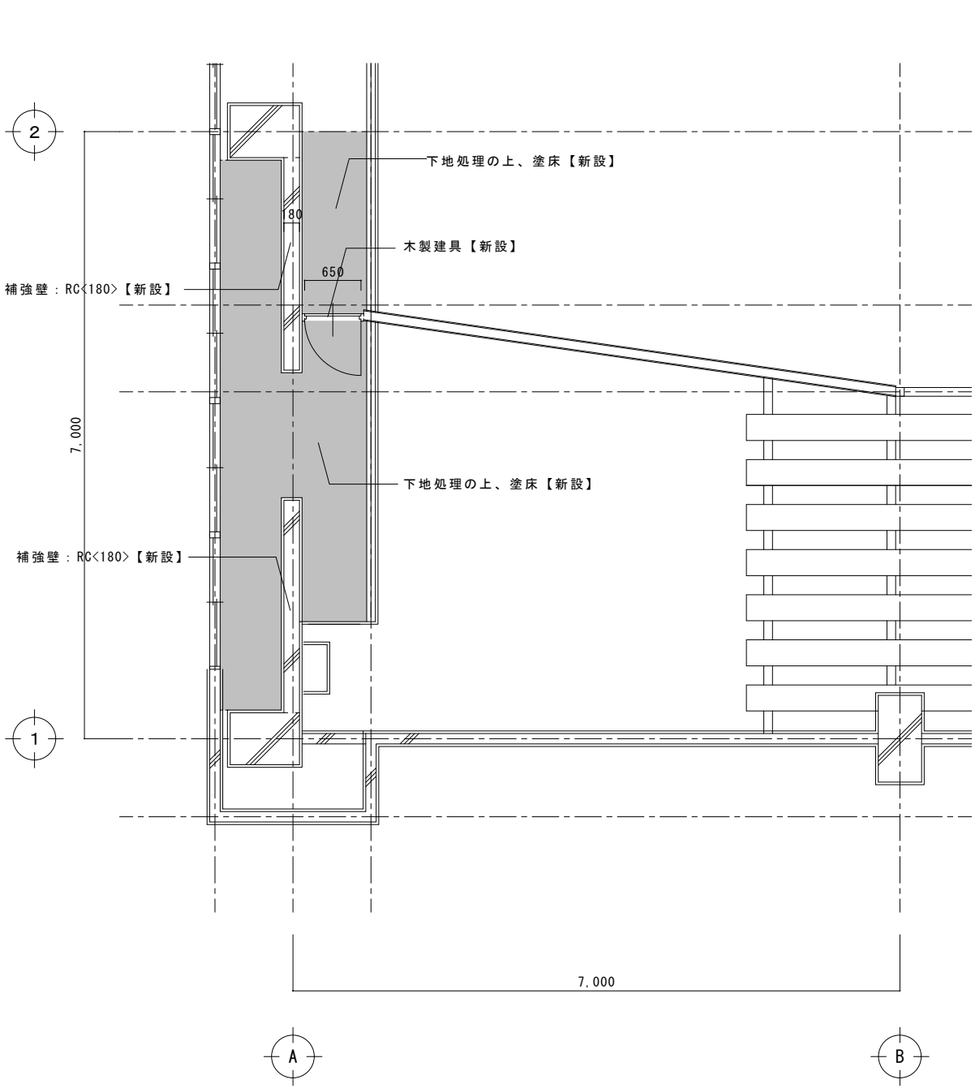


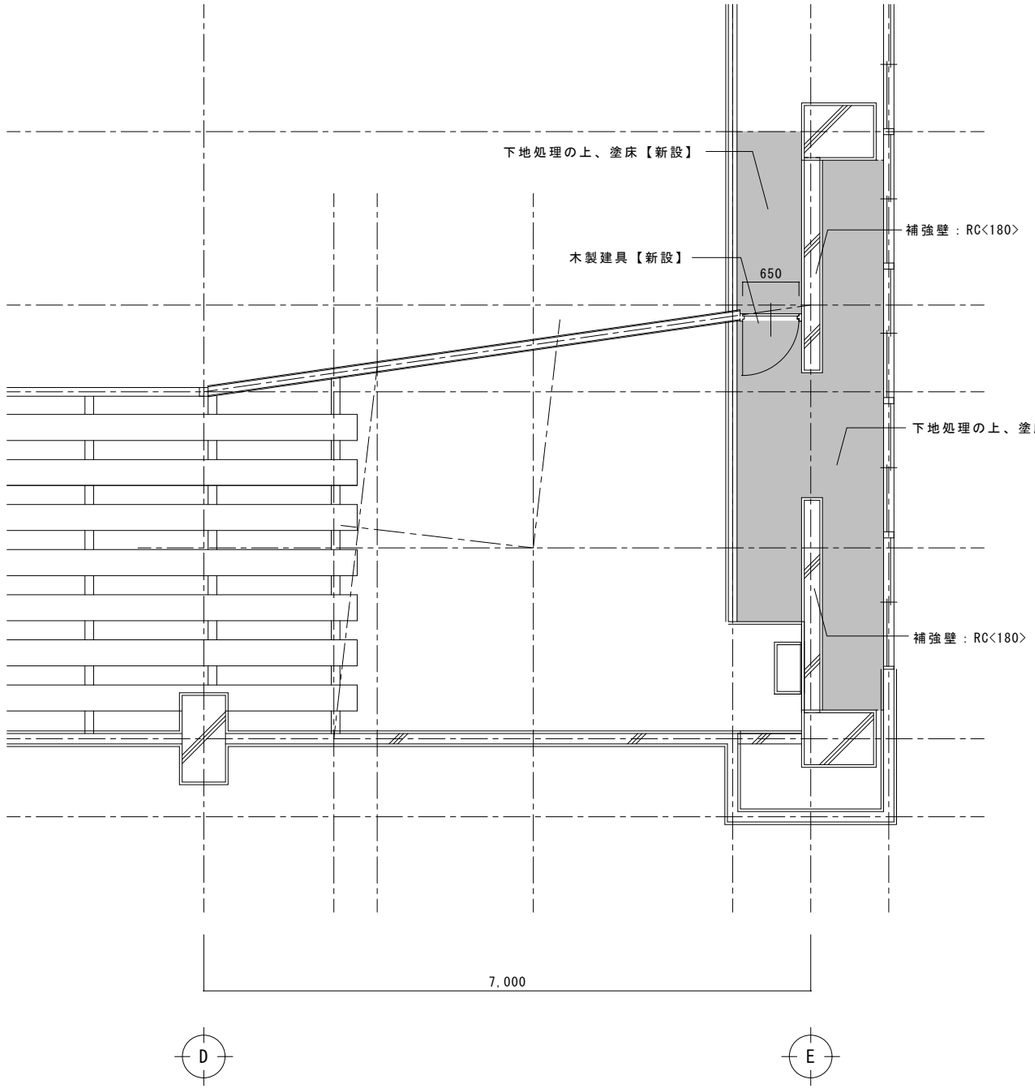
断面詳細図

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME				DRAWING NAME	
篠山市立西紀体育館耐震補強工事				【改修前】２階舞台断面詳細図	
APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWIN BY		SCALE 1：50	DRAWING NO A－ 32

改修後





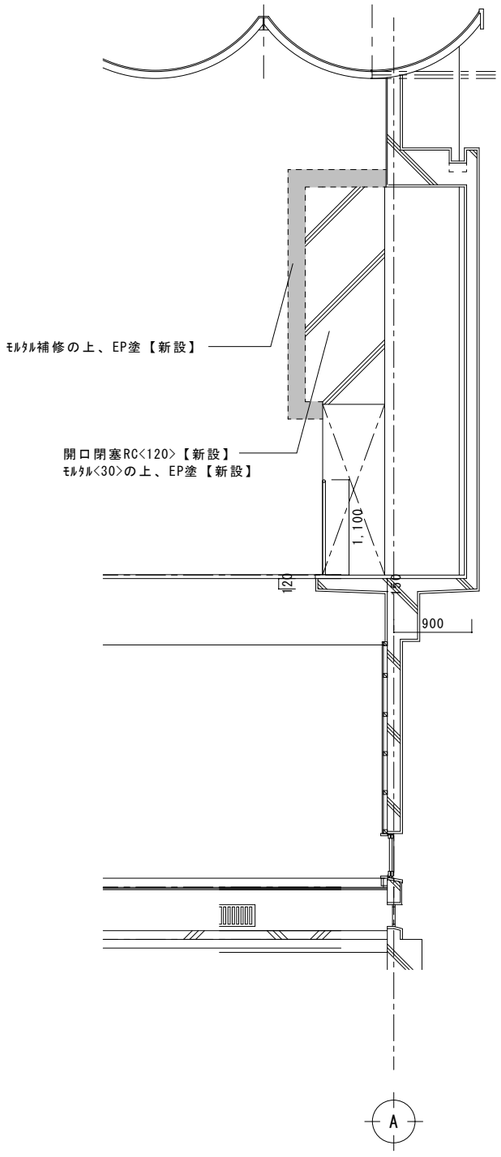
平面詳細図

※　新規コンクリート打設部周囲外部シーリング打設15*15
内部コンクリート目地切10*10とする

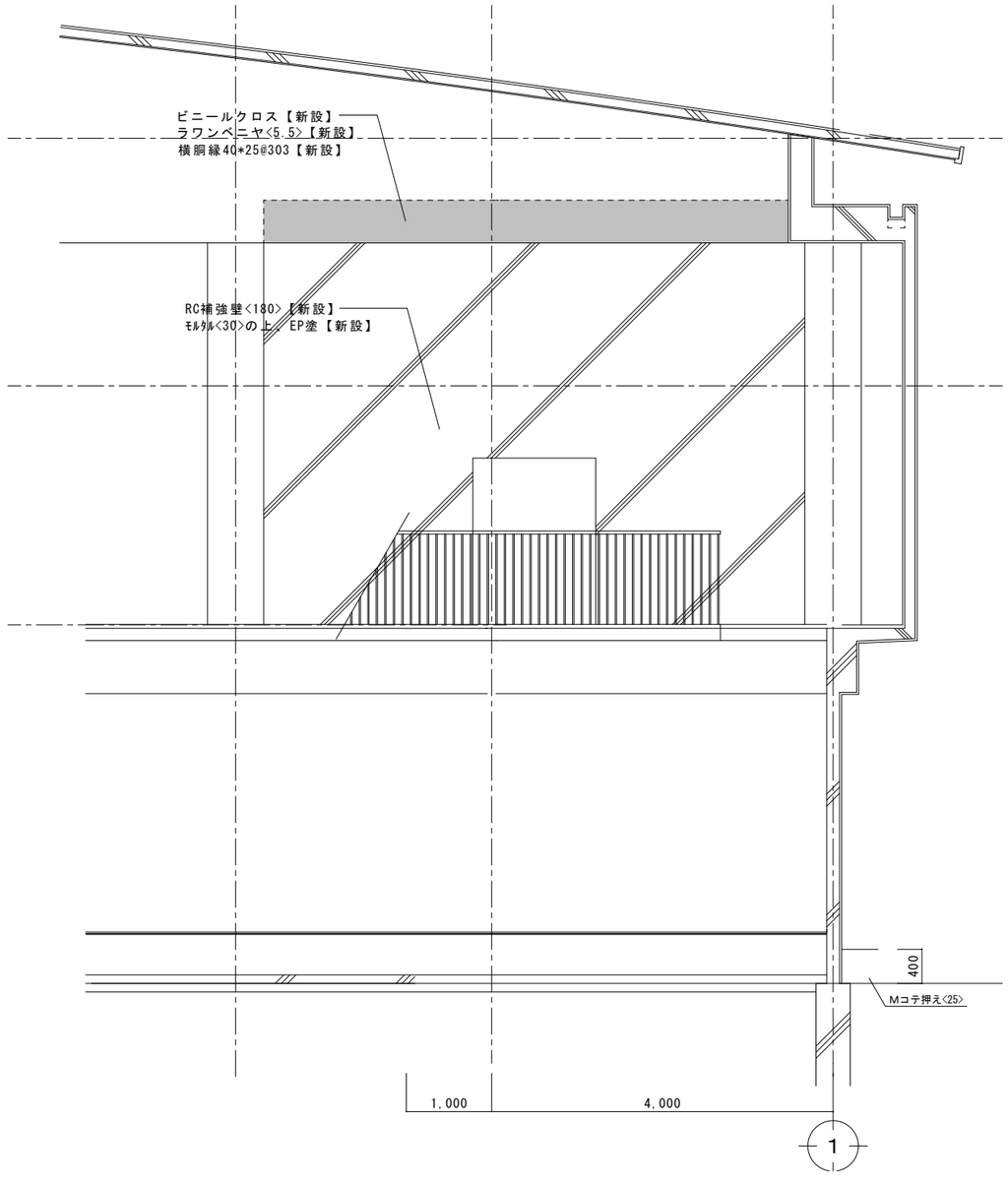
株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME				DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事				【改修後】２階舞台平面詳細図
APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWN BY		SCALE 1：50 / DRAWING NO A－ 33

改修後



断面詳細図



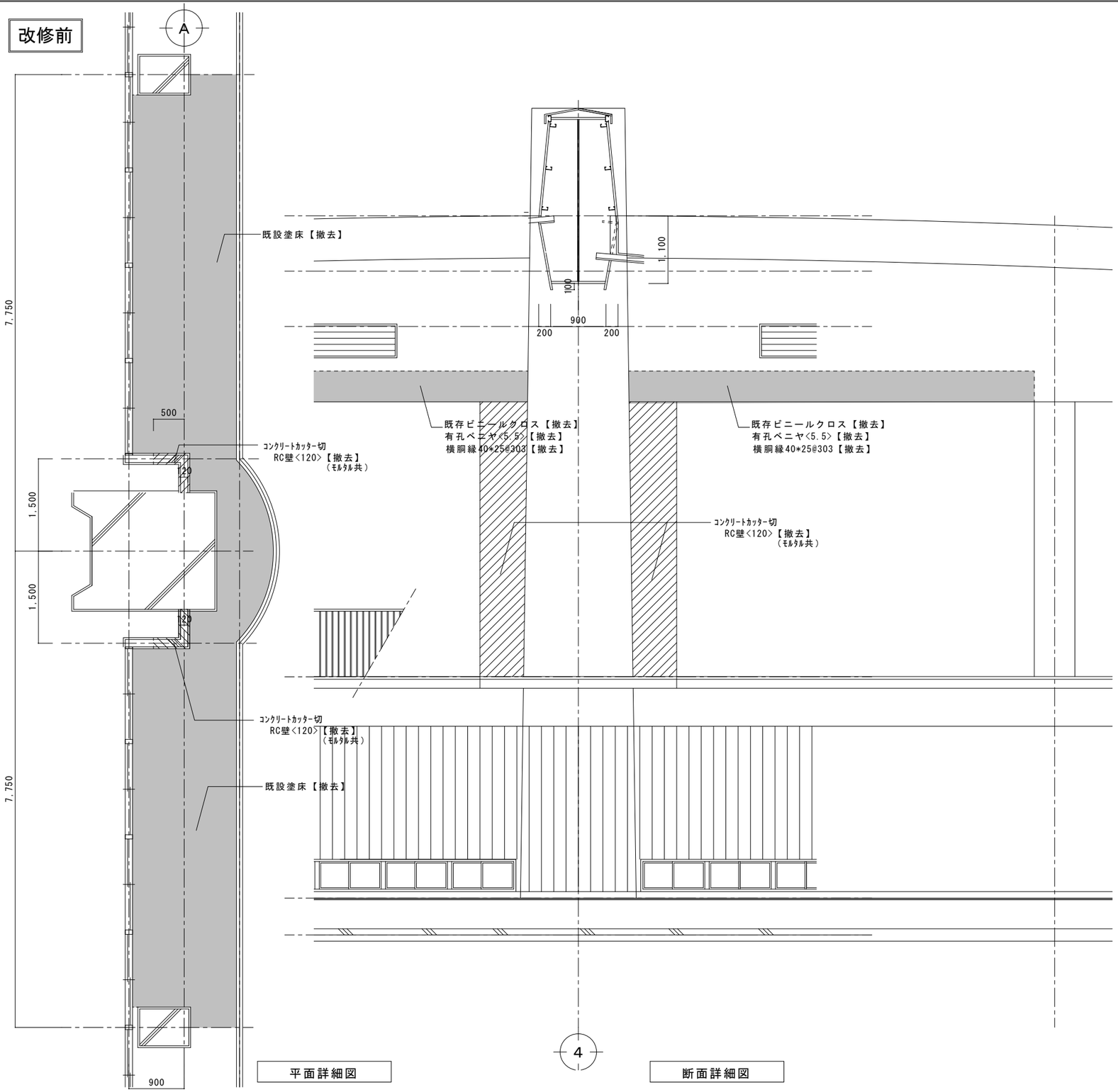
断面詳細図

※ 新規コンクリート打設部周囲外部シーリング打設15*15
内部コンクリート目地切10*10とする

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

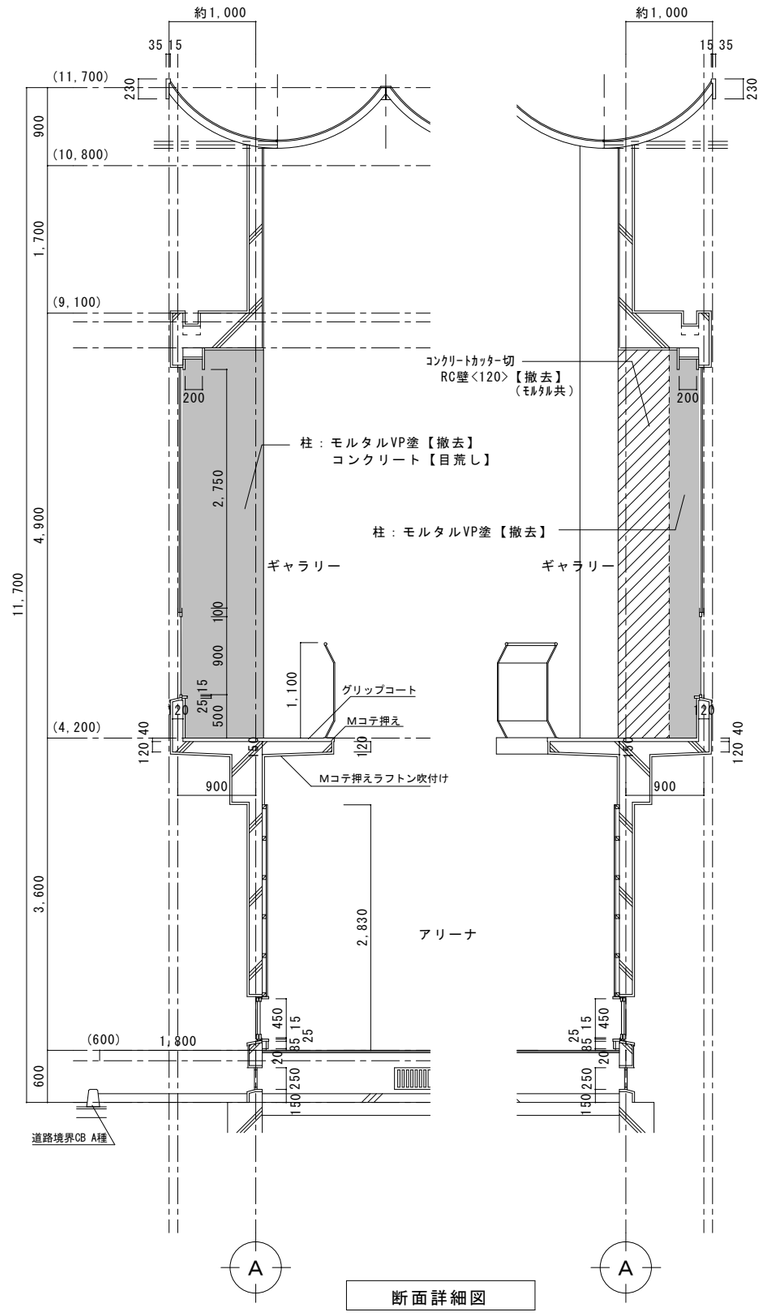
CONSTRUCTION NAME				DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事				【改修後】２階舞台断面詳細図
APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWIN BY		SCALE 1：50 / DRAWING NO A－34

改修前



平面詳細図

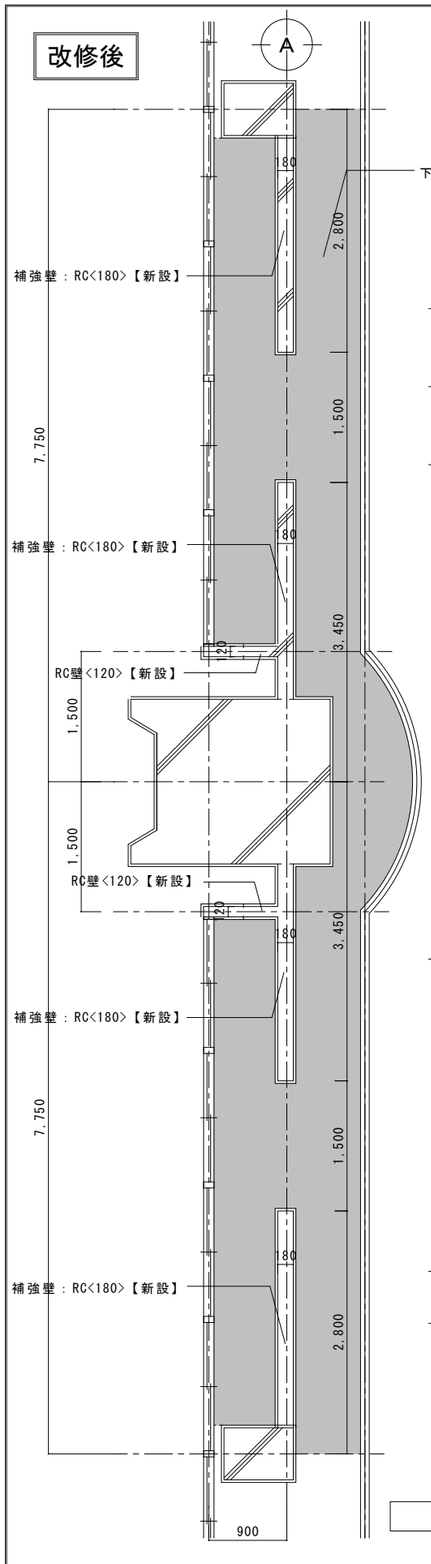
断面詳細図



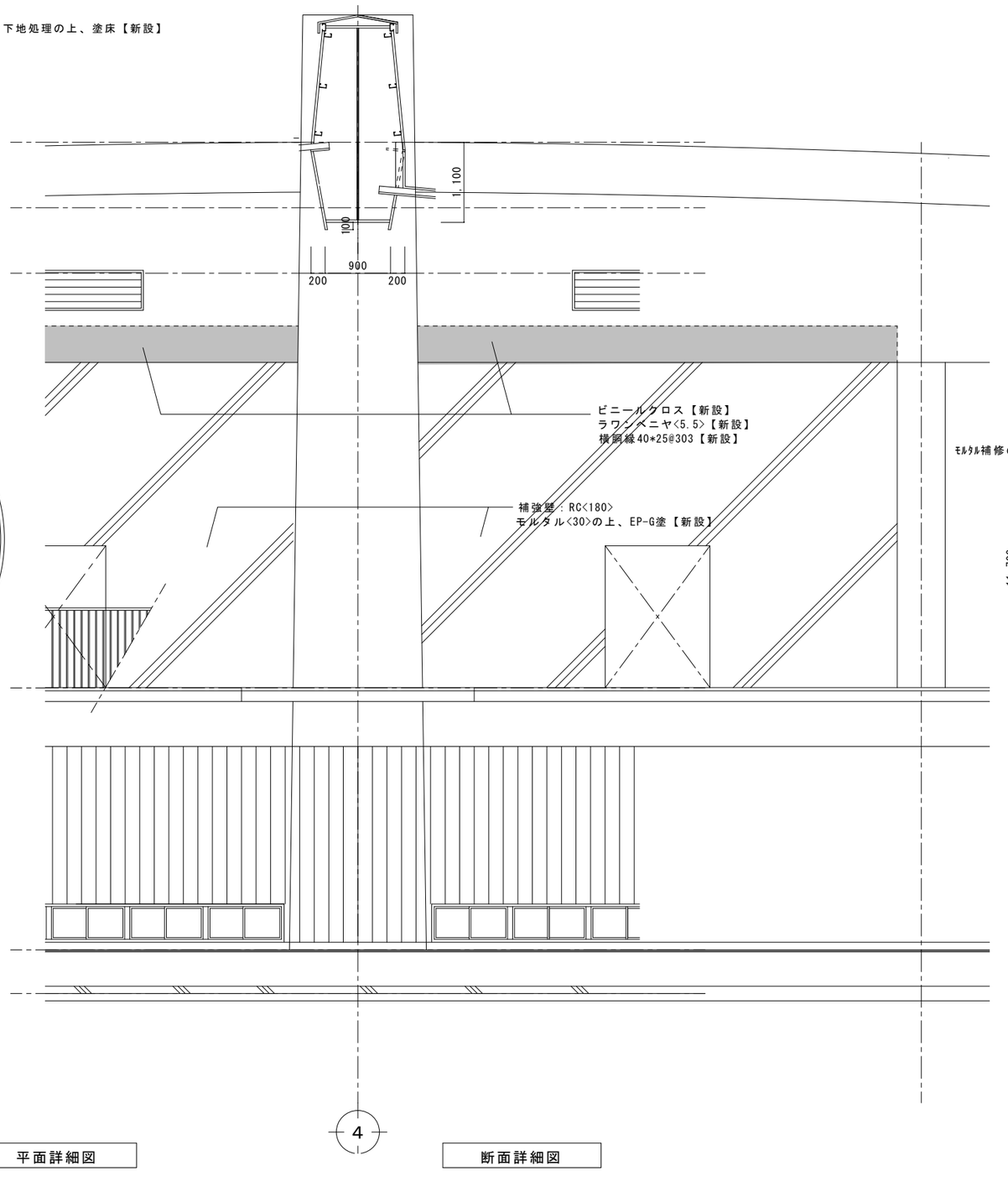
断面詳細図

株式会社 WASHIO	鷲尾建築設計事務所 〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1 TEL：079-284-1491 FAX：079-284-1446	CONSTRUCTION NAME 篠山市立西紀体育館耐震補強工事	DRAWING NAME 【改修前】２階キャットウォーク部 詳細図　A・E通
		APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘 / CHECKED BY / DRAWIN BY	SCALE 1：50
			DRAWING NO A－ 35

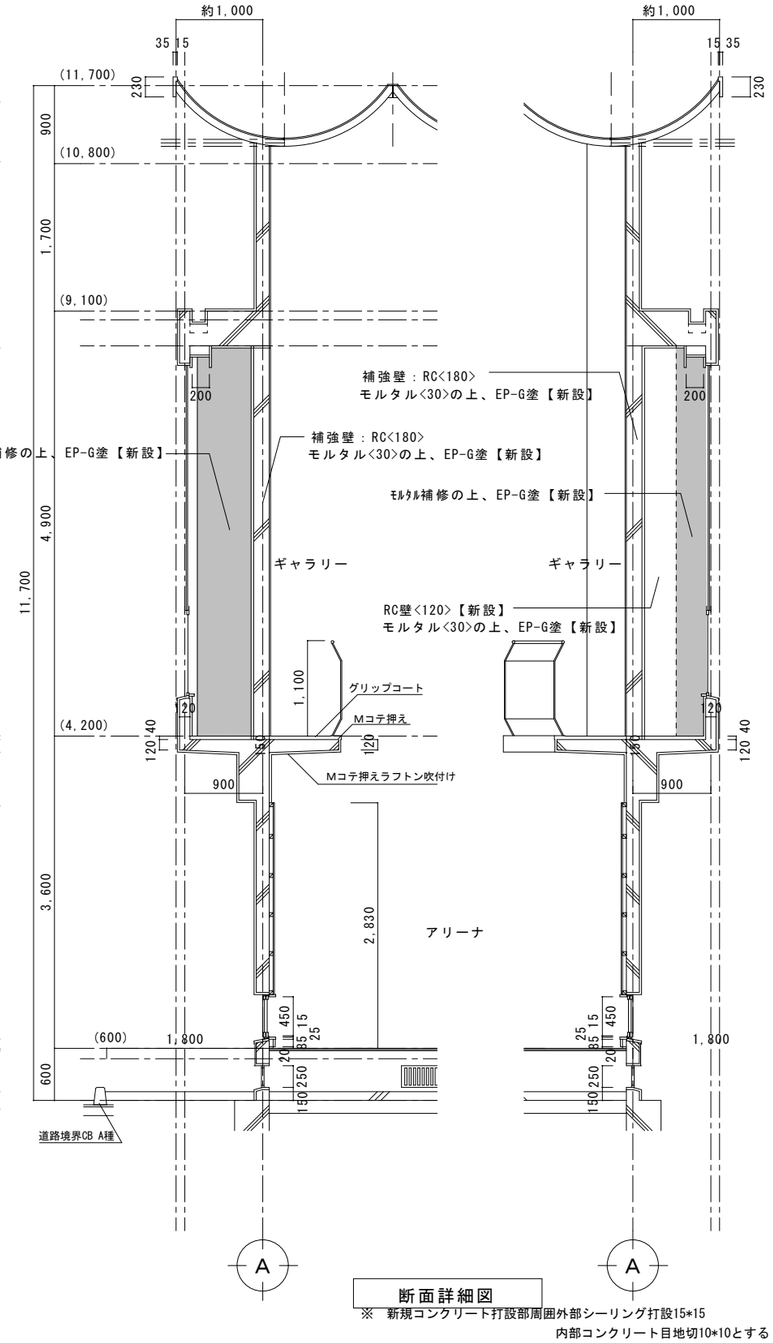
改修後



平面詳細図



断面詳細図



断面詳細図

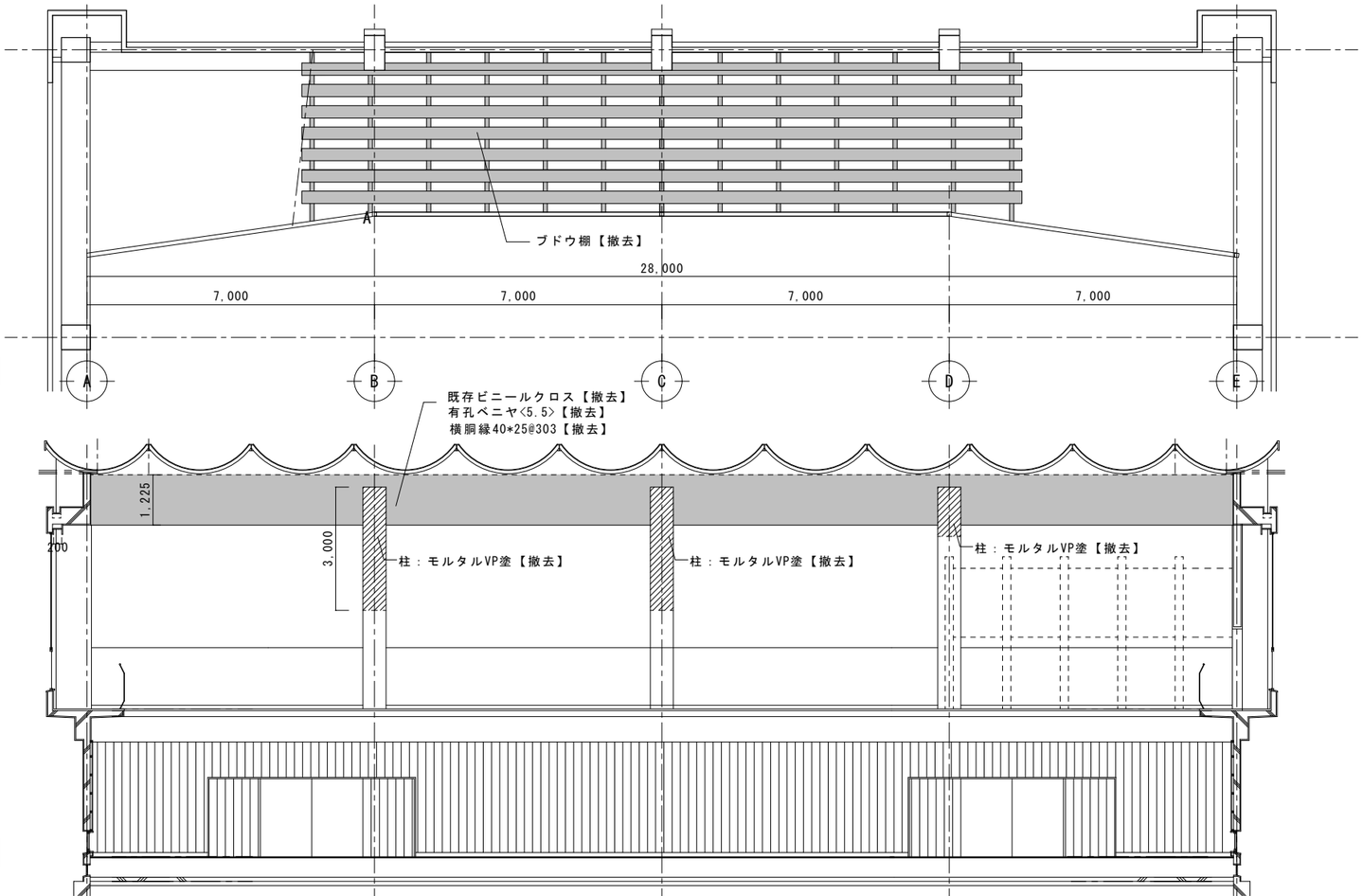
※ 新規コンクリート打設部周囲外部シーリング打設15*15
内部コンクリート目地切10*10とする

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

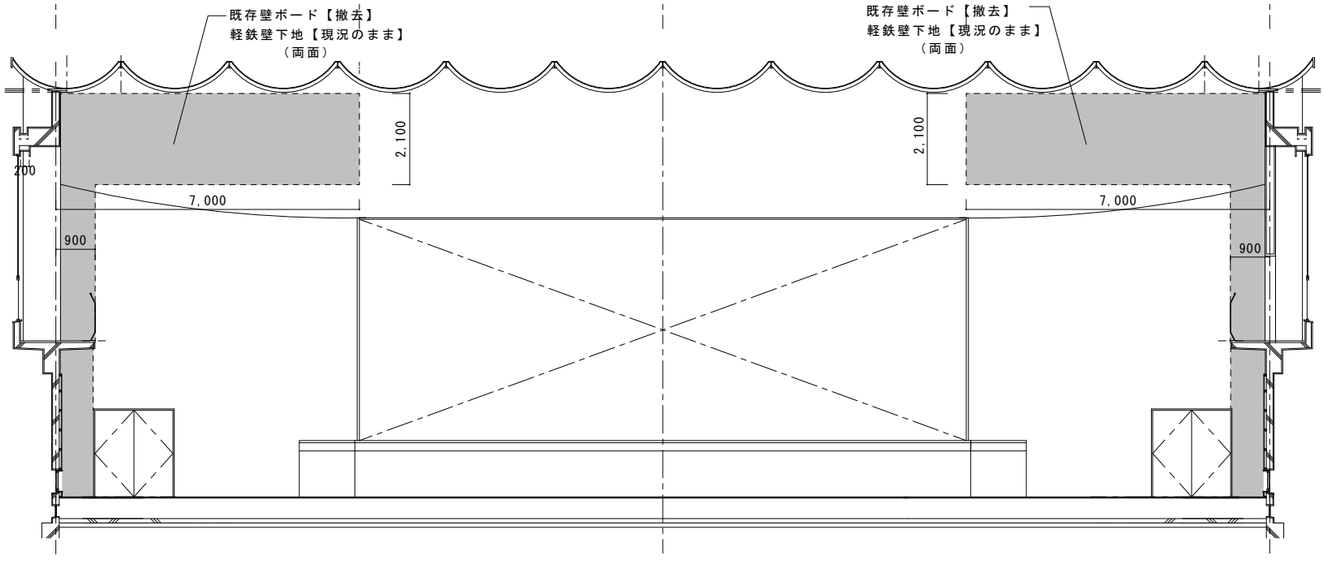
CONSTRUCTION NAME	篠山市立西紀体育館耐震補強工事
DRAWING NAME	【改修後】２階キャットウォーク部 詳細図 A・E通
APPROVED BY	1級建築士 大臣登録 第86307号 細田 美弘
CHECKED BY	
DRAWIN BY	
SCALE	1：50
DRAWING NO	A－ 36

改修前

平面詳細図



断面詳細図



断面詳細図

株式会社 WASHIO

鷲尾建築設計事務所

〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1

TEL：079-284-1491

FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME
【改修前】水平トラス設置部
詳細図 1

APPROVED BY
1級建築士
大臣登録 第96307号
細田 美弘

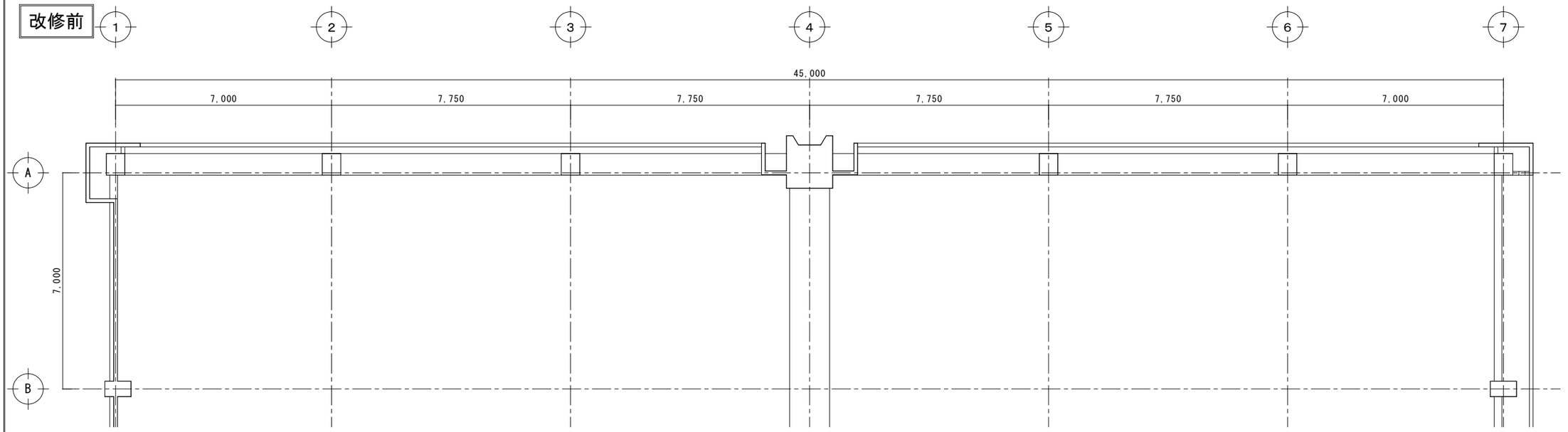
CHECKED BY

DRAWIN BY

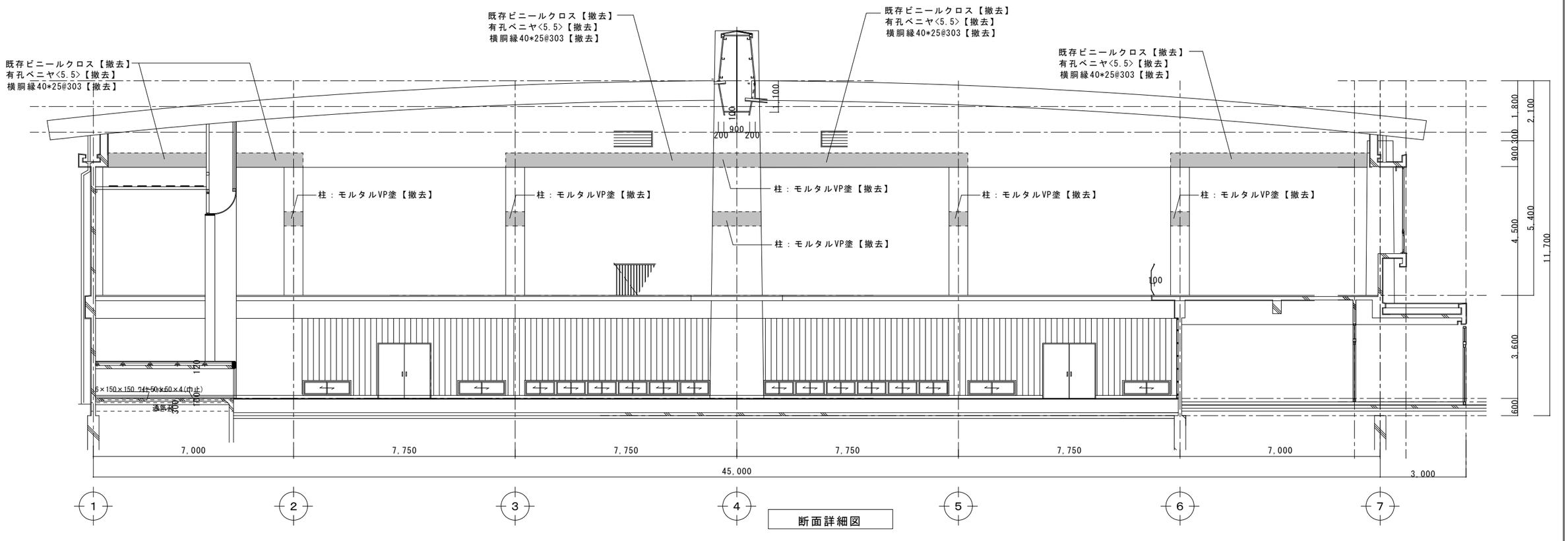
SCALE
1：50

DRAWING NO
A－ 37

改修前



平面詳細図

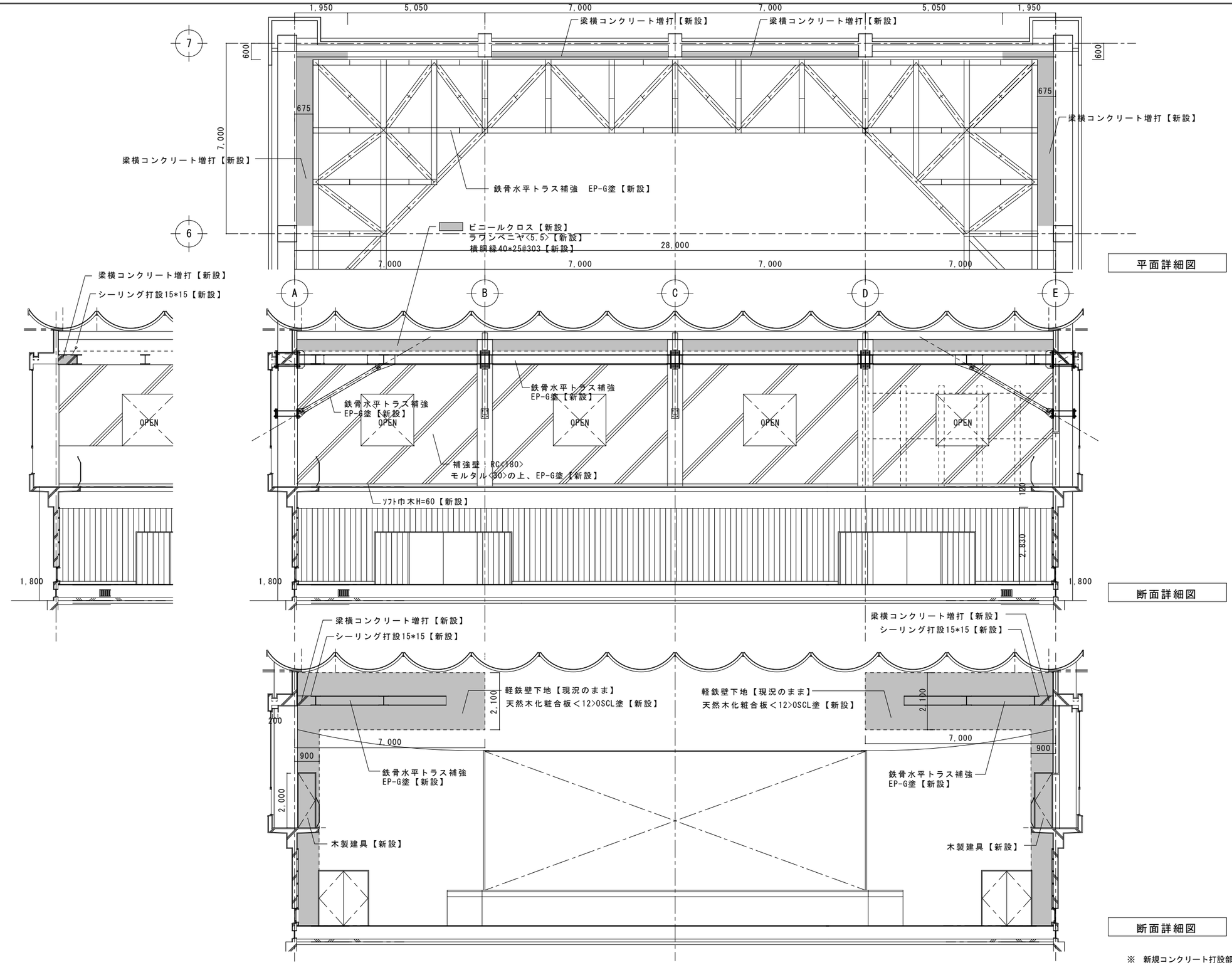


断面詳細図

株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事			DRAWING NAME: 【改修前】水平トラス設置部 詳細図２
APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE: 1：50
			DRAWING NO: A－ 38

改修後



平面詳細図

断面詳細図

断面詳細図

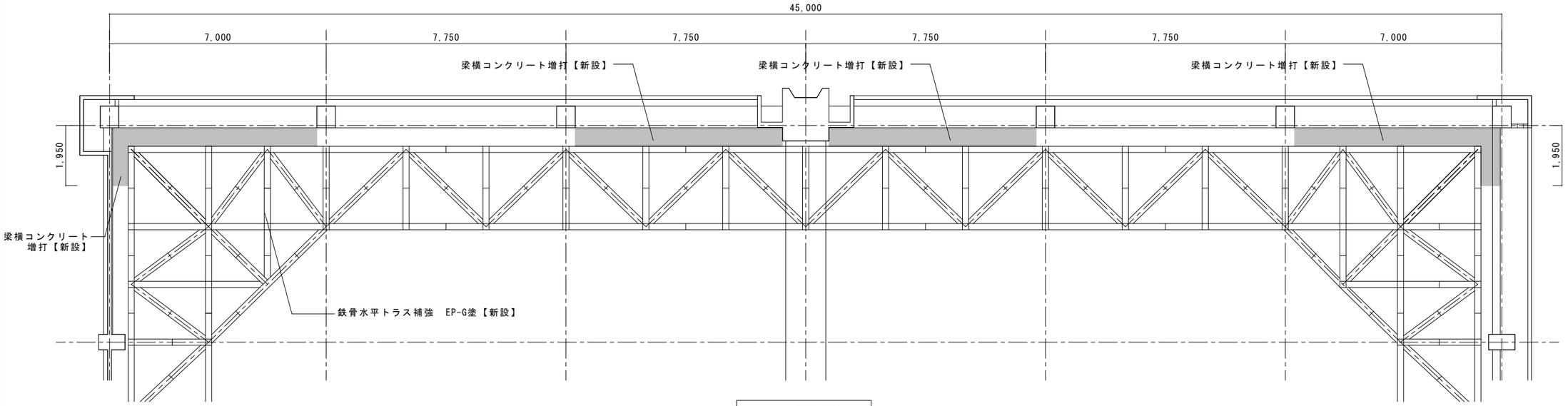
※　新規コンクリート打設部周囲外部シーリング打設15*15
内部コンクリート目地切10*10とする

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

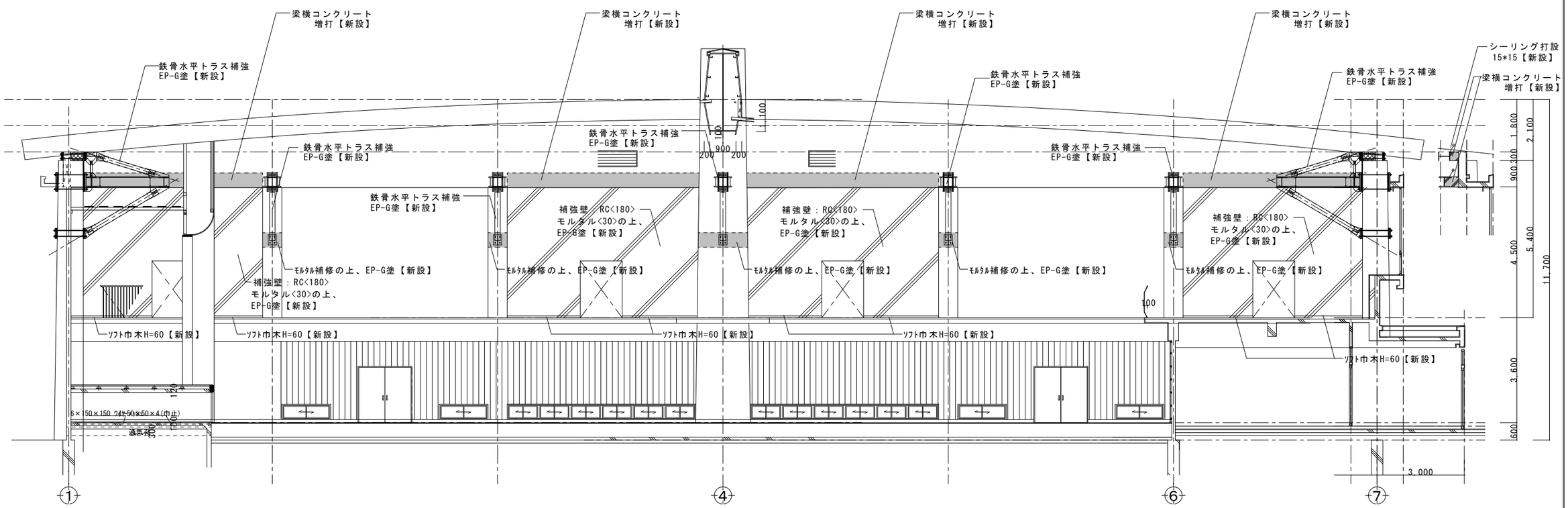
CONSTRUCTION NAME	DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事	【改修後】水平トラス設置部 詳細図1

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			1：50	A－39

改修後



平面詳細図

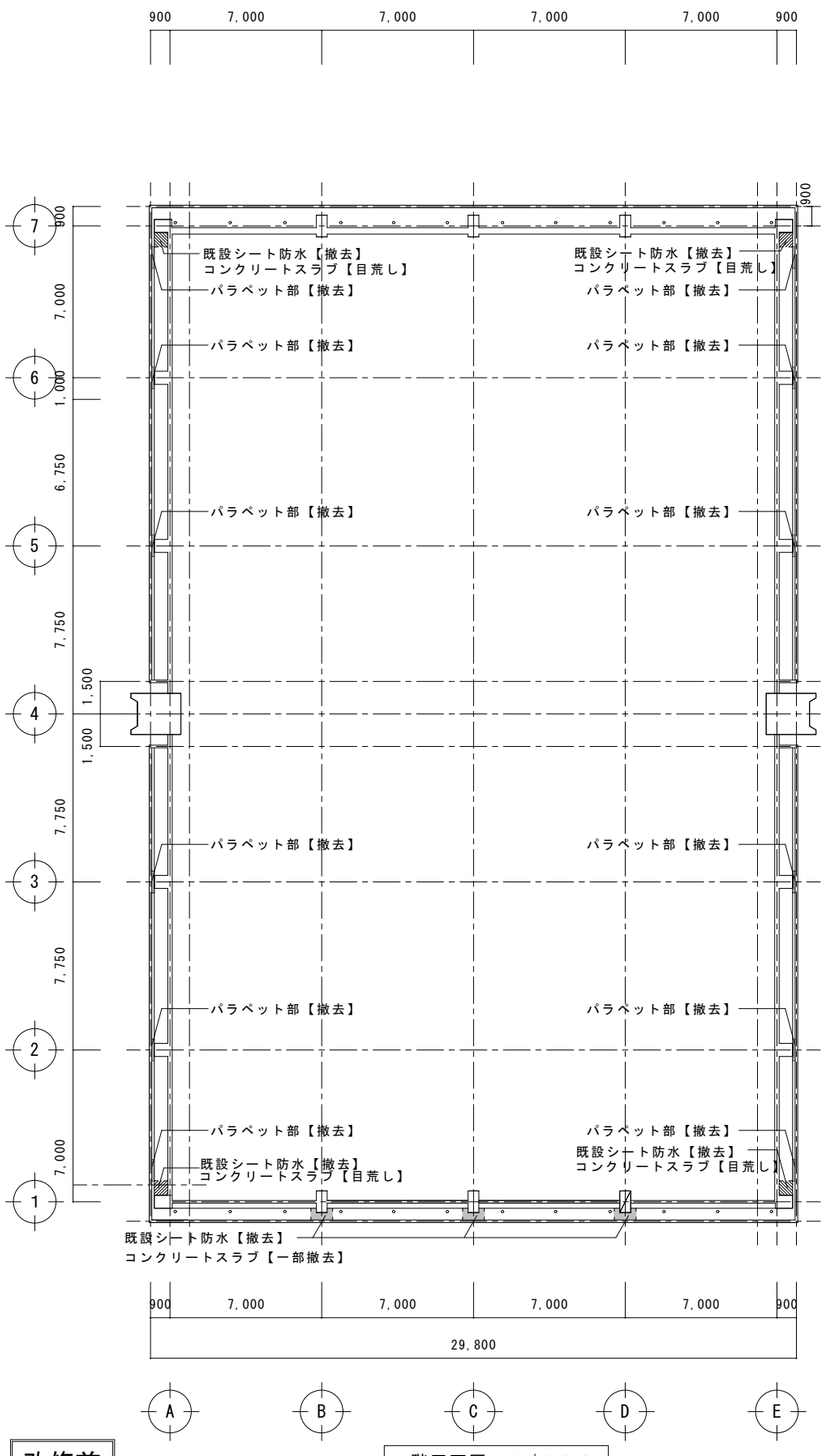


断面詳細図

※　新規コンクリート打設部周囲外部シーリング打設15*15
内部コンクリート目地切10*10とする

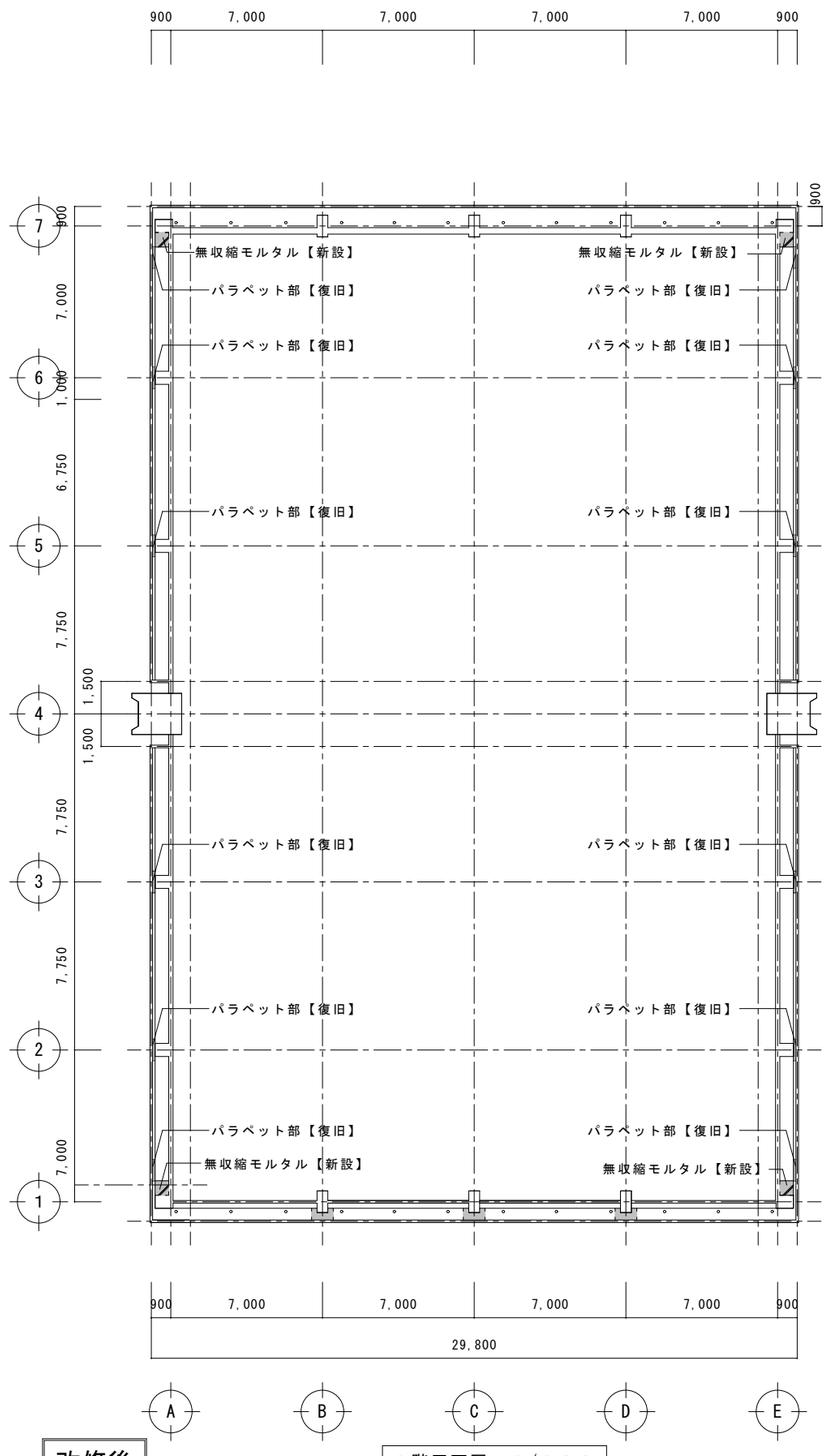
株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	篠山市立西紀体育館耐震補強工事	DRAWING NAME	【改修後】水平トラス設置部 詳細図２
APPROVED BY	1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	
DRAWN BY		SCALE	1：50
DRAWING NO	A－ 40		



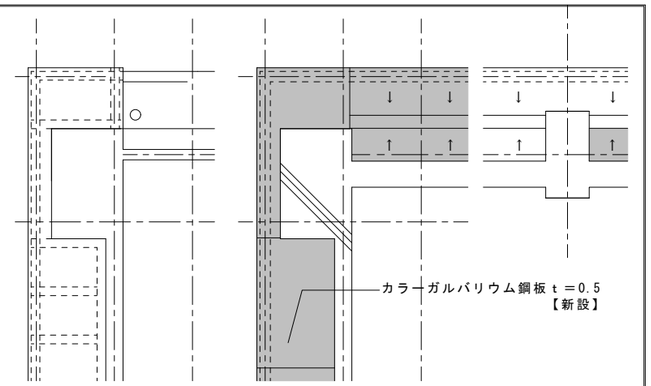
改修前

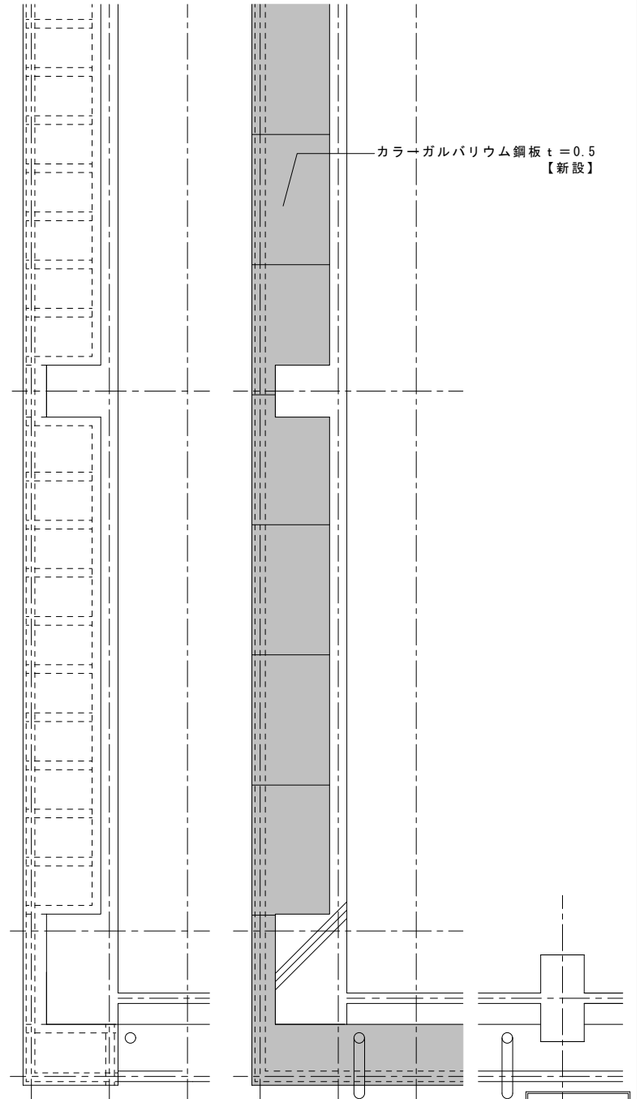
２階平面図　１／２００



改修後

２階平面図　１／２００





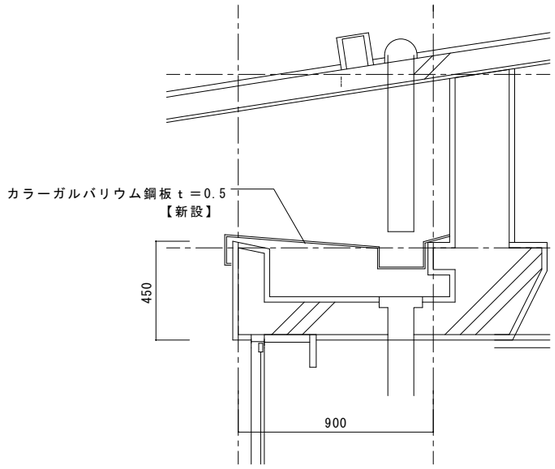
平面詳細図　１／５０

改修後

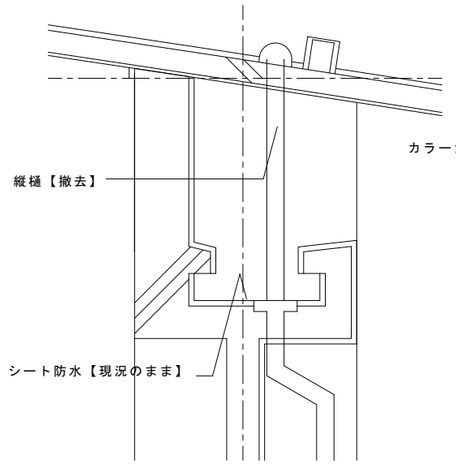
株式会社
WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	篠山市立西紀体育館耐震補強工事
DRAWING NAME	外部パラペット廻り詳細図１
APPROVED BY	1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘
CHECKED BY	
DRAWN BY	
SCALE	1：50　1：200
DRAWING NO	A－41

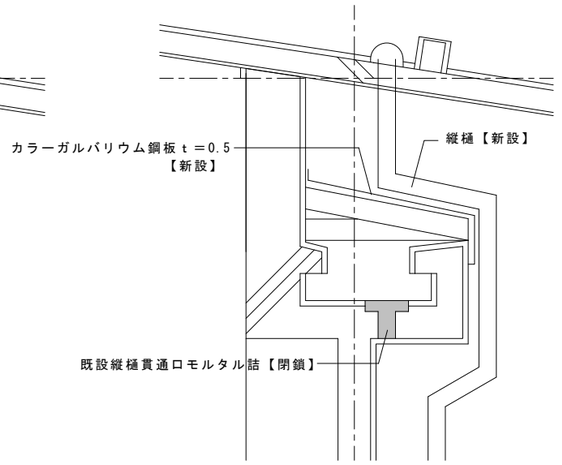
【改修前】北側パラペット部　詳細図



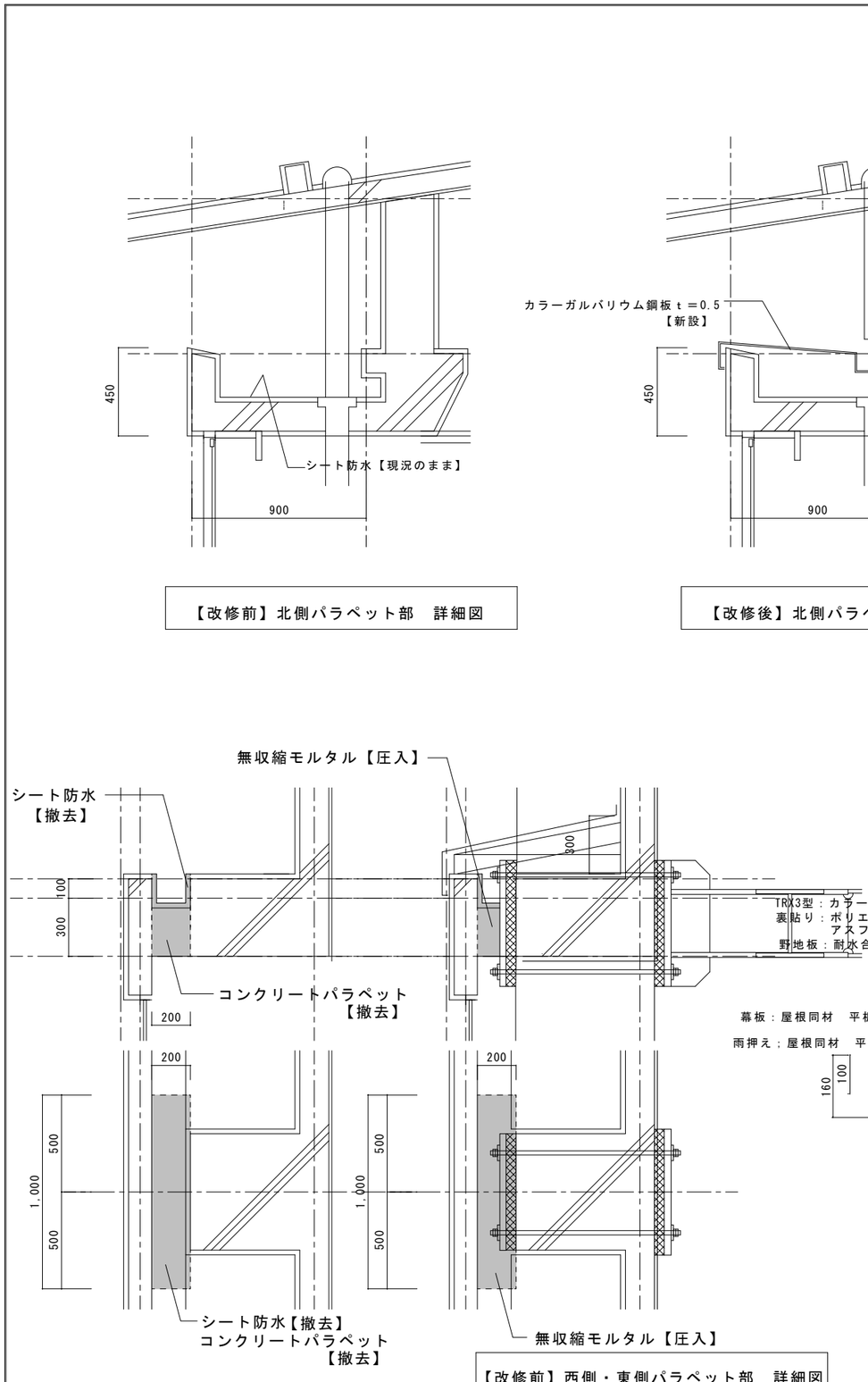
【改修後】北側パラペット部　詳細図



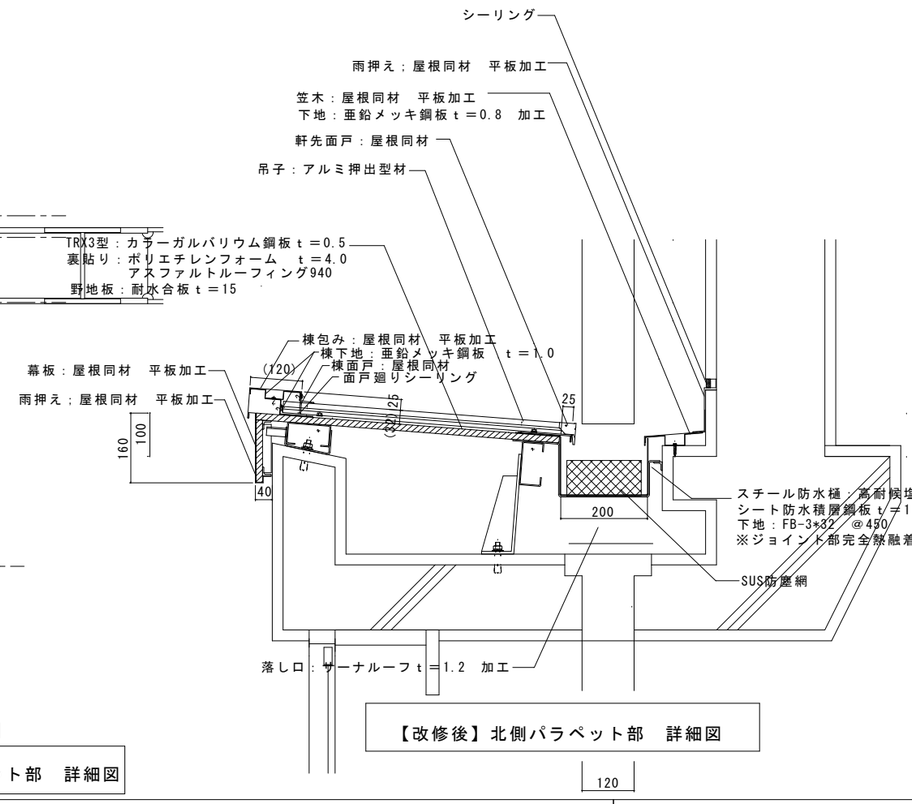
【改修前】南側パラペット部　詳細図



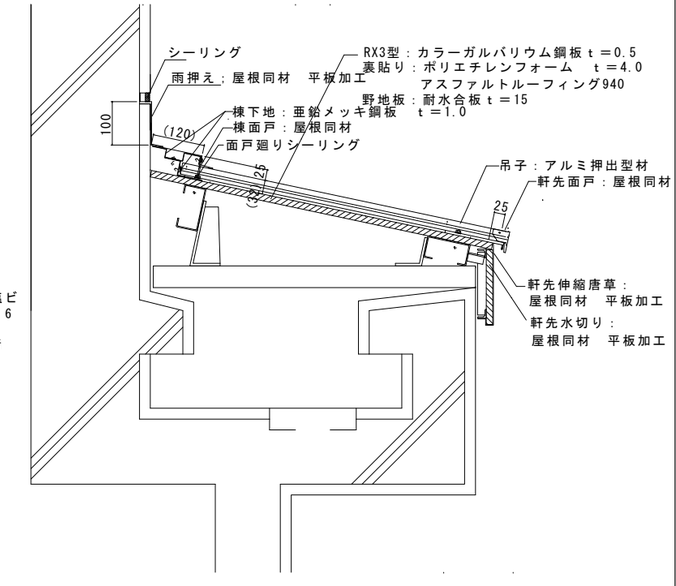
【改修後】南側パラペット部　詳細図



【改修前】西側・東側パラペット部　詳細図



【改修後】北側パラペット部　詳細図

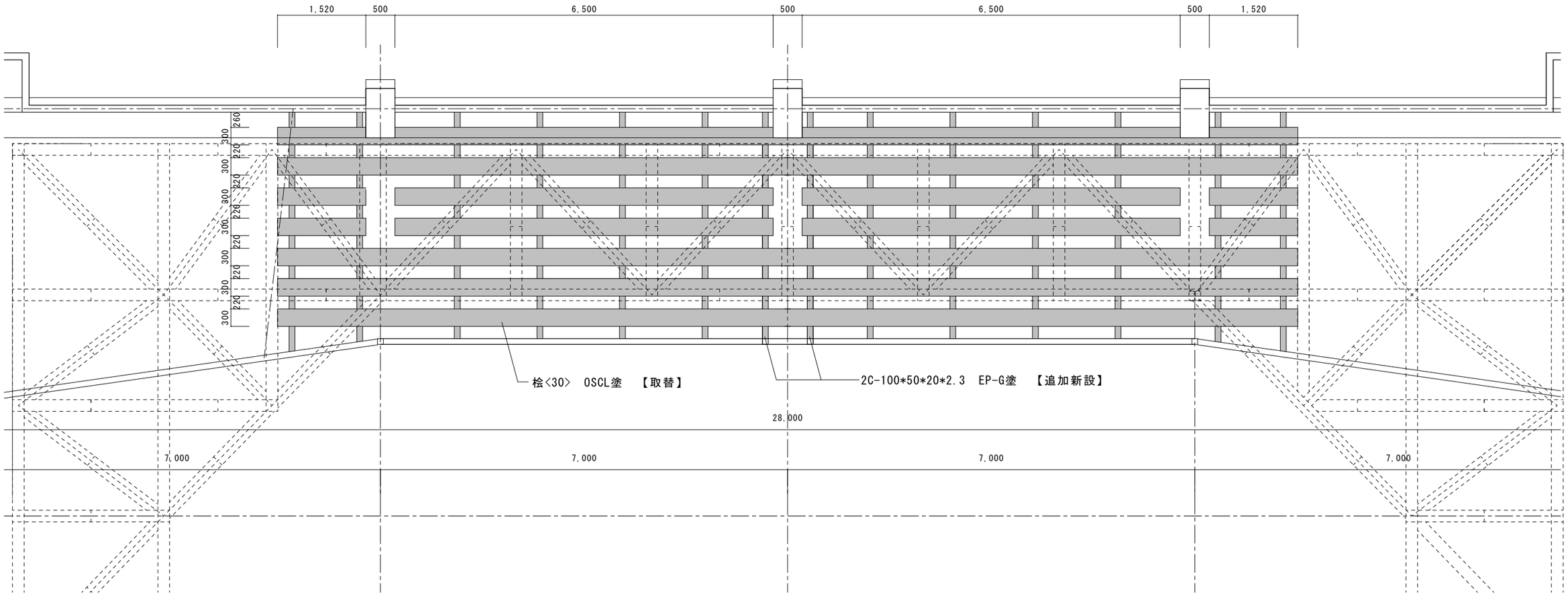


株式会社
WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事	外部パラペット廻り詳細図２

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWIN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			1：10　1：20	A－ 42

改修後



平面詳細図

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME				DRAWING NAME	
篠山市立西紀体育館耐震補強工事				ブドウ棚詳細図	
APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWN BY		SCALE 1：50	DRAWING NO A－ 43

耐震補強等改修工事に伴う舞台機構設備改修工事　工事概要

１、耐震補強工事に伴う既設舞台機構設備撤去、
　　養生、保管(建築工事)の上、復旧(一部部品交換)

２、交換(部品交換)

（１）畳上げ緞帳
　：電動昇降装置の取替え及び、
　　滑車・ワイヤー・バトンの交換

（２）懸垂幕バトン
　：既設の手動昇降ロープ式を撤去、
　　手動ウインチ巻取式に交換

（３）手動ウインチ巻取式
　：既存の手動ウィンチ巻取式、撤去の上、復旧
　　ワイヤーロープ交換

（４）固定吊金物
　：固定吊式装置のワイヤーロープ及び
　　吊金物は撤去の上、新設

（５）舞台操作制御盤
　：舞台機構操作盤、制御盤の撤去、
　　舞台機構操作制御盤の新設

（６）幕設備
　：既設撤去の上、復旧
　　※中割幕は、撤去の上新設（貫八別珍）

３、既設品使用　項目
・交換部品以外のモノに関しては、
　改修区分表に記載なき事項は既設使用

※１．記載なき項目に関して復旧不可能な部品は
監督者と打合せの上決定のこと（別途工事）

※２．要現場確認の上施工のこと

既設　舞台機構設備　仕様一覧表

番号	名　称	数量	バトン／レール 長さ（mm）	駆　動　方　式	吊ワイヤー 径×吊点数	備　考	マシン 手動ウインチ	ワイヤーロープ又は吊金物	滑　車	備　考
1	水引幕・源氏幕	1	－	プロセニアムに固定釘打ち式	－			○		
2	畳上げ緞帳	1	１４０００	電動昇降ワイヤードラム巻取式	－×６		○	○	○	（速度１８m／min）／質量合計２００kg／操作制御盤も新設
3	前割幕	1	２×８０００	固定吊式　手動引き紐開閉式	－×６			○		
4	一文字幕１	1	１５４００	固定吊式	－×６			○		
5	袖幕１	１対	２１００	固定吊式	－×２			○		
6	照明用バトン	1	１００００	手動昇降ウインチ巻取式	－×４			○	○	既設ウインチを使用
7	中割幕	1	２×７６００	固定吊式　手動引き紐開閉式	－×６			○		
8	一文字幕２	1	１５４００	固定吊式	－×６			○		
9	袖幕２	１対	２１００	固定吊式	－×４			○		
１０	美術バトン	1	１００００	手動昇降ウインチ巻取式	－×６			○		既設ウインチを使用
１１	バック幕	1	２×７６００	固定吊式　手動引き紐開閉式	－×６			○		幕地の高さ調整あり（幕地の補修含む）
１２	ホリゾント幕	1	１３５００	固定吊式	－×６			○		幕地の高さ調整あり（幕地の補修含む）
１３	懸垂幕バトン	２	１５００	手動昇降ロープ引き	－×２		○		○	手動ウインチ式にて修繕

幕設備

番号	名　称	数量	寸　法 W（mm）×H（mm）	幕地仕様	備　考	幕地交換・修繕内容
1	水引幕	1	１４０００×９５０	—		
2	源氏幕	１対	９５０×５１００	—		
3	畳上げ緞帳	1	１４０００×５０００	—		
4	前割幕	１対	８０００×５２００	—		
5	一文字幕１	１対	１５４００×１５００	—		
6	袖幕１	１対	２１００×５２００	—		
7	中割幕	１対	７６００×５２００	—		○　貫八別珍
8	一文字幕２	1	１５４００×１５００	—		
9	袖幕２	１対	２１００×５２００	—		
１０	バック幕	１対	７６００×５２００	—		○　幕地の補修
１１	ホリゾント幕	１対	１３５００×５２００	—		○　幕地の補修

工　事　区　分　表

耐震補強工事に伴う既設舞台機構設備撤去、養生、保管(建築工事)の上、復旧工事(一部部品交換)

工事内容＼工事区分	舞台機構設備工事	機構外工事
既設舞台装置解体・復旧工事	○	
既設操作制御盤の撤去	○	
中割幕の撤去	○	
スノコの撤去、復旧工事		
スノコ用大引材の追加		○
舞台吊物装置　復旧工事に関しての新設部品	○	
水引幕・源氏幕・取り付け用金具一式	○	
畳上げ緞帳の電動昇降マシン・架台・ワイヤークリップ・ワイヤー一式	○	
懸垂幕バトンの手動ウィンチ・架台・ワイヤークリップ・ワイヤー一式	○	
手動ウィンチ巻取式　ワイヤーロープ交換	○	
固定吊式装置のワイヤーロープ及び吊金物 撤去の上、新設	○	
操作制御盤の新設	○	
中割幕の新設	○	
舞台照明撤去及び復旧工事		○
足場及び養生		○
工事用電源		○
１次側電源、引込工事		○
２次側配管配線工事	○	
スノコメンテ用タラップの新設		○
その他記載なき事項		○

※詳細は改修区分項目表参照

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME：篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME：舞台機構設備設置概要表

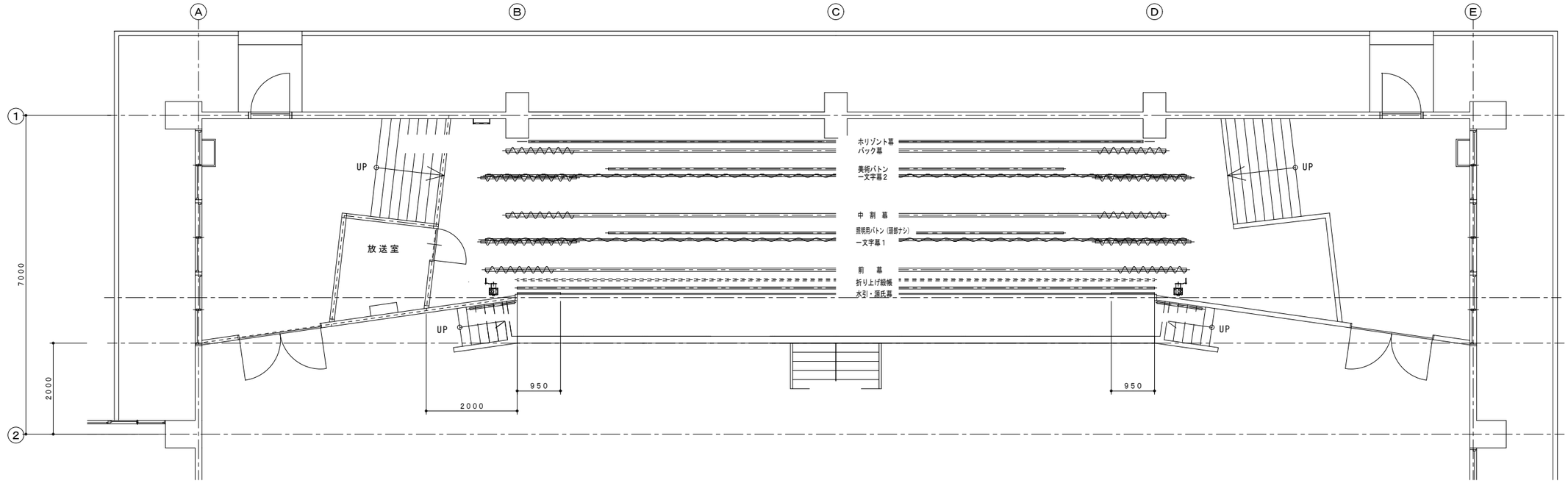
APPROVED BY：1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘

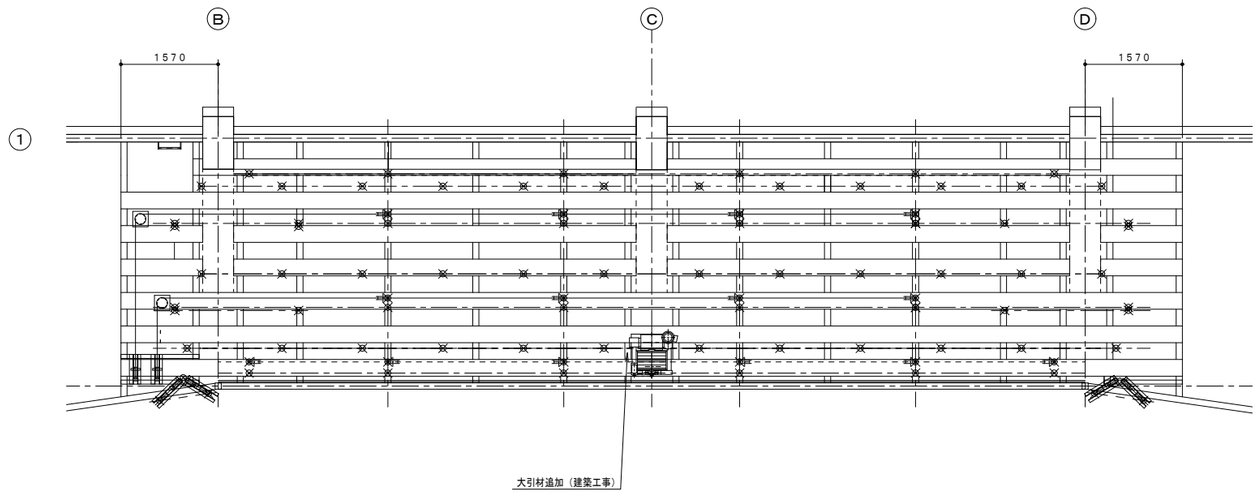
CHECKED BY：

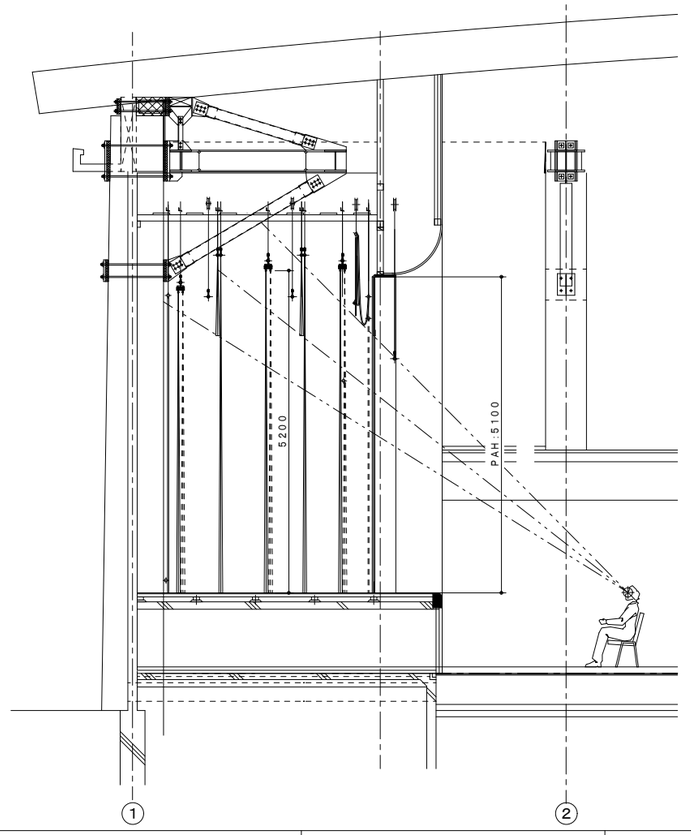
DRAWN BY：

SCALE：――

DRAWING NO：A－44

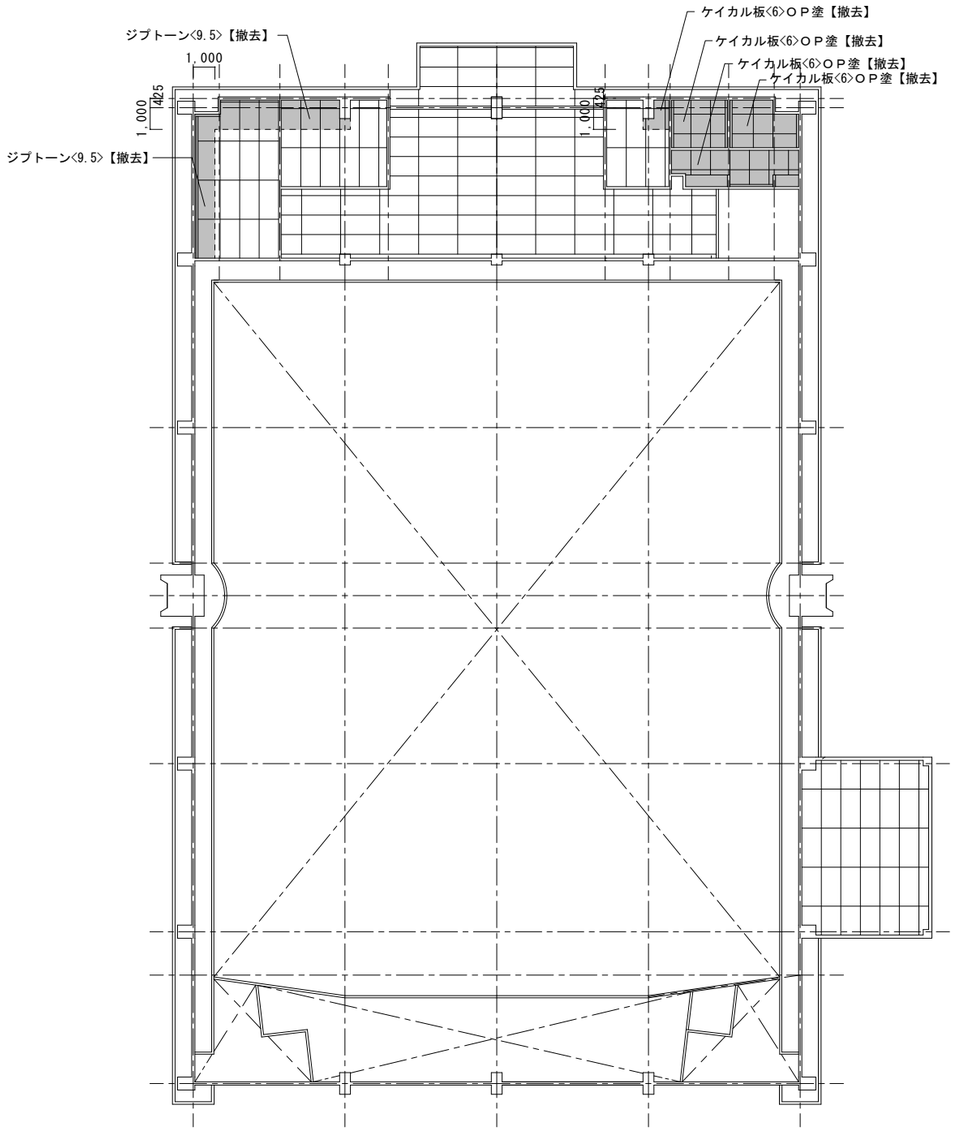






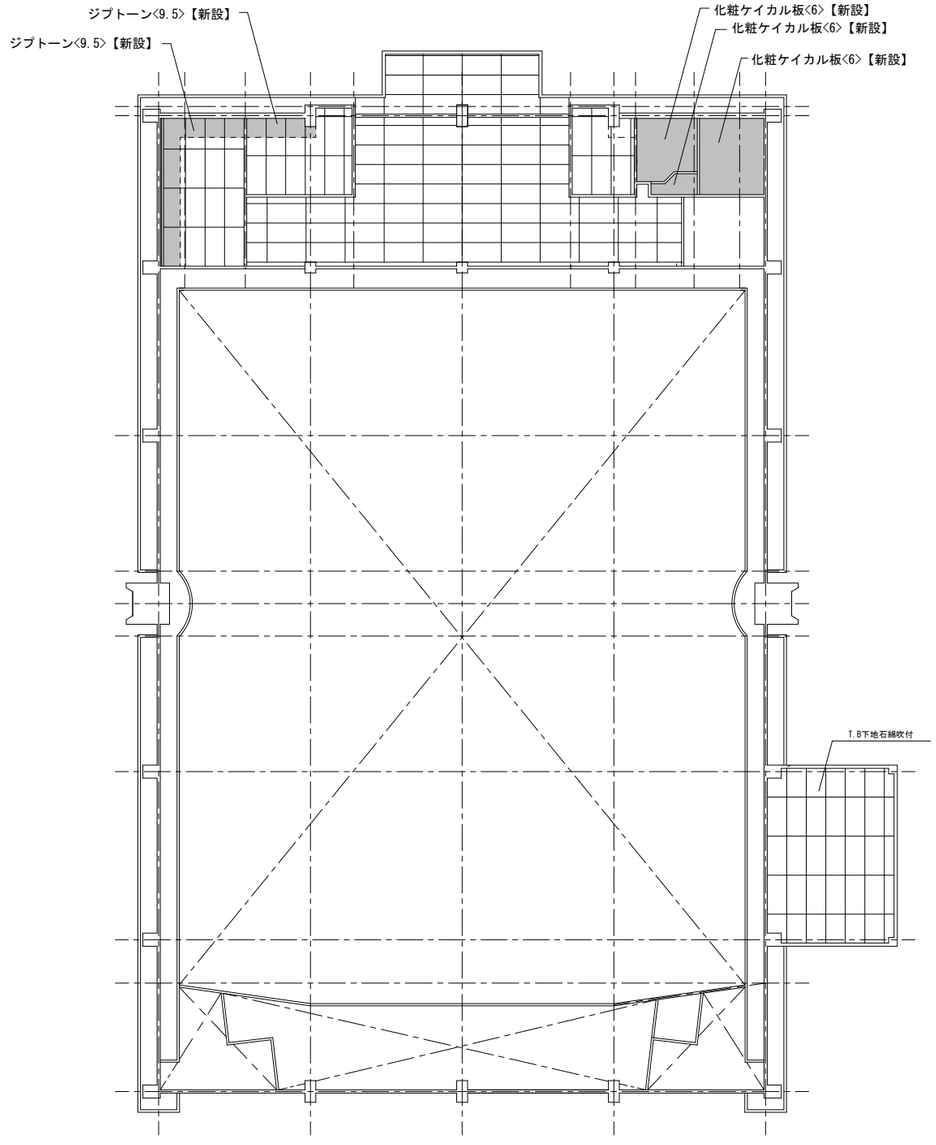
株式会社 WASHIO	鷲尾建築設計事務所 〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1 TEL：079-284-1491 FAX：079-284-1446	CONSTRUCTION NAME 篠山市立西紀体育館耐震補強工事		DRAWING NAME 舞台機構設備設置詳細図
		APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY DRAWN BY	SCALE 1：70
				DRAWING NO A－ 45

改修前



１階天井伏図　１／２００

改修後

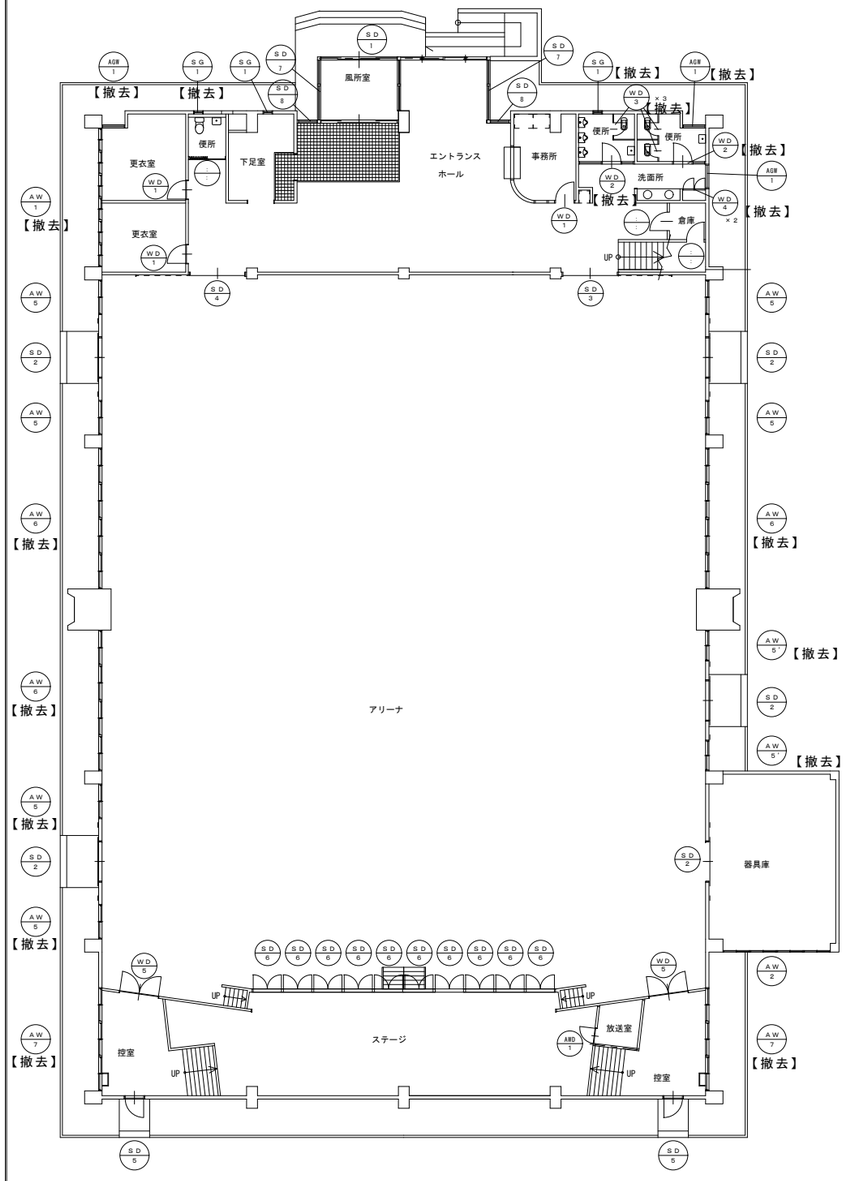


１階天井伏図　１／２００

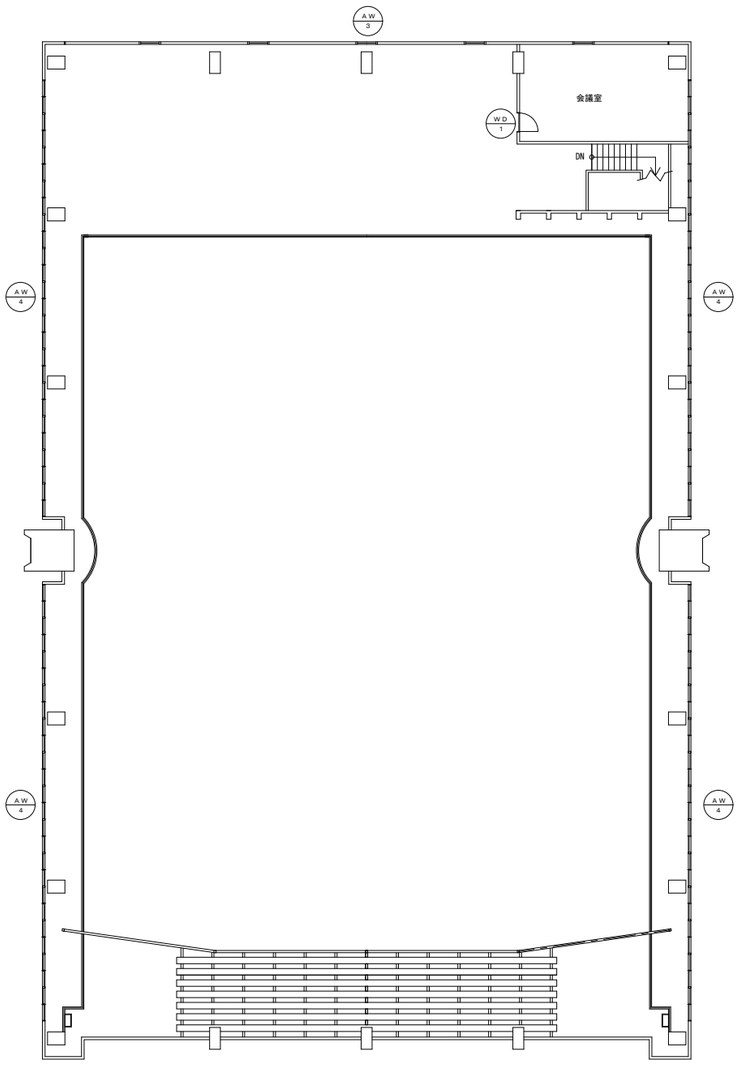
株式会社
WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME				DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事				天井伏図【改修前・改修後】
APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWIN BY		SCALE 1：200 / DRAWING NO A－ 46

改修前

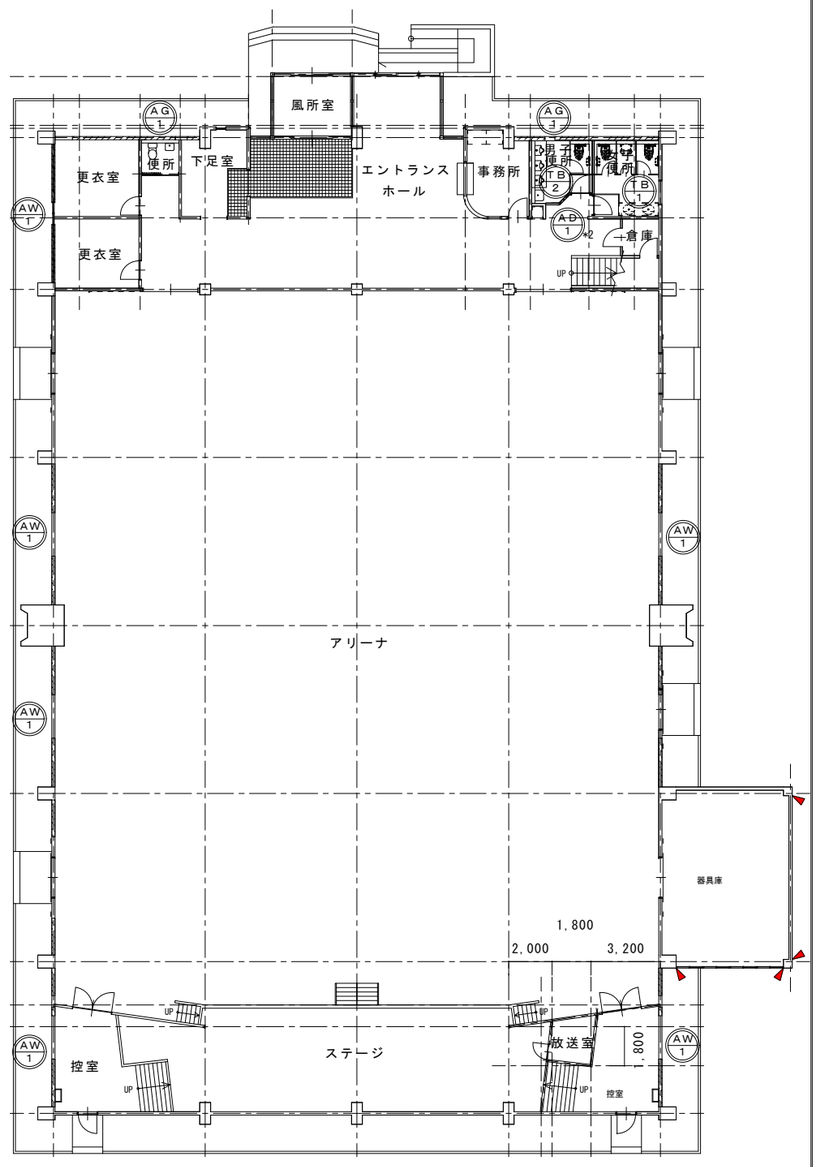


１階建具キープラン　１／２００



２階建具キープラン　１／２００

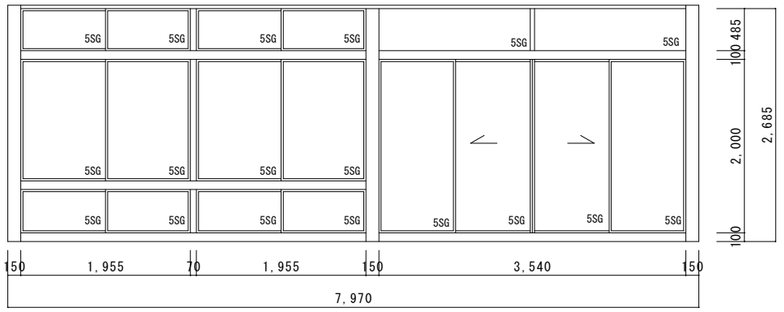
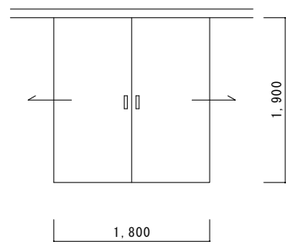
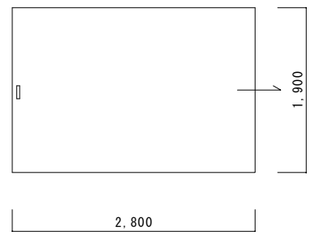
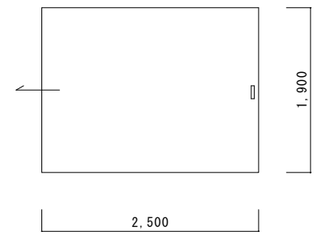
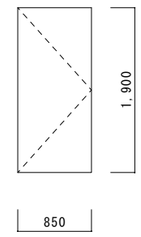
改修後

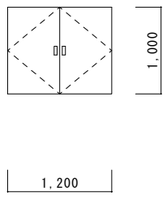
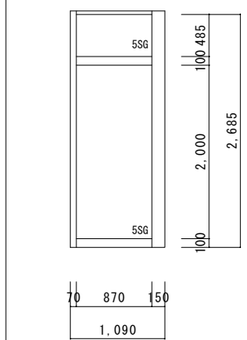
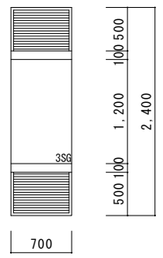
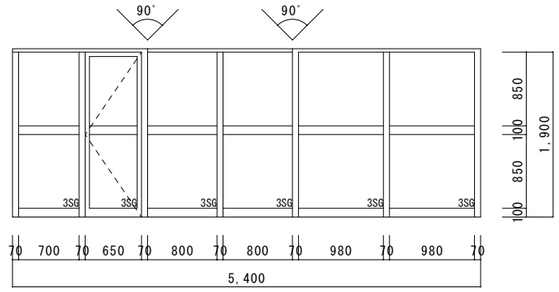
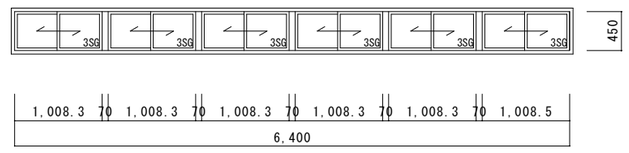


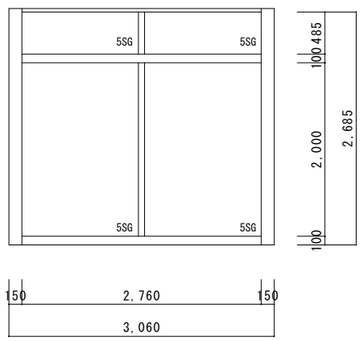
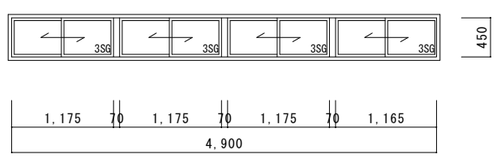
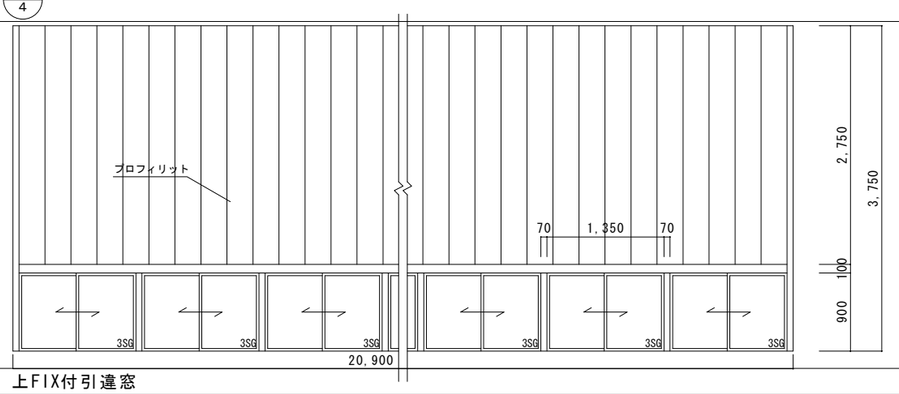
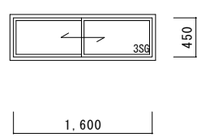
１階建具キープラン　１／２００

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME				DRAWING NAME	
篠山市立西紀体育館耐震補強工事				【改修前・後】建具キープラン	
APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWIN BY		SCALE 1：200	DRAWING NO A－ 47

記号	SD 1	SD 2	SD 3	SD 4	SD 5
形状					
形式	ランマ及び下ＦＩＸ付両開き自由ドア	両引分フラッシュ戸	片引フラッシュ戸	片引フラッシュ戸	片開きフラッシュ戸
見込　場所	100　１ヶ所	86　５ヶ所	86　１ヶ所	86　１ヶ所	86　２ヶ所
硝子	5SG				
材質	スチール	スチール	スチール	スチール	スチール
附属金物	フロアヒンジ、シリンダー錠、押板	施錠、引手、ハンガーレール	施錠、引手、ハンガーレール	施錠、引手、ハンガーレール	P.H、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ

記号	SD 6	SD 8	AGW 1	ADW 1	AW 1
形状			【撤去】２箇所 		【撤去】１箇所 
形式	ｽﾃｰｼﾞ下両開き片面ﾌﾗｯｼｭ戸	ランマ付ＦＩＸ窓	上下固定ガラリ付中FIX窓	室内間仕切　FIX付片開きドア	６連引違窓
見込　場所	86　１０ヶ所	100　２ヶ所	70　３ヶ所	70　１ヶ所	70　１ヶ所
硝子		5SG	3SG	3SG	3SG
材質	スチール片面フラッシュ	スチール	アルミ	アルミ	アルミ
附属金物	ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ、丁番		クレセント、アングルピース	シリンダー錠、ドアチェック、P.H	クレセント、アングルピース、水切

記号	SD 7	AW 2	AW 4	AW 5
形状				【撤去】４箇所 
形式	ランマ付ＦＩＸ窓	４連引違窓	上FIX付引違窓	引違窓
見込　場所	100　２ヶ所	70　１ヶ所	70　４ヶ所	70　８ヶ所
硝子	5SG	3SG	3SG　プロフィリット	3SG
材質	スチール	アルミ	アルミ	アルミ
附属金物		クレセント、アングルピース、水切	クレセント、アングルピース、水切	クレセント、アングルピース、水切

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME: 建具表１

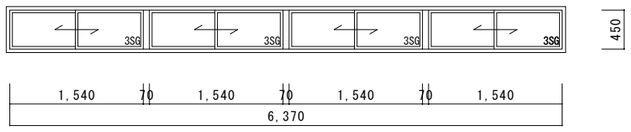
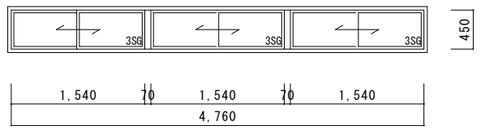
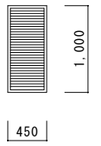
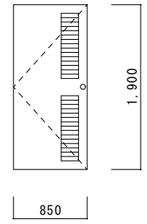
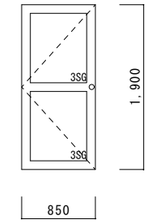
APPROVED BY: １級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘

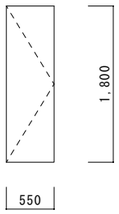
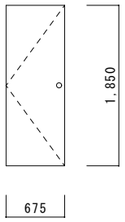
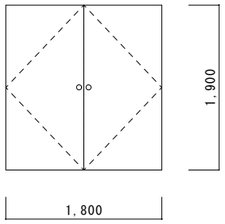
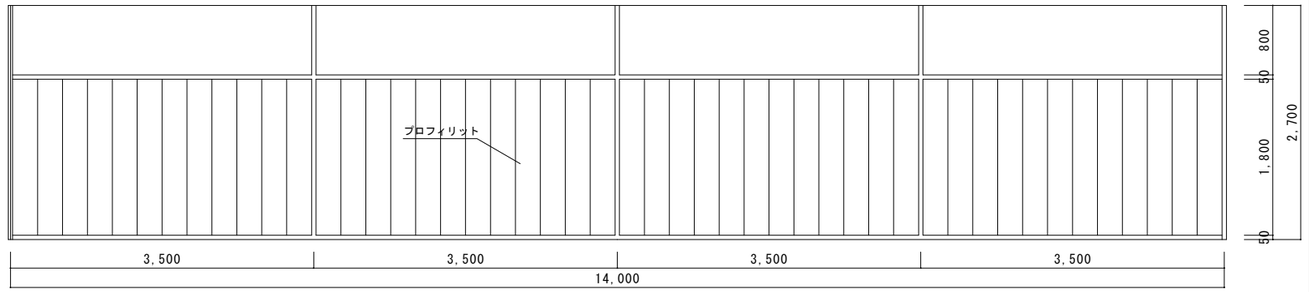
CHECKED BY:

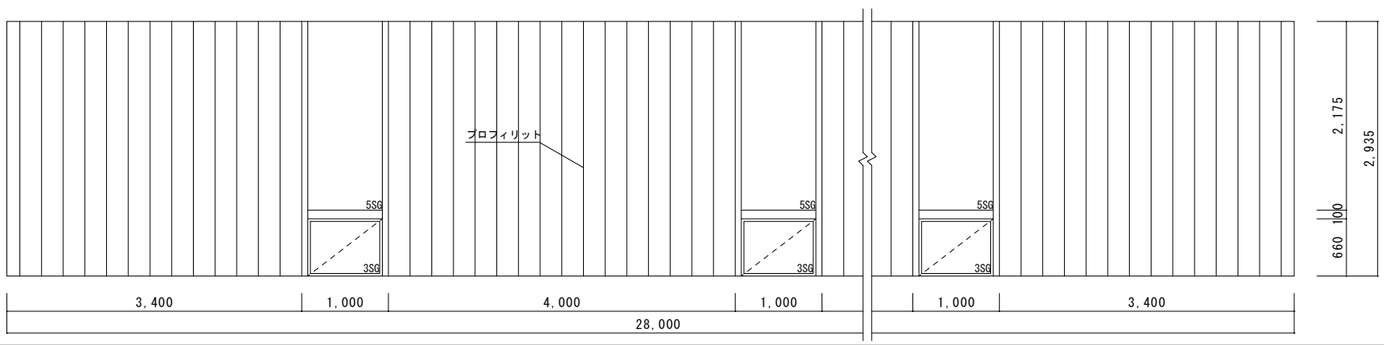
DRAWN BY:

SCALE: 1：50

DRAWING NO: Ａ－ 48

記号	AW6	AW7	SG1	WD1	WD2
形状	【撤去】３箇所 	【撤去】２箇所 	【撤去】２箇所 		【撤去】２箇所 
形式	４連引違窓	３連引違窓	ハメ殺しガラリ	片開ドア(ガラリ付)	片開ドア
見込　場所	70　３ヶ所	70　２ヶ所	86　２ヶ所	36　４ヶ所	33　２ヶ所
硝子	3SG	3SG			3SG
材質	アルミ	アルミ	スチール	シナベニヤフラッシュO.P	枠ヒノキ
附属金物	クレセント、アングルピース、水切	クレセント、アングルピース、水切		ロック錠、P.H、D.C	空錠、P.H、D.C

記号	WD3	WD4	WD5	SW1
形状	【撤去】３箇所 	【撤去】２箇所 		
形式	片開ドア	片開ドア	両開ドア	FIX窓　スクリーン
見込　場所	30　３ヶ所	36　２ヶ所	36　２ヶ所	100　１ヶ所
硝子				プロフィリット
材質	シナ耐水ベニヤフラッシュO.P	シナベニヤフラッシュO.P	シナベニヤフラッシュO.P	スチール
附属金物	ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ,ﾗﾊﾞﾄﾘｰｽﾄﾗｲｸ,表示錠	ローラキャッチ、丁番、取手	空錠、P.H、D.C、フランス落	

記号	AW3
形状	
形式	上FIX付下横滑り出し窓
見込　場所	70　１ヶ所
硝子	5SG　3SG　プロフィリット
材質	アルミ
附属金物	クレセント、アングルピース、水切

株式会社 鷲尾建築設計事務所
WASHIO
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME: 建具表２

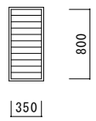
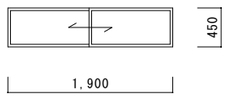
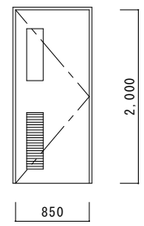
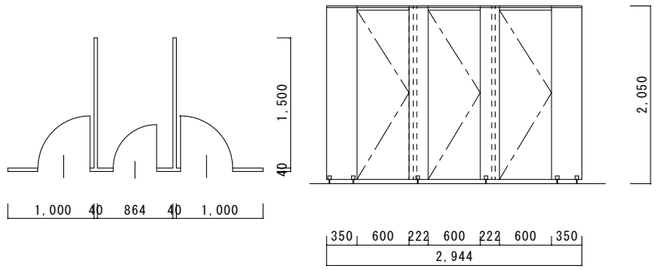
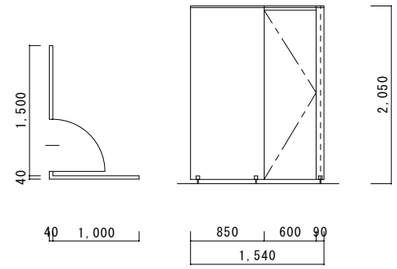
APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘

CHECKED BY:

DRAWIN BY:

SCALE: 1：50

DRAWING NO: A－ 49

記号	AG 1	AW 1	AD 1	TB 1	TB 2
形状	【新設】 	【新設】 	【新設】 	【新設】 	【新設】 
形式	ガラリ窓	引違窓	片開きドア	トイレブース	トイレブース
見込　場所	70　2ヶ所	70　6ヶ所	70　2ヶ所	40　1ヶ所	40　1ヶ所
硝子	3SG	3SG	3SG		
材質	アルミ	アルミ	アルミ	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板（芯材:ﾍﾟｰﾊﾟｰﾊﾆｶﾑ）	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板（芯材:ﾍﾟｰﾊﾟｰﾊﾆｶﾑ）
附属金物	アングルピース、水切	クレセント、アングルピース、水切	シリンダー錠、ドアチェック、P.H	SUS笠木、SUS巾木 ｱﾙﾐｱｰﾙｴｯｼﾞ、その他附属金物一式	SUS笠木、SUS巾木 ｱﾙﾐｱｰﾙｴｯｼﾞ、その他附属金物一式
記号					
形状					
形式					
見込　場所					
硝子					
材質					
附属金物					
記号					
形状					
形式					
見込　場所					
硝子					
材質					
附属金物					

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME
建具表３

APPROVED BY
1級建築士
大臣登録 第96307号
細田 美弘

CHECKED BY

DRAWIN BY

SCALE
1：50

DRAWING NO
A－ 50

既存建物耐震改修工事仕様書（１）　２０１３年度版

§１　一般事項

１－１ 適用範囲
既存建物（鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造）の耐震補強に関する鉄筋工事，コンクリート工事及び鉄骨工事に適用する。

１－２ 図面寸法
現況図面は参考図面とし，現地再調査のうえ現地寸法に合わせること。
本仕様書に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

１－３ 使用材料
使用材料は原則としてＪＩＳ規格品又は大臣認定品とする。

１－４ 施工順序
既存設備の配置等実測した後，工事計画書及び施工図を作成し，工事監理者の承認を得ること。

１－５ 耐火被覆
鋼板補強，炭素繊維補強を行った部分は別法仕様書により耐火被覆を行う。

１－６ 補修
斫り部の断面欠損，耐震壁増設部のすさま，鉄筋の露出，あと施工アンカー打設不良孔及びクラック等があれば樹脂モルタル等にて補修する。

１－７ 打設面の処理
耐震壁を増設する部分等に接する既設部分は目荒らし（深さ5㎜程度を目安とする）を行い，斫り粕，粉塵などはワイヤブラシ又は水洗いにより完全に除去する。

１－８ コンクリート打設時の注意事項
既設部分と接する箇所はコンクリート打設前に充分な水湿を行う。
コンクリート打設にはバイブレーターの使用，又はタタキにより密実にコンクリートを締め固める。
梁下の耐震壁等は梁下200～300程度までコンクリートを打設し，壁頂部は無収縮モルタル圧入とする。

１－９ 参考図書
以下の参考図書は現場に常備すると共に十分理解し適用すること。
(財)日本建築防災協会
　改訂版　既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説
　改訂版　既存鉄筋鉄骨コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説
　改訂版　既存鉄骨造建築物の耐震改修設計施工マニュアル
(財)建築保全センター
　建築改修工事標準仕様書
　建築改修工事監理指針

１－10 その他
各種工程における検査等の費用は工事者の負担とする。
鉄骨ブレース接着工法の場合は，(財)日本建築防災協会技術評価書建防災発第１２７９号に基づく『鉄骨ブレース接着工法設計施工指針』による。

§２　使用材料

（選択項目は ⊙ 印による。）

２－１ コンクリート

設計基準強度	• Fc 24 N/mm²	⊙ Fc 21 N/mm²			
セメント	⊙ 普通ポルトランドセメント	•			
粗骨材	• 砂利	⊙ 砕石	最大径(mm) ⊙ 20	• 25	
混和材	• ＡＥ減水剤	⊙ 高性能ＡＥ減水剤	• 膨張材		
スランプ(cm)	⊙ 18 cm				
水セメント比(%)	⊙ 55 %				
単位水量(kg/m³)	⊙ 185 kg/m³				

圧縮強度試験（各工程につき）　ＪＡＳＳ－５「品質管理・検査」に準じる。試験は公的機関によって行う。

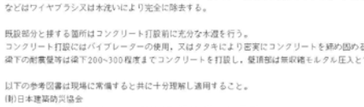
２－２ 無収縮モルタル
無収縮モルタルは原則としてプレミックスタイプを使用する。
設計基準強度　Ｆ Ｃ３０Ｎ／ｍｍ²（既存躯体同等程度）以上とする。
圧縮強度試験（各工程につき）　ＪＩＳＡ１１０８とし，公的機関によって行う。

２－３ 鉄筋
D 16 以下　SD295A
D 19 以上　SD345

２－４ スパイラル筋
• SS400　• SR235　• SD295A

適用	壁厚	径	外径	ピッチ	備考
•	120~150	6φ D6	60~80		
•	180	6φ D6	100		
•	200	6φ D6	120		
•	250	6φ D6 D10	150		
•	300	6φ D6 D10	200		

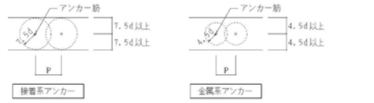
２－５ あと施工アンカー
あと施工アンカーの施工は工事内容に相応した施工管理技術者及び十分な経験と技能を有する技術者により実施する。
アンカーの設置に先立って鉄筋探査を行い，既存鉄筋が干渉しない位置で穴明けを行う。また孔内のコンクリート粕，粉塵を圧搾空気などにより，完全に除去した後に取り付ける。
⊙ 接着系アンカー　カプセル型の有機系又は無機系のものとしメーカーによりアンカー筋の母材強度が保証されたもの。本体は SD295A, SD345 とナット付きとする。
• 金属系アンカー　拡張部打込み型のものとしメーカーによりアンカー筋の母材強度が保証されたもの。本体は JISG3101, 3123, 3445, 4805 の規格品とする。接合筋は SD295A, SD345 とする。
定着作業の終了したアンカー筋は24時間以上衝撃等与えない様に養生する。



２－６ 鋼材

規格名称	鋼材名	柱	ダイア	大梁	ブレース	小梁	他
一般構造用圧延鋼材	• SS400 •						
溶接構造用圧延鋼材	• SM400A • SM490A						
建築構造用圧延鋼材	• SN400A						
	• SN400B • SN490B						
	• SN400C • SN490C						
一般構造用角形鋼管	• STKR400 • STKR490						
冷間成形角形鋼管	• BCR295						
	• BCP235 • BCP325						
熱間成形角形鋼管	• SHC400B • SHC400C						
一般構造用炭素鋼管	• STK400 • STK490						
一般構造用軽量形鋼	• SSC400 •						

２－７ 炭素繊維補強
炭素繊維補強の工法は国土交通省告示，又は日本建築センターの認定工法，日本建築防災協会の技術評価を受けた工法とする。
高強度炭素繊維
引張強度　• 3400N/mm²以上　• 2700N/mm²以上
繊維重量　• 200g/m²　• 300g/m²
材料巾　• 250　•
巻数　• 1層　• 層



接着系アンカー筋径	鉄筋径	Ln (20d)	L (8d) (アンカー埋込み長さ)	ピッチ	※設計用引張強度（参考）kN/本		
					Fc=15	Fc=18	Fc=21
• D13		260	110以上	100	17	19	20
				150	24	26	28
• D16		320	130以上	150	31	34	36
				200	38	42	45
• D19		380	160以上	150	37	41	44
				200	47	52	56
• D22		440	180以上	200	56	62	67
				250	67	74	80

金属系アンカー筋	鉄筋径	Ln (30d)	L (5d) (アンカー埋込み長さ)	ピッチ	※設計用引張強度（参考）kN/本		
					Fc=15	Fc=18	Fc=21
• 13φ	D10	390	65以上	100	9	10	11
				150以上	10	11	12
• 16φ	D10,D13	480	80以上	150以上	15	16	17
• 19φ	D13	570	95以上	150	20	22	23
				200以上	21	23	25
• 22φ	D16	660	110以上	200以上	28	31	33

※　コーン状破壊による引き抜き耐力とする。

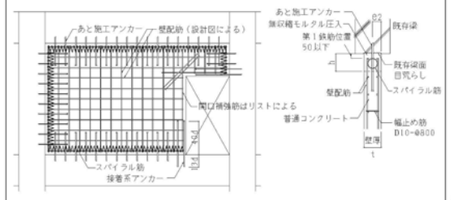
e1 ≧　5da
e2 ≧ 2.5da かつ柱，梁主筋の内側※
g1 ≧　4da
g2 ≧ 5.5da
P　≦ 7.5da かつ 300以下
daはアンカー筋の径を示す。

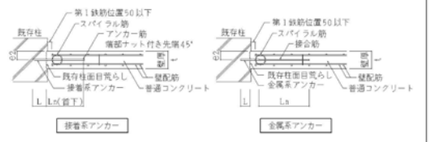
アンカー固着力試験
アンカーの固着力の検査は，全数を打音検査する。またあと施工アンカー協会（ＪＣＡＡ）の試験方法により１日に施工されたものの各径毎を１ロットとしこの中から３本以上引張試験を行う。引張試験は非破壊試験により，設計引張強度の２／３程度以上の荷重に対してアンカーが抜け出す等の過大な変形が生じなければ合格とする。検査のうち１本でも不合格のものがある場合は，全数の20%以上を再試験し，さらにその中に不合格のものがあれば全数を試験する。不合格となったものは新たに施工し直すことを原則とする。打音検査は上記引張試験に合格となったアンカーを用いて，音及び感触をつかみこれと比較して検査する。

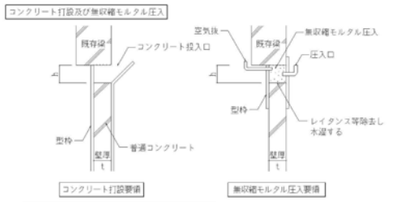
接着系アンカーの埋込み長さの測定（超音波パルス反射法による）
• する　• しない
する場合原則全数測定とする。減じる場合は特記とする。

§３　壁補強要領

３－１ 増設壁

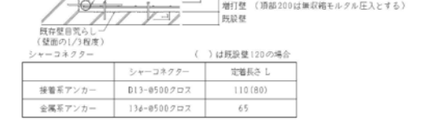






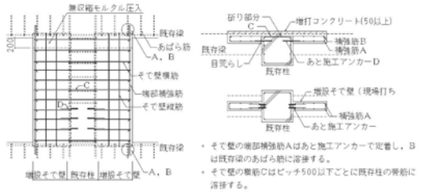
壁厚	h
t≦300	200
t>300	300

３－２ 増打壁
既設コンクリート壁を増打する。



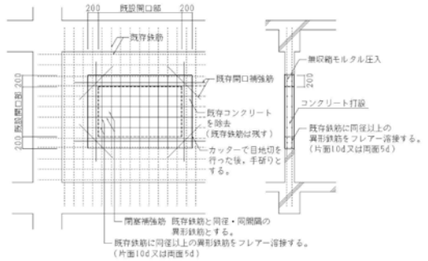
	シャーコネクター	定着長さ L
接着系アンカー	D13-@500クロス	110(80)
金属系アンカー	13φ-@500クロス	65

３－３ その壁増設

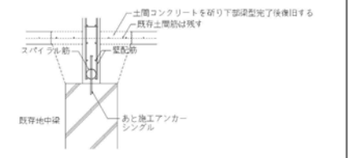


・そで壁の端部補強筋Aはあと施工アンカーで定着し，Bは既存梁のあばら筋に溶接する。
・そで壁の壁筋にはピッチ500以下ごとに既存柱の骨筋に溶接する。

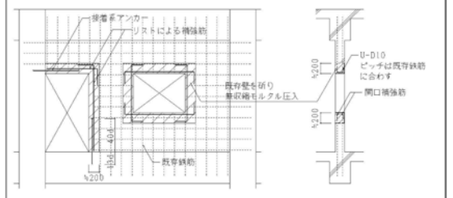
３－４ 開口部の閉塞



３－５ 地中梁上に新設壁を設ける



３－６ 既存壁開口新設（耐震壁を除く）



３－７ スリット増設

・スリットは原則としてカッター切りとし，コア抜き併用も可能とする。
・建具のある場合のカッター切りは，原則として建具の外部木口及び面台下端までとし，建具を破損しないよう留意し施工すること。

株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事	既存建物耐震改修工事仕様書（１）

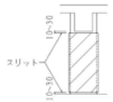
APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			—	S－１

既存建物耐震改修工事仕様書（２）　２０１３年度版

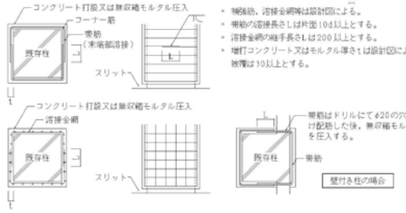
§４　柱補強工事要領

4－1 共通事項（炭素繊維補強は除く）

1. 既設仕上材を撤去する。
2. 既設柱のコンクリート面の1/3程度を目荒しする。
3. 補強材取り付け用の支持金物を設ける。
4. 柱の躯体寸法を測定し加工寸法を決める。
5. 補強部分は床上面及び梁下面に3程度のスリットを設ける。

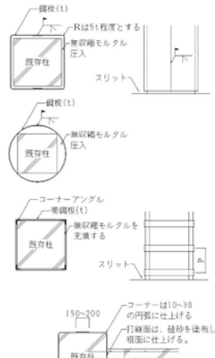


4－2 帯筋補強 溶接金網補強



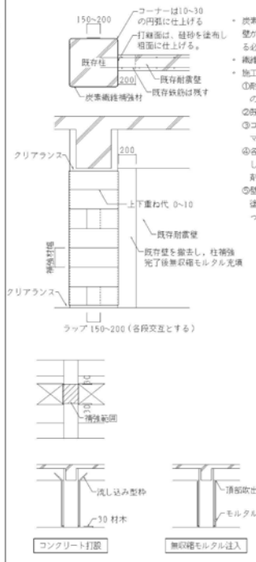
- 補強筋，溶接金網等は設計図による。
- 帯筋の溶接長さは片面10d以上とする。
- 溶接金網の継手長さは200以上とする。
- 増打コンクリート又はモルタル厚さは設計図によるが，被覆は30以上とする。

4－3 鋼板補強



- 鋼板厚さは図示による。（t≧4.5）
- 鋼板と躯体面との間には30以上のクリアランスを設ける。ただし，補強鋼板の厚さが$t^{3/5}$以上の場合には，既存躯体の4隅角部を10程度面取りする。
- 無収縮モルタル充填作業及び充填の確認が行えるよう適当な箇所に圧入孔，エアー抜き孔を設ける。
- 裏当て金が既存躯体に当たる部分は既存躯体を少し斫り既存躯体と裏当て金とのクリアランスを5以上確保する。
- 補強鋼板を高さ方向に分割する場合には，鉛直方向を優先する。

4－4 炭素繊維補強



- 炭素繊維補強材の幅は250を標準とする。ただし，耐震壁が取付いている場合は壁筋をさけて補強材を巻き付ける必要があるため，壁筋のピッチを考慮して決める。
- 繊維補強材の巻数は図示による。
- 施工手順
①耐震壁が取付いている場合は，既存壁を柱面から200の範囲でカッター目地切りの上，斫りとる。
②既存柱の仕上げは全て撤去する。
③コーナー部を半径10~30の円孤に仕上げ，全面プライマー塗布の上，無収縮モルタルにて下地調整を行う。
④各工法の技術資料に基づき，シート含浸接着剤を塗布し炭素繊維補強材を巻き付け，さらにシート含浸接着剤を上塗りする。必要に応じてこれを繰り返す。
⑤壁筋余部分に型枠を設置し，補強材の打設面に毛細を塗布し粗面に仕上げ，打継面の付着性能の向上をはかった上，無収縮モルタルを充填する。

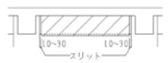
4－5 腰壁，たれ壁補強範囲

4－6 コンクリート打設無収縮モルタル注入法

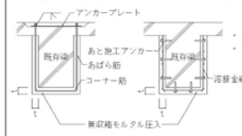
§５　梁補強工事要領

5－1 共通事項（炭素繊維補強は除く）

1. 既設仕上材を撤去する。
2. 既設梁のコンクリート面の1/3程度を目荒しする。
3. 補強材取り付け用の支持金物を設ける。
4. 梁の躯体寸法を測定し加工寸法を決める。
5. 補強部分は梁の両端部に30程度のスリットを設ける。



5－2 あばら筋補強 溶接金網補強

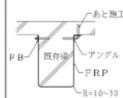


- 補強筋，溶接金網等は設計図による。
- モルタル厚さは設計図によるが，被覆は30以上とする。

5－3 鋼板補強

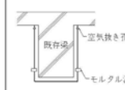
- 鋼板厚さは図示による。（t≧4.5）
- 鋼板と躯体面との間には30以上のクリアランスを設ける。ただし，補強鋼板の厚さが$t^{3/5}$以上の場合には，既存躯体の隅角部を10程度面取りする。
- 無収縮モルタル充填作業及び充填の確認が行えるよう適当な箇所に圧入孔，エアー抜き孔を設ける。

5－4 炭素繊維補強



- 施工手順
①既存梁の仕上げは全て撤去する。
②コーナー部を半径10~30の円弧に仕上げ，全面プライマー塗布の上，無収縮モルタルにて下地調整を行う。
③各工法の技術資料に基づき，シート含浸接着剤を塗布し炭素繊維補強材を巻き付けさらにシート含浸接着剤を上塗りする。必要に応じてこれを繰り返す。

5－5 無収縮モルタル注入



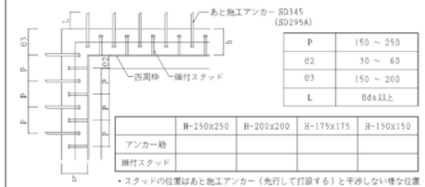
§６　鉄骨ブレース補強要領

6－1 使用材料形状

使用材料・形状等は設計図による。

6－2 増付スタッド

6－3 アンカー筋増付スタッドピッチ

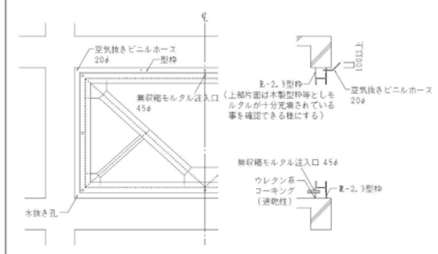


	P	150 ～ 250
	02	30 ～ 60
	03	150 ～ 200
	L	8da以上

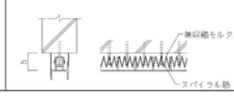
	H-250x250	H-200x200	H-175x175	H-150x150
アンカー筋				
増付スタッド				

- スタッドの位置はあと施工アンカー（先行して打設する）と干渉しない様な位置を決めて打設する。
- hはアンカー径，スタッド径を考慮して決定する。

6－4 無収縮モルタル注入

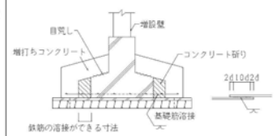


6－5 割裂補強

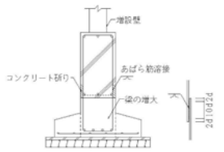


§７　基礎の補強

7－1 基礎底盤の拡幅



7－2 基礎の増設



§８　鉄骨造補強

8－1 準拠仕様

(社)日本鋼構造協会・(財)日本建築防災協会編による既存鉄骨造建築物の耐震改修施工マニュアル（改訂版）及び(社)日本建築学会ＪＡＳＳ６による。

8－2 改修箇所 ⊙印で示す

1) 架構全体の改修
- 1-1 軸組構面の改修
  - 筋かいの新設
  - 耐震壁性の新設
  - 耐震フレームの設置
  - 柱・梁接合部の方杖補強
- 1-2 水平構面の改修
  - 水平筋かいの新設
  - 火打ちの新設

2) 部材断面の改修
- 2-1 柱の耐力増大
  - コンクリートによる補強
  - 日の字形断面柱の補強
  - カバープレート，形鋼による補強
- 2-2 梁の耐力増大
  - 梁フランジ溶接部の補強
  - 梁ウェブの補強
  - 梁フランジの補強
- 2-3 トラス梁の耐力増大
  - 部材断面の増大
  - トラス構面の内弦材の補剛
  - トラス構面の外弦材の補剛
  - トラス端兼仕口補強
- 2-4 筋かいの耐力増大
  - 引張筋かいの部材交換
  - ボルト接合部の補強
  - 圧縮筋かいの部材交換
  - ガセットプレートの補強

3) 柱脚の改修
- 3-1 鋼板巻きによる補強
  - 隅角部柱脚の補強
  - 中央部柱脚の補強
- 3-2 RC巻補強による補強
  - 接着系アンカーによる補強
  - 既存主筋と接合する補強
- 3-3 RC柱とS梁の接合部補強
  - アンカーボルトの増設
  - 貫通ボルトによる補強
  - アンカーボルトのはしあき補強

4) 柱頭の改修
- 4-1
  - RC柱頂部のS柱・梁接合部の補強
  - RC柱頂部とS梁の接合部の補強

8－3 現場作業要領

1) 前処理
補強する部位は塗料，コンクリート，耐火被覆，その他の異物を除去する。
2) 高力ボルト接合
高力ボルトは高力六角ボルトまたはトルシア形高力ボルトとする。
孔明けは電気ドリルを原則とするが，やむをえずガス加工による場合はリーマ通しを行う。
摩擦面の処理は，グラインダー掛けを原則とし，さび発生状態を標準とする。
3) 溶接接合
溶接方法は被覆アーク溶接及びガスシールドアーク溶接とする。
完全溶込溶接の端部はエンドタブを使用し，すみ内溶接の端部は回し溶接を行う。
溶接と高力ボルト接合が併用される場合は高力ボルト接合を先行する。
4) 接合部の調査
高力ボルトの検査はＪＡＳＳ６　６節による。
溶接部の検査は完全溶込溶接は全数を超音波探傷試験をする。
すみ内溶接および部分溶込溶接は全数目視検査とする。

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事	既存建物耐震改修工事仕様書（２）

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			—	S－２

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）２０１３年度版

§１　一般事項

1－1 基本事項

1．使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2．設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
　また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書１－２－４に指定した共通仕様書及び日本建築学会「ＪＡＳＳ５（２００９）」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。
3．本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
4．本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1－2 その他

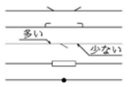
§２　共通事項

2－1 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記　号	•	×	⌀	●	○	⊙	⊠	◎	⊕	◆	⊗
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径 D	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

- フックのない場合
- フックのある場合
- 本数に差がある場合
- 機械式継手表示
- 溶接継手表示
　（ガス圧接，突き合せ溶接）



2－2 鉄筋の折り曲げ

柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

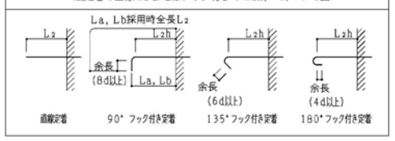
折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径（D）
180°	d, D, 余長 4d以上	柱・梁主筋	SD295	D16以下	3d以上
135°	d, D, 余長 6d以上	基礎主筋	SD345	D19～D41	4d以上
90°	d, D, 余長 8d以上	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SD390	D41以下	5d以上
		スラブ筋 壁筋	SD490	D25以下	5d以上
				D29～D41	6d以上

2－3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

「JASS5（2009）」に準拠

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度（N/mm²）	重ね継手の長さ 上段 直線 L_1 下段 フック付き L_{1h}	定着の長さ 一般 上段 直線 L_2 下段 フック付き L_{2h}, L_a	定着の長さ 小梁・床スラブ 上端筋 フック付き L_b	定着の長さ 小梁・床スラブ 下端筋 L_s, L_{sh}
SD295 SD345 （）はSD345を示す	18	45d(50d) 35d	40d 30d ,20d	15d (20d)	L_s=20d L_{sh}=10d
	21	40d(45d) 30d	35d 25d ,15(20)d		
	24～27	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d) 20d(25d),15(20)d	15d	
	30～36	35d 25d	30d 20d ,15d		
	39～45	30d(35d) 20d(25d)	25d(30d) 15d(20d),15d		床スラブの場合 L_s=10d かつ 150 以上
	48～60	30d 20d	25d 15d ,15d		
SD390 (SD490) (-)は適用外	21	50d(－) 35d(－)	40d(－) 30d(－),20d(－)	20d (－)	SD490は適用外
	24～27	45d(55d) 35d(45d)	40d(45d) 30d(35d),20(25)d		
	30～36	40d(50d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d),20(25)d	15d (－)	
	39～45	40d(45d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d),15(20)d		
	48～60	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d) 20d(25d),15(20)d		

一般定着の直線 L_2 またはフック付きの L_{2h}, L_a, L_b の図

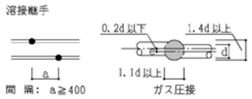


1．重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、又、フック付きの L_{2h} は仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。
2．軽量コンクリートを使用する場合は、２－３の数値に５dを加算する。

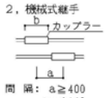
2－4 継手一般

3．構造特記仕様書２－２で政令第７３条とした場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは左下表 L_1 かつ４０d（軽量コンクリートを使用する場合は５０d）とする。
4．構造特記仕様書２－２でＪＡＳＳ５（２００９）、ＲＣ規準２０１０とした場合、主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは設計者の指示による。
　参考値として左下表ＪＡＳＳ５（２００９）に L_1 L_2 を示す。

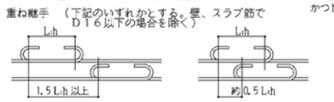
1．溶接継手



2，機械式継手



3．重ね継手　（下記のいずれかとする。壁、スラブ筋でD16以下の場合を除く）



4．D35以上の鉄筋は原則として重ね継手は用いない。
　（溶接、機械式継手等による）
5．溶接継手を行う場合は原則として同一鋼種とし、鉄筋径の差はガス圧接の場合は２サイズ、突き合せ溶接の場合は１サイズまでとする。
6．突合せ溶接継手及び機械式継手の場合はメーカー仕様による。

2－5 鉄筋のフック

- 下記の１．～７．に示す鉄筋の末端部にはフックをつける。

1．あばら筋及び帯筋　　2．煙突の鉄筋
3．柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部分の鉄筋（下図参照）

上図の●印の鉄筋の末端にはフックが必要。

4．片持ちスラブの上端筋の先端
5．最上階及びこれに準ずる箇所の柱頭の四隅の鉄筋
6．杭基礎の基礎筋（偏心基礎及び杭２本打以上の場合）
7．鉄骨柱の脚部の基礎柱、又は根巻コンクリートの四隅の鉄筋

2－6 鉄筋のあき

- 鉄筋のあきaは原則として下記による。
　呼び名の数値dの 1.5 倍以上
　粗骨材の最大寸法の 1.25 倍以上　　かつ25以上

※Dは最外径を示す

- 鉄筋径が異なる場合は大きい方による。
- 二段筋のあきは 1.5d とする。

2－7 かぶり厚さ

鉄筋に対するコンクリートの設計かぶり厚さと最小かぶり厚さ

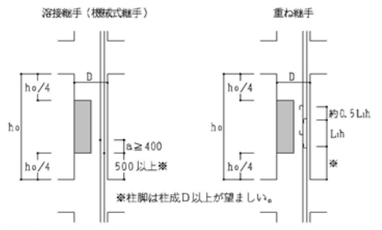
部　位			かぶり厚さ 仕上げあり	かぶり厚さ 仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋　内	30(20)	30(20)
		屋　外	30(20)	40(30)
	柱 梁 耐力壁	屋　内	40(30)	40(30)
		屋　外	40(30)	50(40)
	擁　壁		50 [■1](40) [■1]	50 [■1](40) [■1]
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・壁 布基礎の立上り		50 [■2](40) [■2]	
	基　礎　・　擁　壁		70 [■2](60) [■2]	

1．（ ）内の数値は最小かぶり厚さを示す。
2．仕上げあり　とは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
3．※1　品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で１０減の値とすることができる。
4．※2　軽量コンクリートの場合は、これに１０加算する。
5．柱・梁の主筋のかぶり厚さは主筋径の1.5倍以上とする。

§３　柱

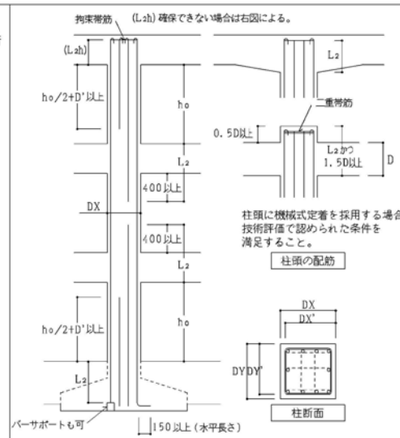
3－1 主筋の継手

溶接継手（機械式継手）　　重ね継手

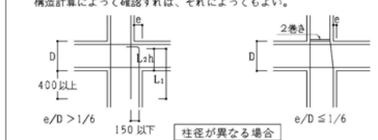


- 印内に継手中心部を設けることを原則とする。

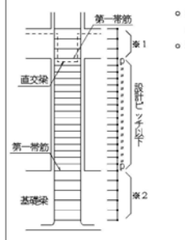
3－2 主筋の定着



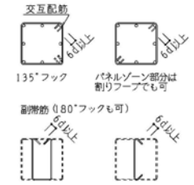
※ 余長 D' は柱有効成（DX' DY' の大きい方）とし、構造計算によって確認すれば、それによってもよい。



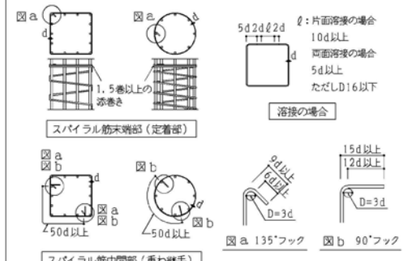
3－3 帯筋 副帯筋

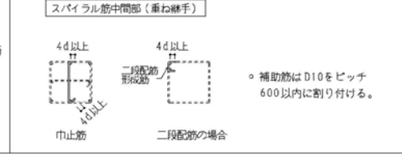


- 第一帯筋（D13以上使用の事）は梁面に入れ、その間を設計ピッチ以下に割り付ける。
- 帯筋の加工は下図による。



- パネルゾーンの帯筋は設計図によるが、明記なき場合は下記による。ただし、帯筋量（pw）は0.2%以上とする。
　※1．設計ピッチの1.5倍以下とする。⊟ 形以上の場合は同径同材質で □ 形@100以下とする。
　※2．基礎梁部分は、同径で □ 形@150以下とする。
- スパイラル筋の末端処理及び継手は下記のとおりとする。
　1．末端は1.5巻以上の添巻きをし、図aのフックをつける。
　2．重ね継手は重ね長さ50d以上とし、図a又は図bのフックをつける。



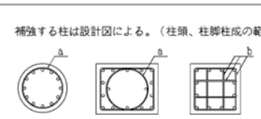


- 補助筋はD10をピッチ600以内に割り付ける。

3－4 補助筋

3－5 柱のコンファインド補強

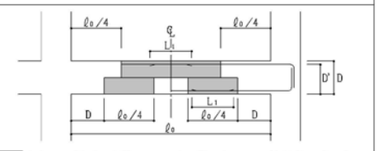
補強する柱は設計図による。（柱頭、柱脚柱成の範囲を補強する。）



a スパイラル帯筋 @60～75（有効間隔50程度）
b 溶接閉鎖型帯筋 @60～75（有効間隔50程度）

§４　梁

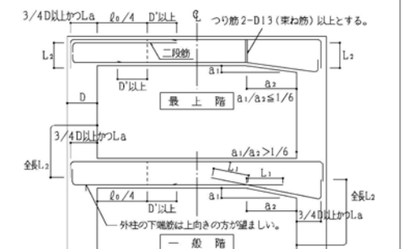
4－1 主筋の継手



- 印内に継手中心部を設けることを原則とする。ただし溶接継手の場合は、柱面より500以上はなすこと。
- 定着形状を下記以外とする場合は設計図書による。

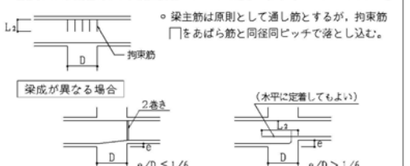
4－2 主筋の定着及び余長

外柱

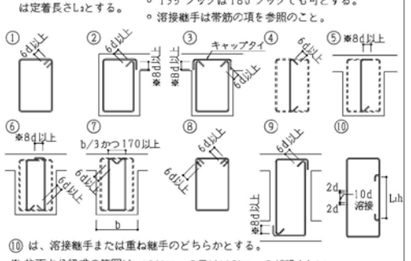


※ 余長D'は梁有効成とし、構造計算によって確認すれば、それによってもよい。

中柱



4－3 あばら筋 副あばら筋



※ ねじれ応力を受ける腹筋は定着長さLsとする。

- 第一あばら筋は柱面に入れその間を設計ピッチ以下に割り付ける。
- あばら筋の加工は下図①又は⑧による。
　②③⑤⑥⑨は同時打込みのスラブ付の場合に限る。
- ⑨⑩は梁成の大きい場合。
- ①はピッチ2pで交互配置とする。
- 135°フックは180°フックでも可とする。
- 溶接継手は帯筋の項を参照のこと。

⑩は、溶接継手または重ね継手のどちらかとする。
※ 柱面より梁成の範囲は、180°フック又は135°フックが望ましい。

株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			—	S－3

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）２０１３年度版

4－4 補助筋

腹筋	D＜ 600	不要
	600≦D＜ 900	2-D10（1段）
	900≦D＜1200	4-D10（2段）
	1200≦D	D10 @300以内
中止筋	D10 @1000以内で割り付ける。	
受筋つり筋	D10 @1000以内で割り付ける。	

4－5 小梁及び片持梁

a）小梁継手

◦ ▭ 印内に継手中心部を設けること。ただし溶接継手の場合は梁面より500以上はなすこと。

定着

※ Bが小さい場合、余長部でL_2,L_1とする水平投影長さは8d以上が望ましい

b）片持梁 定着 継手

◦ 下端筋は水平定着でも可。上端筋には継手を設けてはならない。

先端小梁のない場合

※ 地反力を受ける梁は構造特記仕様書５－４項および設計図に示す。
余長はℓ_1（$\ell_1 \geq \min(D', L_2)$）とする。
余長ℓ_2は構造計算によって確認すれば、それによってもよい。

4－6 基礎梁及び基礎小梁

a）基礎梁の継手及び定着

① 一般（独立基礎、杭打独立基礎）

② 地反力（又は杭反力）を受ける場合

※ 設計者の判断による。

③ 上載荷重が大きい場合は②の主筋継手位置を上下逆にする。

b）基礎小梁の継手及び定着

① 地反力を受けない場合は{4-5}による。

② 地反力を受ける場合

◦ ▭ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。ただし溶接継手の場合は柱面（基礎小梁の場合は梁面）より500以上はなすこと。Lbとれない場合４－５ａ定着によってよい。

4－7 梁の貫通補強

１．補強筋は原則として工場製品（認定品）を使用する。
２．認定品を使用しない場合は下図によるが、補強筋は設計者の指示による。

◦ 梁貫通孔は梁成の1/3以下とする。
◦ 孔が複数の場合は中心間隔を径（φ）の 3倍以上とする。
また位置は原則として柱面から梁成 D以上はなし、梁成の中央 D/2の範囲内とする。
◦ φが100かつ D/10 以下のとき、補強を必要としないが、あばら筋を切断してはならない。
◦ ※線筋はあばら筋加工とする。

§5 スラブ

5－1 鉄筋の折り曲げ及び定着

外周部は 8d 以上折り曲げる

■4-5a）定着に同じ

5－2 継手

継手位置は原則として下表によるが、右図でもよい。

		標準継手位置
上端筋	短辺方向	B　D
	長辺方向	A　B
下端筋	短辺・長辺方向	A　C　D

5－3 片持ちスラブ

片持ちスラブ隅角部補強は設計図による。

先端に荷重がある場合

5－4 補強筋

開口補強　A：開口面積

$A \leqq 0.3m^2$ かつ $\ell \leqq 0.6m$

$0.3m^2 < A \leqq 1.0m^2$ かつ $\ell \leqq 1.0m$ （大梁又は小梁にL_2定着）

注）スラブ筋を切断しない場合は補強を要しない。

段違床

RC壁・CB壁が床にのる場合

セットバックを含む屋根屋上スラブ隅角補強

スラブ筋と同径で1/2ピッチ以下（≒@100）程度となる様に上端に補強筋をいれる

鉄筋による方法

溶接金網による方法

補強範囲

§6 壁

6－1 定着及び継手

6－2 壁配筋

◦ 定着長さはL_2、及び継手長さはL_1とする。
※ただし耐震壁で増筋、あばら筋の内側に定着できない場合は、ℓ=150 程度 45°~ 90°折り曲げ、定着長さはL_2かつD/2以上とする。（通し配筋の場合は不要）
◦ 土圧を受ける壁の外側鉄筋の定着は③図による。
◦ 継手位置はどの部分でもよいが、土圧を受ける壁は5-2項の土圧面側を上端筋側に読み替える。
壁の配筋は設計図書による。
◦ ダブル配筋では中止筋を縦横共D10@1000以内を標準とする。

6－3 補強筋

開口部

鉄筋による方法

溶接金網による方法

◦※ 斜筋を縦・横補強筋でおきかえる場合は設計者の指示による。
◦ 斜筋は内側に配置する。壁筋を切断しない場合は補強を要しない。

交差部

端部

◦ 開口補強筋はリストによる

スリット

完全スリットの場合

§7 基礎

7－1 独立基礎

7－2 杭基礎

◦ 1本杭で偏心していない場合は、立上り筋不要
◦ 杭頭補強筋は設計図による。
◦ 杭頭を切断した場合の補強は、設計者の指示による。

a 隅角部

継手位置は5-2項の上端筋を下端筋に読み替える。

7－3 べた基礎継手及び定着

■4-5a）上端筋定着に同じ

7－4 基礎と基礎梁

◦ 補強部 ▭ の厚さは梁巾とする。

§8 その他

8－1 階段

片持階段

※ 壁配筋が片持荷重を受ける配筋とされている場合は不要。

スラブ階段

8－2 土間コンクリート

RC壁・CB壁の補強

8－3 打増し補強

◦ ▭ は打増し部分を示す。- - -と配筋してもよい。
◦ 補強筋　定着は20d(La)（ ）は、主要な耐力壁等が取付く場合で設計者の判断による。
t≦ 50 補強なし　　50＜t≦100 D13@300
100＜t≦200 D16@300　　200＜t≦300 D16@200
t＞300 設計図による

8－4 増築予定

◦ ▭ は、はつり部分を示す。
◦ 増築時の継手は、原則として柱・梁の主筋は溶接継手する。
（増築側の鉄筋は水平定着でもよい。）

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	DRAWING NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第86307号 細田 美弘			—	S－ 4

鉄 骨 工 作 標 準 図 （1） 2013年度版

§1 一般事項

1－1 基本事項

1) 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2) 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は、構造特記仕様書１－２－４，５に指定した共通仕様書および標準仕様書による。
3) 製作精度等に関しては、ＪＡＳＳ６の付則６「鉄骨精度検査基準」による。
4) 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてｍｍとする。

1－2 その他

§2 共通事項

2－1 略号

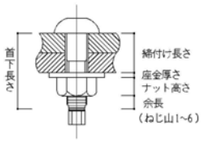
- ＡＢ ―― アンカーボルト
- ＢＰ ―― ベースプレート
- ＤＦ ―― ダイアフラム
- ＦＰ ―― フランジプレート
- ＨＴＢ ―― 高力ボルト
- ＳＰ ―― スプライスプレート
- ＷＰ ―― ウェブプレート
- ＢＨ ―― 組立てＨ形鋼
- ＣＨＥ ―― チェッカープレート
- ＦＢ ―― フラットバー
- ＧＰ ―― ガセットプレート
- ＲＰ ―― リブプレート
- ＴＢ ―― ターンバックル
- Ｗ₁～₉ ―― 溶接記号（§４参照）

§3 ボルト接合

3－1 高力ボルト

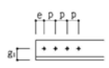
ボルトの長さ

ボルトの呼び径	締付け長さに加える長さ	
	F8T, F10T	S10T
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40



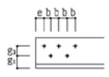
1, 特記以外はすべてS10T（トルシア形高力ボルト、上図）又はF10Tとする。
2, 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。
3, ボルトの接合面の処理は、締め付け摩擦面を平グラインダー掛け等を行い、黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットブラスト等を行った場合はこの限りでない。締付けは１次締付け後、マーキングを入れてから本締めをする。
4, 亜鉛メッキボルトの場合は、すべてＦ８Ｔとする。

3－2 高力ボルトのピッチ



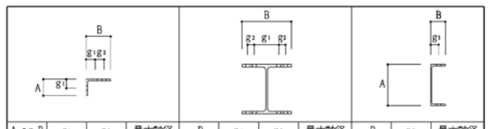
呼び径			M16	M20	M22	M24
孔径			18	22	24	26
ピッチ	標準	P	60	60	60	70
	最小		40	50	55	60
はしあき		e	40	40(50)	40(55)	45(60)
最小縁端距離	せん断縁，手動ガス切断縁		28	34	38	44
	圧延縁，自動ガス切断縁等		22	26	28	32

（）内はボルトが応力方向に３本以上並ばない場合を示す。



ゲージ g₂	千鳥打ちのピッチ b	
	M16, 20, 22	M24
35	50	65
40	45	60
55	25	45

3－3 形鋼のゲージ

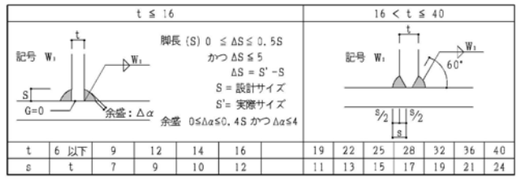


A or B	g₁	g₂	最大軸径	B	g₁	g₂	最大軸径	B	g₂	最大軸径
**50	30		16	**100	60		16	**50	30	16
60	35		16	125	75		16	65	35	20
65	35		20	150	90		22	70	40	20
70	40		20	175	105		22	75	40	22
75	40		22	200	120		24	80	45	22
80	45		22	250	150		24	90	50	24
90	50		24	*300	150	40	24	100	55	24
100	55		24	350	140	70	24			
125	50	35	24	400	140	90	24			
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

＊B＝300は千鳥打ちとする。
＊＊印の欄のg及び最大軸径の値は強度上支障がないとき最小縁端距離の規定にかかわらず用いることができる。

4－1 隅肉溶接

§4 溶接接合

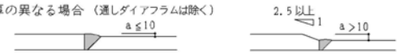


t	6 以下	9	12	14	16		19	22	25	28	32	36	40
s	t	7	9	10	12		11	13	15	17	19	21	24

断続隅肉溶接の長さL

L≧10Sかつ40以上

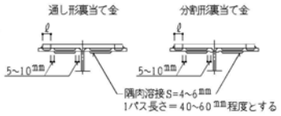
1) 板厚の異なる場合（通しダイアフラムは除く）



クレーンガーダーの場合は、全て2.5倍以上の勾配をとる。

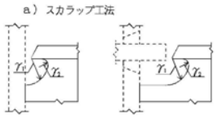
2) エンドタブ

両端に継手と同じ形状のエンドタブを取り付ける。
長さ ℓ は35以上かつ薄い方の板厚の２倍以上とする。
エンドタブを切断する場合溶接終了後母材より5～10㎜はなして切断する。代替タブを採用する場合は溶接技量付加試験に合格した溶接工によること。
エンドタブ、裏当て金の組立て溶接は右図による。



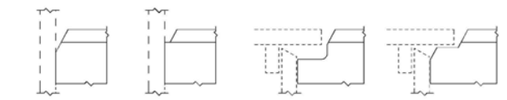
3) 開先加工 （下図は参考とする。）

a) スカラップ工法



- スカラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。γ₁は35程度、γ₂は10程度とする。なお複合円は滑らかに仕上げること。
- 完全溶込み溶接部以外のスカラップはγ=25程度とする。

b) ノンスカラップ工法



機械加工タイプ　機械加工＋ガス切りタイプ

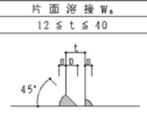
4) 開先形状

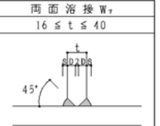
記号	形状	適用板厚	寸法	アーク手溶接	ガスシールドアーク溶接
W₂ MC-BL-B1 GC-BL-B1	裏当て, α₁, R, T, 25以上, 9以上, G	6≦T	G	7 +2 −2	6 +2 −2
			R	2 +1 −2	2 +1 −2
			α₁	45° −5°	45° −5°
W₃ MC-BL-2 GC-BL-2	裏はつり, α₁, R, T, G	6≦T≦19	G	9 +2 −2	7 +2 −2
			R	2 +1 −2	2 +1 −2
			α₁	35° −5°	35° −5°
W₄ MC-BK-2 GC-BK-2	裏はつり, α₁, d₁, R, d₂, T, G, α₂	16<T	G	0 +4 −0	0 +3 −0
			d₁	2/5(T−R)	2/5(T−R)
			R	2 +2 −2	2 +2 −2
			d₂	1/5(T−R)	1/5(T−R)
			α₁	45° −5°	45° −5°
			α₂	60° −5°	60° −5°
W₅ MC-BI-B1 GC-BI-B1	裏当て, T, FB-4.5x19, G	3~6	G	T −2	T −2
		6~9	G		6 −3

MC… はアーク手溶接　GC … はガスシールドアーク溶接・セルフシールドアーク溶接の記号を示す。

4－3 部分溶込み溶接

片面溶接 W₆ 12 ≦ t ≦ 40	両面溶接 W₇ 16 ≦ t ≦ 40



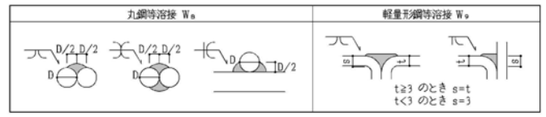


t	12	16	19	22	25	28	32	36	40	D=(t−2)/2
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16	

t/4 ≦ S ≦ 10

4－4 フレア溶接

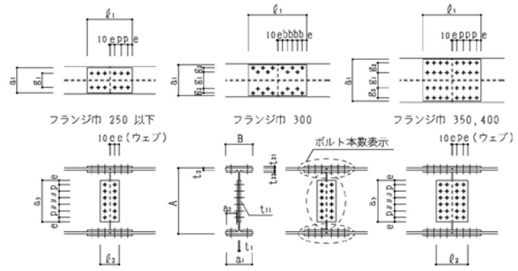
4－5 その他



加工工程中及び現場建方後においてもアークストライク、ショートビートをしてはならない。

5－1 継手リスト

§5 継手

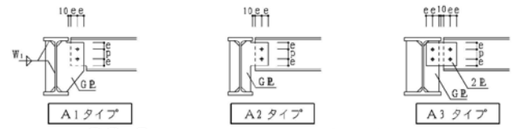


材種	主材	高力ボルト径	フランジ ボルト	フランジ 外側添板	フランジ 内側添板	ウエブ ボルト	ウエブ 添板	ピッチ
			総本数	2PL− t_{21} X a_1 X ℓ_1	4PL− t_{22} X a_3 X ℓ_1	総本数	2PL− t_{11} X a_3 X ℓ_2	
	H− A X B X t_1 X t_2			X X	X X		X X	
	BH− A X B X t_1 X t_2			X X	X X		X X	
	H− x x x			X X	X X		X X	
	H− x x x			X X	X X		X X	
	H− x x x			X X	X X		X X	
	H− x x x			X X	X X		X X	
	H− x x x			X X	X X		X X	
	H− x x x			X X	X X		X X	
	H− x x x			X X	X X		X X	
	H− x x x			X X	X X		X X	
	H− x x x			X X	X X		X X	
	H− x x x			X X	X X		X X	
	H− x x x			X X	X X		X X	
	H− x x x			X X	X X		X X	
	H− x x x			X X	X X		X X	
	H− x x x			X X	X X		X X	

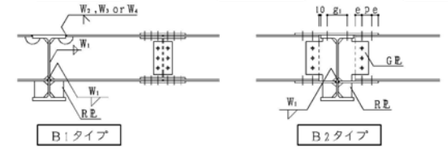
1, フランジ PL 面もしくはウェブ PL 面で、段差1㎜を超える場合は、フィラー PL を入れて調整すること。
2, a_3は原則として溶成の 2/3 以上確保すること。

5－2 小梁仕口

ピン接合 Aタイプ



剛接合 Bタイプ



1, GPL, RPL は材種、板厚とも小梁の WPL と同等以上とする。
2, 継手プレート及び高力ボルトはリストによる。

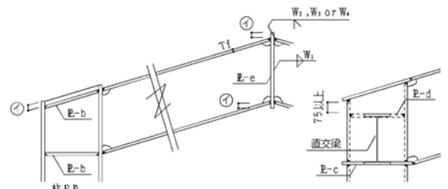
株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事
DRAWING NAME: 鉄骨工作標準図（１）
APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第66307号 細田 美弘
CHECKED BY:
DRAWN BY:
SCALE: ―
DRAWING NO: S－5

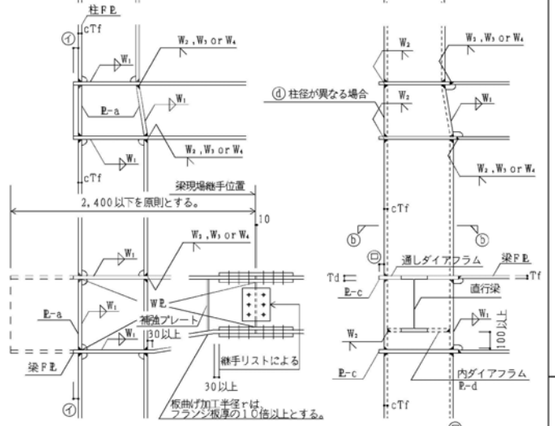
鉄 骨 工 作 標 準 図 （2） 2013年度版

§6 柱梁接合部及び継手

6－1 勾配屋根

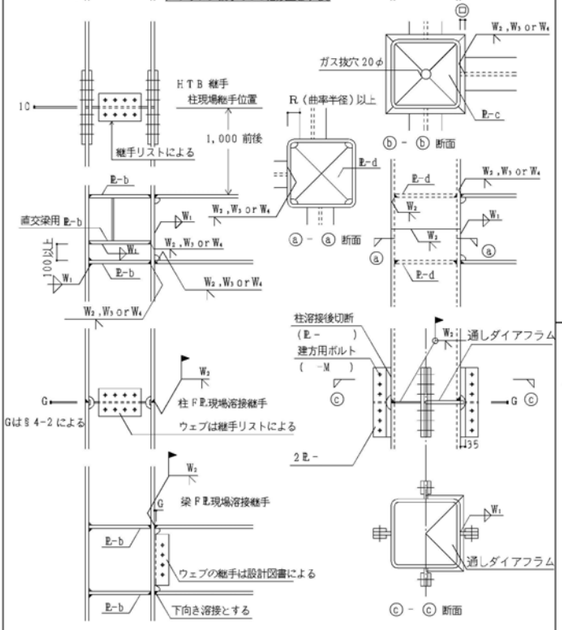


6－2 梁 通 し



6－3 仕口と継手

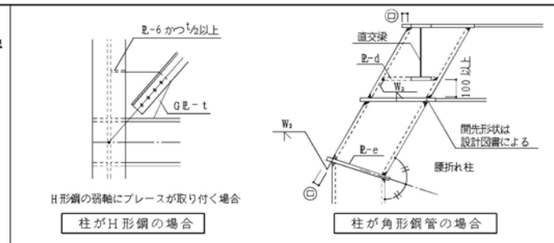
6－4 柱 通 し



6－5 現場溶接継手

柱がH形鋼の場合　　柱が角形鋼管の場合

6－6 その他



1） パネルゾーンのPℓの厚さ

1,	Pℓ-a（斜直スチフナ）	上下柱のFPℓの厚い方より1サイズ UP 以上
2,	Pℓ-b（水平スチフナ）	仕口部に集結する梁の最大FPℓより1サイズUP以上
3,	Pℓ-c（通しダイアフラム）	仕口部に集結する梁の最大FPℓより2サイズUP以上かつ柱のFPℓ以上
4,	Pℓ-d（内ダイアフラム）	仕口部に集結する梁の最大FPℓより2サイズUP以上
5,	Pℓ-e（折れ曲がり部）	梁（柱）のFPℓより1サイズUP以上

2） 出寸法

ⓐ 25㎜ かつ cTf 以上

ⓑ cTf≦25 の場合 25
cTf≧28 の場合 30

3） 注記

1, ダイアフラムの材質は特記仕様書による。特記なき場合は、接続する柱及び梁の1ランク上質とする。また接続する柱及び梁の強度及び材質の異なる場合は、強度は大きい方に同じとし、材質は上の方の1ランク上質とする。

2, ⓒ（6-2項）上下階で柱径が異なる場合の板厚は上下階柱の厚い方、材質は上下階柱と同質以上とし、折り曲げ加工又は溶接加工とする。

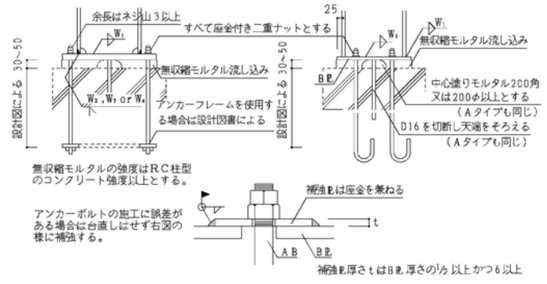
3, ハンチ部で FPℓ を折曲げる場合は R≧10Tf とし補強プレートを入れる。ただし、勾配のゆるい場合（1/6 程度）は不要。

4, ダイアフラムと梁フランジの溶接部は、梁フランジはダイアフラムの厚みの内部で溶接すること。（告示 1464）

5, 現場溶接を行なう場合は工事監理者の承諾を得、養生に十分配慮して行うこと。

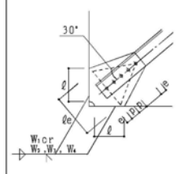
§7 柱 脚

7－1 一般柱脚



§8 壁面プレース

8－1 ブレースリスト

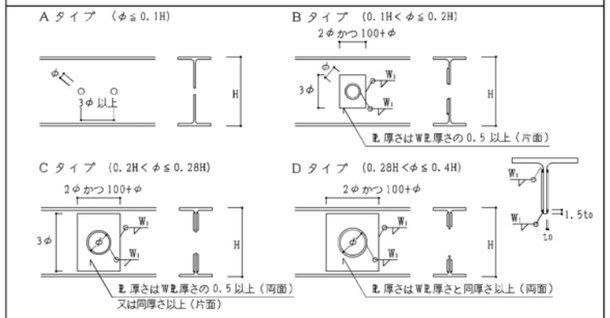


符号	部 材	高力ボルト 径	高力ボルト 本数	GPℓ t	GPℓ ℓe	溶接 脚長	溶接 Σℓ

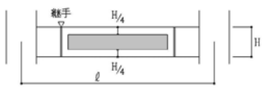
1, GPℓ の最小幅 ℓe が確保できない場合は、設計者の指示により板厚を変更する。
2, 丸鋼を使用する場合は、丸鋼、ターンバックル共ＪＩＳ規格品を使用する。
3, 床面プレースは設計図書に明記なき場合は壁面に準ずる。

§9 その他

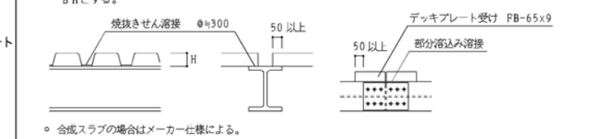
9－1 貫通補強



1, 特記なき限り補強方法は上図によるが、孔径（φ）は 0.5H 以下とし、そのピッチは 3.0φ以上とする。
（これを満足できない場合は設計者の指示による。）
2, 貫通孔を設ける範囲は右図の ▭ 部分を原則とする。
3, 貫通孔が多くある場合は WPℓ を厚くした（WPℓ＋補強 Pℓ）BHとする。

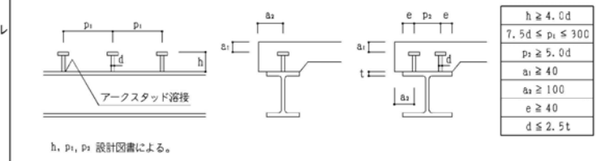


9－2 デッキプレート



○ 合成スラブの場合はメーカー仕様による。

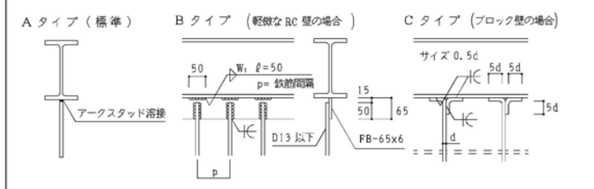
9－3 スタッドジベル



h ≧ 4.0d
7.5d ≦ p₁ ≦ 300
p₂ ≧ 5.0d
a₁ ≧ 40
a₂ ≧ 100
e ≧ 40
d ≦ 2.5t

h, p₁, p₂ 設計図書による。

9－4 壁筋の溶接

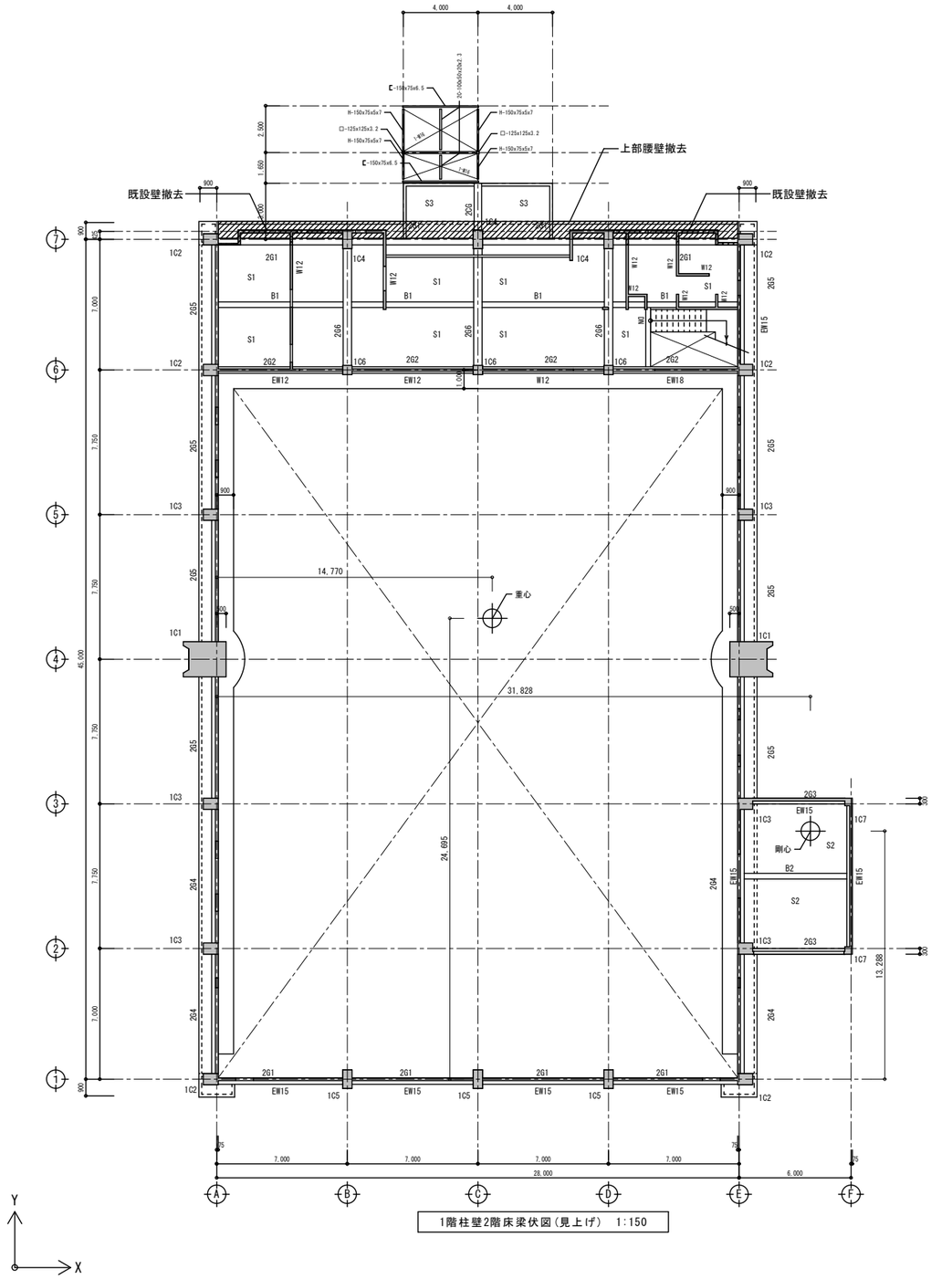


株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	篠山市立西紀体育館耐震補強工事
DRAWING NAME	鉄骨工作標準図（2）
APPROVED BY	1級建築士 大臣登録 第66307号 細田 美弘
CHECKED BY	
DRAWIN BY	
SCALE	—
DRAWING NO	S－6

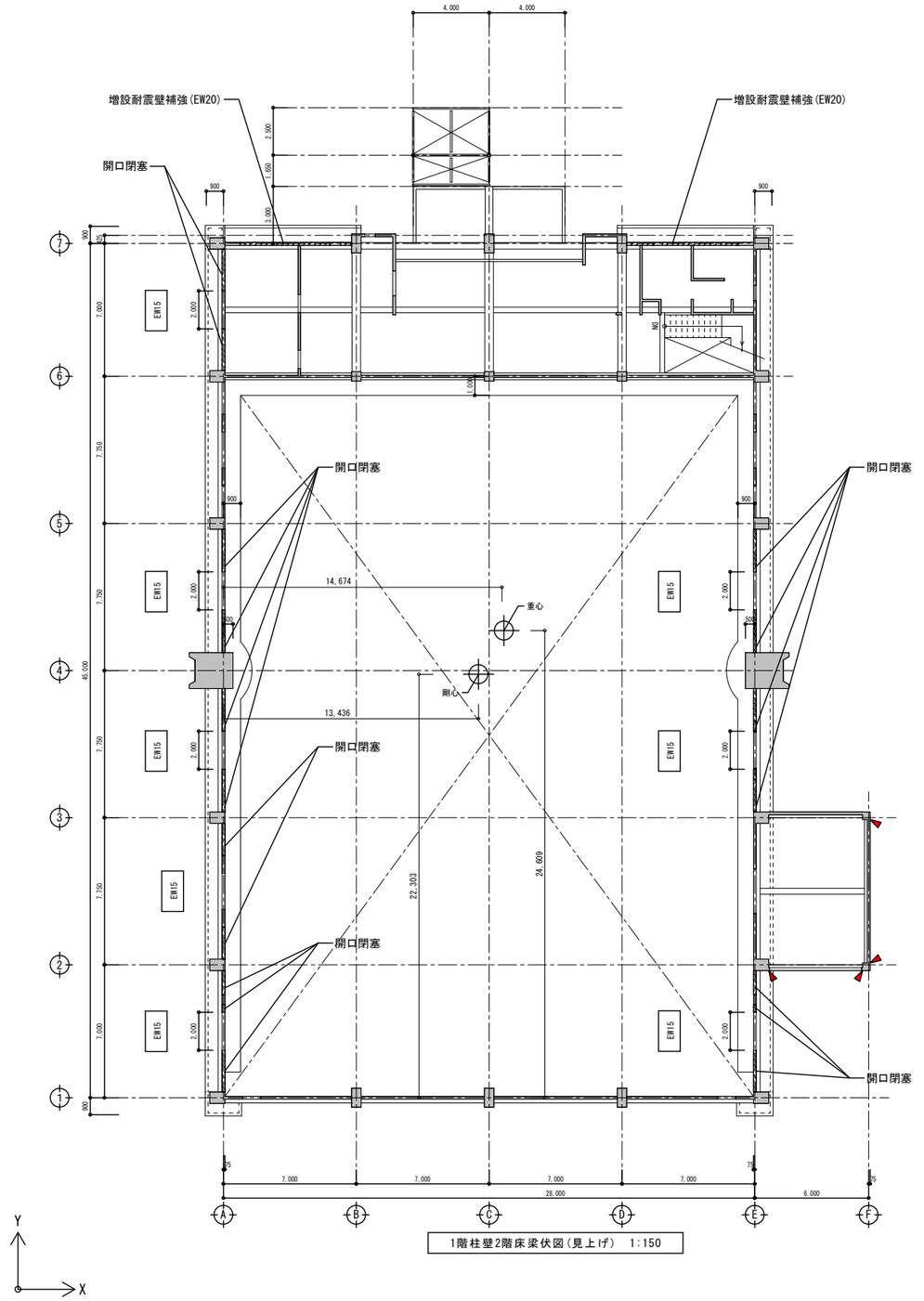
補強前

註記　特記なきは下記による。
- 壁はW15とする。
- 梁天端レベルは2FL-40を示す。



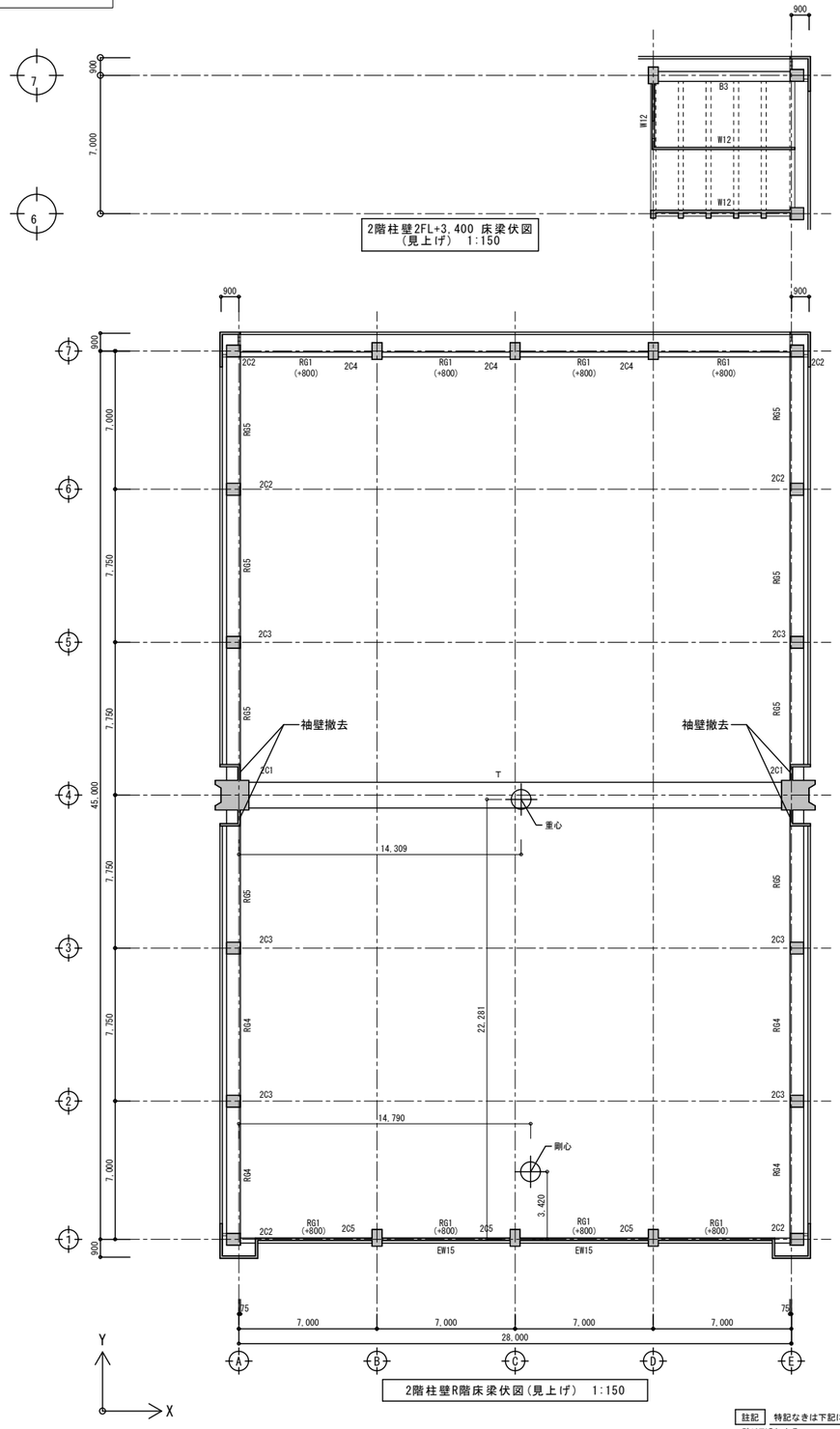
補強後

註記　特記なきは下記による。
▶ 印はスリット補強を示す。



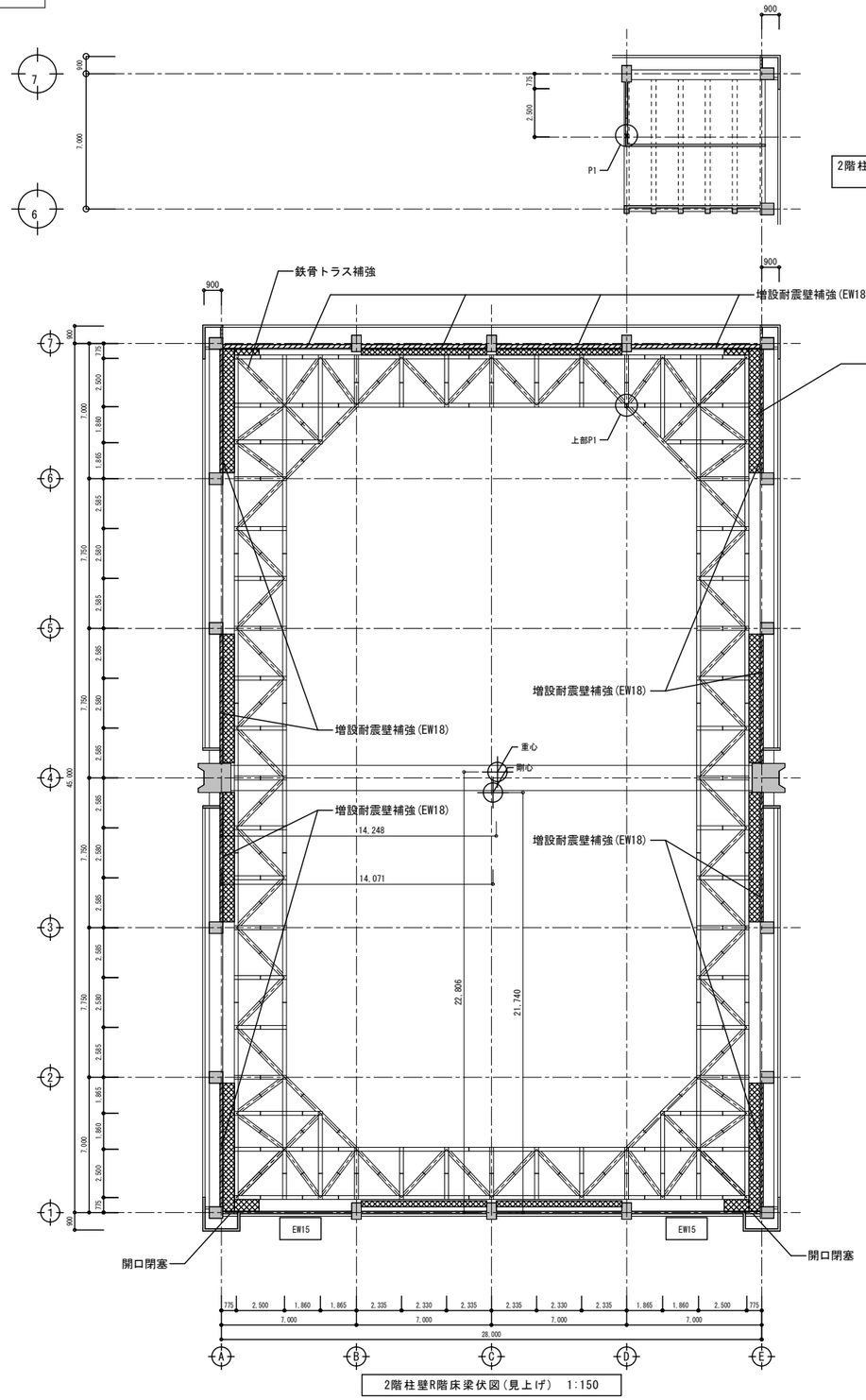
株式会社 WASHIO 鷲尾建築設計事務所 〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1 TEL：079-284-1491 FAX：079-284-1446	CONSTRUCTION NAME 篠山市立西紀体育館耐震補強工事		DRAWING NAME 補強伏図(1)
	APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWN BY
	SCALE 1:150		DRAWING NO S－ 7

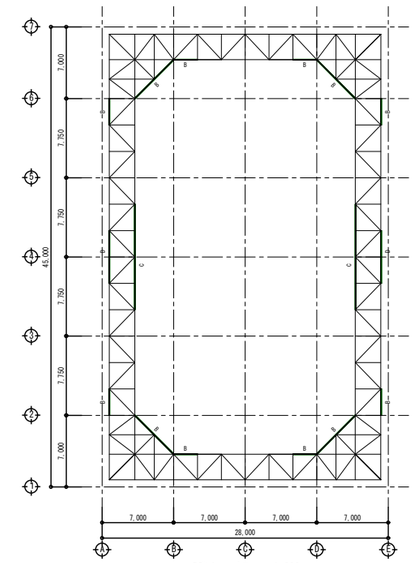
補強前



註記 特記なきは下記による。
- 壁はW15とする。
- 梁天端レベルは2FL-40を示す。

補強後





註記 特記なきは下記による。
- ═ 印はジョイント位置を示す。
- 新設トラス梁部材はAとする。

A	H-350x350x12x19 (SS400)
B	BH-350x350x16x22 (SS400)
C	BH-350x350x19x28 (SS400)
D	BH-350x350x19x32 (SS400)

株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME: 補強伏図(2)

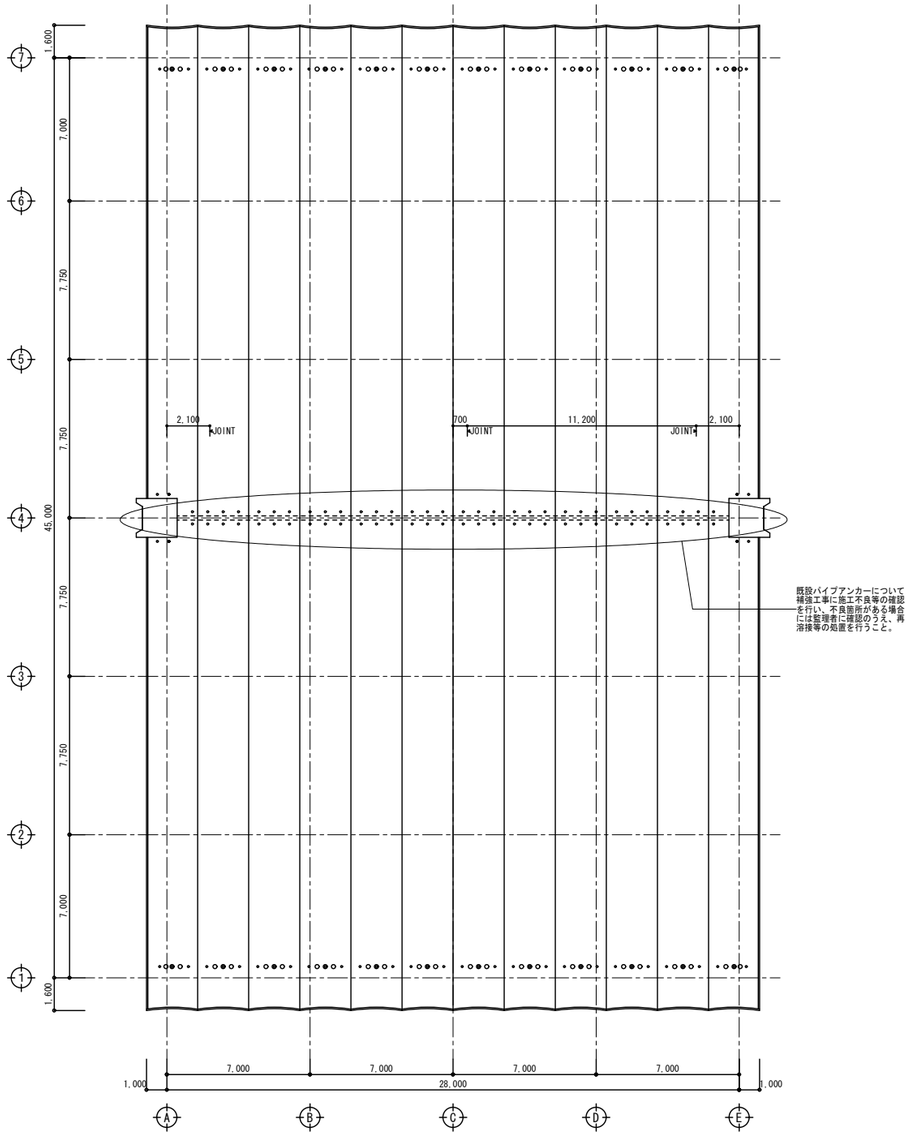
APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘

CHECKED BY:

DRAWN BY:

SCALE: 1:150

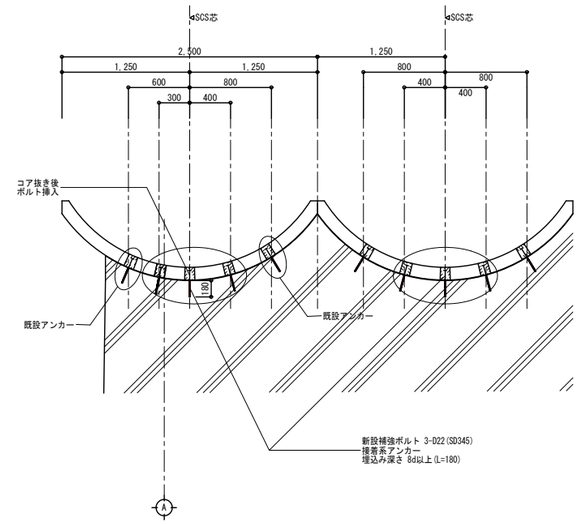
DRAWING NO: S－ 8



屋根伏図　1:150

註記　特記なきは下記による。

- ○ 新設補強ボルト 接着系アンカーを示す。(3箇所/枚)

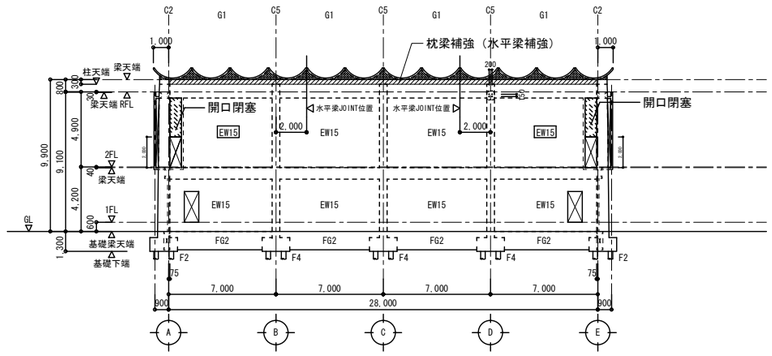


シルバークール 接合部補強要領図　1:30

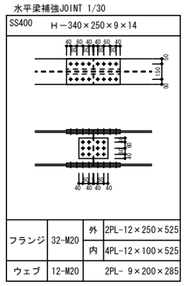
註記　特記なきは下記による。

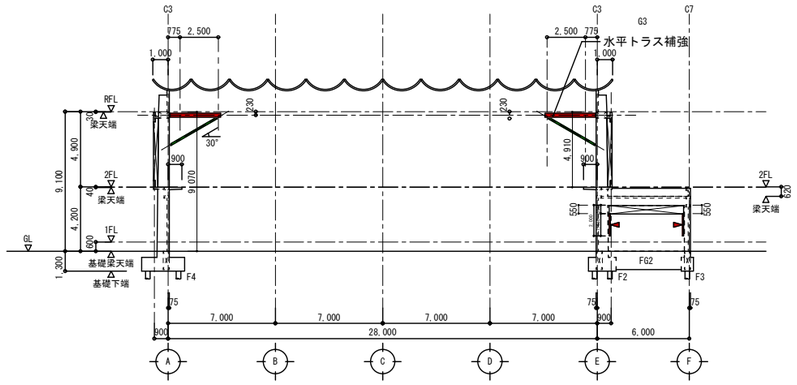
1. 新設補強ボルトを上図に示すように追加するものとする。
2. コア抜き等での孔内清掃は吸引(またはブロアー)・ブラシング・吸引(またはブロアー)の順で確実に行い施工のこと。
3. 無収縮モルタル　Fm40
4. コア抜き時には鉄筋探査の上施工箇所を決定。
5. 施工時の雨水等の浸水に留意し、養生シート等で保護のこと。
6. シルバークール接合部のアンカーの実態調査を全体工事に先立ち行い、再利用可能なのかを、係員と協議すること。

株式会社 WASHIO	鷲尾建築設計事務所 〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1 TEL：079-284-1491 FAX：079-284-1446	CONSTRUCTION NAME 篠山市立西紀体育館耐震補強工事			DRAWING NAME 補強屋根伏図、補強要領図
		APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE 1:150, 1:30 / DRAWING NO S－ 9

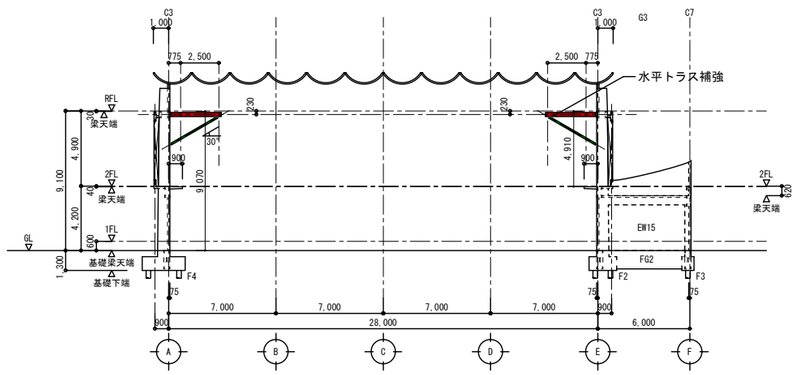


1通り軸組図　1:200

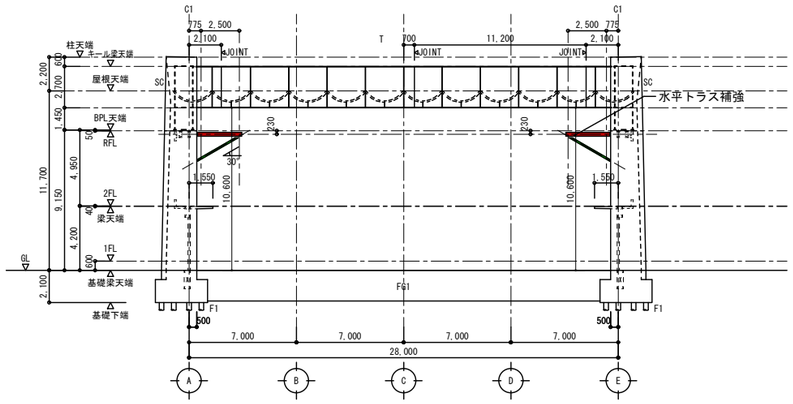




2通り軸組図　1:200



3通り軸組図　1:200



4通り軸組図　1:200

株式会社
WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME
補強軸組図(1)

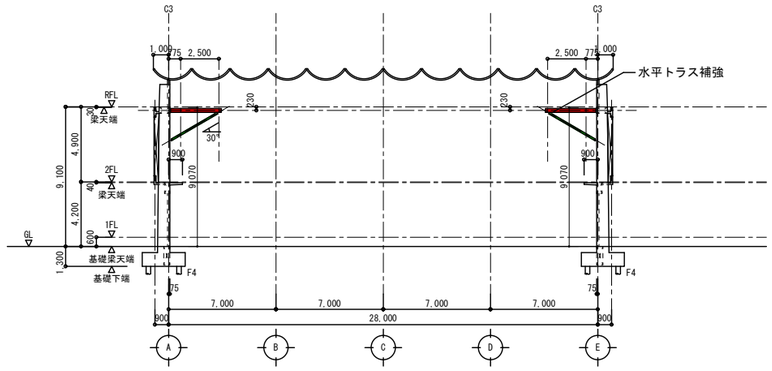
APPROVED BY
1級建築士
大臣登録 第96307号
細田 美弘

CHECKED BY

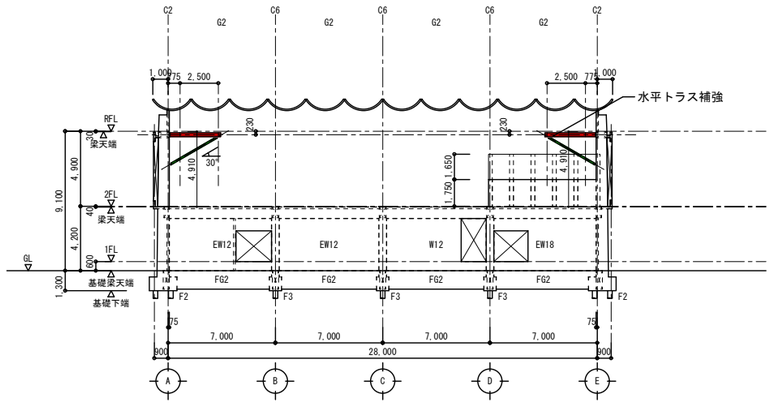
DRAWN BY

SCALE
1:200

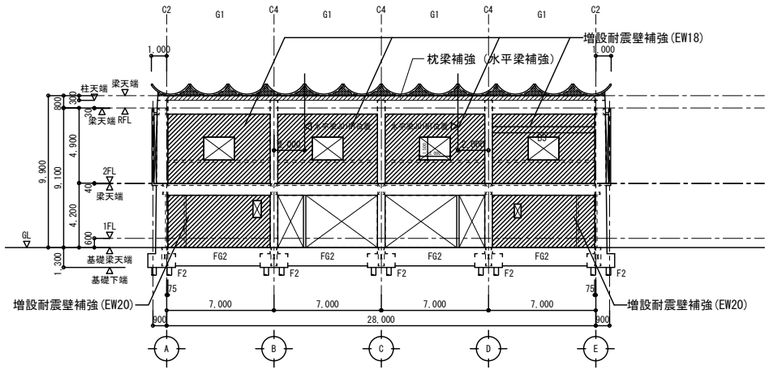
DRAWING NO
S－ 10



5通り軸組図　　1:200



6通り軸組図　　1:200



7通り軸組図　　1:200

水平梁補強JOINT 1/30

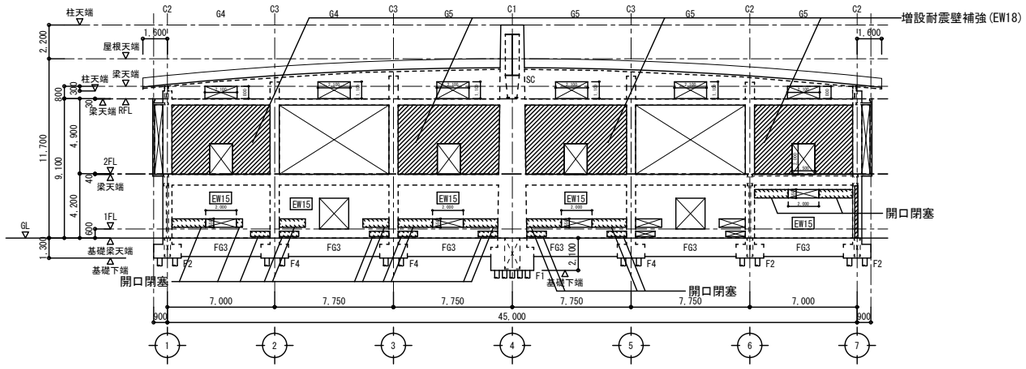
SS400	H－340×250×9×14		
フランジ	32-M20	外	2PL-12×250×525
		内	4PL-12×100×525
ウェブ	12-M20		2PL- 9×200×285

株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

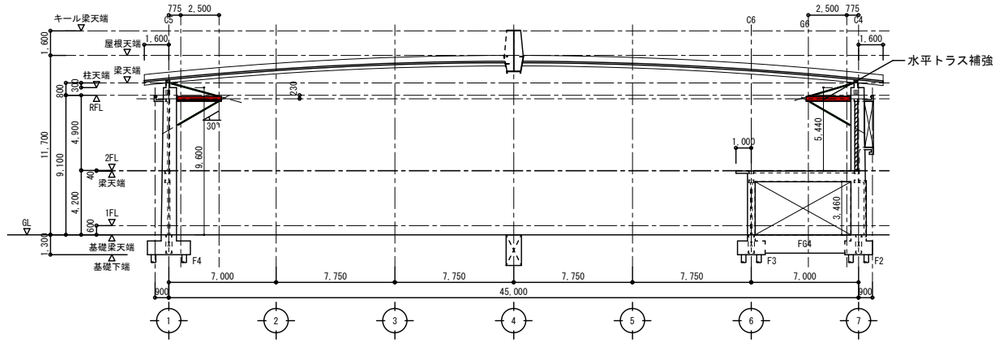
CONSTRUCTION NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME
補強軸組図(2)

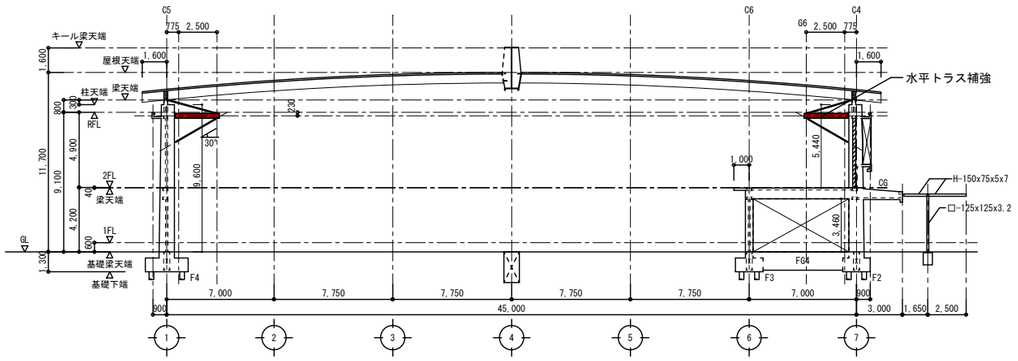
APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWIN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			1:200	S－ 11



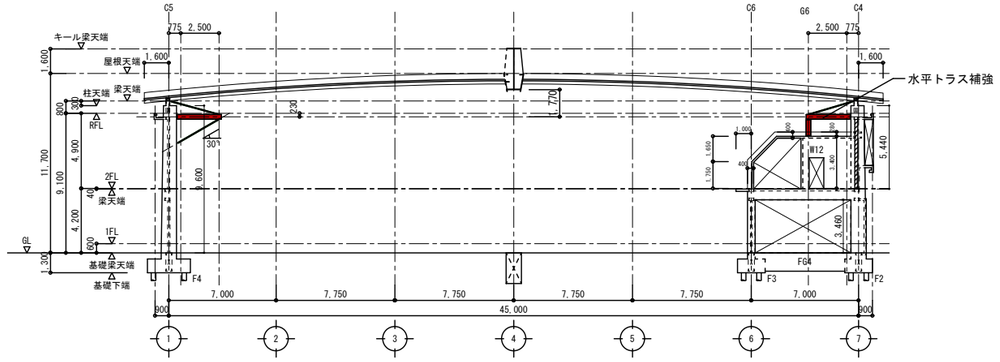
A通り軸組図　1:200



B通り軸組図　1:200



C通り軸組図　1:200



D通り軸組図　1:200

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME
補強軸組図(3)

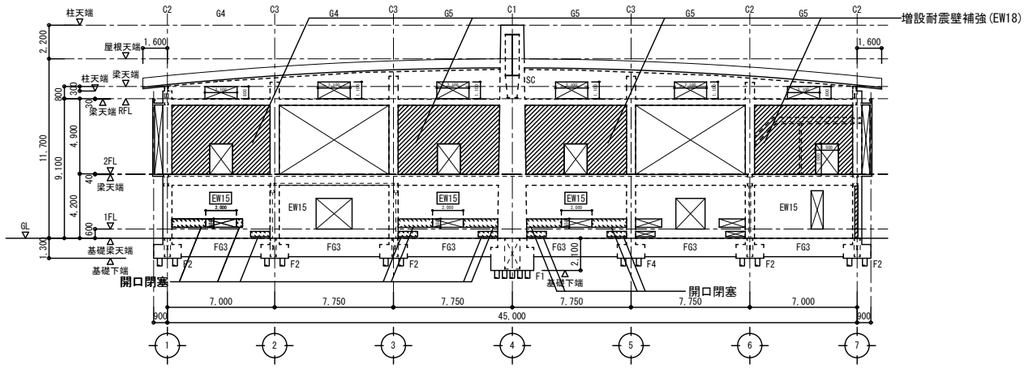
APPROVED BY
1級建築士
大臣登録 第96307号
細田 美弘

CHECKED BY

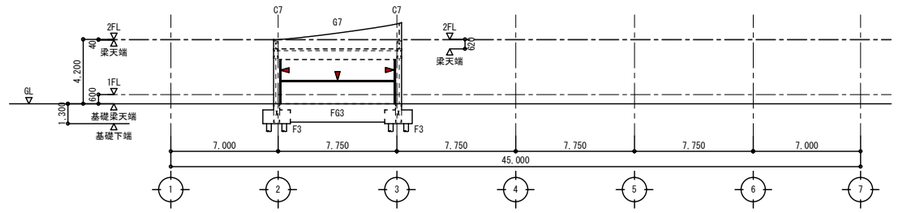
DRAWN BY

SCALE
1:200

DRAWING NO
S－12



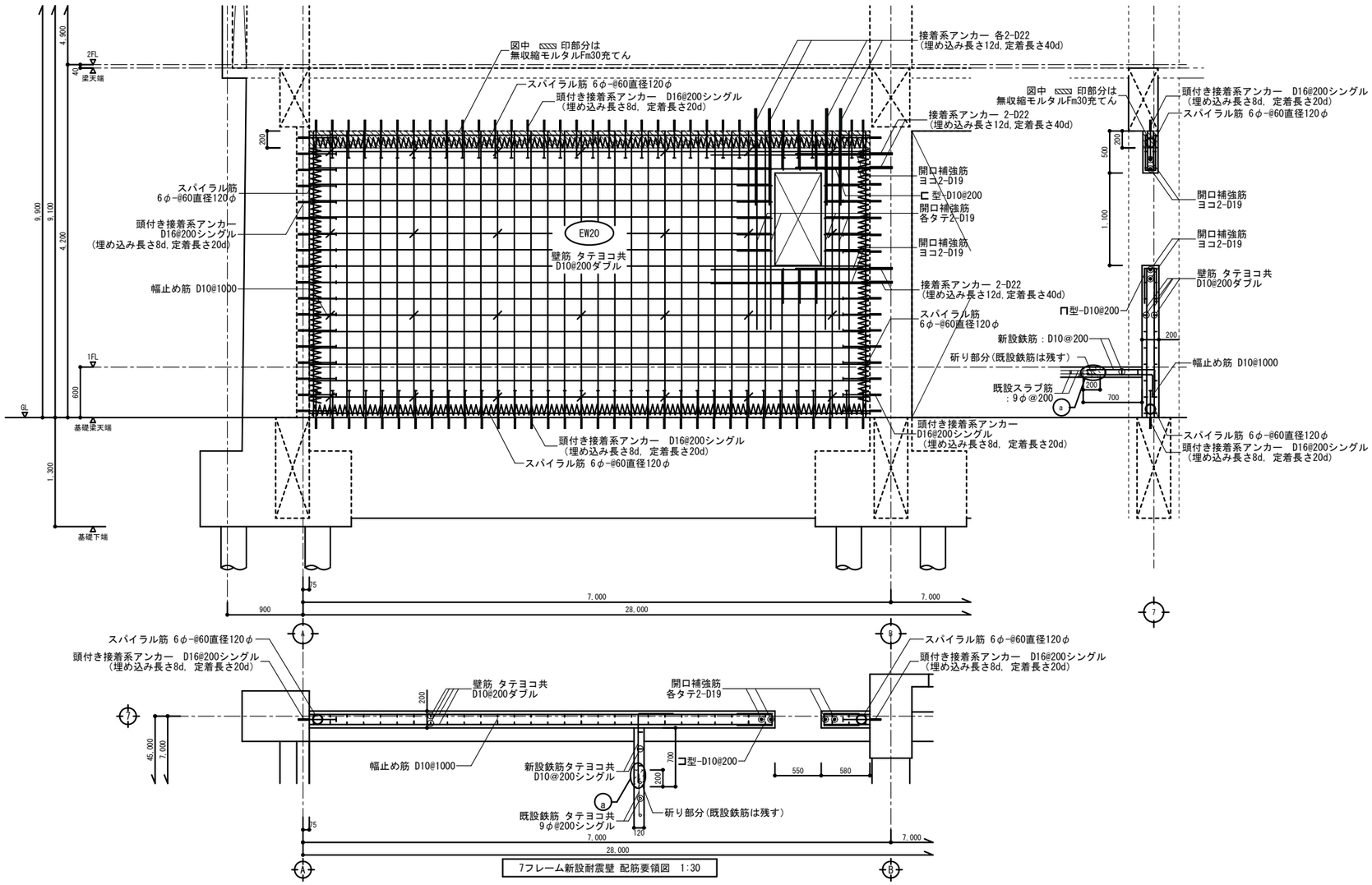
E通り軸組図　1:200



F通り軸組図　1:200

株式会社
WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

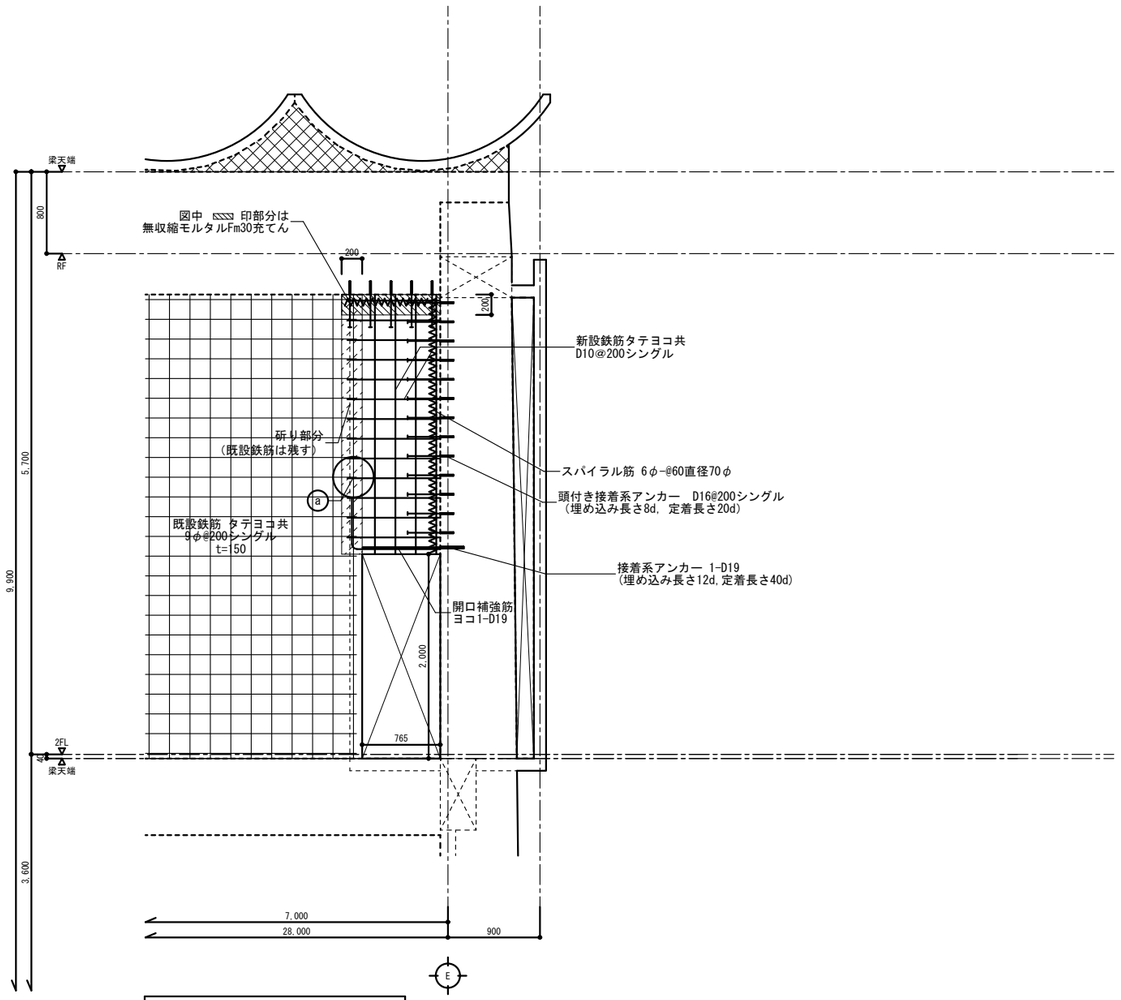
CONSTRUCTION NAME	篠山市立西紀体育館耐震補強工事			DRAWING NAME 補強軸組図(4)
APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWN BY		SCALE 1:200 / DRAWING NO S－13



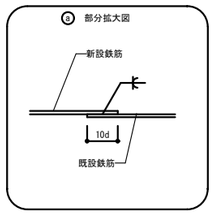
7フレーム新設耐震壁 配筋要領図 1:30

コンクリート	Fc21
鉄 筋	D16以下SD295A D19以上SD345
無収縮モルタル	Fm30

株式会社 鷲尾建築設計事務所 〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1 TEL：079-284-1491 FAX：079-284-1446	CONSTRUCTION NAME 篠山市立西紀体育館耐震補強工事	DRAWING NAME 補強詳細図(1)	
	APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWN BY
	SCALE 1:30	DRAWING NO S－14	



1フレーム開口閉塞配筋要領図 1:30



コンクリート Fc21
鉄 筋 D16以下SD295A
無収縮モルタルFm30

株式会社 WASHIO

鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME
補強詳細図(2)

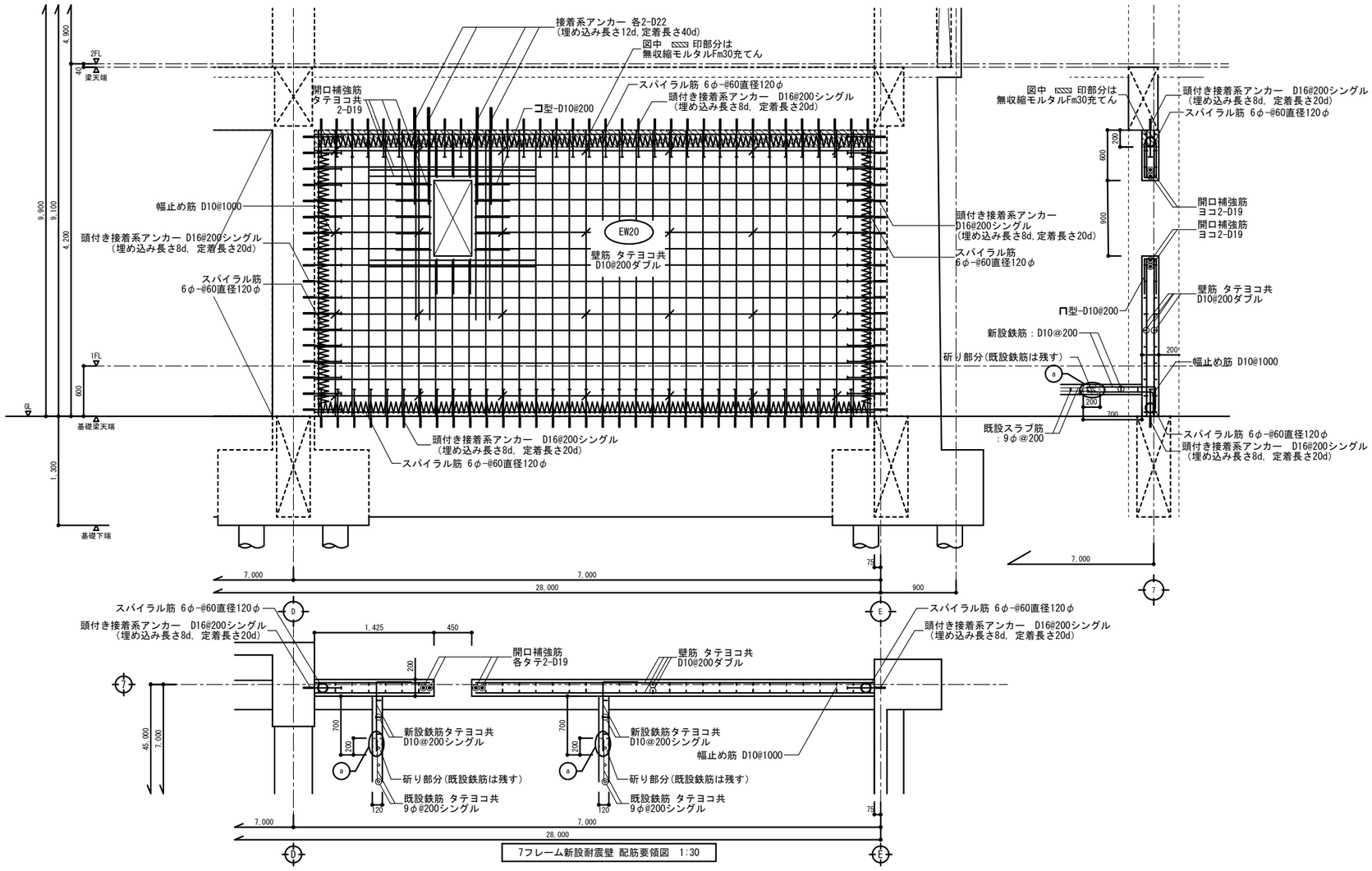
APPROVED BY
1級建築士
大臣登録 第96307号
細田 美弘

CHECKED BY

DRAWN BY

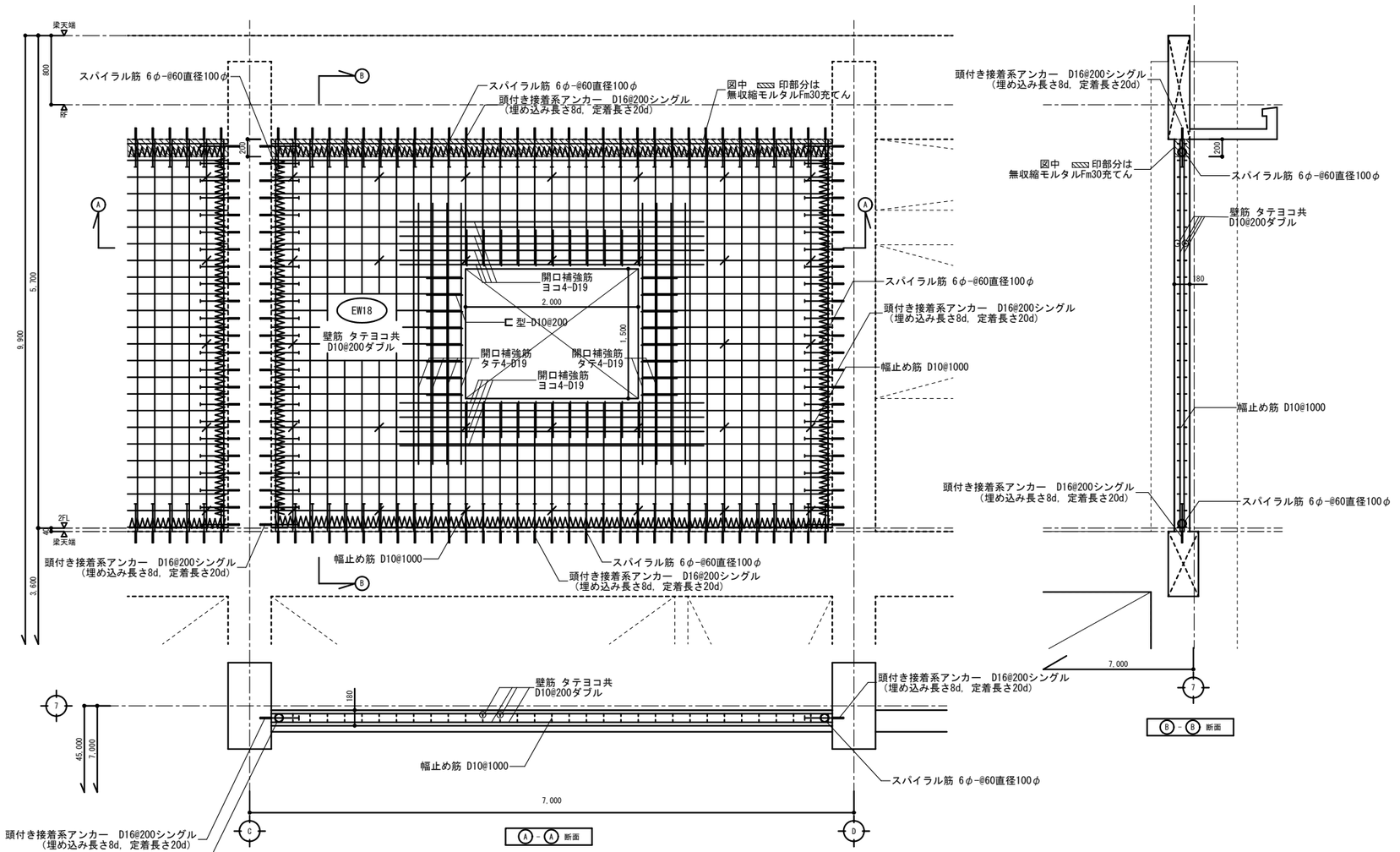
SCALE
1:30

DRAWING NO
S－15



コンクリート Fc21
鉄 筋 D16以下SD295A
D19以上SD345
無収縮モルタルFm30

株式会社 鷲尾建築設計事務所 〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1 TEL：079-284-1491 FAX：079-284-1446	CONSTRUCTION NAME 篠山市立西紀体育館耐震補強工事	DRAWING NAME 補強詳細図(3)	
	APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘 / CHECKED BY / DRAWIN BY	SCALE 1:30	DRAWING NO S－16



7フレーム新設耐震壁 配筋要領図 1:30

※下記の新設耐震壁(EW18)も同様の配筋とする。

2F 7フレーム A-B間、B-C間、D-E間 新設耐震壁(EW18)

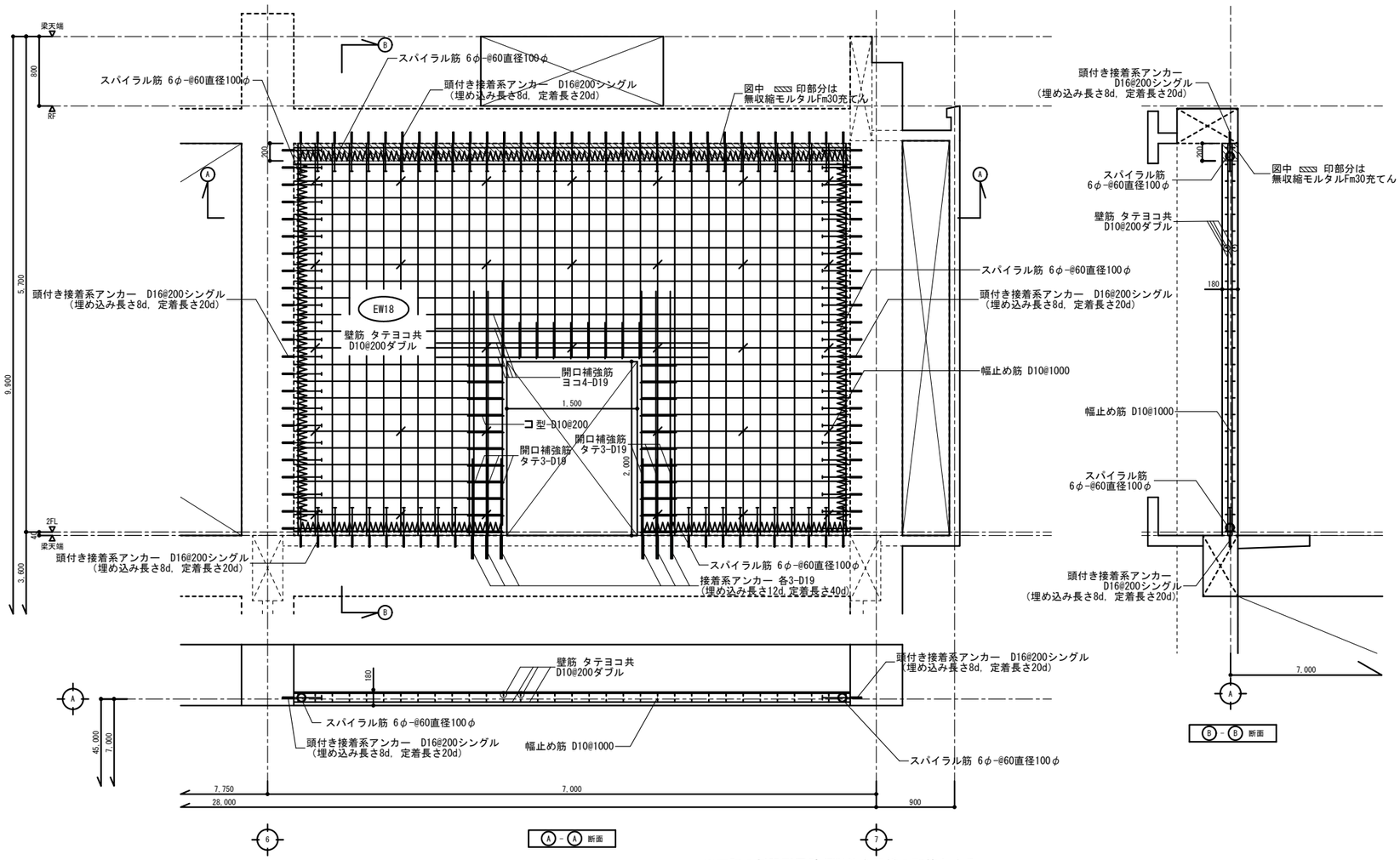
コンクリート	Fc21
鉄 筋	D16以下SD295A D19以上SD345
無収縮モルタル	Fm30

株式会社 鷲尾建築設計事務所
WASHIO
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME: 補強詳細図(4)

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			1:30	S－17



Aフレーム新設耐震壁 配筋要領図 1:30

※下記の新設耐震壁(EW18)も同様の配筋とする。

2F Aフレーム 1-2間 新設耐震壁(EW18)、Eフレーム 1-2間,6-7間 新設耐震壁(EW18)

A,Eフレーム 3～5間 タテヨコ共 D13@200ダブル(開口補強筋タテヨコ共4-D19)

コンクリート Fc21
鉄 筋 D16以下SD295A
無収縮モルタルFm30

株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME: 補強詳細図(5)

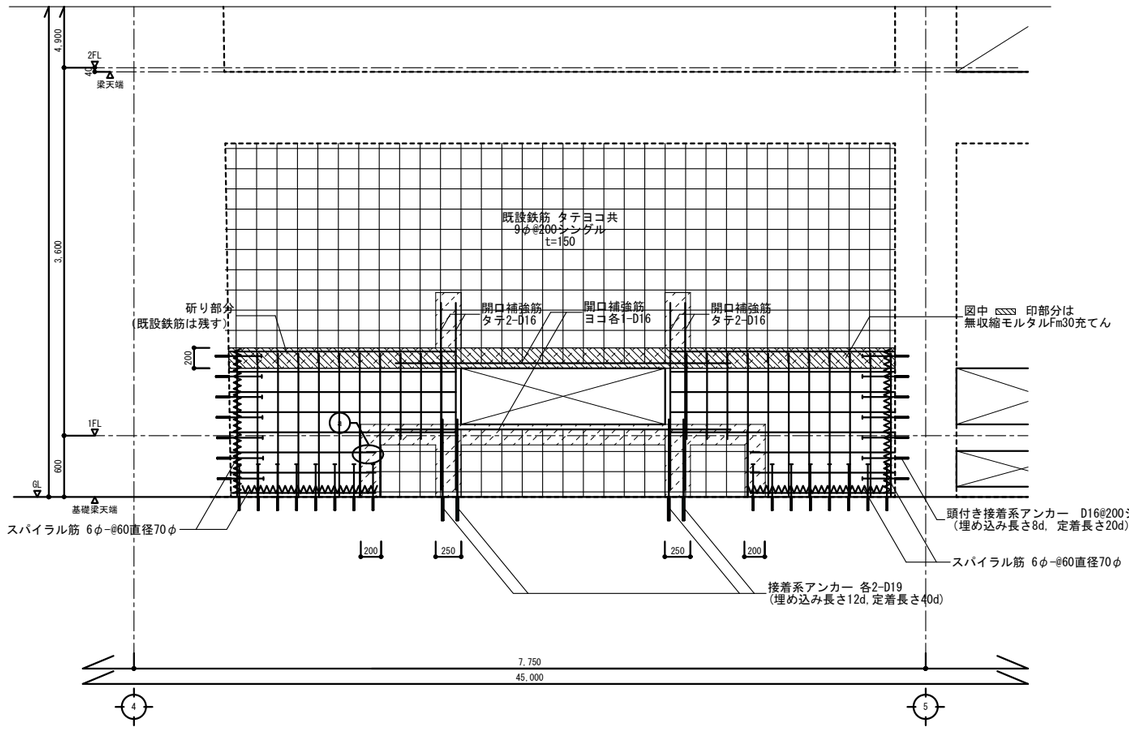
APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘

CHECKED BY:

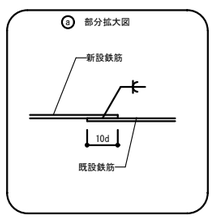
DRAWIN BY:

SCALE: 1:30

DRAWING NO: S－18



A,Eフレーム開口閉塞配筋要領図　1:30



コンクリート Fc21
鉄　筋　D16以下SD295A
無収縮モルタルFm30

株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME
補強詳細図(6)

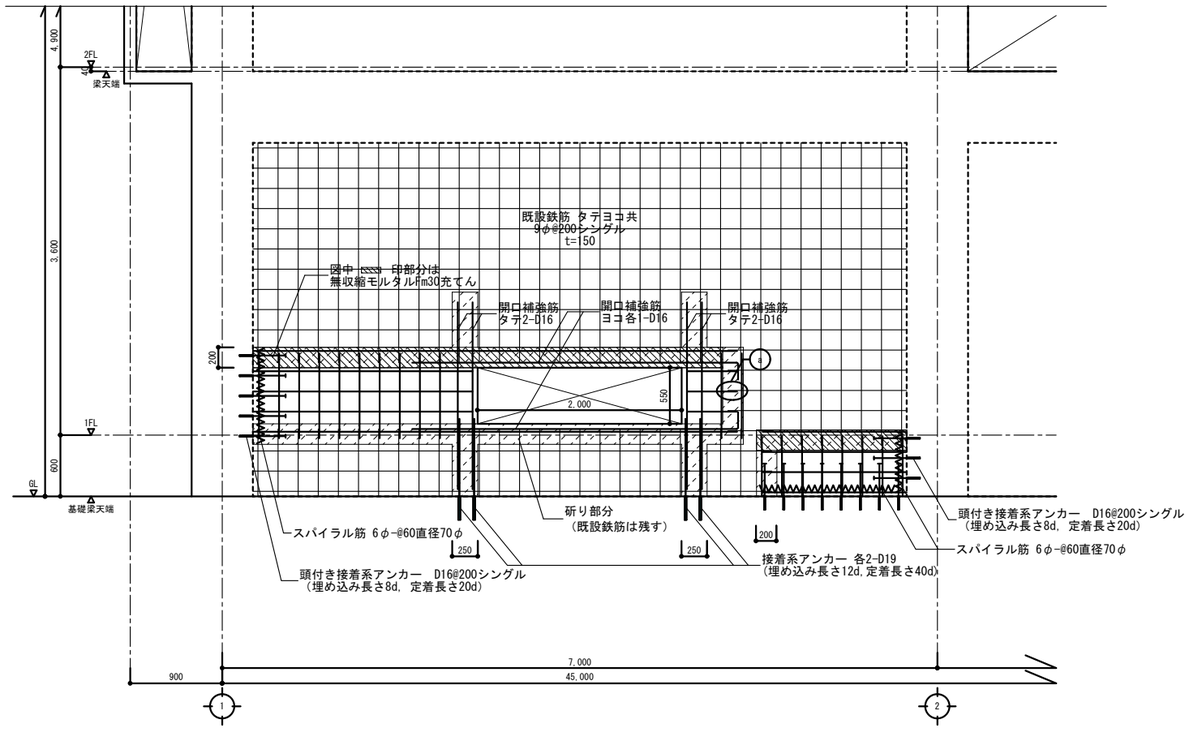
APPROVED BY
1級建築士
大臣登録 第96307号
細田 美弘

CHECKED BY

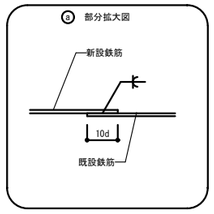
DRAWN BY

SCALE
1:30

DRAWING NO
S－19



A,Eフレーム開口閉塞配筋要領図　1:30



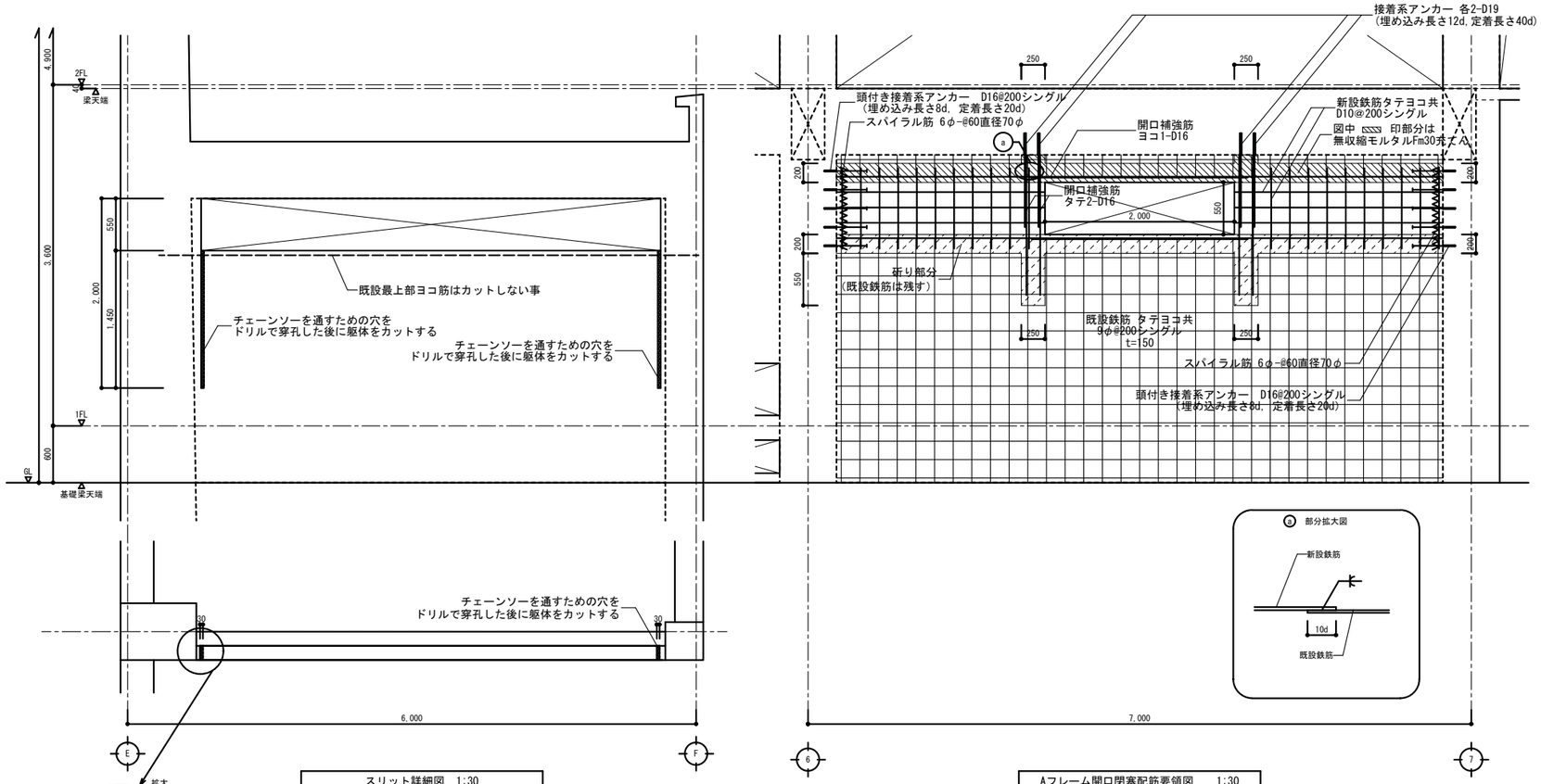
コンクリート Fc21
鉄　筋　D16以下SD295A
無収縮モルタルFm30

株式会社
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME
補強詳細図(7)

APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWIN BY	SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘			1:30	S－20



スリット詳細図 1:30

Aフレーム開口閉塞配筋要領図 1:30

コンクリート Fc21
鉄 筋 D16以下SD295A
D19以上SD345
無収縮モルタルFm30

株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME: 補強詳細図(8)

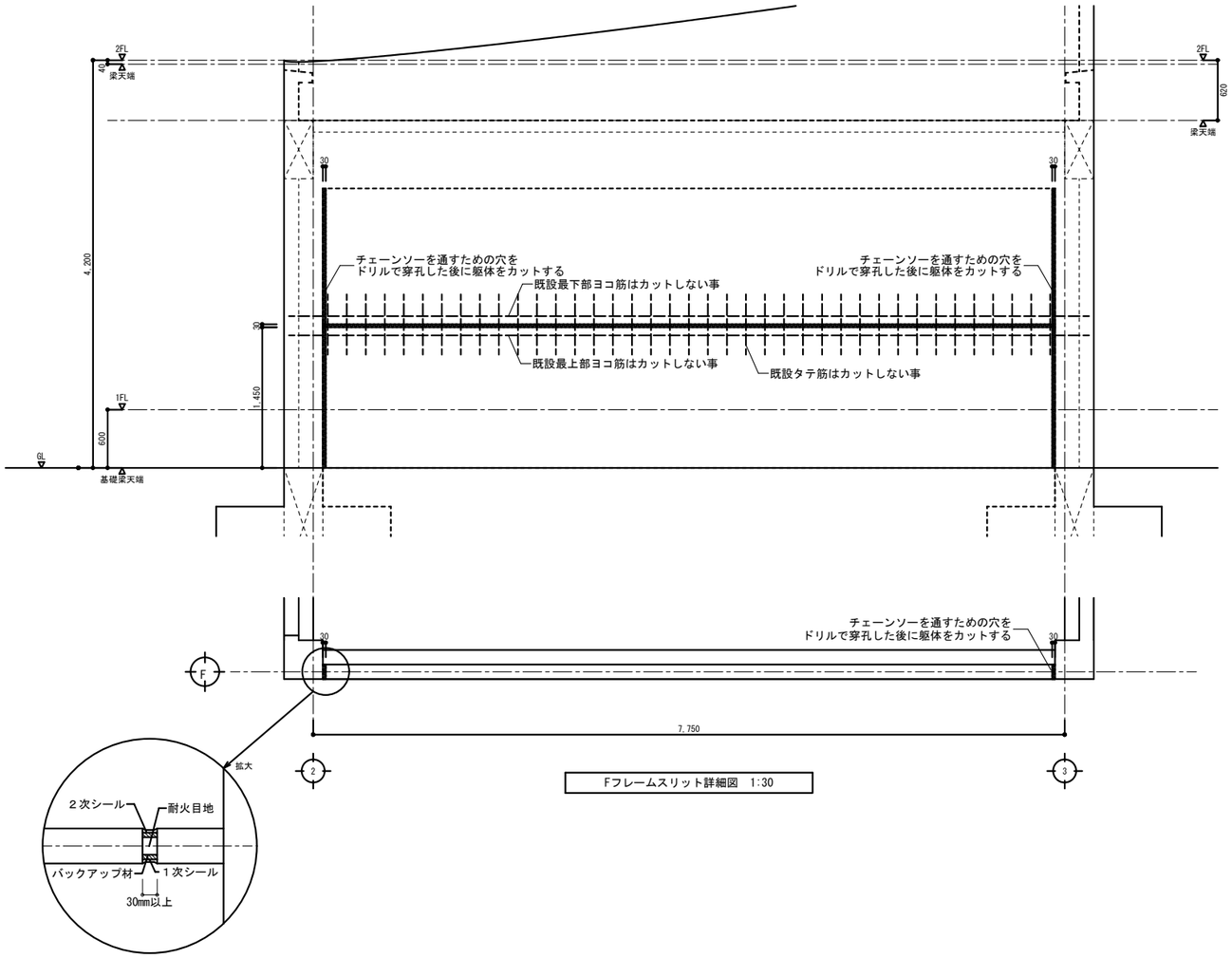
APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘

CHECKED BY:

DRAWN BY:

SCALE: 1:30

DRAWING NO: S－21



Fフレームスリット詳細図　1:30

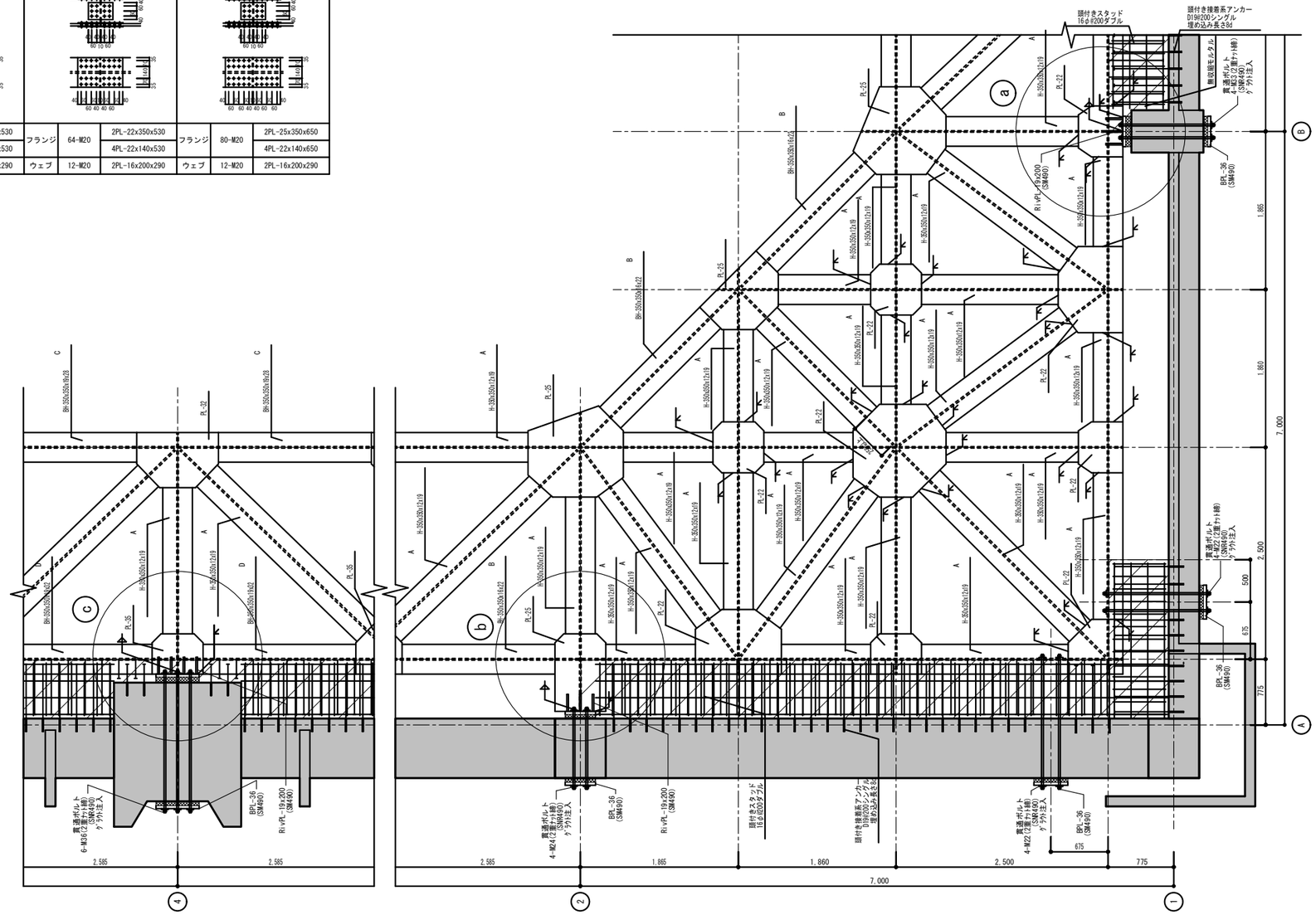
株式会社 WASHIO	鷲尾建築設計事務所 〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1 TEL：079-284-1491 FAX：079-284-1446	CONSTRUCTION NAME 篠山市立西紀体育館耐震補強工事		DRAWING NAME 補強詳細図(9)	
		APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY / DRAWIN BY	SCALE 1:30	DRAWING NO S－22

接着系アンカーD19	SD345
スタッド	SS400
無収縮モルタル	Fm30

特記無き限り下記とする

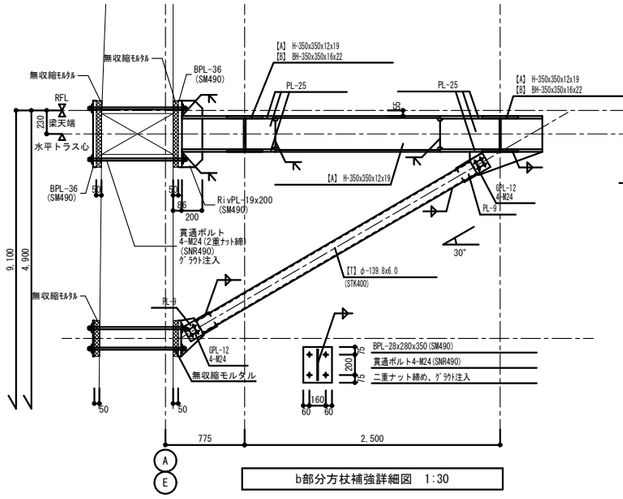
1. 材料強度はSS400とする。
2. A・BOLTは全て2重ナット締めとする。
3. H.T.BはS10Tとする。
4. 図中▨範囲はコンクリート打設範囲を示す。

符号	A		符号	B		符号	C		符号	D	
部材	H-350x350x12x19		部材	BH-350x350x16x22		部材	BH-350x350x19x28		部材	BH-350x350x19x32	
フランジ	48-M20	2PL-12x350x410 4PL-12x140x410	フランジ	64-M20	2PL-19x350x530 4PL-19x140x530	フランジ	64-M20	2PL-22x350x530 4PL-22x140x530	フランジ	80-M20	2PL-25x350x650 4PL-22x140x650
ウェブ	12-M20	2PL-12x200x290	ウェブ	12-M20	2PL-16x200x290	ウェブ	12-M20	2PL-16x200x290	ウェブ	12-M20	2PL-16x200x290

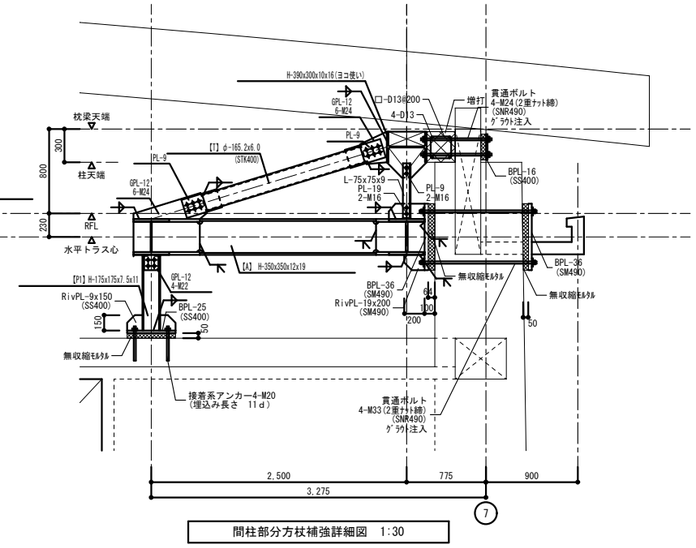


株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

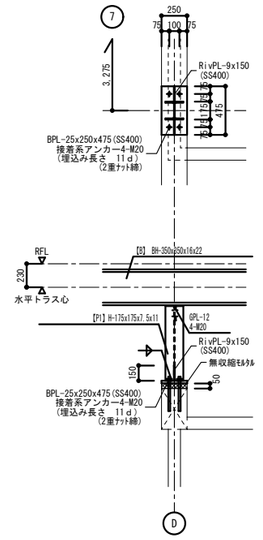
CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事				DRAWING NAME: 補強詳細図(10)
APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWIN BY		SCALE: 1:30 / DRAWING NO: S－23

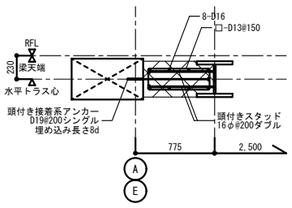


b部分方杖補強詳細図　1:30

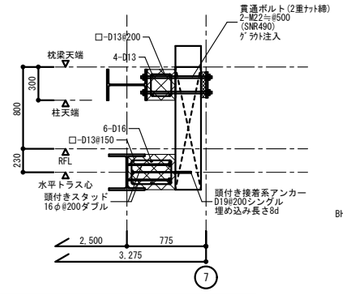


間柱部分方杖補強詳細図　1:30

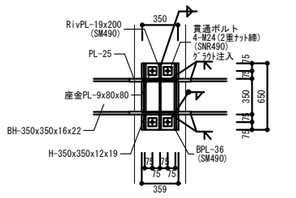




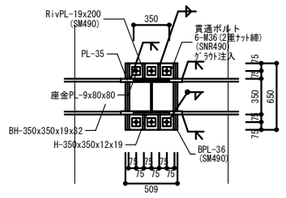
AE通り間接接合補強詳細図　1:30



7通り間接接合補強詳細図　1:30



ⓑ接合部詳細図　1:30



ⓒ接合部詳細図　1:30

無収縮モルタル	Fm30
コンクリート	Fc21

特記無き限り下記とする

1. 材料強度はSS400とする。
2. A・BOLTは全て2重ナット締めとする。
3. H.T.BはS10Tとする。

株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME: 補強詳細図(11)

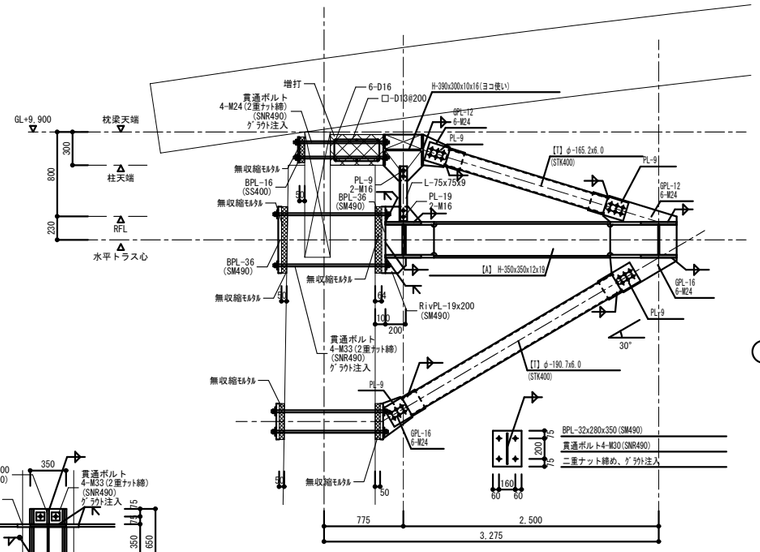
APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第86307号 細田 美弘

CHECKED BY:

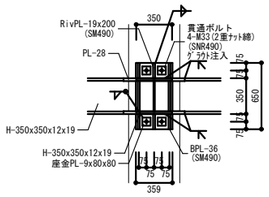
DRAWN BY:

SCALE: 1:30

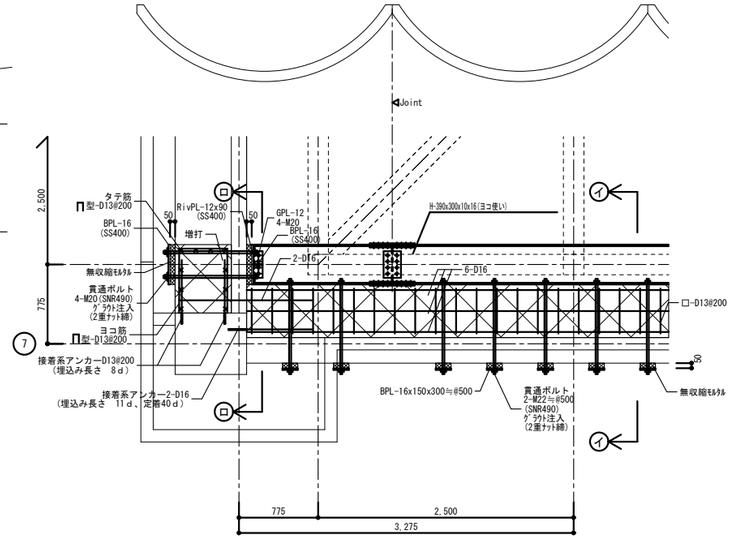
DRAWING NO: S－24



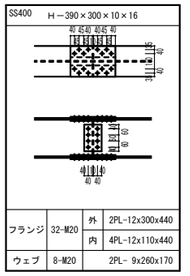
① a部分方杖補強詳細図　1:30



ⓐ 接合部詳細図　1:30

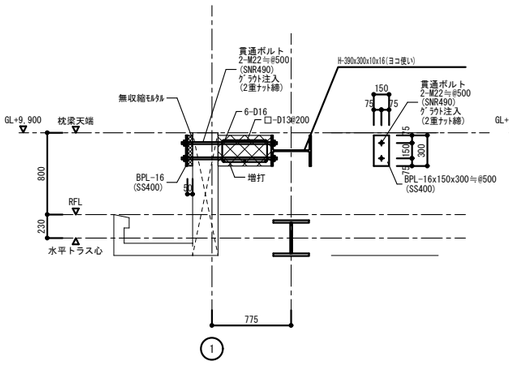


Ⓐ 枕梁補強詳細図　1:30



フランジ	32-M20	外	2PL-12x300x440
		内	4PL-12x110x440
ウェブ	8-M20		2PL- 9x260x170

※Jointの位置については、施工の際に十分協議し決定すること。



ⓘ 接合部詳細図　1:30

Ⓑ 接合部詳細図　1:30

鉄　筋	D16以下SD295A
	D19以上SD345
無収縮モルタル	Fm30
コンクリート	Fc21

特記無き限り下記とする

1. 材料強度はSS400とする。
2. A・BOLTは全て2重ナット締めとする。
3. H.T.BはS10Tとする。

株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	篠山市立西紀体育館耐震補強工事			DRAWING NAME	補強詳細図(12)
APPROVED BY	CHECKED BY	DRAWN BY		SCALE	DRAWING NO
1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘				1:30	S－ 25

電気設備工事特記仕様書

工　事　名　称　篠山市立西紀体育館耐震補強その他工事

Ⅰ.工事概要

1、工事場所

2、都市計画区域の内外別等(●印の付いたものが、該当する。)

○内(○市街化区域　○市街化調整区域　○区域区分未設定都市計画区域)
○防火地域　○準防火地域　○指定なし(建築基準法22条指定区域内)

3、防火地域

4、その他の区域、地域、街区　第1種中高層住居

5、工　　期　　契約締結日より　平成　　年　　月　　日まで
(但し、本工事の内　　については平成　　年　　月　　日の部分引渡しとする。)

6、図面枚数

7、建物概要

建　物　名　称	構　　造	階　　数	延べ面積(㎡)	消防法令別表第一	備　　考

※　延べ面積は、建築基準法施行令第2条四による。

8、工事種目・科目(●印を適用し、各一式とする。なお、必要により科目をさらに中科目に分類する。)

種目 ＼ 建物名	改　修	撤　去	仮　設	
○　高圧引込設備				
○　低圧配線設備				
○　弱電配線設備				
○　屋外照明設備				
○　受変電設備				
○　幹線設備				
○　動力設備				
●　電灯・ｺﾝｾﾝﾄ設備	●	●		
○　拡声設備				
○　構内情報通信網設備				
○　構内交換設備				
○　電気時計設備				
○　インターホン設備				
○　自動火災報知設備				
○　警報設備				
○　機械警備設備				
○　テレビ共同受信設備				

9、工事内容(下記の内容には、各種機器の取付け、結線及び試験調整も含む。)

工　事　種　目	工　事　内　容
電灯ｺﾝｾﾝﾄ設備	舞台上部照明器具は更新とする。
	トイレ照明器具、配線器具は既設再利用とし不足分は
	新設とする。

Ⅱ、特記仕様

(1)本工事の作業時間や休日、工事施工上の留意事項及び厳守事項等については、本工事の補足説明書によるものとする。
(2)本仕様は丸印が付いたものを本工事に適用する。
(3)一般共通事項

項　　目	特　記　事　項
●建設工事保険等	●加入を要する(●組立保険○建設工事保険)　○不　　要
●設計図書等の優先順位	補完するものとする。ただし、設計図書間に相違がある場合の優先順位は以下とする。 (1)質問回答書 (2)補足説明書等　(3)本特記仕様書 (4)図　　面　　(5)標準仕様書及び標準図 疑義が生じたり、現場の収まり、取り合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じた場合は、監督員と協議すること。
●機材	機材等は篠山市機材製造者指定一覧表(平成25年度版)による。 上記以外の材料又はメーカーで、品質、性能、実績、価格等に同等と認められたものは、カタログ等の資料を提出し係員の承認を得て使用すること。
●官公庁その他への届け出手続き等	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公庁などへの必要な届出書類等は請負者が代行し、遅延なくおこなう。
●環境への配慮等	工事に使用する材料のうち、兵庫県環境型社会形成推進条例で定める「兵庫県認定リサイクルイクル製品」に該当するものは、「兵庫県認定リサイクル製品」若しくは同等品を使用する。国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)16、公共工事に定めがあるものは、グリーン購入法適合品を使用する。
●グリーン購入法適合品の確認	グリーン購入法適合品の証明を監督員に提出のこと。 ○照明器具　　○照度センサー等　　○変圧器
●主任技術者等	契約書に規定する主任技術者又は管理技術者は、その資格を証明する資料を監督員に提出して承諾を受けること。
●電気保安技術者	当該建物の自家用電気工作物保安規程により電気主任技術者の指揮に従うとともに、電気保安技術者は電気工作物に関する工事施工中の保安業務を行うものとする。

●工事仮設材・置場	構内につくることが　●できる　　○できない
○監督員事務所	○別途工事　　○設けない　　○本工事
●工事用電力・水等及び申請手続き等	本工事に必要な工事用電力・水等、官公署への諸手続き業務及び手数料などの費用はすべて請負者もの負担とする。なお、工事用電力・水等の費用は工事完成引渡しまで請負者にて負担すること。
●検査に要する費用	検査に要する費用は請負者の負担とする。また、必要な資機材・労務等を提供すること。
○産業廃棄物管理責任者	兵庫県環境型社会形成推進条例に基づき選任すること。
●建設副産物の処理	建設副産物の処理は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「建設副産物適正処理推進要綱」その他関係法令を遵守して行うこと。
●分別解体等	工事に伴い副次的に生ずる建設廃棄物は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し、その種類ごとに選別等を行い、リサイクル等再資源化に努めること。
○残土処分	○構外搬出処分　○構内指示場所に推積　○構内指示場所に散きならし (構外処分の場合は、関係法令に従い適切に処分し報告書を監督員に提出のこと)
●再使用機器	取り外したうえ再使用する機器は、洗剤を使用するなどして十分に清掃を行うこと。 監督員立会いの下で、取り外し前に動作確認を行うこと。 なお、照明器具等は、絶縁抵抗を測定のうえ取り付けること。
●撤去後の補修及び復旧	取付け機器、床置き機器、天井付け機器撤去跡の取付ボルト孔および壁面、天井面の変色等の補修並びに床補修等を行う。 床・壁・天井等の撤去後の開口部について、補修の方法及び仕上げの仕様は、周囲と同等とする。配管・配管支持材等の撤去後の補修も同様に、モルタルまたはシール材充填のうえ塗装仕上げとする。
○PCB含有機器の取り扱い	本工事において撤去する機器については、事前にPCB含有の有無を全数調査のうえ調査結果の資料を監督員に提出すること。 また、変圧器及びコンデンサなど変圧機器については、含有の専門機関にて ○本工事にて分析(対象機器は、図示による。報告書作成を含む)○分析済み 分析の結果、PCBの含有が認められなかった場合は、関係法令に従い当該機器を撤去すること。 含有が判明した場合、当該機器を ○現況場所に保管　○構内の指定場所に移送　○構外搬出のうえ指定場所へ移送 移送及び保管にあたっては、監督官庁が作成するマニュアル等に従うこととし、必要となる資機材等の費用は請負者の負担とする。
●化学物質を放散する建築材料等	①ホルムアデヒド対策 使用建材はJIS及びJASのF☆☆☆☆規格品もしくは建設基準法施行令第20条の3第4項による国土交通大臣認定品を使用すること。ただし、F☆☆☆☆規格品が発売されていないさ材料については監督員と協議のうえ、使用材料の決定を行うこと。 ②その他の化学物質対策 使用建材は厚生労働省による室内濃度指針値が定めている化学物質が極力含まれていない材料を使用すること。 ③施工に際しては、「学校環境衛生の基準」(文部科学省)を参照のうえ、施工を行うこと。
●工事写真	完成後、外部から見えない主要な部分及び各工事の施工段階の工事写真(カラー写真、サービスサイズ以上)を提出する(建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方　改訂第二版(建築設備編)」による)。但し、デジタルカメラで撮影した場合は、サービスサイズ以上でアルバム整理されたものを提出すること。
●完　成　図　様　式	1)図面　完成図の作成にあたって、設計図を利用することが　　○不可　○可 ●原図　●二つ折製本(A1 2部)●縮小版(A3)二つ折製本(2部) 2)機器仕様書・取扱い説明書 3)保全に関する資料(保守に関する説明書・各種試験成績書・官公署届出書類・総合調整測定表・保全情報管理シート等) 4)施設備台帳　　●要　○不要 5)CD-ROMの提出 ●発注後、その時点の図面をDVD化したものを契約後20日以内に提出すること。 ●完成図・完成写真・機器リストをDVD化したものを施設完成日から1か月以内に提出すること。 なお、CADデータをDVD化し、併せて提出のこと。
●完　成　写　真	不要　○　　要　●　(監督員の指示による)
●引渡し及び管理責任	a.完成検査に合格したときは、書類を添えて引渡しを行うこと。 なお、工事完成後引渡しまで、請負者において管理上の責任をもつこと。 b.引渡し物品一式を、監督員の指示により所定の場所に整理し、調書を添えて施設管理者に引渡すこと。なお、個別計量器がある場合は最終読取り値を一覧表にして、監督員に提出すること。 c.引渡し物品については、下記の通りとする(●印について適用する)。
●塗装	材料は、前出の「化学物質を放散する建築材料等」の規定を準用する。 金属管・プルボックス及び支持材を露出設置する場合は、標準仕様書に則り塗装を行うこと。
●電線管	合成樹脂可とう管(以下「PF管」というは単層タイプとする。 図中(19)～(75)の表示があるものは、ねじ無し電線管とする。
○呼び線	長さ1ｍ以上の入線しない管路には、屋内は1．6㎜以上のビニル被覆鉄線を、屋外はEM-IE2．0㎜を挿入する。
○特種形コンセント	20A以上、3P.4P及び特殊形のコンセントは、差込プラグ付とする。
○盤塗装色	屋内受電盤・機械室・パイプシャフト内等に取り付ける制御盤・分電盤等の仕上げ塗装色は、　○メーカー標準色　　○現場指定色　　とすること。
○図記号	特記なき図記号(文字記号等も含む)の凡例は、標準図による。
●はつり	壁その他躯体類について図示した寸法は、約寸法とする。 ○既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターとし、電磁誘導等による鉄筋探査のうえ、鉄筋を切断しない箇所に行うこと。 ○既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけ等、はつり工事を行う箇所については、放射線透過検査を事前に行うこと。 測定を行う箇所は、図示によるものとする。測定壁厚　○２５０㎜　○２００㎜ なお、復旧はモルタル補修とする。
●機器の動作確認	スピーカーや感知器等、動作状況が目視確認できないものにおいては、監督員立会いのもとで動作確認を行ったうえ、自主検査結果を書類報告すること。
●プルボックス銘板	新設プルボックス蓋にはアクリルエッチングプレートにて回路名を明記すること。

(4)電線の色別

	配線種別				色　別		
強電設備		電圧識別	配線方式	摘　　要	接　地　側	電　圧　側	スイッチ側
	一般回路	高　圧	三相３線式			赤　白　青	
		低　圧	三相３線式 単相３線式 単相２線式	200V 100V 電灯 100V コンセント 100V 電灯コンセント共用	白	赤　白　青 赤　黒 赤　黒 赤　黒　青	黒 赤 青
	直　流				負極　青	正極　赤	
	消火ポンプ(遠方操作)				白(共通線) 赤(起動線) 青(確認ランプ線) 黒(表示線)		
	リモコンスイッチ				白　　赤		
	電極棒				長い電極より黒・白・赤・緑・黄・青		
	誘導灯・非常照明(3線式)				白	記(充電側)	赤
	誘導灯・非常照明(2線式)				白	赤	
	接地線				緑、緑/黄又は緑/色帯		
	(備　考)電線を分岐する場合は分岐前の色別による。						

	配線種別	色　別
弱電設備	拡　声	黒(平常線)・赤(緊急線)・白
	自動火災報知	赤(表示線)・黒(電話線) 青(ベル線)・黄(確認ランプ線) 白(共通線)
	防火ダンパー	感知器赤(表示線)・(白) レリーズ青(表示線)・白(確認ランプ線)・(黒) 白(共通線)
	(備　考)　)内の色は、マイナス側又は共通側を示す。	

(5)注記事項　(備　考)電線を分岐する場合は分岐前の色別による。

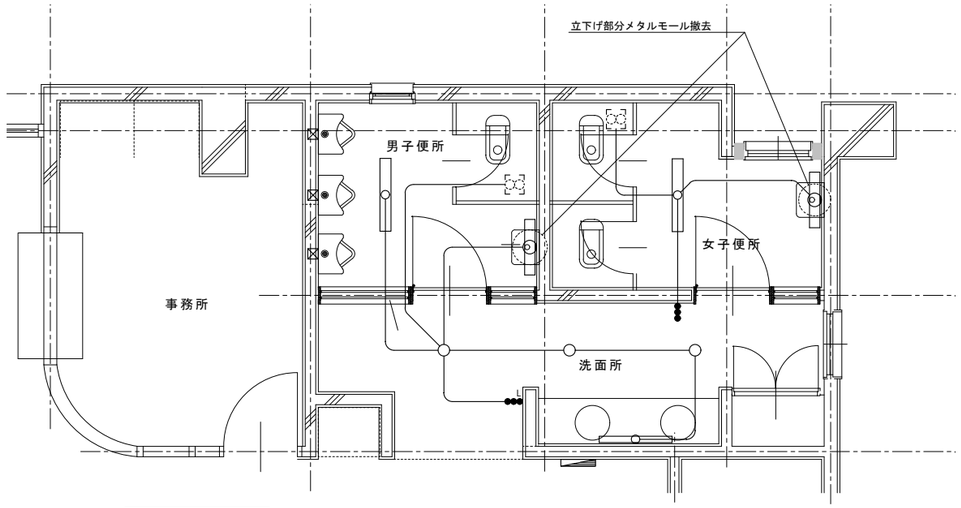
1)市が提示する内容に沿った施工計画書を作成すること。
2)工事に使用する建設機械は環境配慮型建設機械(低騒音・排ガス対策型)を使用すること
3)現場発生材の再利用、再資源化に努めること。
4)元請業者は建設廃棄物を自らの責任において適正に処理すること。
5)運搬は産業廃棄物収集運搬業者等と、処分は産業廃棄物処分業者等とそれぞれ個別に直接契約すること。
6)建設廃棄物の搬出に当たっては、産業廃棄物管理表(マニフェスト)を交付し、適正に管理すること。
7)使用機材等の図書は、現場代理人が内容を十分吟味した上で工期に間に合う時期に決定出来るよう機器仕様書として提出すること。
8)施工前に管理者立会いの上、必ず各機器の作動状態を確認すること。
9)施工前に現況状態を調査すること
10)シールド線には接地をとること。
11)露出配管は指定色塗装をすること。
12)配管材料にボンディングも含む
13)各器具等取付位置は打合せすること。
14)図面に記載が無くとも不要な配線・配線器具等は管理者の承認後撤去すること
15)各配線・ケーブルにお札(負荷名称とケーブルサイズを明記)を取付けること
16)工事の施工に伴う火災及び公害の防止は、関係法令等に従い適切に処理すること。
17)工事上、他に損害を与えた場合の補償、補修は施行者の適切に処理゛すること
18)施設利用者・施設職員の安全には十分注意すること。
19)工期内の施工可能日は、施設管理者と建設の上施工すること。
20)配管・配線等の施工で変異通は行わないこと。
21)貫通・壁清はつり(復旧共)は補修を行うこと。
22)垂直降下型避難器具のルート上に冷媒管や電線等が支障となるか調整し、支障となる場合は監督員に報告すること。
23)垂直降下型避難器具のルート上に冷媒配管や電線管を配管するときは監督員に報告し、壁に寄せて配管すること。
24)室外機通結部の露出部配管の塗装やラッキング等は本工事とする。
25)工事に伴う天井・床等の補修は既設と同様にする。
26)市が発注するその他の工事とも調整の上、施工すること。
27)搬出、運搬、搬入については安全対策をとること。
28)壁面指示金具まわりはこーキングすること
29)この仕様書に定めのない事項については各関係者と協議の上、決定すること
30)施行後、機器の動作状況を確認すること。
31)試運転及び必要な調整を行うこと。

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事
DRAWING NAME: 附近見取図・配置図
APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘
CHECKED BY:
DRAWN BY:
SCALE: ――
DRAWING NO: E-1

改修前

照明器具撤去再取付

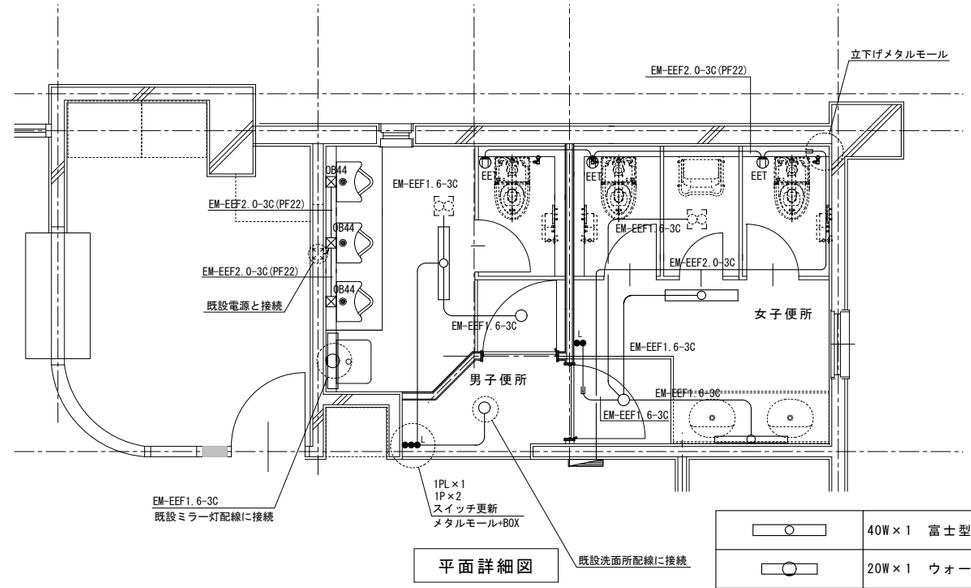


平面詳細図

	40W×1　富士型
	20W×1　ウォールライト
	40W×1　ウォールライト
	FDL13W ダウンライト

改修後

照明器具撤去再取付

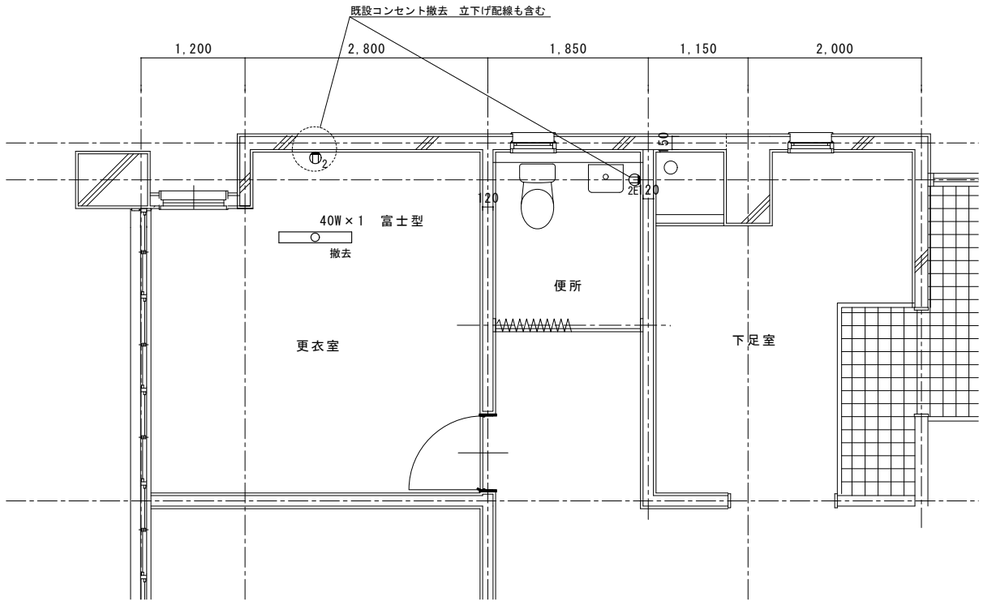


平面詳細図

	40W×1　富士型
	20W×1　ウォールライト
	40W×1　ウォールライト
	FDL13W ダウンライト

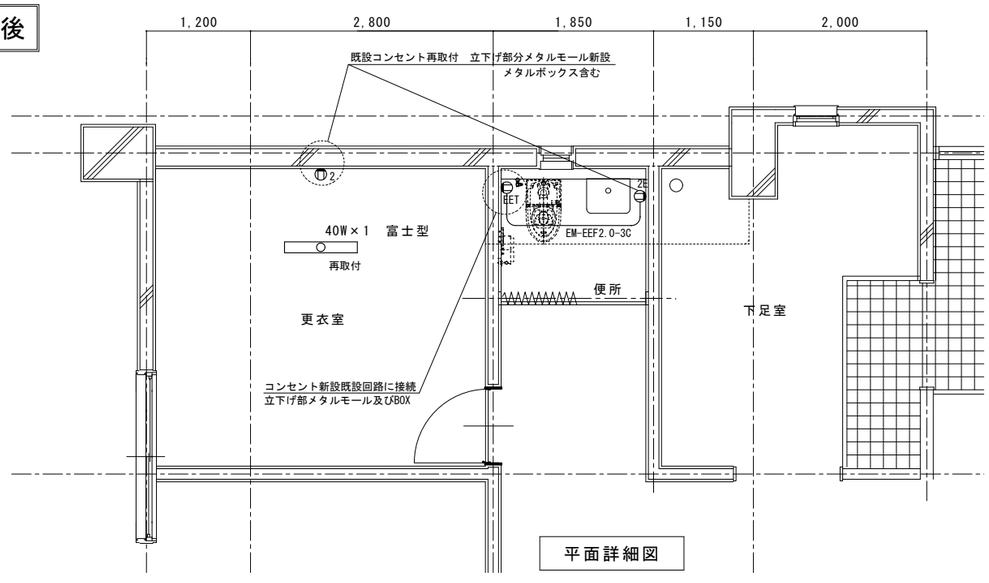
電灯換気扇回路は既設再利用とする。
ﾄｲﾚ内ｺﾝｾﾝﾄは既設分電盤予備回路に接続とする。
天井内配線はコロガシとし、壁隠ぺい部はPF管保護とする。

改修前



平面詳細図

改修後



平面詳細図

換気扇電源は既設照明回路より分岐とする。
ﾄｲﾚ内ｺﾝｾﾝﾄは既設分電盤予備回路に接続とする。
天井内配線はコロガシとし、壁隠ぺい部はPF管保護とする。

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME
【改修前】【改修後】
１階便所・更衣室詳細図

APPROVED BY
1級建築士
大臣登録 第96307号
細田 美弘

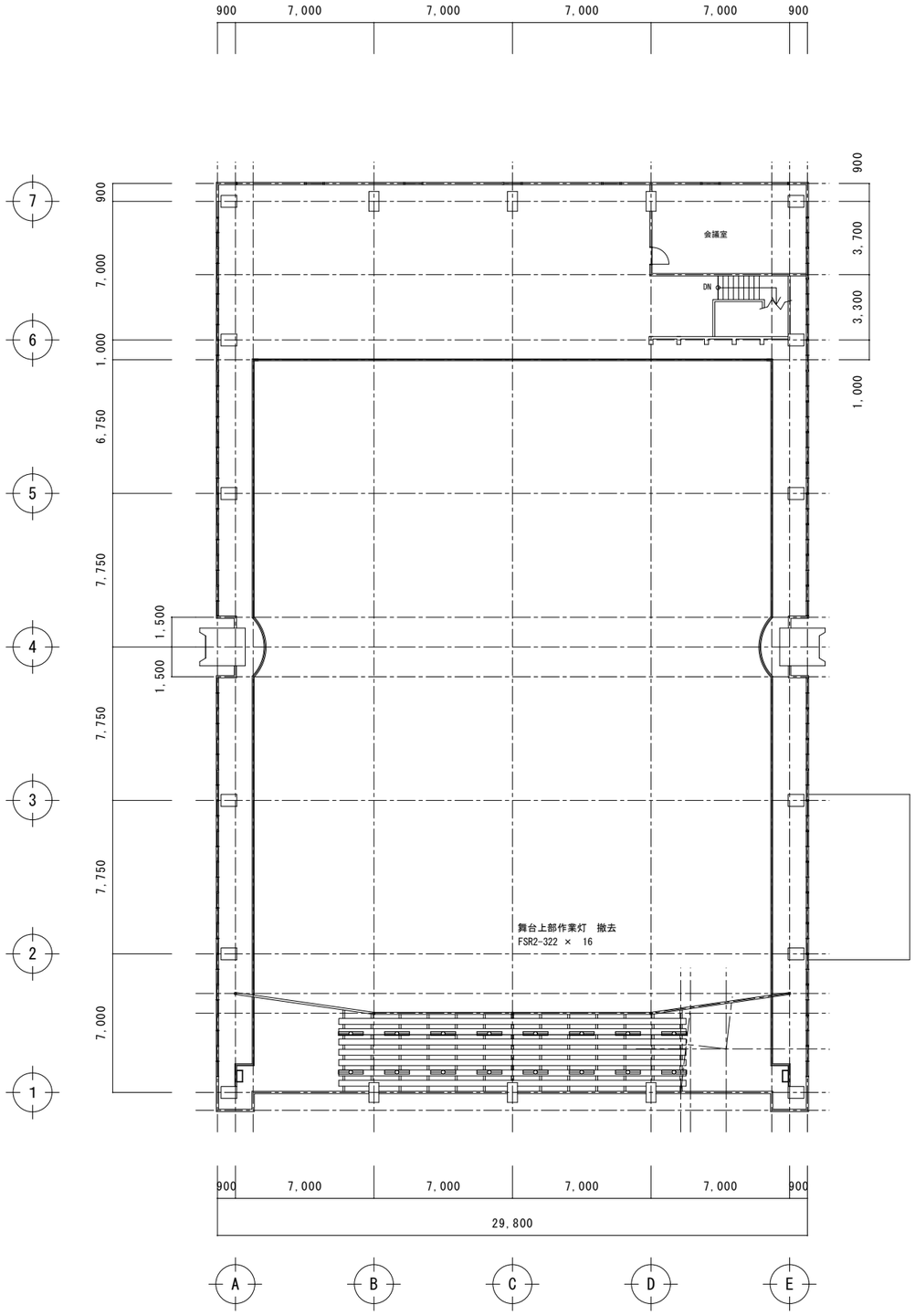
CHECKED BY

DRAWN BY

SCALE
1/50

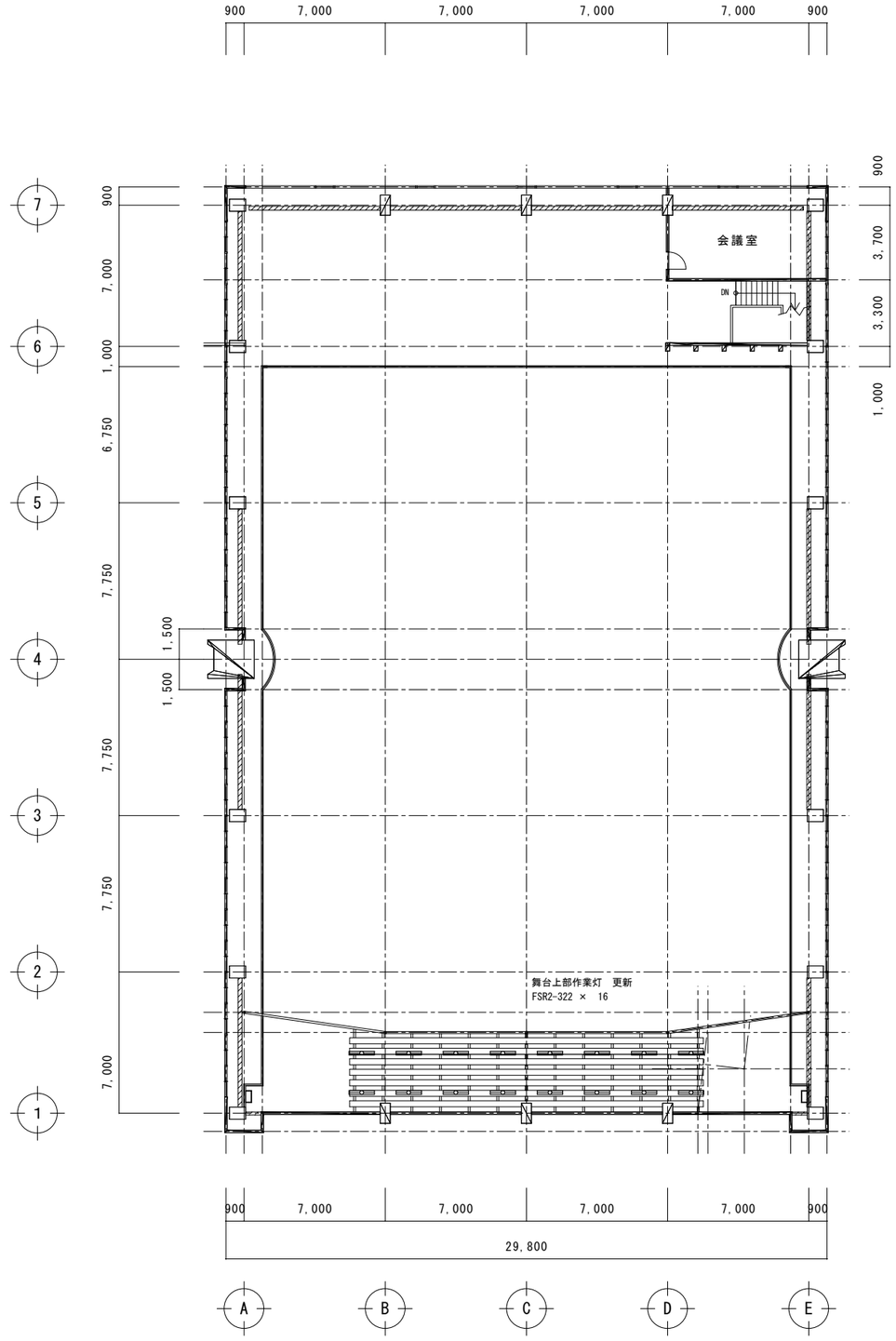
DRAWING NO
E-2

改修前



２階平面図　１／２００

改修後



２階平面図　１／３００

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	篠山市立西紀体育館耐震補強工事			DRAWING NAME	【改修前】【改修後】２階平面図
APPROVED BY 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘	CHECKED BY	DRAWN BY		SCALE 1/300	DRAWING NO E-3

Ⅰ　工事概要　機械設備工事

1　工事場所　篠山市宮田111

2　工事種目

● 衛生器具設備 ● 給水設備 ● 排水設備 ○ 給湯設備 ○ 消火設備 ○ ガス設備
○ 厨房機器設備 ○ し尿浄化槽設備 ○ ろ過設備
○ 空調設備 ○ 冷暖房設備 ○ 冷房設備 ○ 暖房設備 ● 換気設備 ○ 排煙設備
○ 自動制御設備

Ⅱ　工事仕様

1　共通仕様

現場説明書（現場説明に対する質問回答書を含む）本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は
● 印の項目による
○ 社団法人日本建築家協会監修建築設備工事共通仕様書（最新版）
○ 公共住宅建設工事共通仕様書（最新版）
● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修機械設備工事標準仕様書（最新版）
● 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修機械設備工事標準図（最新版）

2　特記仕様

㊞ 印を適用する

一般共通事項

1　官公署その他への手続き　● 工事に必要な官公署、その他への手続き、検査等は請負者が代行し速やかに行う

2　工事用電力、水、その他　● この工事に必要な工事用電力、水及び諸手続き等の費用は、全て請負者の負担とする

3　残土処分　○ 構内敷ならし　● 構外搬出適切処分

4　配管の埋戻し土　● 根切り土の中の良質土　● 砂　○ 真砂土　○ 切込み砕石

5　工事写真　● 施工中の写真撮影は、原則として地中埋設部及び隠蔽場所とする

6　完成図書　● 工事写真 1 部　○ 完成写真 1 部　● 竣工図（隔面二つ折り製本）2 部
○ 竣工図（Ａ４縮小版二つ折り製本） 2 部　● 施工図 1 部
● 機器完成図 2 部　● 試験成績書 1 部　● 保証書 1 部
● 取扱説明書 1 部　● 諸官庁提出書類（副本）一式

7　測定表　○ 温度　○ 湿度　○ 風量　○ 騒音　○ 流量

8　ライニング鋼管の継手　○ 管端防食継ぎ手とする

9　ライニング鋼管の弁類　○ 鋳鉄製ライニング弁とする　○ 青銅製管端コア付き弁とする

１０ 一般用弁　○ 水道直結部分及び図面特記部分はＪＩＳ１０Ｋ弁その他はＪＩＳ５Ｋ弁

１１ はつり　○ 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる、尚復旧はモルタル補修とする

１２ 保温　○ 冷媒管の保温はメーカー標準仕様とする
○ 配管類の保温は共通仕様書による

１３ 防食処置　○ 土中埋設の鋼管類は防食用ﾌﾟﾗｲﾏｰ＋ﾍﾞﾄﾗﾀﾑ系防食ﾃｰﾌﾟ1/2重ね１回巻き＋ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾃｰﾌﾟ1/2重ね１回巻きとする
○ ｺﾝｸﾘｰﾄに埋設される鉛管はﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾃｰﾌﾟ1/2重ね１回巻きとする

１４ 機器、器具　● メーカー標準品　○ 共通仕様書製品（図面に指示）
○ ＢＬ製品（図面に指示）

１５ 給油設備　地下貯油槽はタンク室を　○ 設ける　○ 設けない
地下貯油槽の土留め工事は　○ 不要　● 必要（図示による）
配管材料　（一般配管）　○ ＳＧＰ（黒）　○ ＳＧＰ（白）
（地中配管）　○ ＳＧＰ（黒）　○ ＥＬＰ　○ ＰＬＰ
○ 油配管の露出部以外（点検不可能）の接合部は溶接接合とする

１６ 煙突及び煙道　材質は　○ ＳＵＳ３０４（　　ｍｍ）　○ 鋼板（　　ｍｍ）
煤煙濃度計を　○ 設ける　○ 設けない
煤塵量測定口を　○ 設ける　○ 設けない

１７ 掲示板　○ 機械室に操作順序、注意事項、連絡先等を画いた掲示板を設ける

１８ 他工事との取り合い

工事内容	機械	電気	建築	別途
鉄筋時のスリーブ、箱入れ（穴埋め共）	●	○	○	○
開口部の補強鉄筋工事（スリーブは１００以上）	○	○	●	○
天井、壁の切り込み	○	○	●	○
天井、壁の開口部の下地補強	○	○	●	○
外部取り付けガラリ及びドアーガラリの取り付け	○	○	●	○
床、壁、天井等の点検口	○	○	●	○
化粧マンホールの上蓋の仕上げ	○	○	○	○
雨水立て樋以後の放流	○	○	●	○
雨水立て樋	○	○	○	○
各機器のアース工事（設置業者）	●	○	○	○
各機器の電源接続	○	●	○	○
厨房機器類の配管接続工事	●	○	○	○
厨房機器類	○	○	○	○

● 衛生器具設備

1　大便器洗浄方式　● ロータンク　○ フラッシュ（ ○ 自動　○ ハンドル　○ リモコン）
2　小便器洗浄方式　○ 押しボタン　● 個別感知　○ 集合感知
3　その他　○

● 給水設備

1　給水方式　● 水道直結式　○ 重力式　（● 上水　○ 井水）
○ ポンプ加圧式　（○ 上水　○ 井水）
2　量水器　○ 親メーター　（○ 貸与品　○ 買い取り）
○ 子メーター　（○ 貸与品　○ 買い取り）
3　量水器ＢＯＸ　○ 水道事業所指定品　（○ 貸与品　○ 買い取り）　○ 標準図
4　配管材料　地中埋設部以外　○ ＳＧＰ－ＶＡ　○ ＳＧＰ－ＶＢ　● ＨＩ　○ ＶＰ
地中埋設部　○ ＳＧＰ－ＶＤ　● ＨＩ　○ ＶＰ
5　水栓柱　○ 合成樹脂製　○ ステンレス製　○ 不凍水栓柱
6　管の埋設深さ　● 一般敷地５０ｃｍ以上　○ 構内道路５０ｃｍ
7　分担金　○ 不要　○ 本工事　○ 別途
8　その他　○

● 排水設備

1　排水方式　屋内（● 分流 ○ 合流）　屋外（○ 分流 ● 合流）
2　放流先　汚水　● 公共下水道　○ 浄化槽　○ 便槽
排水　● 公共下水道　○ 浄化槽　○ 側溝、水路
3　満水試験継ぎ手　● 不要　○ 必要（図示個所）
4　配管材料　屋内汚水管　● ＶＰ　○ ＶＵ　○ ＬＰ（陶器接続）　○ ＤＶＬＰ
○ ＴＭＰ（ＰＳ内及び１００以上の区画貫通部）
屋内排水管　● ＶＰ　○ ＶＵ　○ ＬＰ（洗面器接続）　○ ＤＶＬＰ
○ ＴＭＰ（ＰＳ内及び１００以上の区画貫通部）
屋外排水、汚水管　● ＶＰ　○ ＶＵ　○ ＲＦ－ＶＰ（リサイクル３層管）
通気管　○ ＶＰ　○ ＶＵ　○ ＳＧＰ（白）
○ ＴＭＰ（ＰＳ内及び１００以上の区画貫通部）
圧送管　○ ＰＥ　○ ＶＰ　○ ＨＩ
5　会所桝　○ 塩ビ製、樹脂製市販品
○ 現場打ち（但し桝のコンクリート部は工場製品とする）
6　放流納付金　● 不要　○ 本工事　○ 別途
7　その他　○

○ 給湯設備

1　給湯方式　○ 局所式　（○ 瞬間式　○ 貯湯式 ）　○ 中央式
2　熱源　○ 都市ガス　○ ＬＰＧ　○ 電気　○ 灯油　○ 重油
3　配管材料　○ ＣＵ（Ｍ）　○ 保温付被覆ＣＵ（Ｍ）　○ ＨＴ　○ ＨＴＬＰ
4　その他　○

○ 消火設備

1　種別　○ 屋内消火栓設備　○ 屋外消火栓設備　○ スプリンクラー設備
○ 連結送水管設備
2　配管材料　一般配管　○ ＳＧＰ（白）　○ ＳＧＰＷ
地中配管　○ ＳＧＰ（白）　○ ＳＧＰＷ　○ ＳＧＰ－ＶＳ
3　消火用受水槽　○ 建築工事　○ 本工事　○ 別途
4　消火器　○ 建築工事　○ 本工事　○ 別途
5　非常用電源装置　○ 消火ポンプの非常用電源装置は配管配線共電気設備とする
6　警報　○ スプリンクラーアラームのモーターサイレンを含め配管配線共電気設備とする
7　表示灯等　○ 消火栓箱の表示灯、発信器、電飾、起動スイッチは配管配線共電気設備とする
8　保温　○ 屋外露出配管部は保温を行う
9　その他　○

○ ガス設備

1　種別　○ 都市ガス　（ ○ ５Ｃ　○ ６Ａ　○ １３Ａ ）　○ ＬＰＧ
2　メーター　○ 親メーター　（　○ 貸与品　○ 買い取り ）
○ 子メーター　（　○ 貸与品　○ 買い取り ）
3　配管材料　一般配管　○ ＳＧＰ（白）　○ 大阪ガス指定品
地中配管　○ ＳＧＰ（白）　○ 大阪ガス指定品　○ ＥＬＰ　○ ＰＬＰ
4　集合装置　○ 別途工事（ガス事業者）　○ 本工事
5　ボンベ及び転倒防止等　○ 別途工事（ガス事業者）　○ 本工事
6　ガス漏れ警報器　○ 別途工事（ガス事業者）　○ 本工事　○ 電気設備（メーター迄の配線共）
7　その他　○

○ 厨房機器設備

1　燃焼機器　○ 別途工事　○ 本工事
2　その他　○

○ 浄化槽設備

1　処理方式　○ 単独処理　○ 合併処理
2　土留め工事　○ 不要　○ 必要（図示による）
3　放流方式　○ 自然放流　○ ポンプ放流
4　支柱　○ 無　○ 有
5　上部コンクリート　○ 無　○ 有　○ マンホール廻りのみ有
6　その他　○

○ ろ過設備

1　方式　○ 自動式　○ 手動式
2　配管材料　○ ＳＧＰ（白）　○ ＨＴＬＰ　○ ＨＴ　○ ＨＩ　○ ＶＰ
3　気泡装置　○ 無　○ 有
4　超音波装置　○ 無　○ 有
5　滅菌装置　○ 無　○ 有　（ ○ 塩素系　○ 銀イオン ）
6　その他　○

○ 空調設備（冷暖房、冷房、暖房）

1　設計時の温湿度条件

場所 ＼ 時期	屋外		屋内 一般系統			
	温度（ＤＢ）	湿度（ＲＨ）	温度（ＤＢ）	湿度（ＲＨ）	温度（ＤＢ）	湿度（ＲＨ）
夏期						
冬期						

2　方式　空調　○ 中央ダクト　○ 各階ユニット　○ ファンコイル、ダクト　併用
冷暖房　○ ファンコイル　○ エアコン
冷房　○ エアコン
暖房　○ 温風暖房　○ 遠赤外線輻射暖房　○ 床暖房
3　配管材料　冷温水管　○ ＳＧＰ（白）　○ ＨＴＬＰ
冷却水管　○ ＳＧＰ（白）　○ ＳＧＰ－ＶＡ　○ ＳＧＰ－ＶＤ　○ ＨＩ
蒸気管　○ ＳＧＰ（黒）
膨張管　○ ＳＧＰ（白）　○ ＨＴＬＰ
補給水管　○ ＳＧＰ（白）　○ ＨＴＬＰ
冷媒管　○ メーカー部材品に準ずる
ドレーン管　○ ＳＧＰ（白）　○ ＶＰ
4　冷媒管の保温の外装　屋内露出　○ カラー鋼板　○ 塩化ビニール樹脂
屋外露出　○ カラー鋼板　○ ステンレス鋼板　○ 塩化ビニール樹脂
5　配線、配管工事　エアコン屋内外機の制御用接続電線　○ 本工事　○ 電気設備工事
エアコン用リモコンスイッチの電線　○ 本工事　○ 電気設備工事
ファンコイル用リモコンスイッチの電線　○ 本工事　○ 電気設備工事
6　ダクト材料　○ 亜鉛鉄板　○ 保温材付スパイラル管
7　ダクトの種別　○ 低速ダクト　○ 高速ダクト
8　矩形ダクトの工法　○ アングル工法　○ コーナーボルト工法（共板工法）
9　風量測定口　○ 不要　○ 必要（図示による）
１０ その他　○

● 換気設備

1　分類　○ 第一種　○ 第二種　● 第三種
2　ダクト材料　○ 亜鉛鉄板　● スパイラルダクト　○ フレキシブルダクト
○ 保温付フレキシブルダクト　○ 保温付スパイラルダクト　○ ＶＵ管
3　ダクトの種別　● 低速ダクト　○ 高速ダクト
4　矩形ダクトの工法　○ アングル工法　○ コーナーボルト工法（共板工法）
5　風量測定口　○ 不要　○ 必要（図示による）
6　保温　○ 全熱交換器のＯＡ側のダクトは保温をする
○ 多湿箇所（図示による）のダクトは保温をする
○ 排気ダクトの屋外開口部から２ｍの範囲は保温をする
7　排気フードの材質　● ＳＵＳ３０４（ｔ１．０）　○ ＳＵＳ４３０（ｔ１．０）　○ 亜鉛鉄板
8　その他　○

○ 排煙設備

1　ダクト材料　○ 亜鉛鉄板
2　ダクトの種別　○ 高速ダクト　○ 低速ダクト
3　排煙口の形状　○ スリット形　○ スイング形　○ ダンパ形
4　排煙口の動作　○ 手動及び煙感知器連動
5　排煙口の復帰装置　○ 手動復帰式　○ 自動復帰式
6　その他　○

○ 自動制御設備

1　自動制御方式　○ 電気式　○ 電子式　○ デジタル式
2　中央監視制御装置　○ 有　○ 無
3　その他　○

Ⅲ 機材製作所

● 印が該当項目とし、記載されている製作所又は同等品以上とする

●	衛生陶器、付属器具	東陶機器	ＩＮＡＸ			
○	非水洗、軽水洗便器	アサヒ	ＩＮＡＸ	ロンシール	ネポン	松下
●	水栓類	東陶機器	ＩＮＡＸ			
○	水栓柱	タキロン	前澤	ホーコス	アカシ	
○	不凍水栓柱	竹村	相当品			
●	排水金物類	ダイドレ	長谷川	カネソウ	福西	小島　中部
○	鋳鉄製箱、ＭＨ類	ダイドレ	長谷川	カネソウ	福西	小島　中部
○	グリーストラップ	ホーコス	ダイドレ	プレパイ	下田機工	前澤
○	可とう、防振継手	トーフレ	ダイドレ	トーゼン	東洋ゴム	ゼンシン
○	伸縮継手	ベン	ヨシタケ	フシマン	本山	日本ベロー
○	弁類	キッツ	東洋	大和	栗本	日立金属　ベン　ヨシタケ
○	定水位調整弁	東陶機器	ベン	ＦＭバルブ	兼工業	アイエス　カクダイ
○	受水槽、高架水槽	積水	日立化成	ブリヂストン	三菱樹脂	
○	油タンク、貯湯槽類	ホーコス	平和	島倉	ベルテクノ	
○	ポンプ類	川本	荏原	日立	テラルキョクトウ	松下　鶴見
○	厨房機器	サンウェーブ	クリナップ	タカラ	トーヨー	松下
○	ＬＰＧコック	藤井合金	光陽	矢崎	大阪ガス	
○	湯沸器	リンナイ	パロマ	ハーマン	大阪ガス	
○	給湯器	ノーリツ	リンナイ	東陶機器	ＩＮＡＸ	パロマ
○	真空式温水機	タクマ	昭和	アイチ	荏原	
○	無圧式ボイラー	ネポン	昭和	ノーリツ	川重	荏原　三浦
○	温水ボイラー	ノーリツ	昭和	ネポン	三浦	アイチ　川重
○	蒸気ボイラー	タクマ	三浦	サムソン		
○	ろ過装置類	竹村	昭和	ノーリツ	ロンシール	東洋エンタープライズ
●	換気扇、送風機	三菱	松下	日立	ダイキン	荏原
○	消火機器	横井	立売堀	北浦		
○	浄化槽	フジクリーン	ＩＮＡＸ	松下	クボタ	
○	チラー	ダイキン	松下	三菱	日立	三洋　三菱重工
○	吸収式冷温水機	日立	三洋	矢崎	タクマ	川重　荏原　ダイキン
○	冷却塔	日本スピンドル	空研	信和	三菱樹脂	松下　ダイキン
○	ファンコイル	木村	新晃	昭和	ダイキン	日立　松下　三菱
○	温風暖房機	サンポット	クサカベ	ダイキン	松下	三菱　大阪ガス
○	エアコン	ダイキン	松下	三菱	日立	三菱重工　三洋
○	ガスヒーポン	ヤンマー	三洋	アイシン	ヤマハ	
○	灯油ヒーポン	ゼクセル	相当品			
○	便槽	積水	ネポン	前澤	松下	セブン産業　石川スーパー産業
○	ポンプアップ槽	ネポン	セブン産業	石川スーパー産業		
○	ユニットバス	東陶機器	ＩＮＡＸ	松下		
◔	電気温水器	松下	三菱	日立	日本イトミック	細山熱器
○	ドルゴ通気弁	森永	相当品			
○	密閉式膨張タンク	森永	日立機材			
○	汚物中継槽ユニット	川本	荏原			
○	小型電気温水器	東陶機器	相当品			

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME　篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME　機械設備　特記仕様書

APPROVED BY　1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘

CHECKED BY

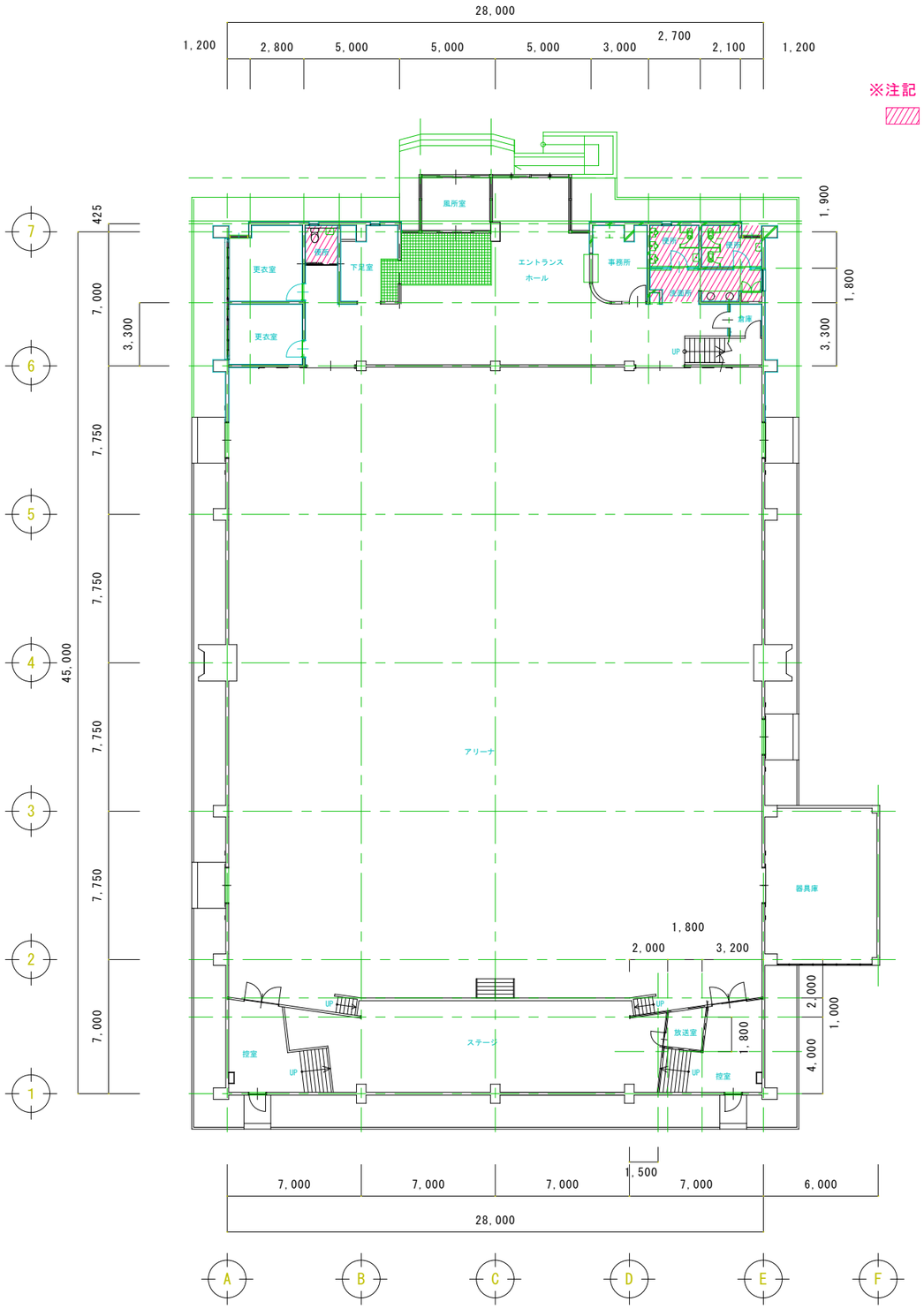
DRAWN BY

SCALE　――

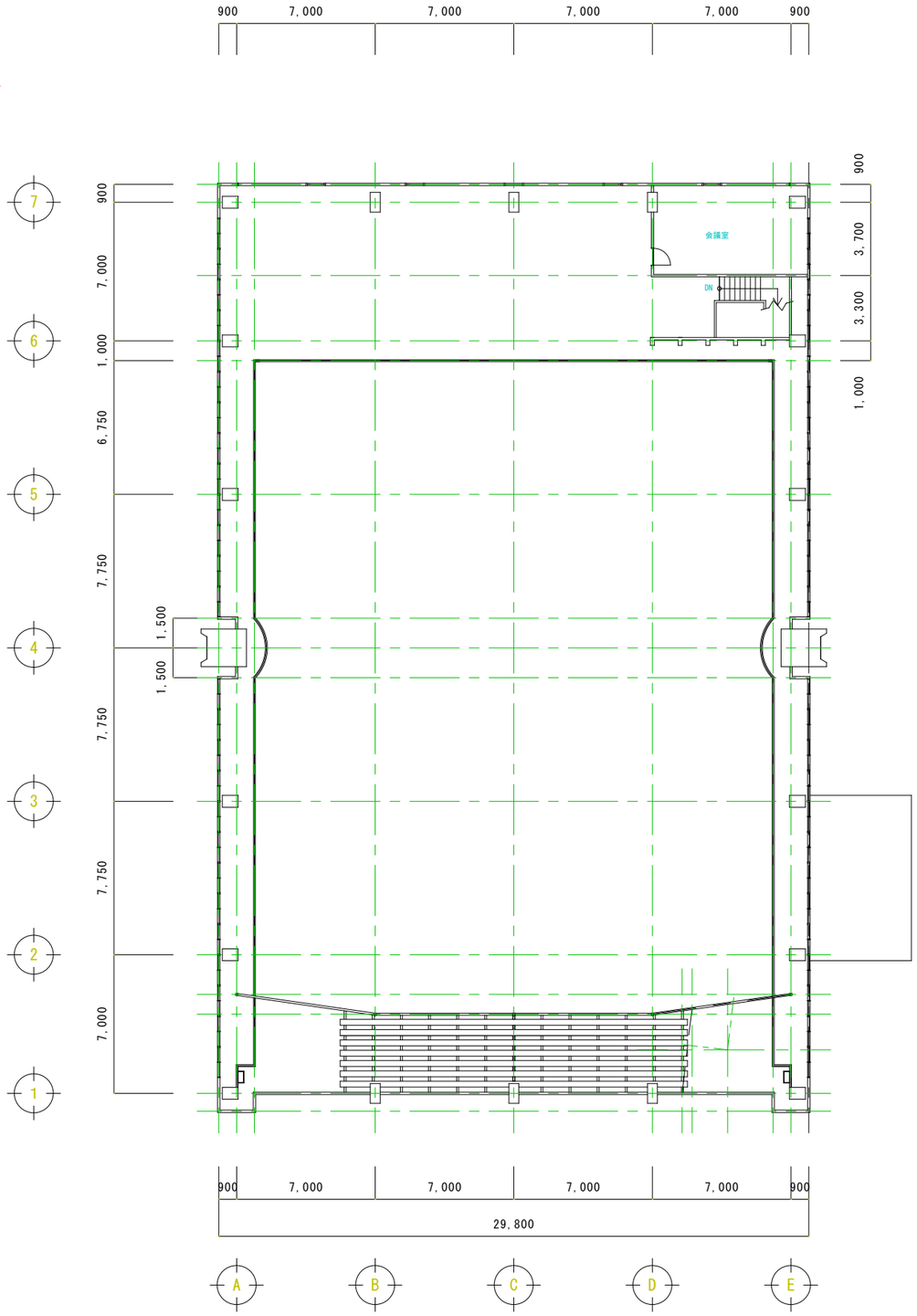
DRAWING NO　Ｍ－ 1

※注記

設備改修場所を示す。



１階平面図　１／２００



２階平面図　１／２００

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME	篠山市立西紀体育館耐震補強工事
DRAWING NAME	【改修前】１階・２階平面図
APPROVED BY	１級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘
CHECKED BY	
DRAWN BY	
SCALE	1/200
DRAWING NO	Ｍ－ ２

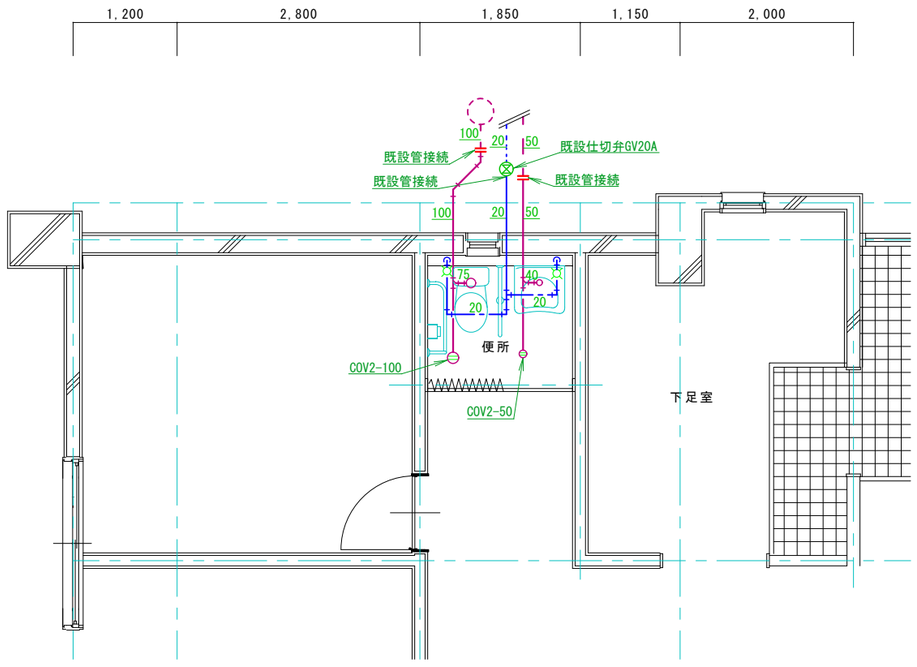
改 修

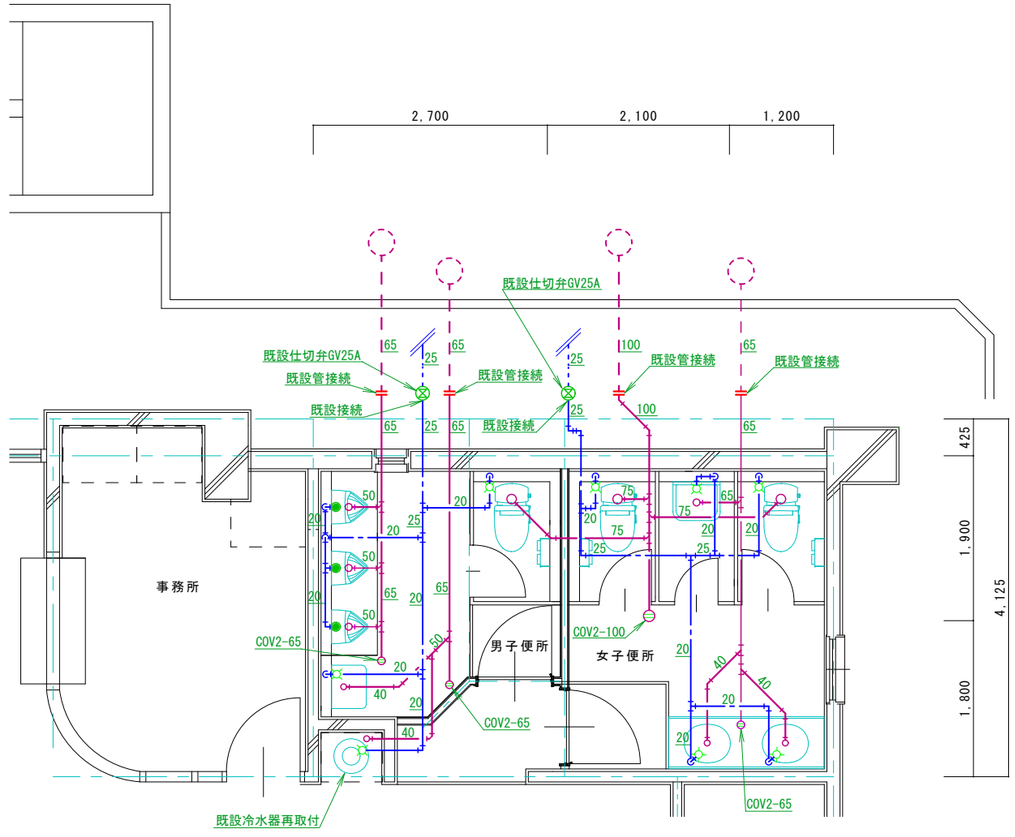
改修器具リスト

品　名	品　番	数量	備　考
洋風便器	CS30B+SH30BA相当品	1	既設品再取付け
洗面器	L103A+T205Q	1	既設品再取付け
傾斜鏡	LM530	1	既設品再取付け
Ｔ型手すり	T110BC2	1	既設品再取付け
Ｌ型手すり	T113BL3S	1	既設品再取付け

改修器具リスト

品　名	品　番	付属品 ・ 仕様	男子	女子	通路	合計	備　考
洋風便器	ＣＳ２２０Ｂ	SH220BAS,TCF6421,YH60N	１	２		３	新設
壁掛け小便器	ＵＦＳ８００ＣＥ		３			３	新設
洗面器	Ｌ２１０Ｃ	TLS11R,T6BPM,TL4CFU,TL250D	１			１	新設
掃除流し	ＳＫ２２Ａ	TK22,T23AE20,TN114X,T9R,HH04060,T37SE1		１		１	新設
マーブライトカウンター	ＭＬ６０	（オニックス）Ｌ＝1，796　M9P50A×3ヶ		１		１	新設
カウンター式洗面器	Ｌ５４６Ｕ	TLS11R,T6BMP,TL4CFU,TL516GR		２		２	新設
化粧鏡	ＹＭ４５６０Ａ		１	２		３	新設
冷水器					１	１	既設品再取付け





株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME
【改修】便所給排水・衛生詳細図

APPROVED BY
1級建築士
大臣登録 第96307号
細田 美弘

CHECKED BY

DRAWN BY

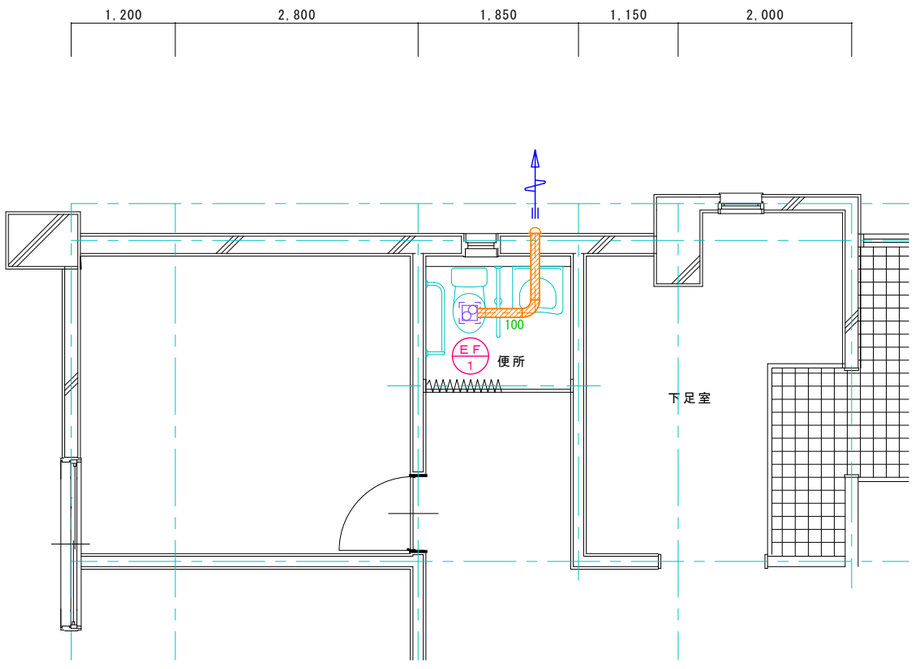
SCALE
1/50

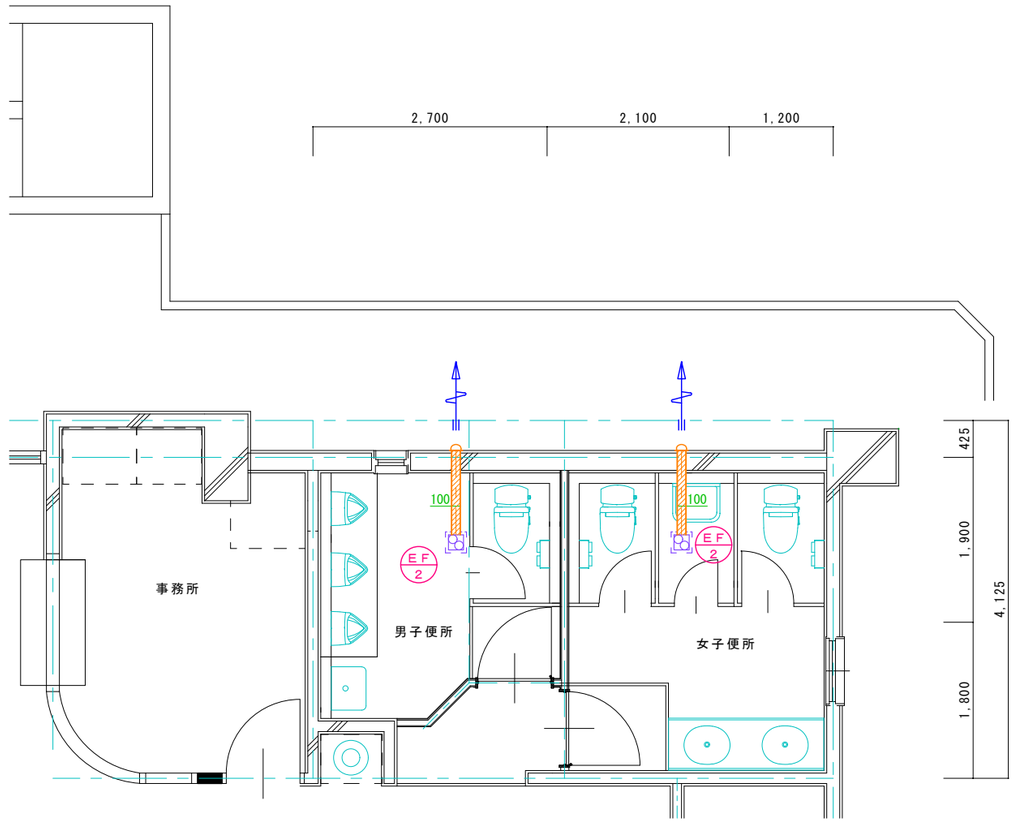
DRAWING NO
M－ 3

改 修

機器リスト

記 号	名 称	機 器 性 能	台数	取付位置	参 考 品 番
ＥＦ－１	ダクト用換気扇	低騒音形　SUS丸形防虫網付ベンドキャップ共	１	便所	三菱：ＶＤ－１３ＺＳＣ9相当品
		風量　１３０m3／ｈ　騒音　３０．０ｄＢ　容量　１５．５Ｗ　電圧　１φ１００Ｖ			Ｐ－１３ＦＳＫ5
ＥＦ－２	ダクト用換気扇	低騒音形　SUS丸形防虫網付ベンドキャップ共	２	男・女便所	三菱：ＶＤ－１５ＺＰＣ9相当品
		風量　２１５m3／ｈ　騒音　３４．５ｄＢ　容量　２３．０Ｗ　電圧　１φ１００Ｖ			Ｐ－１３ＦＳＫ5





株式会社 鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME
篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME
【改修】便所換気設備詳細図

APPROVED BY
1級建築士
大臣登録 第96307号
細田 美弘

CHECKED BY

DRAWN BY

SCALE
1/50

DRAWING NO
M－ 4

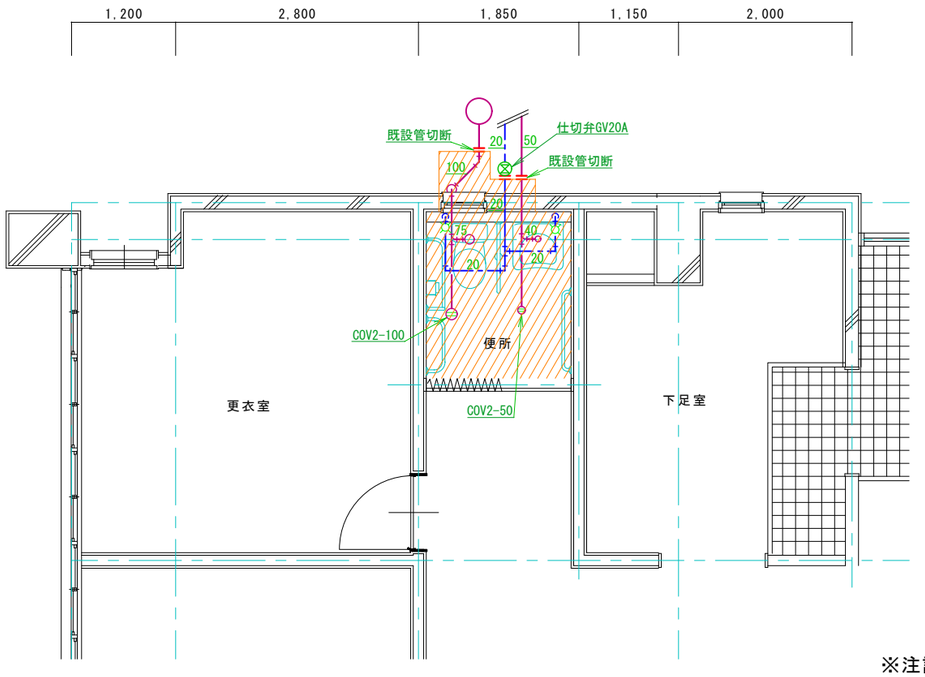
撤 去

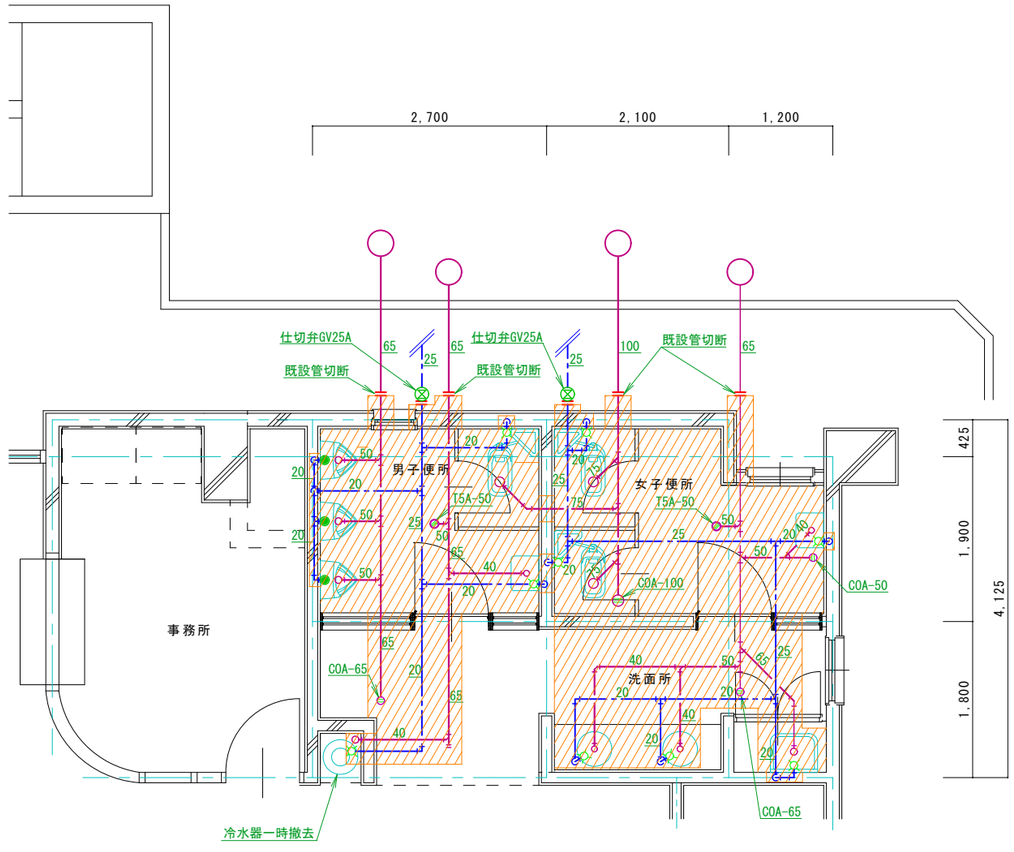
撤去器具リスト

品　名	品　番	数量	備　考
洋風便器	CS30B+SH30BA相当品	1	一時撤去再取付け
洗面器	L103A+T205Q	1	一時撤去再取付け
傾斜鏡	LM530	1	一時撤去再取付け
T型手すり	T110BC2	1	一時撤去再取付け
L型手すり	T113BL3S	1	一時撤去再取付け
I型手すり	T112C6	1	廃棄
I型手すり	T112C10	1	廃棄

撤去器具リスト

品　名	品　番	男子	女子	洗面	通路	合計	備　考
和風便器	C755U+S570B	1	2			3	廃棄
ストール小便器	UFS820CEZ相当品	3				3	廃棄
洗面器	L220+T205	1	1			2	廃棄
化粧鏡	TS119FR5相当品	1	1	2		4	廃棄
カウンター式洗面器	L587+T136S13相当品			2		2	廃棄
掃除流し	SK22+T23AE20			1		1	廃棄
冷水器					1	1	一時撤去再取付け





※注記

1．▨は、衛生器具及び既設配管撤去範囲を示す。

2．既設土間、はつり復旧は建築工事。

株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040　姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME: 【撤去】便所給排・水衛生詳細図

APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘

CHECKED BY:

DRAWN BY:

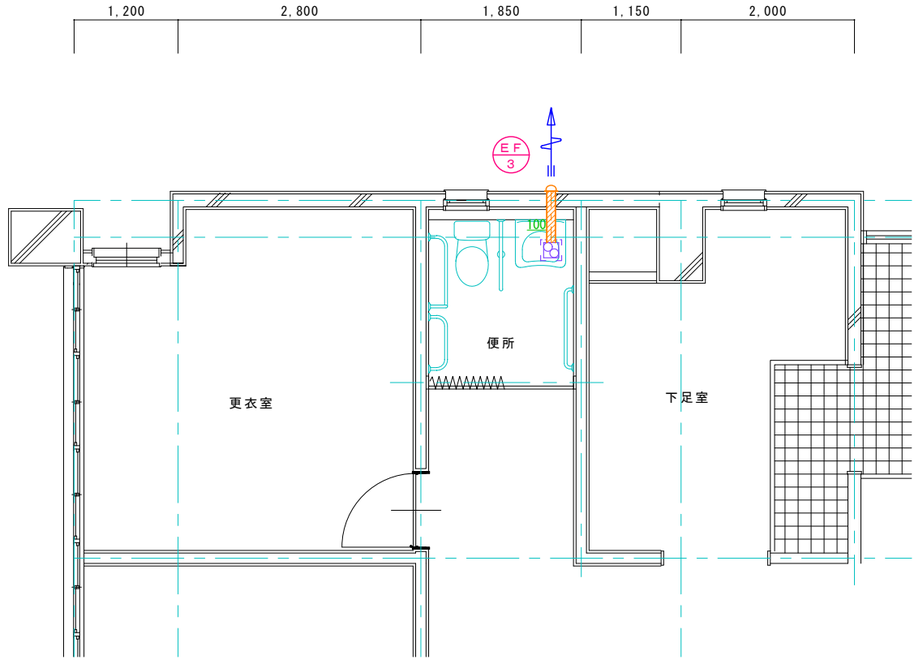
SCALE: 1/50

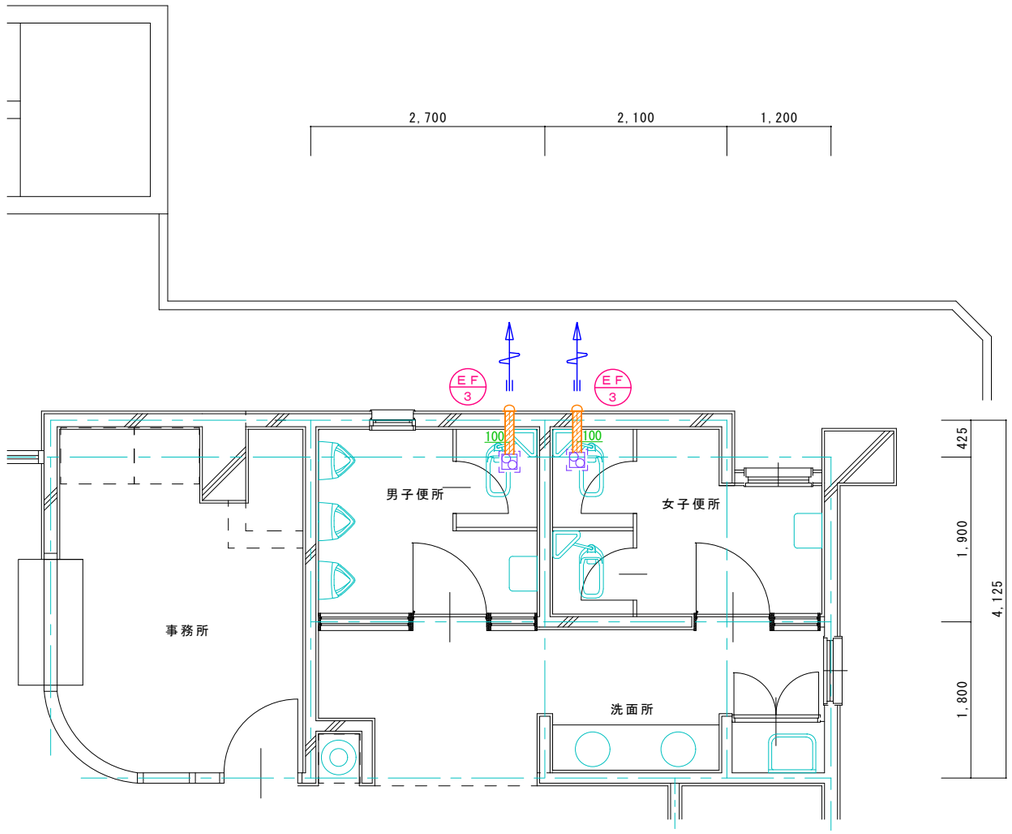
DRAWING NO: M－ 5

撤 去

撤去器具リスト

記 号	品 番	数量	備 考
ＥＦ－３	DV-15相当品（ベンドキャップφ100共）	３	廃棄





株式会社 WASHIO
鷲尾建築設計事務所
〒672-8040 姫路市飾磨区野田町157-1
TEL：079-284-1491
FAX：079-284-1446

CONSTRUCTION NAME: 篠山市立西紀体育館耐震補強工事

DRAWING NAME: 【撤去】便所換気設備詳細図

APPROVED BY: 1級建築士 大臣登録 第96307号 細田 美弘

CHECKED BY:

DRAWN BY:

SCALE: 1/50

DRAWING NO: M－ 6